

令和4年度
大田区多文化共生実態調査
【報告書】

令和5年3月

大田区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査実施の目的	3
2. 調査方法と回収状況	3
3. 調査項目	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
第2章 外国人区民調査結果の詳細	5
1. 基本属性	7
(1) 年齢	7
(2) 国籍・地域	8
(3) 在留資格	10
(4) 住居	12
(5) 職業	13
(6) 結婚の有無	14
(7) 同居人	15
(8) 日本での居住年数	16
(9) 大田区での居住年数	17
(10) 居住地域	18
2. ことばについて	19
(1) わかる言語、最も得意な言語	19
(2) 日本語能力	22
(3) 日本語の勉強に関する状況	28
(4) 日本語教室が利用しやすくなるために大切なこと	31
(5) 日本語でのコミュニケーション等が難しい際の対応	34
3. 大田区の取組への評価について	35
(1) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度	35
(2) 大田区の取組に対する満足度・必要度	38
4. 日ごろの暮らしについて	43
(3) 居留意向	43
(3-1) 大田区に住みたい理由	46
(4) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ	49
(5) 日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていること	52
(6) 住まいに関して困ったこと	55
(7) 病院を利用する際に困ったこと	57
(8) 子どもの有無	60
(8-1) 子ども又は回答者自身が幼稚園・保育園／学校で困ったこと	61

(9) 新型コロナウイルス感染拡大での困りごと	65
(10) 就労する際の困りごと	67
5. 防災について	70
(1) 日本における災害の認知度	70
(2) 地域の避難先の認知度	71
(3) 地域で行われている防災訓練への参加経験	73
(4) 災害が起きた時に心配なこと	75
(5) 防災ポータルサイトの認知度／区民安全・安心メールの認知度	78
6. 情報提供・相談体制について	81
(1) 生活で困った時の相談先	81
(2) 情報収集にあたって利用している手段／行政サービス等の周知手段の希望	84
(3) 生活していくうえで必要な情報	96
(4) 最も使うSNS	99
7. 地域での交流について	101
(1) 自治会・町会への加入状況	101
(2) 近くに住む日本人との付き合い	104
(3) 地域に日本人の知り合いを希望するか	107
(4) 地域社会の一員として日本人に望むこと	109
(5) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか	111
(6) 直近の1年間の地域活動への参加状況／地域活動への今後の参加意向	112
(7) 地域の中で活動してみたいこと	117
(8) 地域活動に参加する上での困りごと	120
8. 自由意見	123

第3章 日本人区民調査結果の詳細 127

1. 基本属性	129
(1) 年齢	129
(2) 住居	130
(3) 職業	131
(4) 居住年数	132
(5) 自治会・町会加入の有無	133
(6) 居住地域	134
(7) 同居者	135
(8) 外国人や外国にルーツを持つ家族や親戚の有無	136
(9) 定住意向	137
(10-1) これからも大田区に住みたい理由	138
(11) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ	139
2. 外国人区民との関わりなどについて	140
(1) 外国人との関わり／4年前との比較（前回プラン策定時）	140

(2) 直近1年間の地域活動への参加状況	146
(2-1) 地域活動での希望する参加形式	149
(3) 外国人が地域に増えることによるメリット	150
(4) 外国人が地域に増えることで、心配や不安に感じる事	153
(5) 地域に外国人の知り合いが欲しいか	155
(6) 区内で暮らす外国人の増加傾向が継続することについて	157
(7) 今後、地域で外国人が活躍することは必要か	158
3. 多文化共生のまちづくりについて	160
(1) 多文化共生という言葉の認知度	160
(2) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか	160
(3) 多文化共生社会実現のために現在していること・今後したいこと	162
(4) 外国人に期待すること	166
(5) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度	169
(6) 大田区の施策に対する必要度	171
(7) 「国際都市おおた」としてどのようなまちになることを期待するか	175
(8) 「やさしい日本語」の認知度	177
自由意見	178

第4章 外国人区民・日本人区民 共通設問の比較 181

1. 回答者の属性	183
(1) 年齢	183
(2) 住居	183
(3) 職業	184
(4) 同居人	184
(5) 大田区での居住年数	185
(6) 居住地域	185
2. 大田区の取組への評価について	186
(1) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度	186
(2) 大田区の施策に対する必要度	187
3. 日ごろの暮らしについて	190
(1) 居留意向	190
(2) 大田区に住みたい理由	191
(3) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ	192
4. 地域での交流について	193
(1) 自治会・町会への加入状況	193
(2) 地域に日本人／外国人の知り合いを希望するか	193
(3) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか	194
(4) 直近1年間の地域活動への参加状況	194
(5) 地域活動への今後の参加意向	195

資料 使用した調査票	197
1. 外国人区民調査票	199
2. 日本人区民調査票	208

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、区内在住の外国人及び日本人の意識・要望を把握し、その結果を「国際都市おおた」多文化共生推進プランに反映させ、今後の多文化共生推進に向けた事業展開に役立てることを目的に実施しました。

2. 調査方法と回収状況

	外国人区民調査	日本人区民調査
調査地域	大田区全域	
調査対象者	18歳以上の外国人区民3,000人	18歳以上の日本人区民1,500人
抽出方法	住民基本台帳より無作為抽出	住民基本台帳より無作為抽出
調査方法	郵送配布・郵送回収、一部オンライン調査併用	
調査期間	令和4年10月12日（水）～10月31日（月）	
言語	英語、中国語、タガログ語、ネパール語、ベトナム語、日本語ルビ付き	日本語
配布数	3,000票	1,500票
有効回収数	803票 (郵送回収：465票 web回収：338票)	558票 (郵送回収：383票 web回収：175票)
有効回収率	26.8%	37.2%

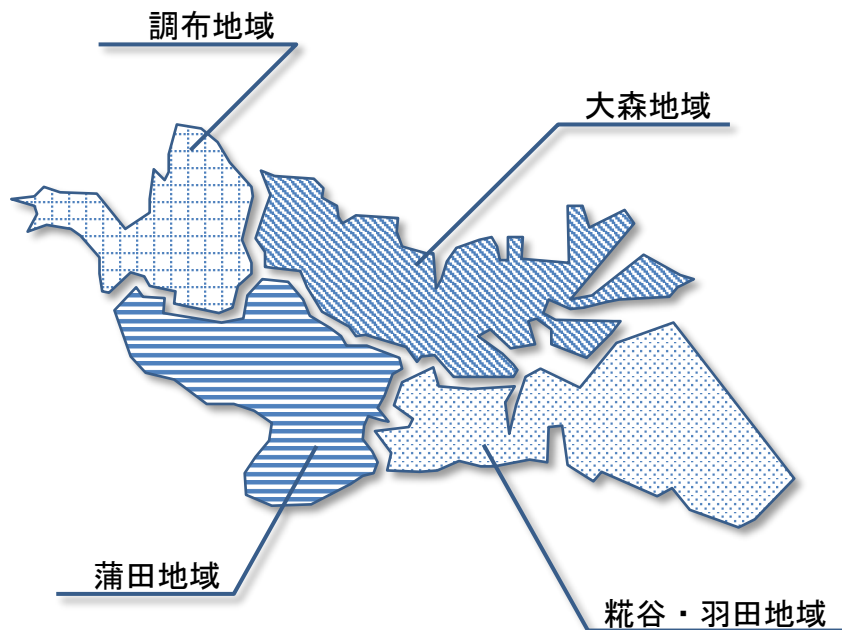
3. 調査項目

	外国人区民調査	日本人区民調査
1	回答者の属性	回答者の属性
2	ことばについて	外国人との関わりなどについて
3	大田区の取組への評価について	多文化共生のまちづくりについて
4	日ごろの暮らしについて	自由記述
5	防災について	
6	情報提供・相談体制について	
7	地域での交流について	
8	自由記述	

4. 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率（％）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、％を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、％の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。
- ・本調査での居住地域別は以下の通りとなっている。

大森地域		大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿など
調布地域		嶺町、田園調布、鶉の木、久が原、雪谷、千束など
蒲田地域		六郷、矢口、蒲田西、蒲田東など
糎谷・羽田地域		糎谷、羽田など



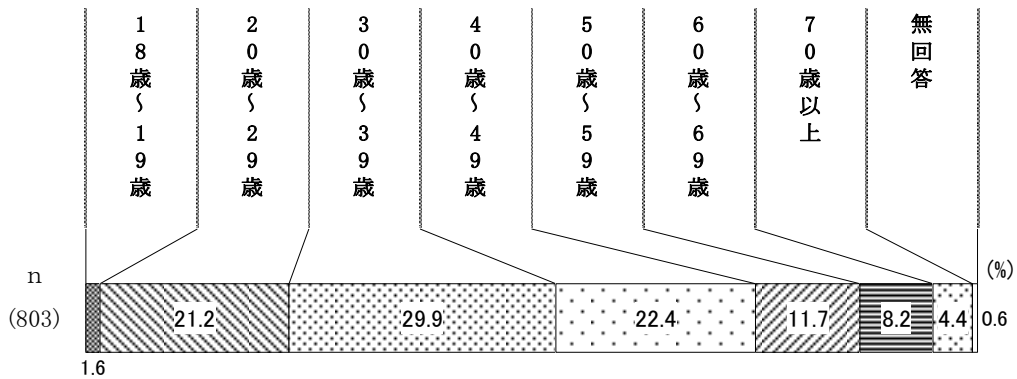
【本編内の経年比較の図表について】

- ・本年度調査にない項目は、原則として表記・比較をしていない。
- ・選択肢の文言は、過去2回の調査により、より改善されたものや、時代に合わせて修正したものがあある。3回にわたる文言の修正を図表下にすべて表記するのは困難かつ読み手にも負担であるため省略しているが、極力類似した項目と比較している。
- ・また、該当年度に新たに設定された選択肢は、選択肢内に「★（令和4年新設）」「☆（平成30年新設）」と表示した。
- ・平成30年度調査では、選択肢の内容により平成26年度の調査を合算した数値が掲載されているが、本年度調査で図表を作成するにあたり、過去調査の実数値が不明で再計算が困難のため、1つの選択肢内容が2つ以上に分岐したものについては、「R4新設」として表記した。

第2章 外国人区民調査結果の詳細

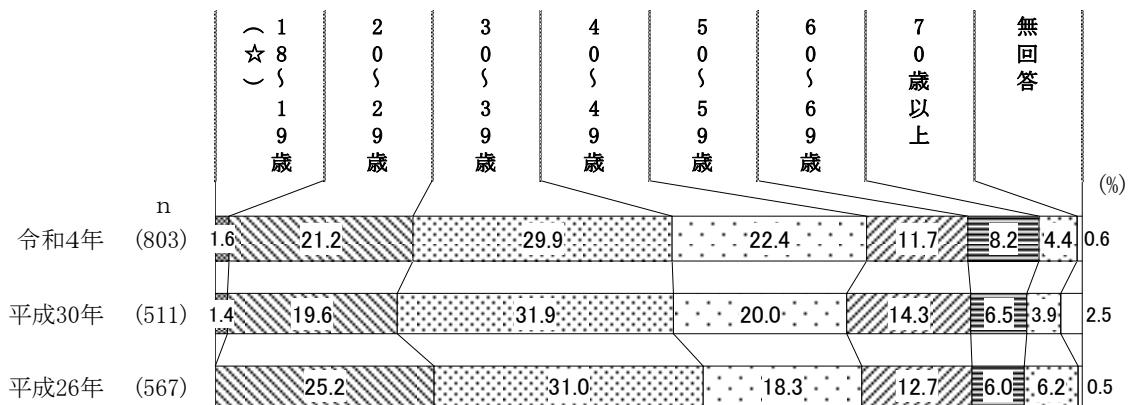
1. 基本属性

(1) 年齢 (単数回答)



年齢では、「30歳～39歳」が29.9%で最も高く、次いで、「40歳～49歳」(22.4%)、「20歳～29歳」(21.2%)、「50歳～59歳」(11.7%)となっている。

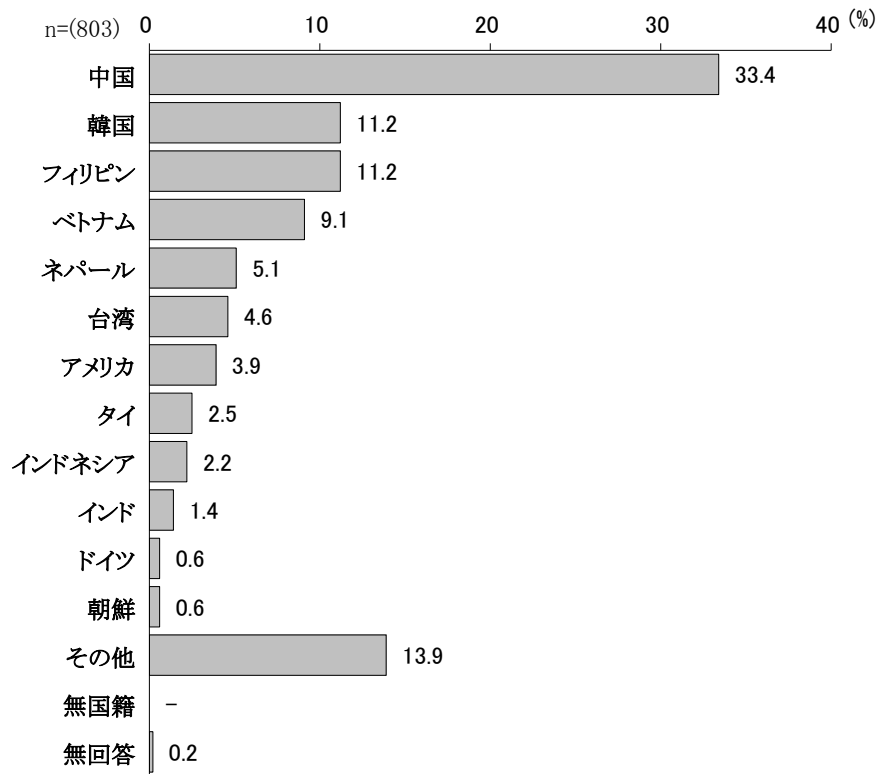
経年比較



* 経年比較について、選択肢中の(☆)は平成30年度から新設した選択肢であることを表す。(以下同様)

過去の調査と比較すると、平成30年から「20～29歳」、「40～49歳」、「60～69歳」はやや増加し、「30～39歳」、「50～59歳」はやや減少となっている。

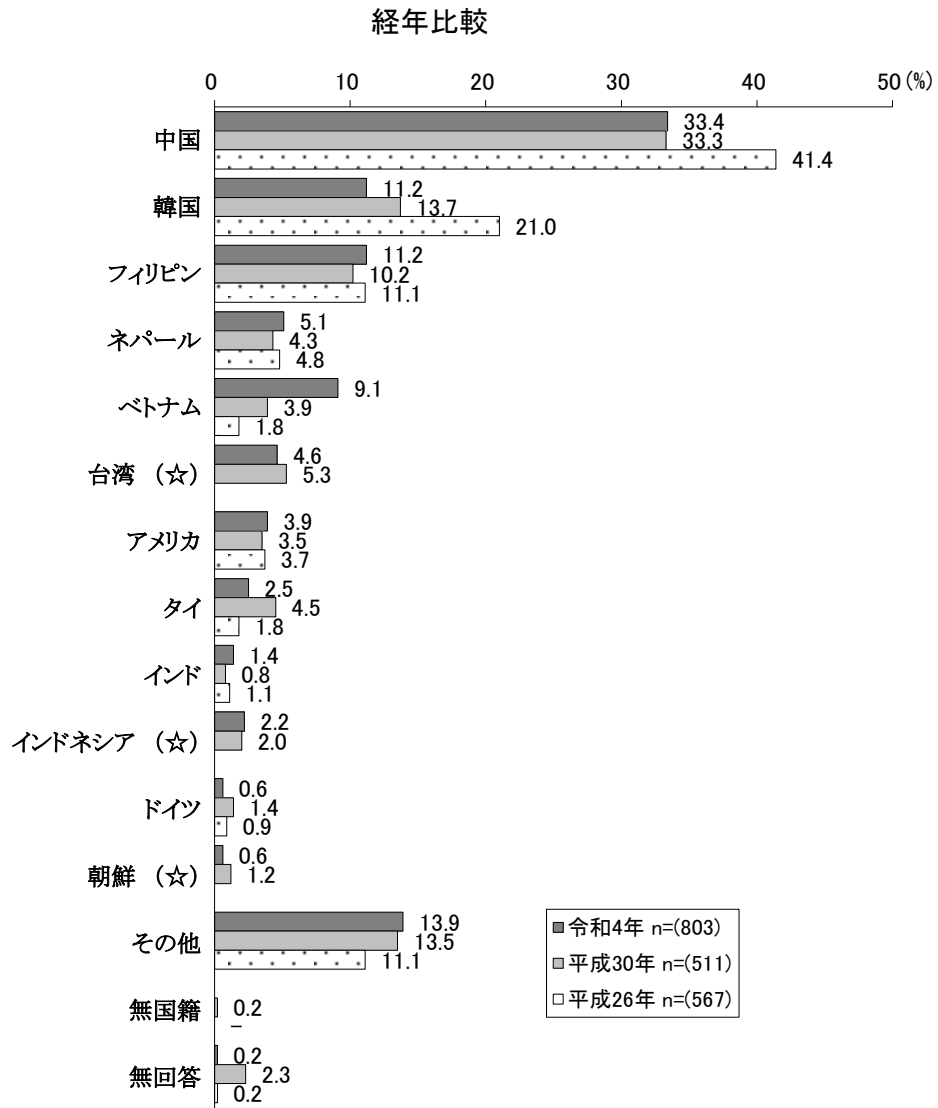
(2) 国籍・地域 (単数回答)



* 「その他」の国籍・地域は、フランス、ブラジル、マレーシア、カナダ、イタリア、ロシア、イギリスの順で5件以上の回答があった。

* 「無国籍」は回答者がいないため、以降の分析軸からは省略している。

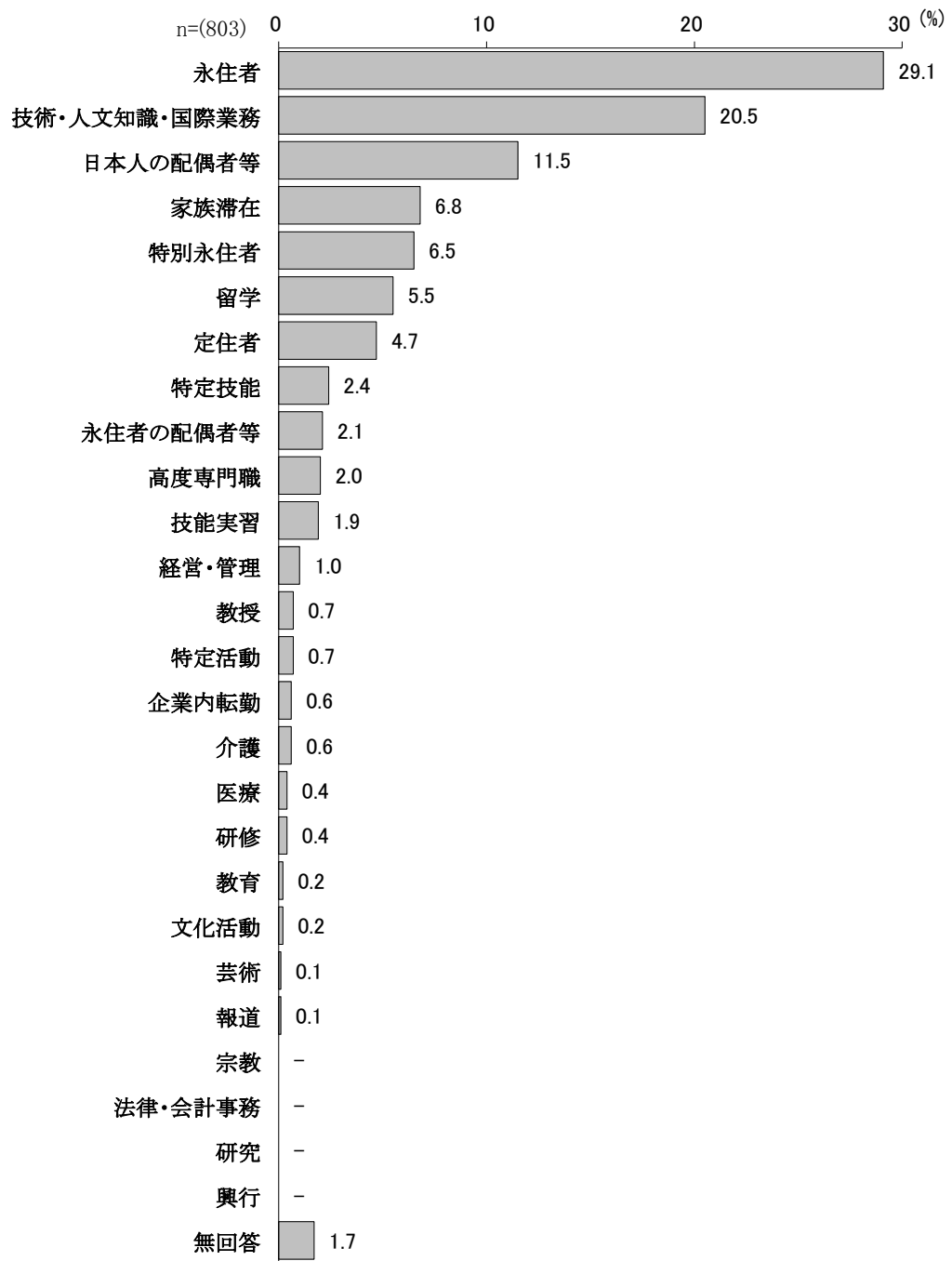
国籍・地域では、「中国」が33.4%で最も高く、次いで、「その他」(13.9%)、「韓国」、「フィリピン」(それぞれ11.2%)となっている。



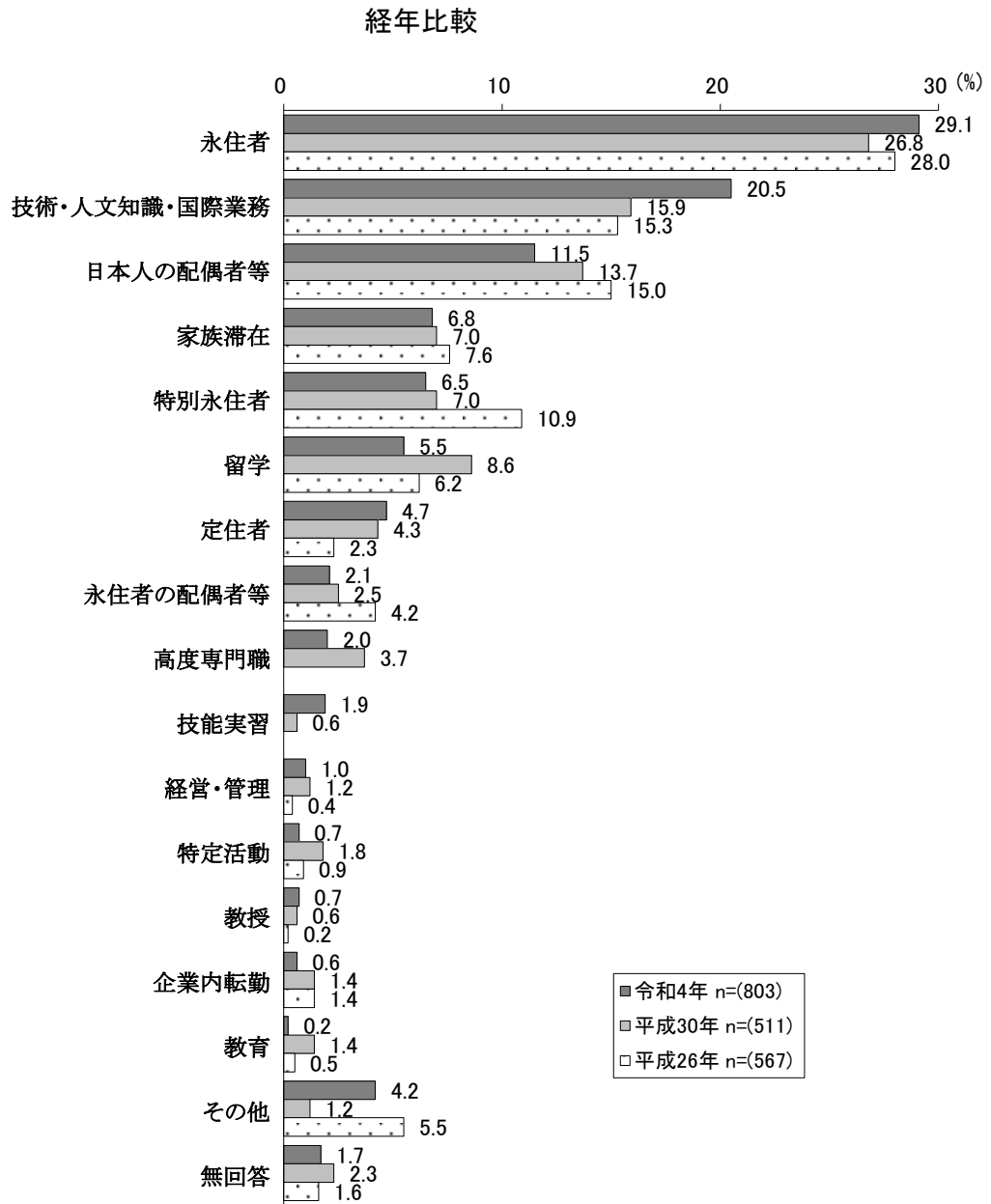
*平成30年度調査では「韓国」について、平成26年度調査の数値は、「韓国・台湾」の数値を記載

過去の調査と比較すると、平成26年から「韓国」は9.8ポイント、「中国」は8.0ポイント減少している。一方、「ベトナム」は平成26年から7.3ポイント、平成30年から5.2ポイント増加している。

(3) 在留資格 (単数回答)



在留資格では、「永住者」が29.1%で最も高く、次いで、「技術・人文知識・国際業務」(20.5%)、「日本人の配偶者等」(11.5%)、「家族滞在」(6.8%)となっている。

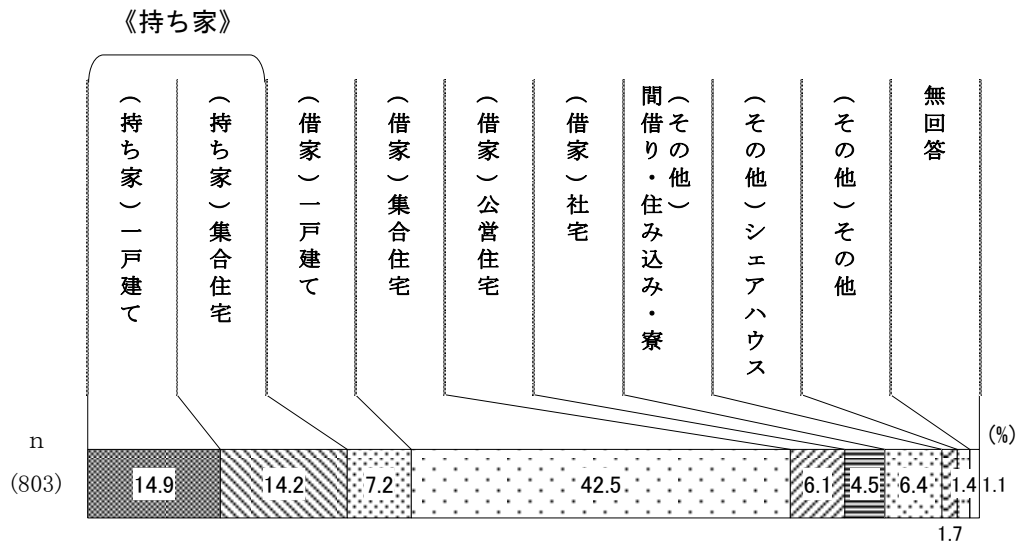


* 「技術・人文知識・国際業務」は、平成26年度調査では「技術」、「人文知識・国際業務」を合算したものの。

* 平成30年度の「その他」には、「研修」、「宗教」、「医療」、「短期滞在」、「外交」、「公用」、「芸術」、「報道」、「法律・会計事務」、「研究」、「介護」、「興行」、「文化活動」が、本年度調査では、「特定技能」、「研修」、「宗教」、「医療」、「芸術」、「報道」、「法律・会計事務」、「研究」、「介護」、「興行」、「文化活動」を含む。

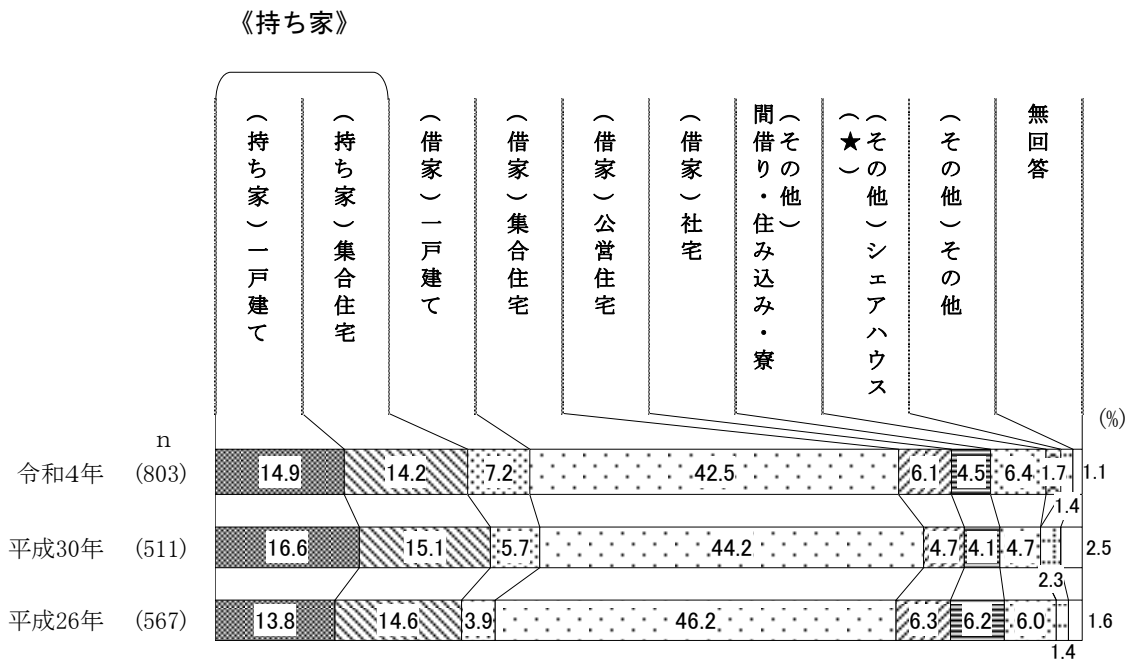
過去の調査と比較すると、平成26年から「技術・人文知識・国際業務」は5.2ポイント増加している。

(4) 住居 (単数回答)



「(借家) 集合住宅」が42.5%で最も高く、次いで、「(持ち家) 一戸建て」(14.9%)、「(持ち家) 集合住宅」(14.2%)となっている。

経年比較

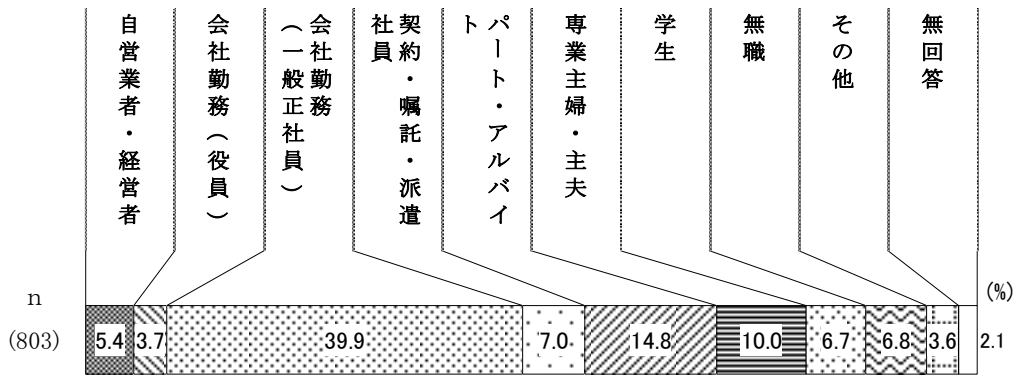


* 経年比較について、選択肢中の(★)は令和4年度調査から新設された選択肢であることを表す。(以下同様)

* 「(借家) 集合住宅」は平成26年度調査の数値は「借家：民間・木造アパート」、「借家：民間・鉄筋アパート・マンション」を合算したものの

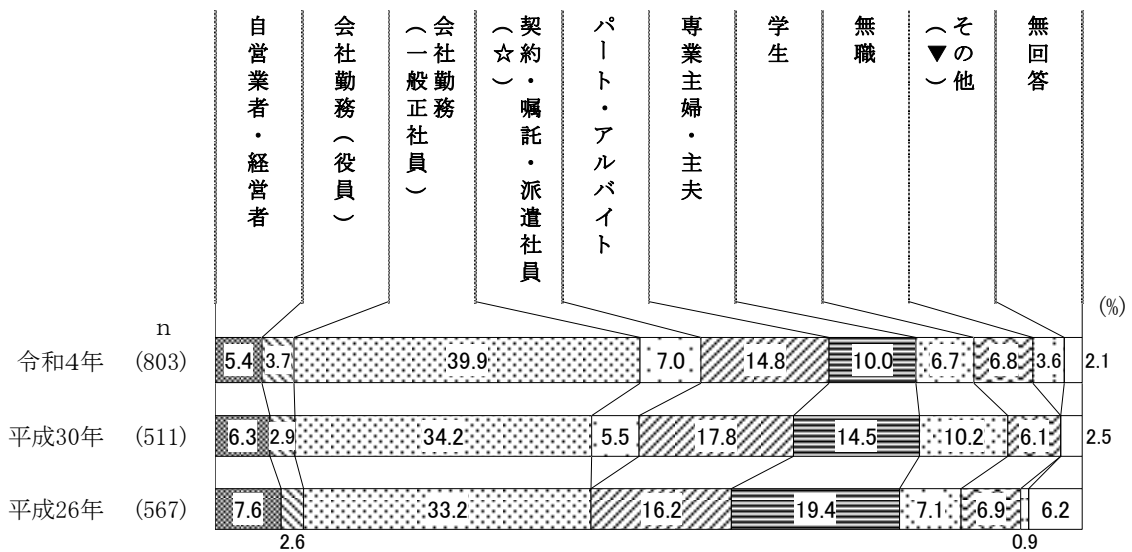
過去の調査と比較すると、平成30年から《持ち家》(「(持ち家) 一戸建て」と「(持ち家) 集合住宅」を足した割合)と「(借家) 集合住宅」はやや減少となっている。

(5) 職業 (単数回答)



「会社勤務 (一般正社員)」が39.9%で最も高く、次いで、「パート・アルバイト」(14.8%)、「専業主婦・主夫」(10.0%)となっている。

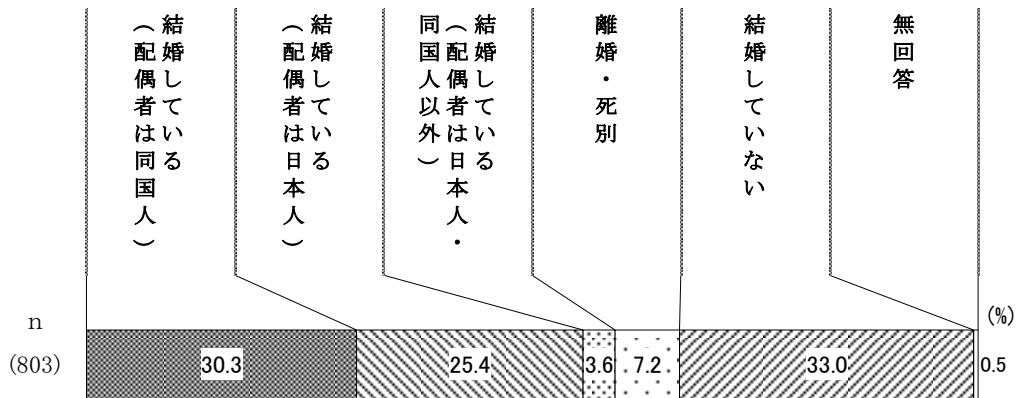
経年比較



*経年比較について、選択肢中の(▼)は平成30年度の調査では選択肢にないことを表す。(以下同様)

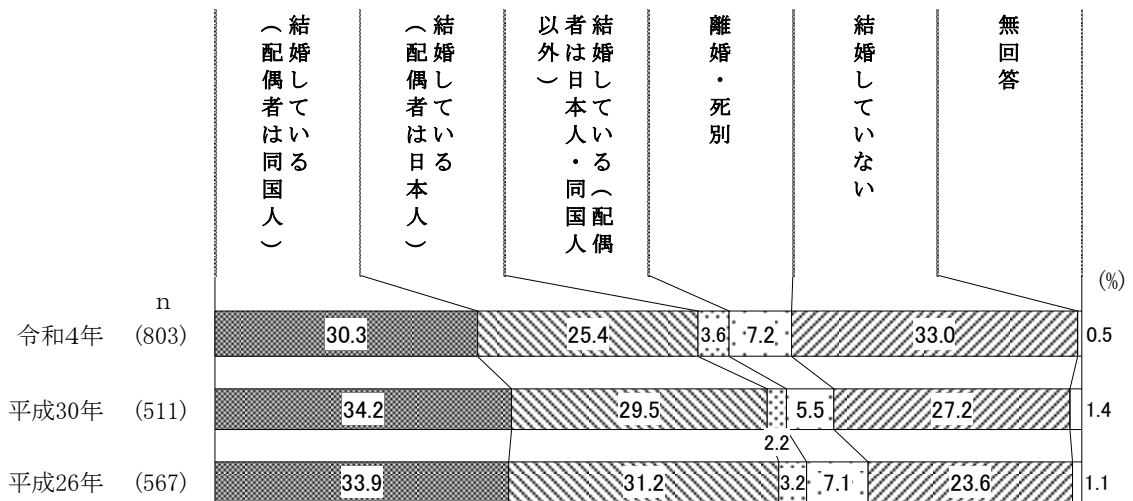
過去の調査と比較すると、「会社勤務 (一般正社員)」は平成26年から6.7ポイント、平成30年から5.7ポイント増加している。また、平成26年から「専業主婦・主夫」は9.4ポイント減少している。

(6) 結婚の有無 (単数回答)



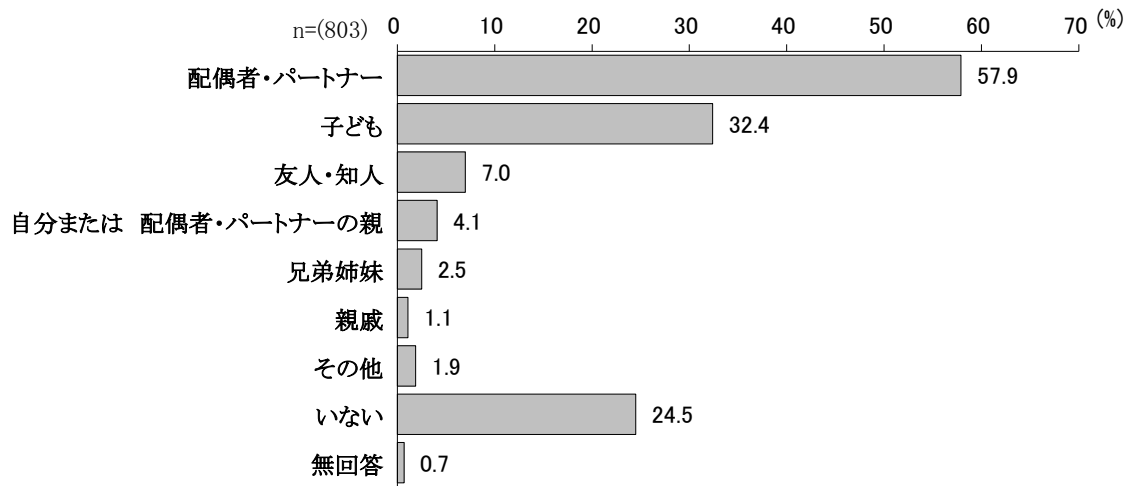
結婚の有無では、「結婚していない」が 33.0%で最も高く、次いで、「結婚している (配偶者は日本人)」(30.3%)、「結婚している (配偶者は日本人・外国人以外)」(25.4%)、「離婚・死別」(7.2%)となっている。

経年比較



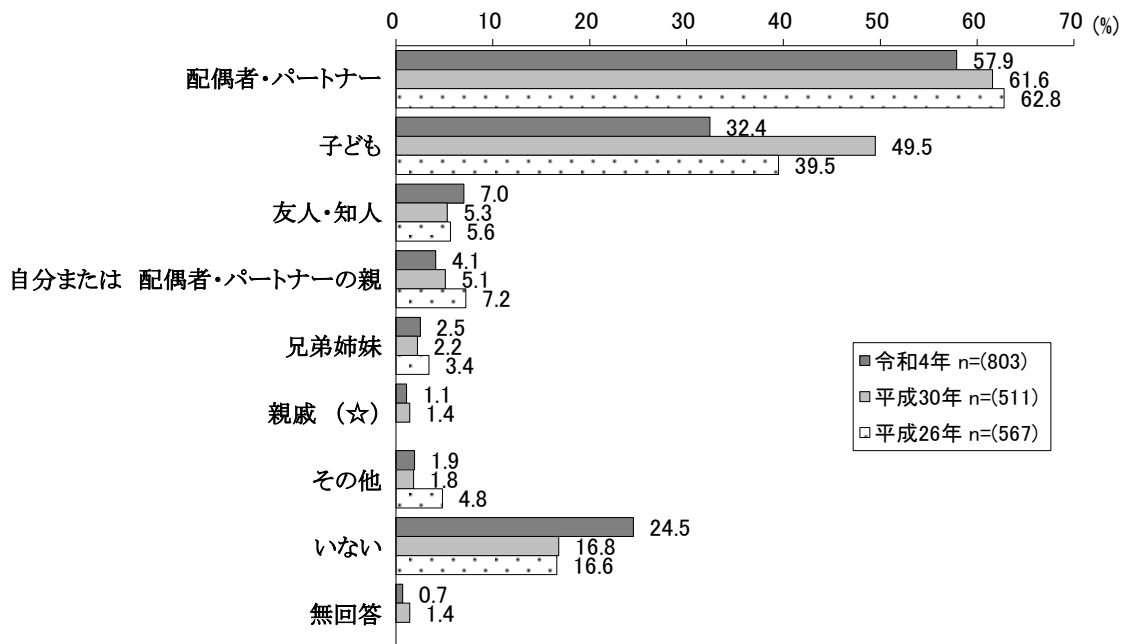
過去の調査と比較すると、「結婚している (配偶者は日本人)」は平成 26 年から 5.8 ポイント減少している。また、「結婚していない」は平成 26 年から 9.4 ポイント、平成 30 年から 5.8 ポイント増加している。

(7) 同居人 (複数回答)



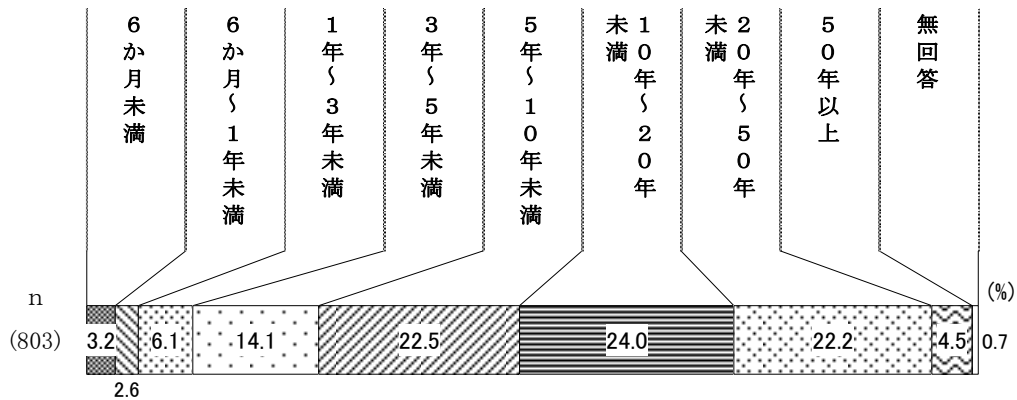
同居人では、「配偶者・パートナー」が57.9%で最も高く、次いで、「子ども」(32.4%)、「いない」(24.5%)となっている。

経年比較



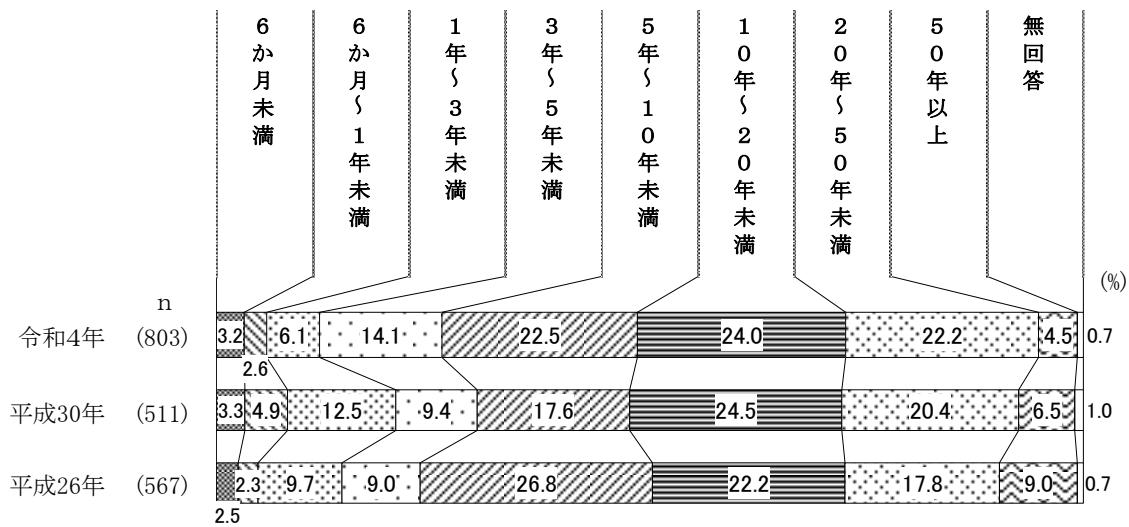
過去の調査と比較すると、「子ども」は平成30年で49.5%と、平成26年から10.0ポイント増加したが、今回調査では17.1ポイント減少している。また、「いない」は平成30年から7.7ポイント増加している。

(8) 日本での居住年数（単数回答）



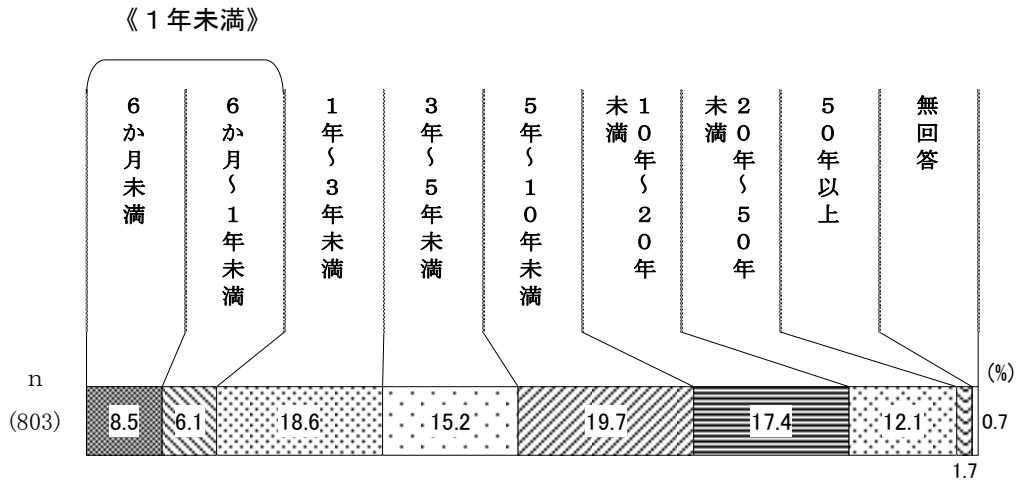
日本での居住年数では、「10年～20年未満」が24.0%で最も高く、次いで、「5年～10年未満」(22.5%)、「20年～50年未満」(22.2%)、「3年～5年未満」(14.1%)となっている。

経年比較



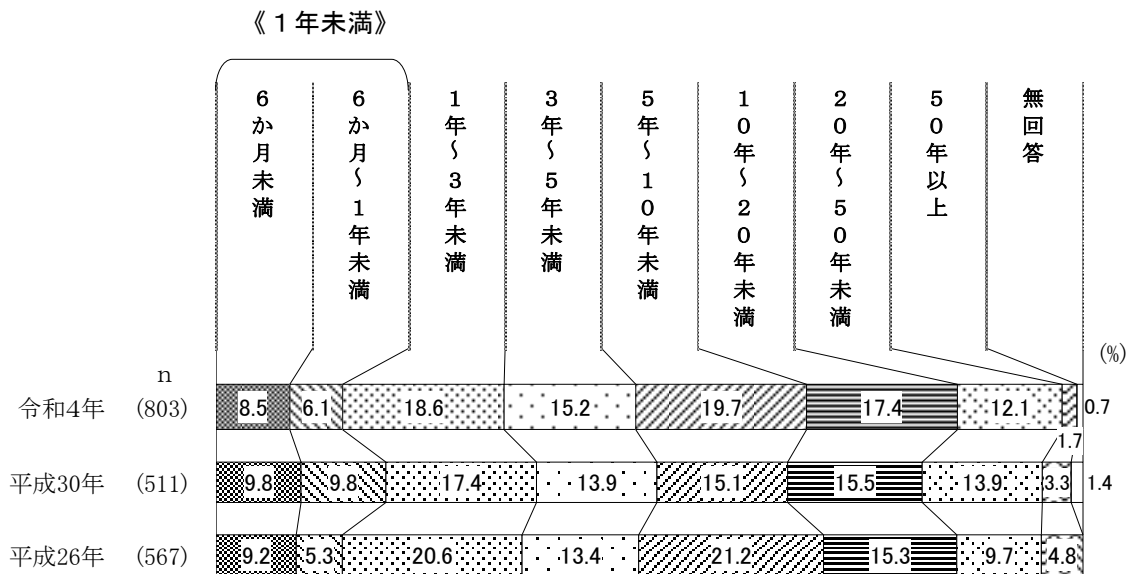
過去の調査と比較すると、「1年～3年未満」は平成30年から6.4ポイント減少している。また、「5年～10年未満」は平成30年で17.6%と、平成26年から9.2ポイント減少したが、今回調査では4.9ポイント増加している。

(9) 大田区での居住年数（単数回答）



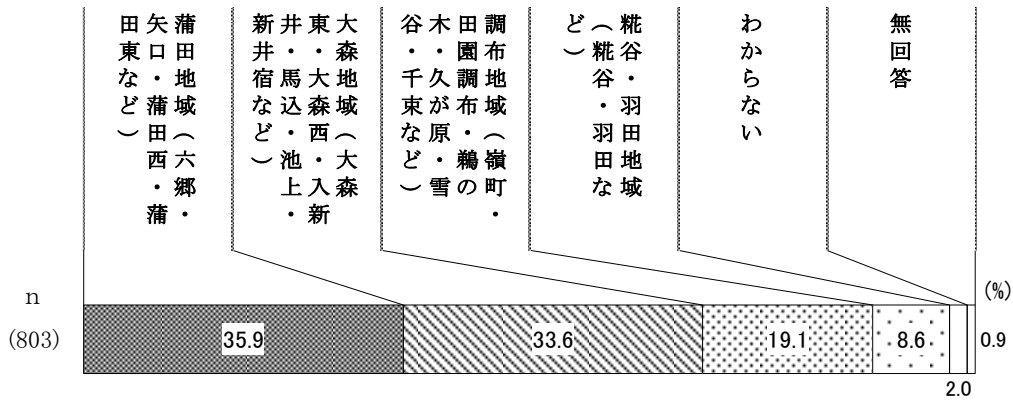
大田区での居住年数では、「5年～10年未満」が19.7%で最も高く、次いで、「1年～3年未満」(18.6%)、「10年～20年未満」(17.4%)、「3年～5年未満」(15.2%)となっている。

経年比較



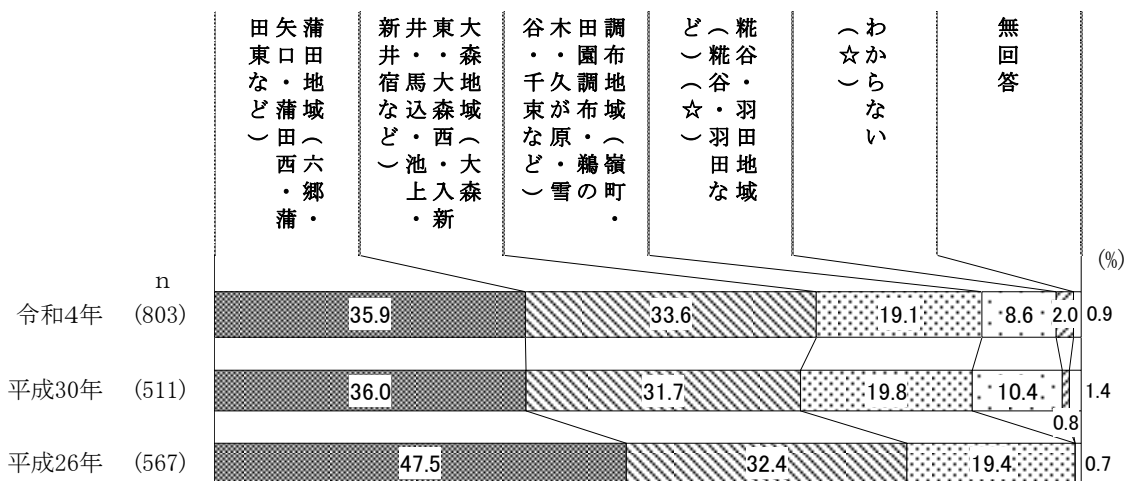
過去の調査と比較すると、平成30年から《1年未満》（「6か月未満」と「6か月～1年未満」を足した割合）と「20年～50年未満」でやや減少している。

(10) 居住地域（単数回答）



居住地域では、「蒲田地域」が35.9%で最も高く、次いで、「大森地域」(33.6%)、「調布地域」(19.1%)、「糀谷・羽田地域」(8.6%)となっている。

経年比較



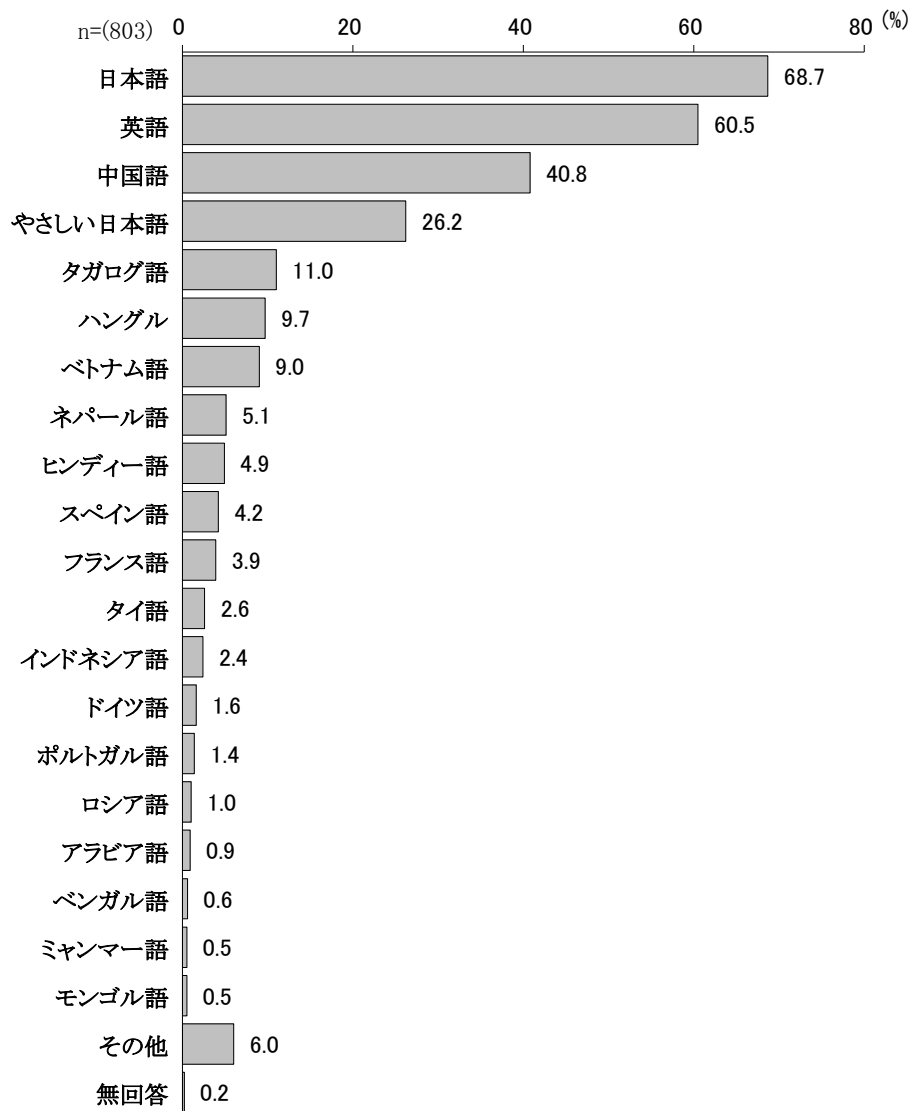
過去の調査と比較すると、平成26年から「蒲田地域」は11.6ポイント減少している。

2. ことばについて

(1) わかる言語、最も得意な言語

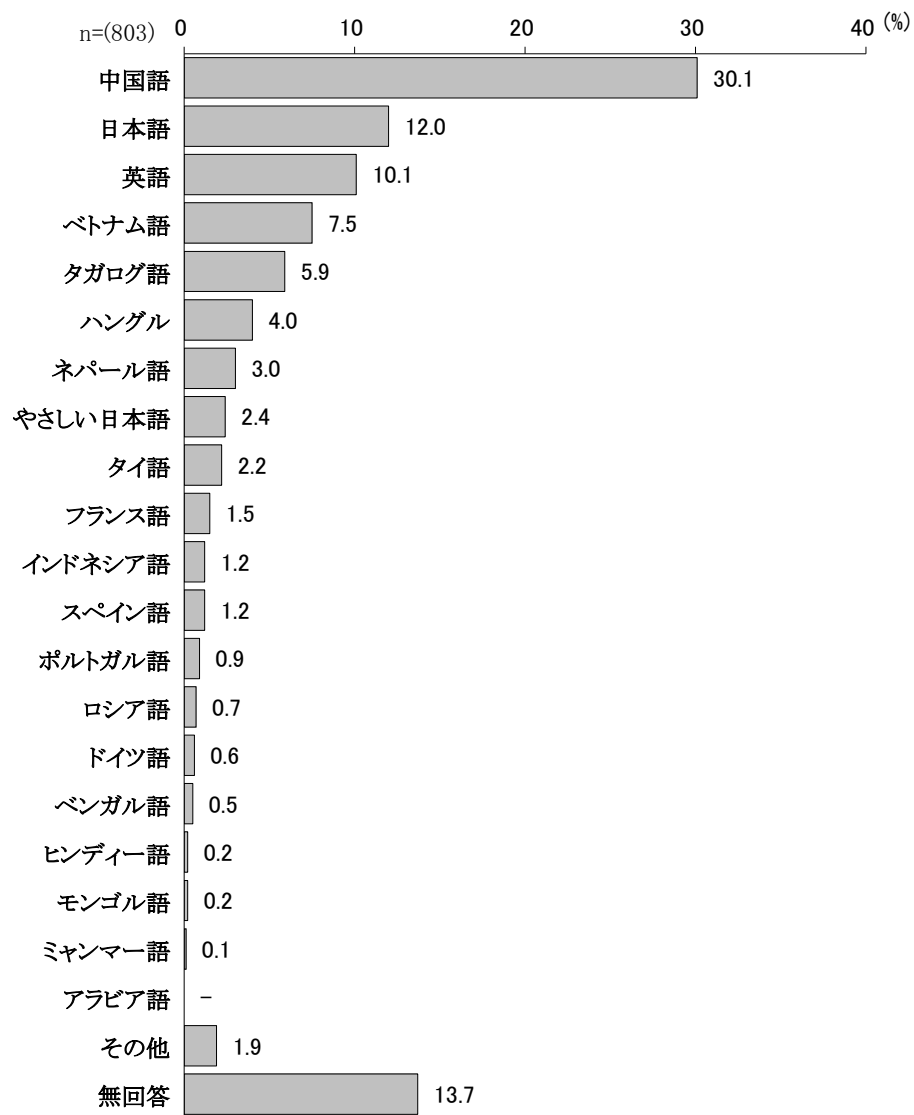
問1 あなたがわかる言語はどれですか。(回答はいくつでも)
 また、その中で最も得意な言語はどれですか。(回答は1つだけ)

【わかる言語（複数回答）】



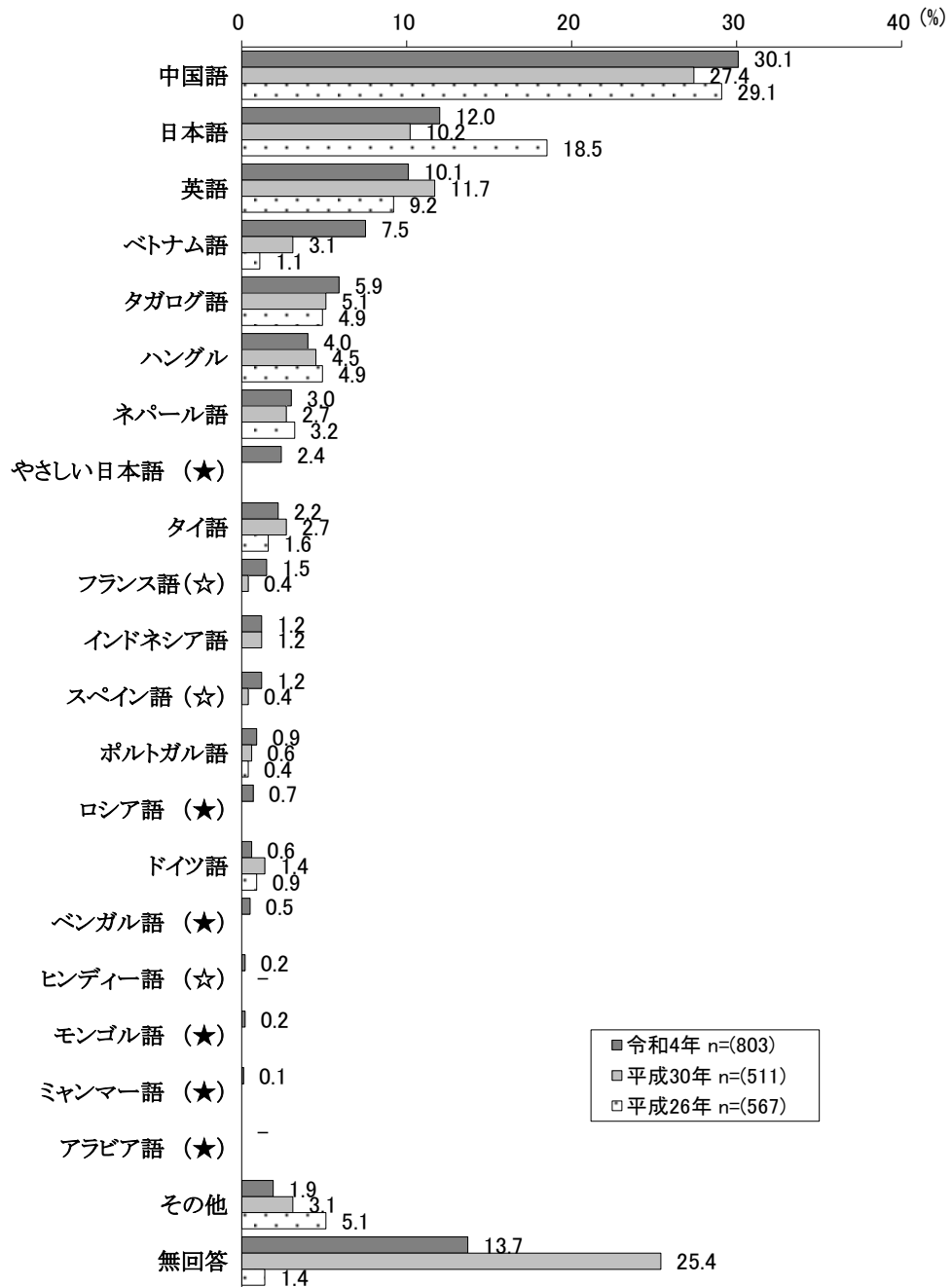
わかる言語では、「日本語」が68.7%で最も高く、次いで、「英語」(60.5%)、「中国語」(40.8%)、「やさしい日本語」(26.2%)となっている。

【(わかる言語のうち) 最も得意な言語 (単数回答)】



最も得意な言語では、「中国語」が30.1%で最も高く、次いで、「日本語」(12.0%)、「英語」(10.1%)、「ベトナム語」(7.5%)となっている。

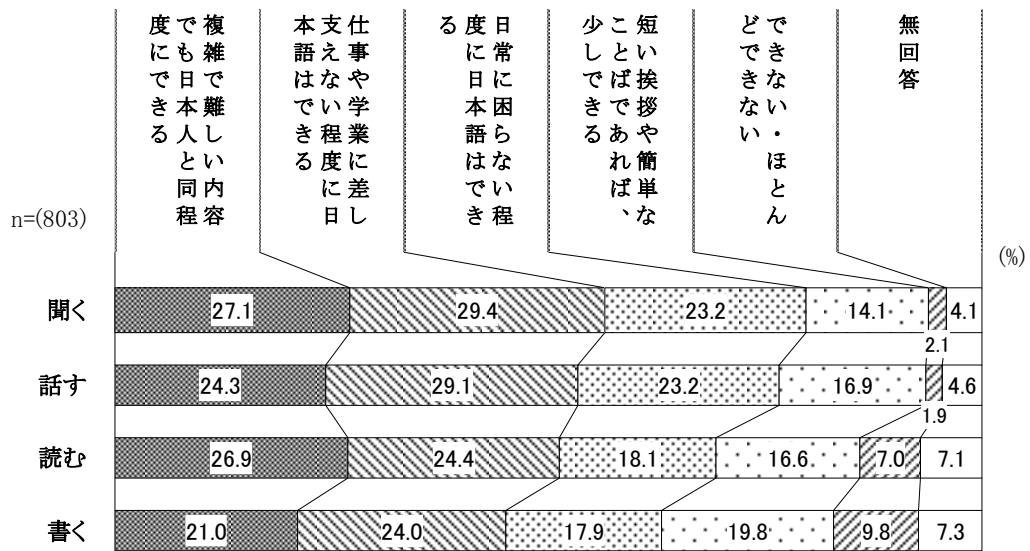
経年比較（最も得意な言語／単数回答）



過去の調査と比較すると、平成26年から「ベトナム語」は6.4ポイント増加、「日本語」は6.5ポイント減少している。

(2) 日本語能力

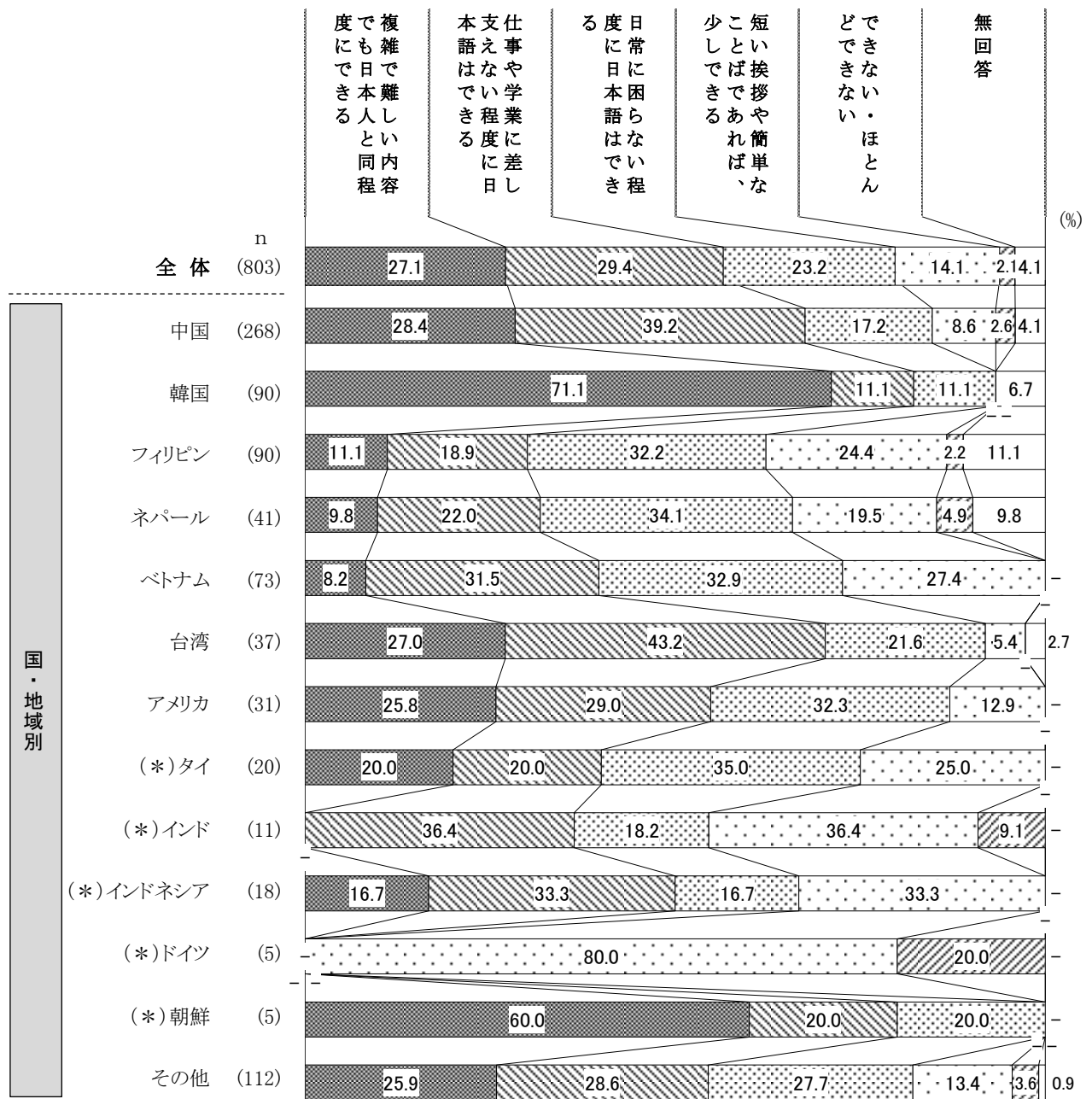
問2 あなたはどのくらい日本語ができますか。(回答はそれぞれ1つだけ)



「複雑で難しい日本語でも日本人と同程度にできる」「仕事や学業に差し支えない程度に日本語はできる」「日常に困らない程度に日本語はできる」と回答する合計の割合は、「聞く」および「話す」で75%を超えており、「読む」で69.4%、「書く」で62.9%となっている。

一方、「できない・ほとんどできない」は「聞く」「話す」は2.0%前後だが、「読む」は7.0%、「書く」は9.8%となっている。

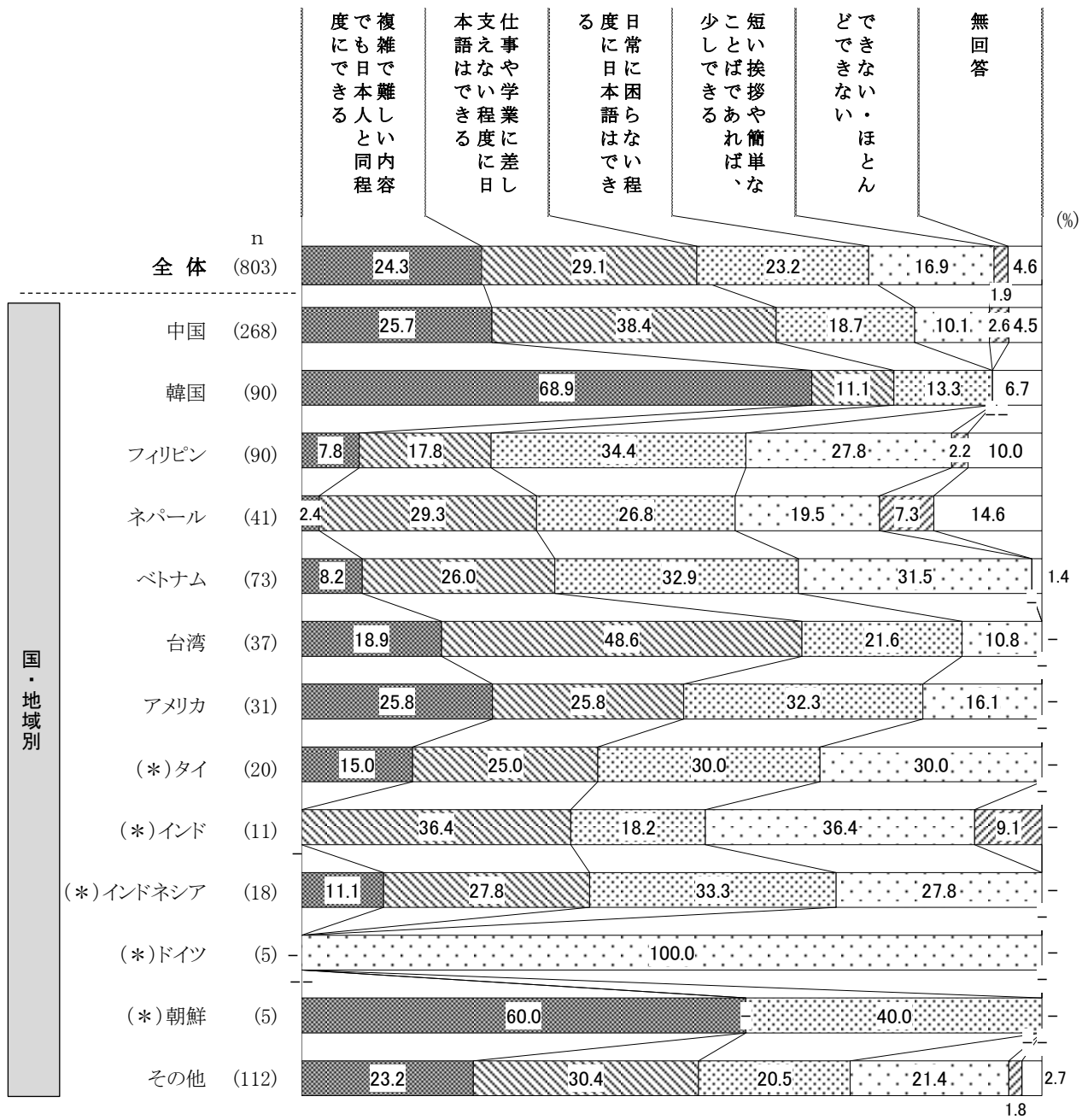
聞く／国・地域別



国・地域別のクロス表について、()は回答数が30未満のため、参考数値として掲載している。(以下同様)

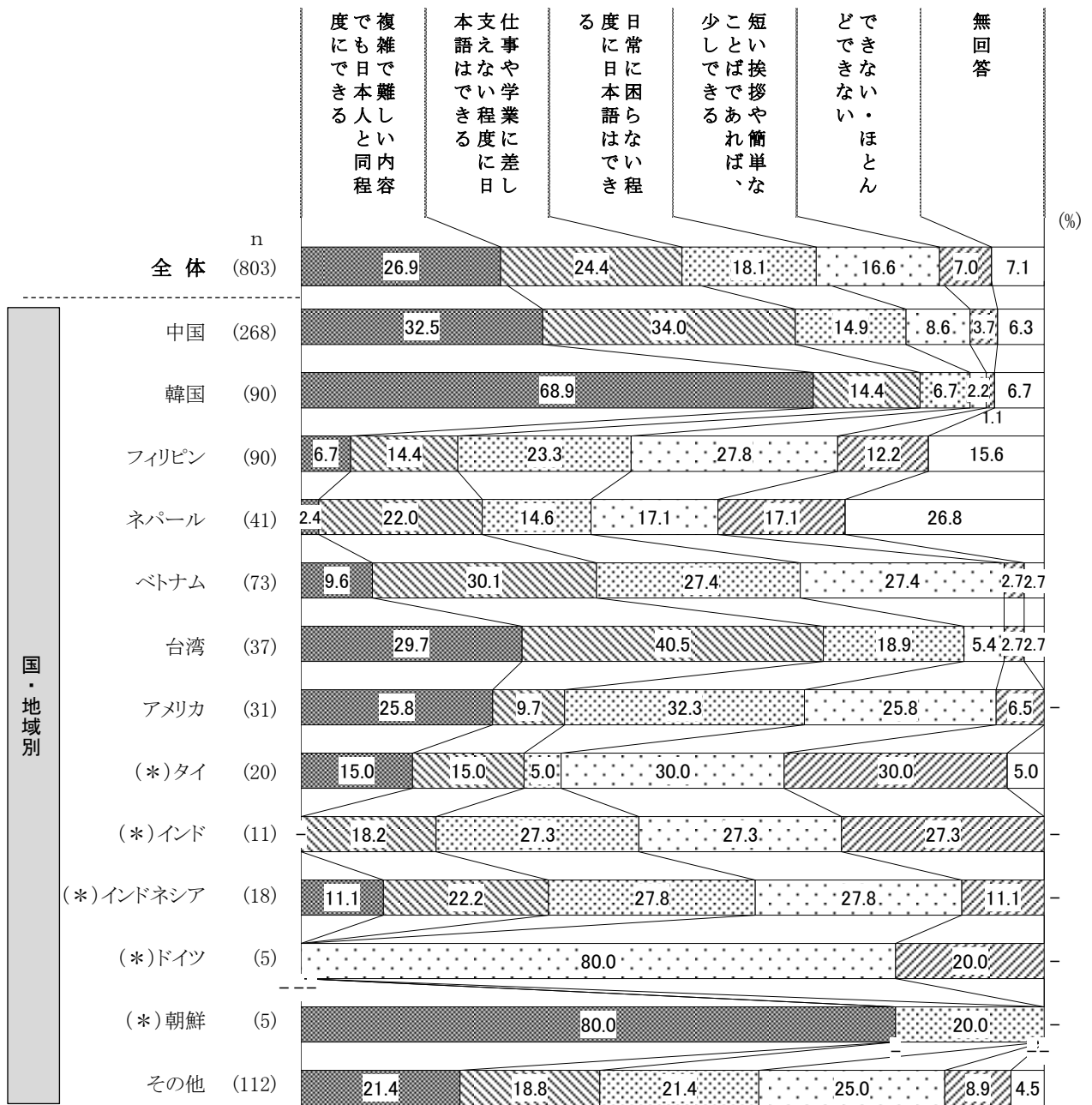
国・地域別にみると、「複雑で難しい内容でも日本人と同程度にできる」は【韓国】で71.1%と最も高く、次いで、【中国】(28.4%)、【台湾】(27.0%)となっている。一方、【ベトナム】で8.2%、【ネパール】で9.8%と他の国籍に比べて低くなっている。

話す／国・地域別



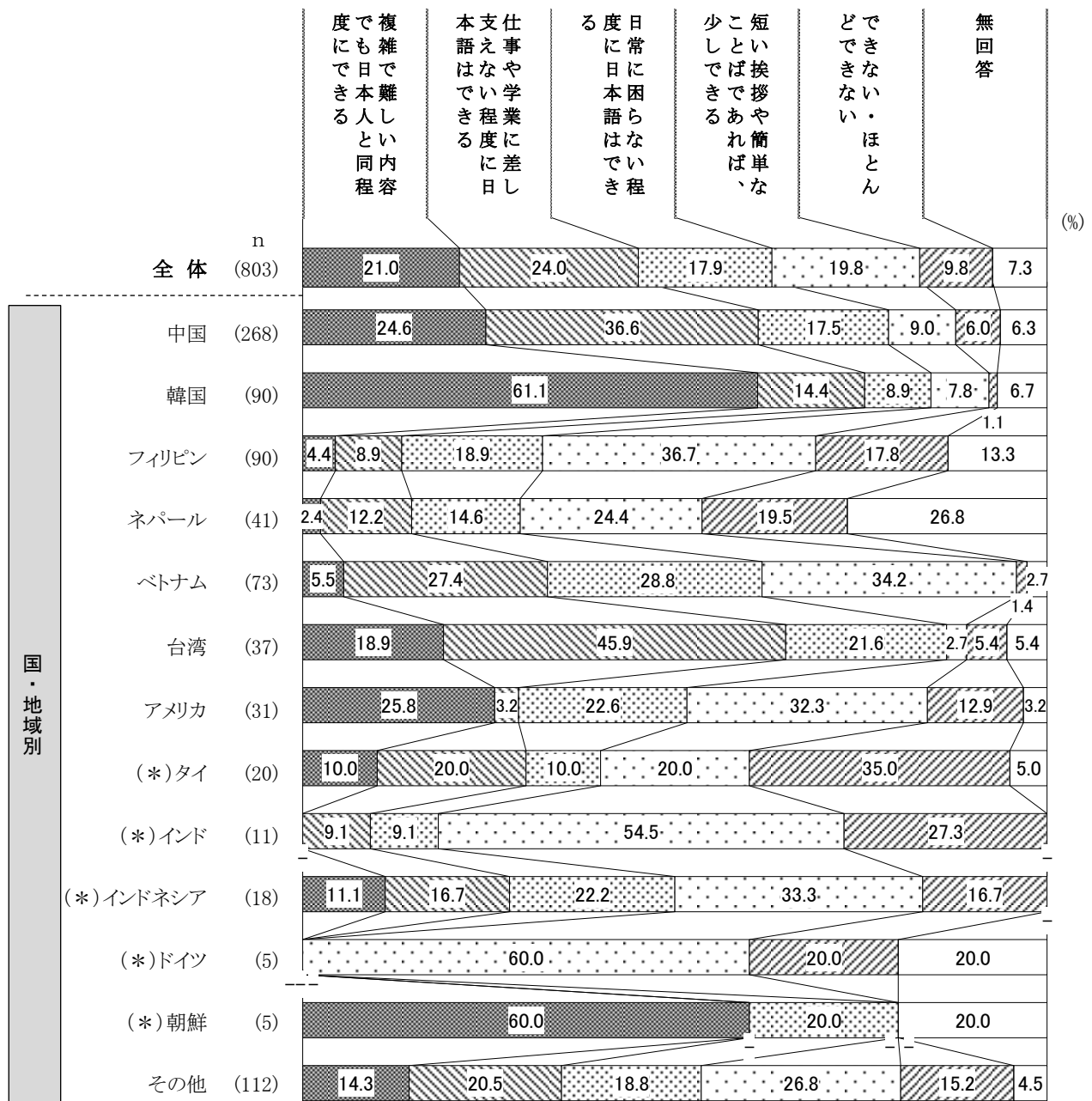
国・地域別にみると、「複雑で難しい内容でも日本人と同程度にできる」は【韓国】で68.9%と最も高く、次いで、【アメリカ】(25.8%)、【中国】(25.7%)となっている。一方、【ネパール】では2.4%、【フィリピン】では7.8%、【ベトナム】では8.2%と他の国籍に比べて低くなっている。

読む／国・地域別



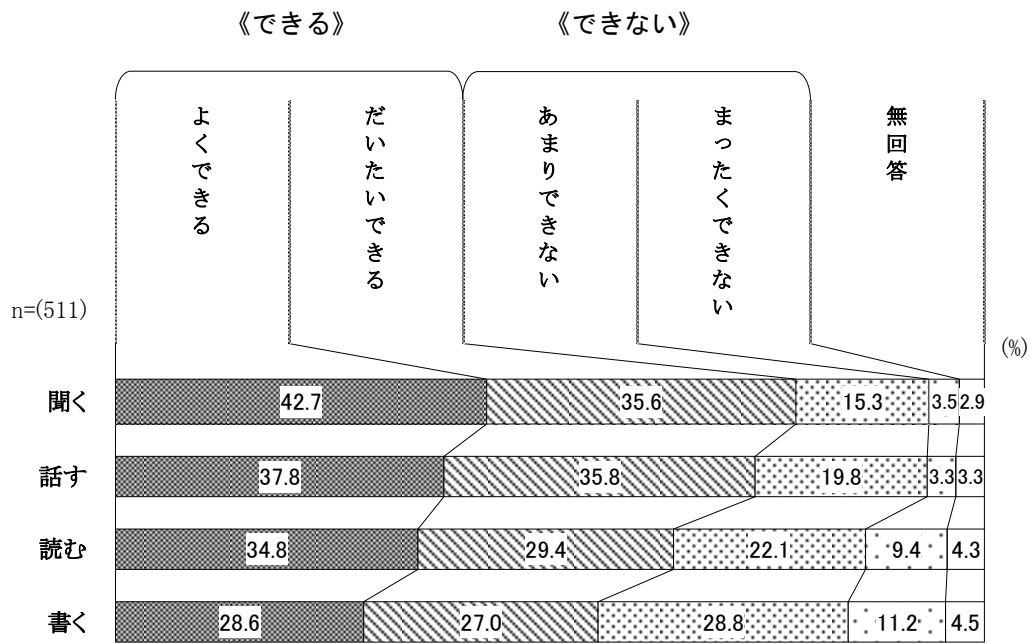
国・地域別にみると、「複雑で難しい内容でも日本人と同程度にできる」は【韓国】で68.9%と最も高く、次いで、【中国】(32.5%)、【台湾】(29.7%)、【アメリカ】(25.8%)となっている。一方、「できない・ほとんどできない」は【ネパール】で17.1%と最も高く、次いで、【フィリピン】(12.2%)となっている。

書く／国・地域別



国・地域別にみると、「複雑で難しい内容でも日本人と同程度にできる」は【韓国】で61.1%と最も高く、次いで、【アメリカ】(25.8%)、【中国】(24.6%)となっている。一方、「できない・ほとんどできない」は【ネパール】で19.5%と最も高く、次いで、【フィリピン】(17.8%)、【アメリカ】(12.9%)となっている。

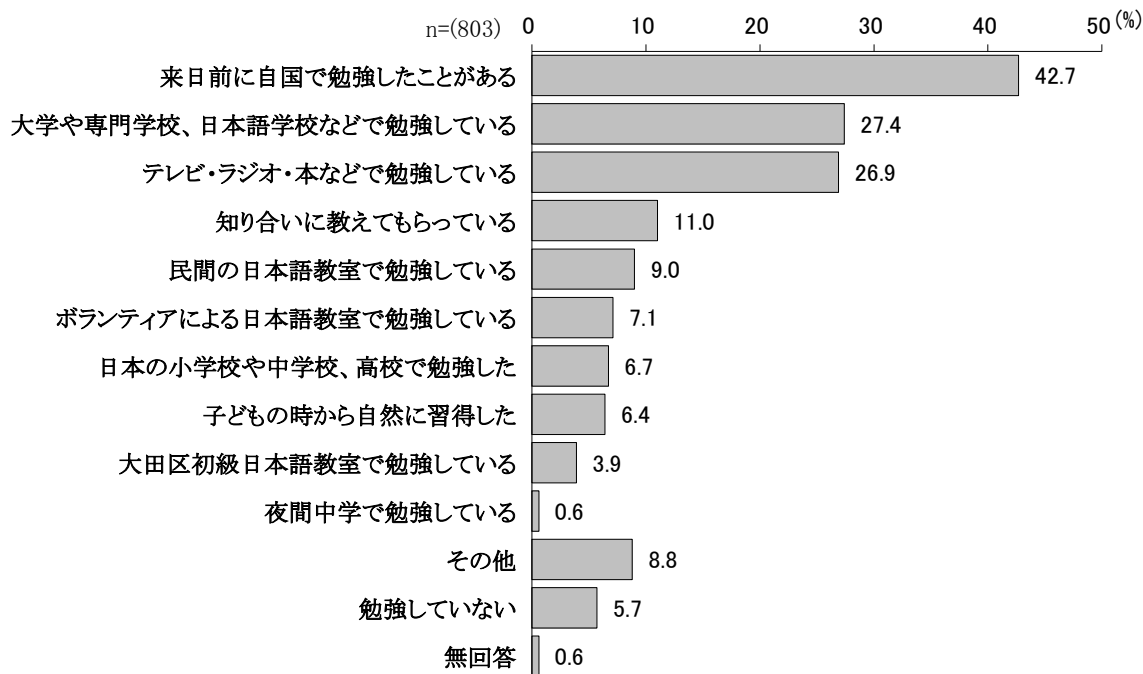
経年比較（参考比較—H30）



*過去調査とは選択肢が異なるため、参考として掲載

(3) 日本語の勉強に関する状況

問3 あなたは日本語をどうやって学んでいますか。(回答はいくつでも)



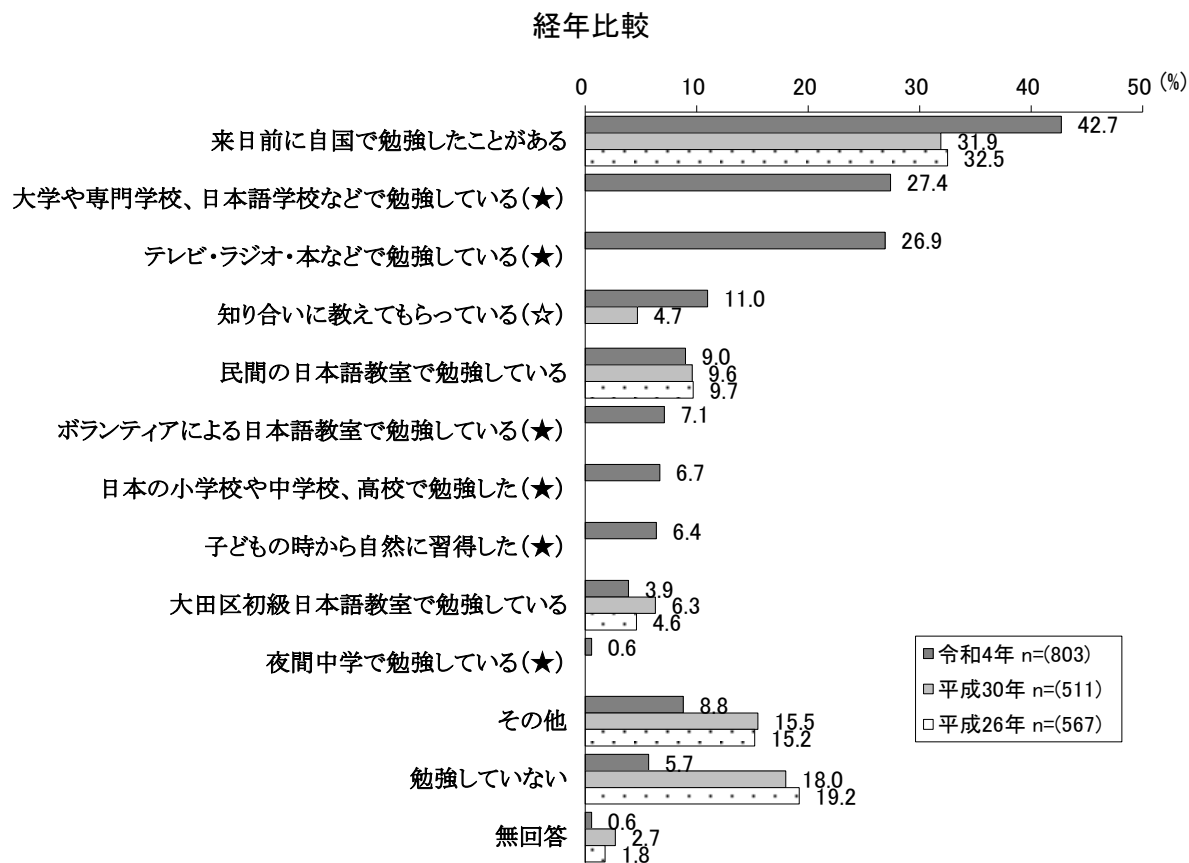
日本語の勉強に関する状況では、「来日前に自国で勉強したことがある」が42.7%で最も高く、次いで、「大学や専門学校、日本語学校などで勉強している」(27.4%)、「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」(26.9%)、「知り合いに教えてもらっている」(11.0%)となっている。

国・地域別

(%)

	調査数	来日前に自国で勉強したことがある	大学や専門学校、日本語学校などで勉強している	テレビ・ラジオ・本などで勉強している	知り合いに教えてもらった	民間の日本語教室で勉強している	ポランテニアによる日本語教室で勉強している	日本の小学校や中学校、高校で勉強した	子どもの時から自然に習得した	勉強している	大田区初級日本語教室で勉強している	夜間中学で勉強している	その他	勉強していない	無回答
全体	803	42.7	27.4	26.9	11.0	9.0	7.1	6.7	6.4	3.9	0.6	8.8	5.7	0.6	
【国・地域別】															
中国	268	51.5	40.3	25.0	5.2	5.6	6.7	3.7	1.5	6.3	0.4	4.9	5.6	0.4	
韓国	90	17.8	17.8	11.1	5.6	2.2	-	24.4	36.7	-	1.1	8.9	3.3	3.3	
フィリピン	90	22.2	8.9	52.2	28.9	5.6	6.7	3.3	2.2	3.3	-	15.6	6.7	-	
ネパール	41	34.1	19.5	22.0	17.1	2.4	2.4	14.6	7.3	-	-	2.4	19.5	-	
ベトナム	73	64.4	19.2	21.9	19.2	13.7	12.3	2.7	-	5.5	2.7	2.7	-	-	
台湾	37	67.6	56.8	27.0	-	10.8	5.4	-	-	2.7	-	5.4	2.7	-	
アメリカ	31	35.5	22.6	48.4	19.4	9.7	12.9	12.9	6.5	-	-	25.8	-	-	
(*)タイ	20	55.0	10.0	30.0	5.0	-	10.0	-	-	-	-	15.0	20.0	-	
(*)インド	11	18.2	9.1	9.1	-	27.3	18.2	-	-	9.1	-	18.2	18.2	-	
(*)インドネシア	18	38.9	38.9	33.3	11.1	11.1	16.7	5.6	5.6	-	-	11.1	-	-	
(*)ドイツ	5	40.0	-	-	-	40.0	-	-	-	-	-	20.0	20.0	-	
(*)朝鮮	5	-	-	-	-	-	-	20.0	40.0	-	-	40.0	-	20.0	
その他	112	43.8	25.0	25.9	11.6	22.3	8.0	4.5	3.6	3.6	0.9	11.6	5.4	-	

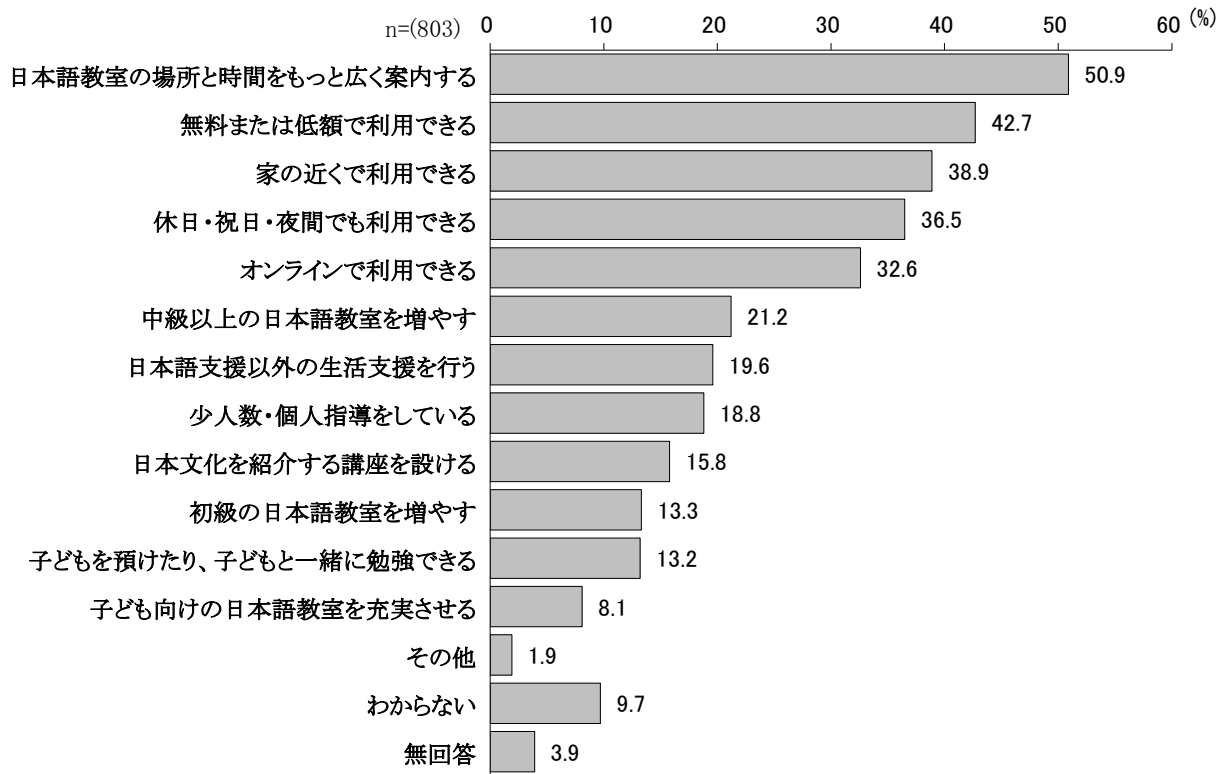
国・地域別にみると、「来日前に自国で勉強したことがある」は【台湾】(67.6%)と【ベトナム】(64.4%)で6割台と高くなっている。「大学や専門学校、日本語学校などで勉強している」は【台湾】で56.8%、【中国】で40.3%、また、「テレビ・ラジオ・本などで勉強している」は【フィリピン】で52.2%、【アメリカ】で48.4%と高くなっている。一方、「勉強していない」は【ネパール】で19.5%と高くなっている。



過去の調査と比較すると、「来日前に自国で勉強したことがある」は平成26年から10.2ポイント、平成30年から10.8ポイント増加している。また、「知り合いに教えてもらっている」は平成30年から6.3ポイント増加している。一方、「勉強していない」は平成26年から13.5ポイント、平成30年から12.3ポイント減少している。

(4) 日本語教室が利用しやすくなるために大切なこと

問4 大田区内には、大田区が主催する日本語教室やボランティアによる日本語教室があります。あなたは、日本語教室がもっと利用しやすくなるために、今後どのようなことが大切だと思いますか。(回答はいくつでも)



日本語教室が利用しやすくなるために大切なことでは、「日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する」が50.9%で最も高く、次いで、「無料または低額で利用できる」(42.7%)、「家の近くで利用できる」(38.9%)、「休日・祝日・夜間でも利用できる」(36.5%)、「オンラインで利用できる」(32.6%)となっている。

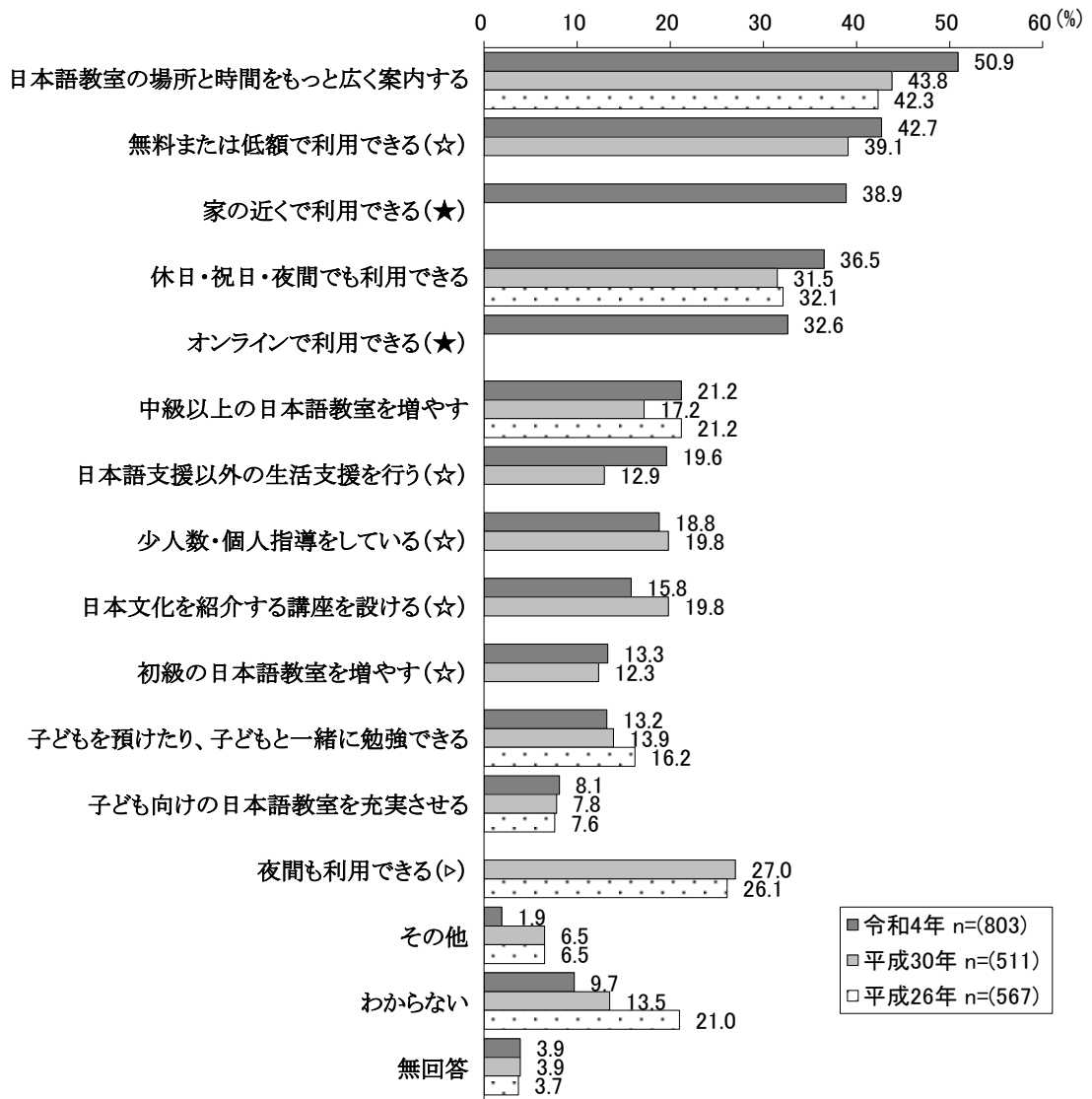
国・地域別

(%)

	調査数	日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する	無料または低額で利用できる	家の近くで利用できる	休日・祝日・夜間でも利用できる	オンラインで利用できる	中級以上の日本語教室を増やす	日本語支援以外の生活支援を行う	少人数・個人指導をしている	日本文化を紹介する講座を設ける	初級の日本語教室を増やす	子どもと一緒に勉強できる	子ども向けの日本語教室を充実させる	その他	わからない	無回答
全体	803	50.9	42.7	38.9	36.5	32.6	21.2	19.6	18.8	15.8	13.3	13.2	8.1	1.9	9.7	3.9
【国・地域別】																
中国	268	42.9	43.3	44.0	38.8	29.5	19.8	17.2	17.9	16.4	6.3	10.4	8.6	1.5	10.1	3.4
韓国	90	40.0	35.6	25.6	28.9	20.0	10.0	14.4	13.3	8.9	7.8	23.3	6.7	2.2	12.2	11.1
フィリピン	90	54.4	52.2	43.3	35.6	34.4	14.4	25.6	16.7	20.0	24.4	12.2	5.6	3.3	6.7	3.3
ネパール	41	58.5	48.8	36.6	26.8	41.5	22.0	22.0	24.4	31.7	36.6	26.8	24.4	4.9	12.2	2.4
ベトナム	73	60.3	38.4	37.0	46.6	37.0	27.4	23.3	13.7	28.8	17.8	9.6	5.5	1.4	6.8	-
台湾	37	43.2	37.8	45.9	35.1	27.0	27.0	21.6	21.6	18.9	10.8	13.5	2.7	-	13.5	5.4
アメリカ	31	58.1	45.2	35.5	29.0	45.2	32.3	25.8	25.8	-	3.2	6.5	6.5	3.2	9.7	3.2
(*)タイ	20	60.0	40.0	40.0	25.0	25.0	20.0	15.0	10.0	5.0	15.0	15.0	5.0	-	5.0	-
(*)インド	11	72.7	63.6	36.4	45.5	36.4	36.4	9.1	18.2	27.3	36.4	-	-	-	9.1	-
(*)インドネシア	18	83.3	55.6	38.9	50.0	33.3	22.2	27.8	22.2	5.6	22.2	11.1	5.6	-	5.6	-
(*)ドイツ	5	60.0	-	40.0	-	60.0	-	-	40.0	20.0	-	20.0	20.0	-	20.0	-
(*)朝鮮	5	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	-	20.0	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	40.0	20.0
その他	112	59.8	39.3	35.7	37.5	40.2	30.4	20.5	26.8	8.0	13.4	12.5	8.9	1.8	8.9	2.7

国・地域別にみると、【中国】と【台湾】を除くすべての国籍で「日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する」が最も高く、特に【ベトナム】で60.3%と高くなっている。「家の近くで利用できる」は【台湾】で45.9%、【中国】で44.0%と高くなっている。また、「中級以上の日本語教室を増やす」は【アメリカ】で32.3%、【ベトナム】で27.4%、「初級の日本語教室を増やす」は【ネパール】で36.6%、【フィリピン】で24.4%と高くなっている。

経年比較

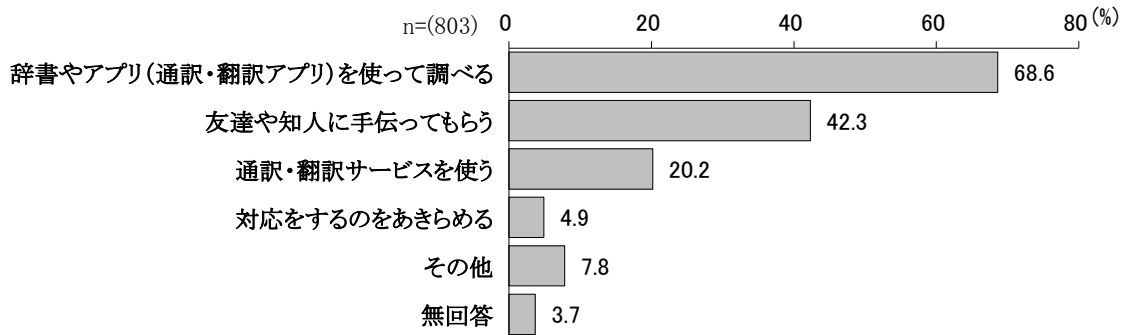


*経年比較について、選択肢中の(▷)は平成30年度の調査までの選択肢であることを表す。(以下同様)

過去の調査と比較すると、平成30年から「日本語教室の場所と時間をもっと広く案内する」は7.1ポイント、「日本語支援以外の生活支援を行う」は6.7ポイント、「休日・祝日・夜間でも利用できる」は5.0ポイント増加している。

(5) 日本語でのコミュニケーション等が難しい際の対応

問5 日本語でのコミュニケーションや読み書きが難しいとき、どのように対応しますか。
(回答はいくつでも)



日本語でのコミュニケーション等が難しい際の対応では、「辞書やアプリ(通訳・翻訳アプリ)を使って調べる」が68.6%で最も高く、次いで、「友達や知人に手伝ってもらおう」(42.3%)、「通訳・翻訳サービスを使う」(20.2%)となっている。

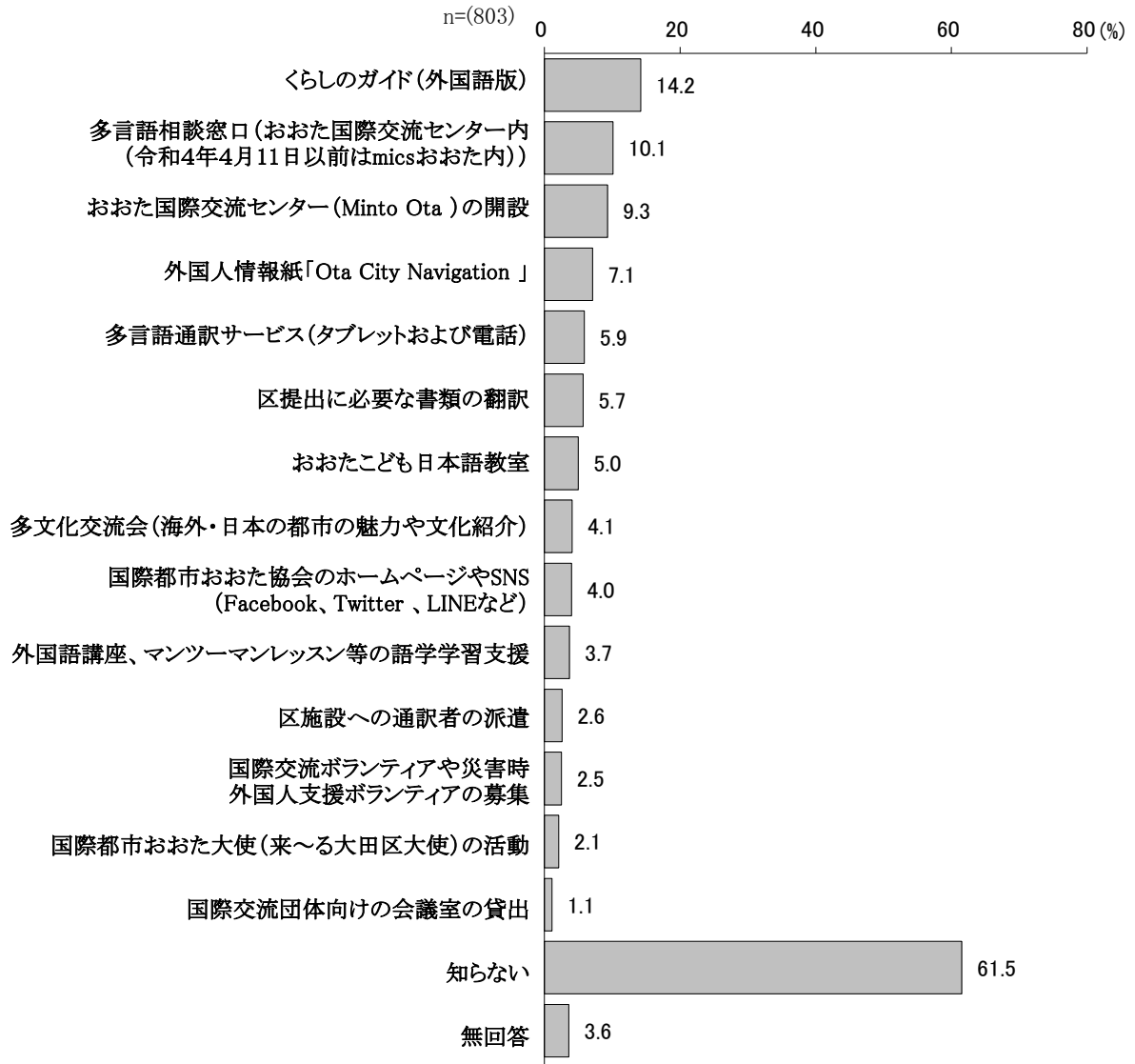
	調査数	辞書やアプリ(通訳・翻訳アプリ)を使って調べる	友達や知人に手伝ってもらおう	通訳・翻訳サービスを使う	対応をするのをあきらめる	その他	無回答
全体	803	68.6	42.3	20.2	4.9	7.8	3.7
【国・地域別】							
中国	268	72.0	37.3	19.4	4.9	3.7	3.7
韓国	90	45.6	18.9	13.3	4.4	28.9	11.1
フィリピン	90	64.4	56.7	33.3	4.4	10.0	3.3
ネパール	41	63.4	56.1	29.3	4.9	4.9	-
ベトナム	73	84.9	39.7	15.1	-	4.1	-
台湾	37	62.2	54.1	16.2	2.7	5.4	8.1
アメリカ	31	77.4	61.3	6.5	9.7	3.2	3.2
(*)タイ	20	50.0	55.0	15.0	10.0	5.0	-
(*)インド	11	63.6	54.5	36.4	-	-	-
(*)インドネシア	18	88.9	55.6	44.4	11.1	5.6	-
(*)ドイツ	5	80.0	60.0	-	20.0	20.0	-
(*)朝鮮	5	20.0	-	20.0	-	40.0	20.0
その他	112	75.9	44.6	18.8	6.3	4.5	1.8

国・地域別にみると、すべての国籍で「辞書やアプリ(通訳・翻訳アプリ)を使って調べる」が最も高く、特に【ベトナム】で84.9%と高くなっている。「友達や知人に手伝ってもらおう」は【アメリカ】で61.3%、「通訳・翻訳サービスを使う」は【フィリピン】で33.3%、【ネパール】で29.3%と高くなっている。

3. 大田区への取組への評価について

(1) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度

問6 あなたは、多文化共生について大田区や国際都市おおた協会が行っている以下のサービスや取組等を知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。(回答はいくつでも)



多文化共生に関するサービスや取組等の認知度では、「くらしのガイド(外国語版)」が14.2%で最も高く、次いで、「多言語相談窓口」(10.1%)、「おおた国際交流センター(Minto Ota)の開設」(9.3%)となっている。

国・地域別

(%)

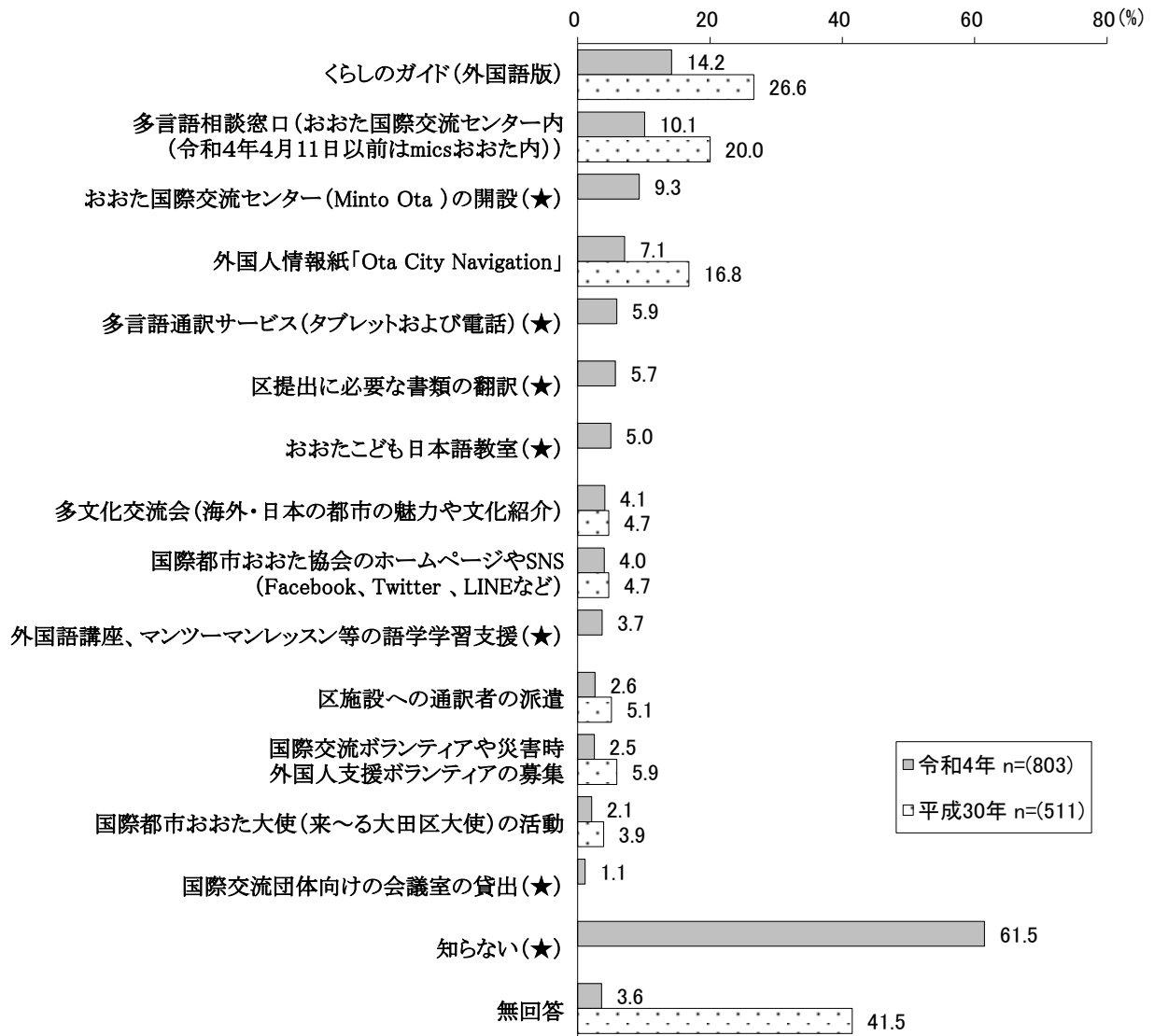
	調査数	くらしのガイド(外国語版)	多言語相談窓口(おおた国際交流センター内(令和4年4月11日以前はmicsおおた内))	おおた国際交流センター(Minto Ota)の開設	外国人情報紙「Ota City Navigation」	多言語通訳サービス(タブレットおよび電話)	区提出に必要な書類の翻訳	おおたこども日本語教室	多文化交流会(海外・日本の都市の魅力や文化紹介)	国際都市おおた協会のホームページやSNS(Facebook、Twitter、LINEなど)	外国語講座、マンツーマンレッスン等の語学学習支援	区施設への通訳者の派遣	国際交流ボランティアや災害時外国人支援ボランティアの募集	国際都市おおた大使(来くる大田区大使)の活動	国際交流団体向けの会議室の貸出	知らない	無回答
全体	803	14.2	10.1	9.3	7.1	5.9	5.7	5.0	4.1	4.0	3.7	2.6	2.5	2.1	1.1	61.5	3.6

【国・地域別】

中国	268	11.6	12.3	13.4	4.5	6.0	6.7	6.7	7.1	2.2	2.2	3.4	2.6	2.6	0.7	60.8	2.6
韓国	90	11.1	4.4	8.9	3.3	-	2.2	1.1	3.3	3.3	1.1	-	-	-	2.2	68.9	7.8
フィリピン	90	21.1	16.7	5.6	8.9	13.3	10.0	12.2	3.3	13.3	12.2	6.7	4.4	1.1	-	50.0	3.3
ネパール	41	22.0	9.8	4.9	12.2	14.6	9.8	2.4	2.4	12.2	4.9	4.9	7.3	4.9	2.4	56.1	2.4
ベトナム	73	8.2	13.7	11.0	13.7	6.8	6.8	2.7	2.7	2.7	2.7	4.1	-	2.7	-	61.6	1.4
台湾	37	16.2	2.7	8.1	8.1	-	-	8.1	2.7	-	-	-	2.7	2.7	-	70.3	5.4
アメリカ	31	29.0	16.1	6.5	16.1	3.2	-	-	3.2	-	6.5	-	3.2	3.2	3.2	61.3	3.2
(*)タイ	20	10.0	-	5.0	-	5.0	10.0	-	-	-	5.0	-	-	-	-	75.0	-
(*)インド	11	36.4	9.1	18.2	-	-	18.2	-	-	-	-	-	-	-	-	45.5	-
(*)インドネシア	18	27.8	5.6	5.6	11.1	-	-	5.6	-	16.7	11.1	-	5.6	5.6	5.6	50.0	5.6
(*)ドイツ	5	40.0	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-
(*)朝鮮	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80.0	20.0
その他	112	9.8	6.3	5.4	8.0	4.5	3.6	2.7	2.7	0.9	2.7	0.9	1.8	1.8	1.8	67.0	4.5

国・地域別にみると、「くらしのガイド(外国語版)」は【アメリカ】(29.0%)、【ネパール】(22.0%)、【フィリピン】(21.1%)で高くなっている。

経年比較

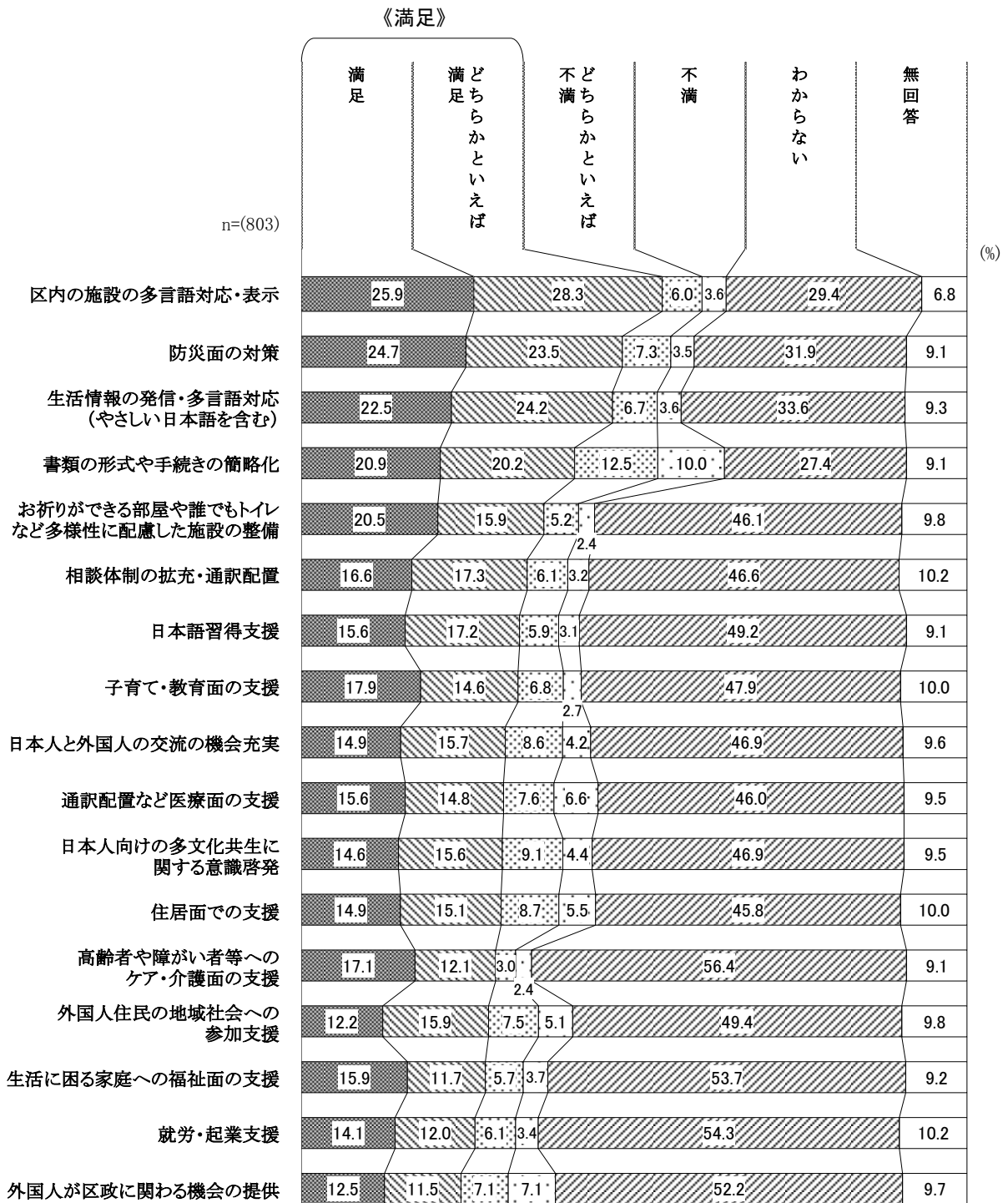


過去の調査と比較すると、平成30年から「くらしのガイド(外国語版)」は12.4ポイント、「多言語相談窓口」は9.9ポイント、「外国人情報紙「Ota City Navigation」」は9.7ポイント減少している。

(2) 大田区の取組に対する満足度・必要度

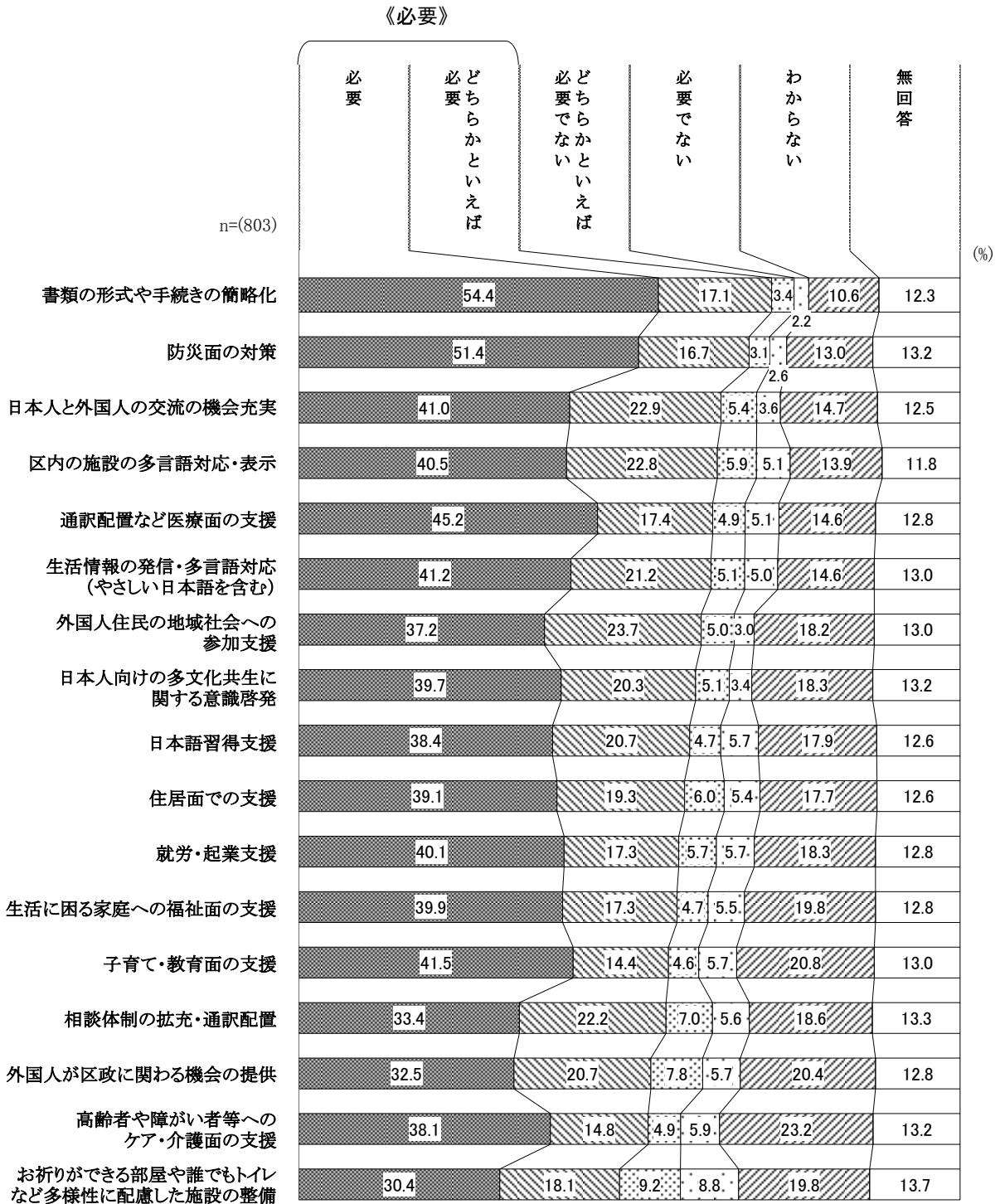
問7 あなたは、大田区の取組に対して満足していますか。また、その取組はあなたにとってどのくらい必要ですか。(回答はそれぞれ「A」・「B」別に1つずつ)

【満足度】



《満足》(「満足」と「どちらかといえば満足」を足した割合)が高い項目は、「区内の施設の多言語対応・表示」(54.2%)、「防災面の対策」(48.2%)、「生活情報の発信・多言語対応(やさしい日本語を含む)」(46.7%)となっている。

【必要度】



《必要》（「必要」と「どちらかといえば必要」を足した割合）が高い項目は、「書類の形式や手続きの簡略化」（71.5%）、「防災面の対策」（68.1%）、「日本人と外国人の交流の機会充実」（63.9%）となっている。

満足度と必要度の関係

- ・各項目の「満足度」と「必要度」について、下記の通り選択肢を点数化した上で、評価点を算出し、散布図を作成した。
- ・縦軸は「必要度」、横軸は「満足度」を表し、各平均値を交点として4つの領域に分類し、傾向を示している。
- ・4つの領域について、「満足度が高く、必要度も高い領域」にある施策を<引き続き維持発展すべき施策類型>「満足度が低く、必要度が高い領域」にある施策を<改善や拡充すべき施策類型>「満足度が低く、必要度も低い領域」にある施策を<今後のあり方を検討すべき施策類型>「満足度が高く、必要度が低い領域」にある施策を<現状維持すべき施策類型>としている。

点数表

満足度	
選択肢	点数
満足	+2点
どちらかといえば満足	+1点
どちらかといえば満足でない	-1点
満足でない	-2点
わからない	0点

必要度	
選択肢	点数
必要	+2点
どちらかといえば必要	+1点
どちらかといえば必要でない	-1点
必要でない	-2点
わからない	0点

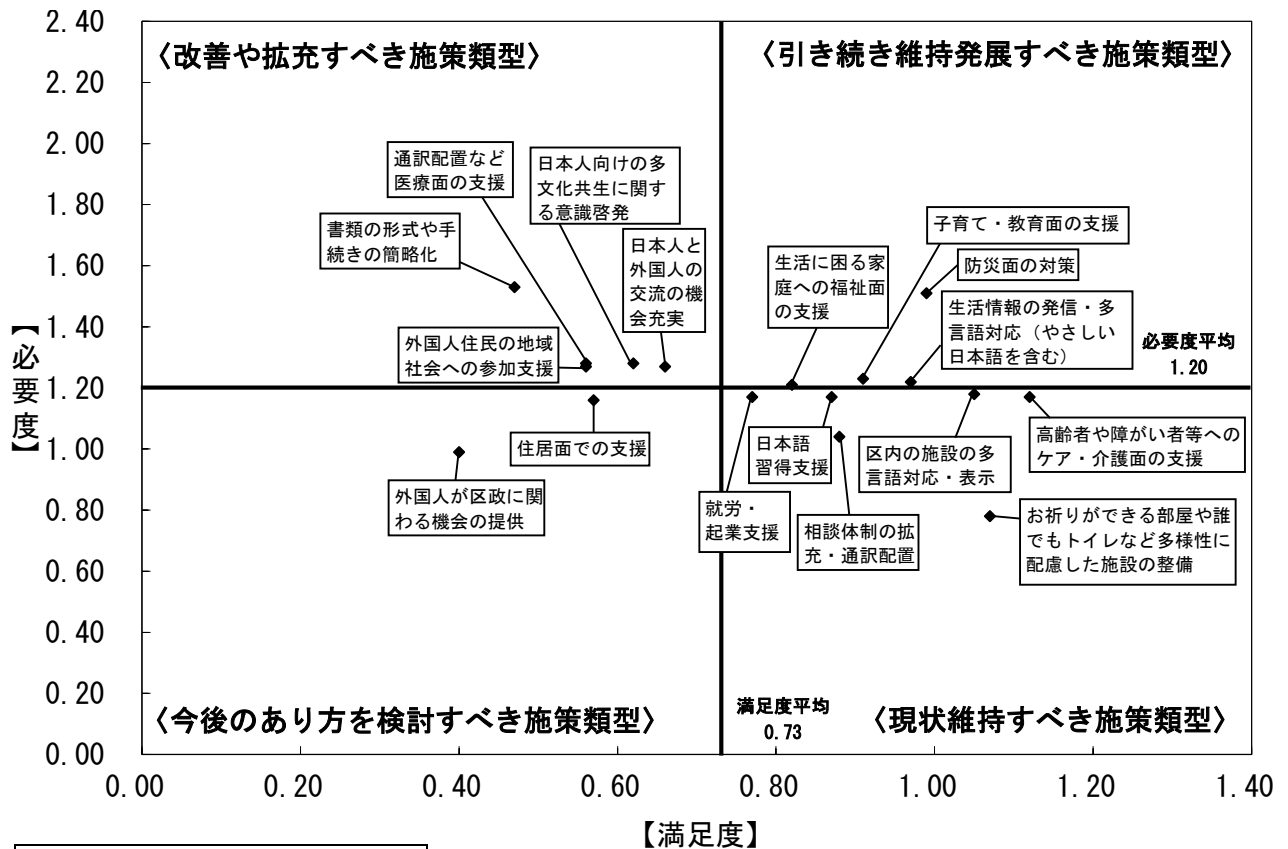
計算式

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足」} \times 2 \text{点} + \text{「どちらかといえば満足」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらかといえば満足でない」} \times -1 \text{点} + \text{「満足でない」} \times -2 \text{点}}{\text{有効回収者数 (有効回答数から「わからない」「無回答」を除く)}}$$

$$\text{必要度} = \frac{\text{「必要」} \times 2 \text{点} + \text{「どちらかといえば必要」} \times 1 \text{点} + \text{「どちらかといえば必要でない」} \times -1 \text{点} + \text{「必要でない」} \times -2 \text{点}}{\text{有効回収者数 (有効回答数から「わからない」「無回答」を除く)}}$$

散布図の見方





＜改善や拡充すべき施策類型＞

- ・書類の形式や手続きの簡略化（満足度：0.47、必要度：1.53）
- ・通訳配置など医療面の支援（満足度：0.56、必要度：1.28）
- ・外国人住民の地域社会への参加支援（満足度：0.56、必要度：1.27）
- ・日本人向けの多文化共生に関する意識啓発（満足度：0.62、必要度：1.28）
- ・日本人と外国人の交流の機会充実（満足度：0.66、必要度：1.27）

＜引き続き維持発展すべき施策類型＞

- ・防災面の対策（満足度：0.99、必要度：1.51）
- ・子育て・教育面の支援（満足度：0.91、必要度：1.23）
- ・生活情報の発信・多言語対応（やさしい日本語を含む）（満足度：0.97、必要度：1.22）
- ・生活に困る家庭への福祉面の支援（満足度：0.82、必要度：1.21）

＜今後のあり方を検討すべき施策類型＞

- ・住居面での支援（満足度：0.57、必要度：1.16）
- ・外国人が区政に関わる機会の提供（満足度：0.40、必要度：0.99）

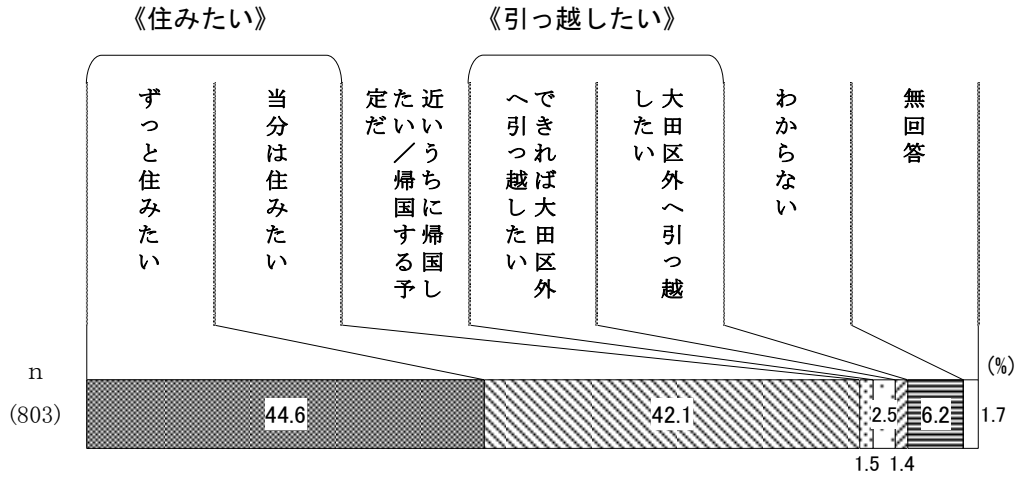
＜現状維持すべき施策類型＞

- ・区内の施設の多言語対応・表示（満足度：1.05、必要度：1.18）
- ・就労・起業支援（満足度：0.77、必要度：1.17）
- ・日本語習得支援（満足度：0.87、必要度：1.17）
- ・高齢者や障がい者等へのケア・介護面の支援（満足度：1.12、必要度：1.17）
- ・相談体制の拡充・通訳配置（満足度：0.88、必要度：1.04）
- ・お祈りができる部屋や誰でもトイレなど多様性に配慮した施設の整備（満足度：1.07、必要度：0.78）

4. 日ごろの暮らしについて

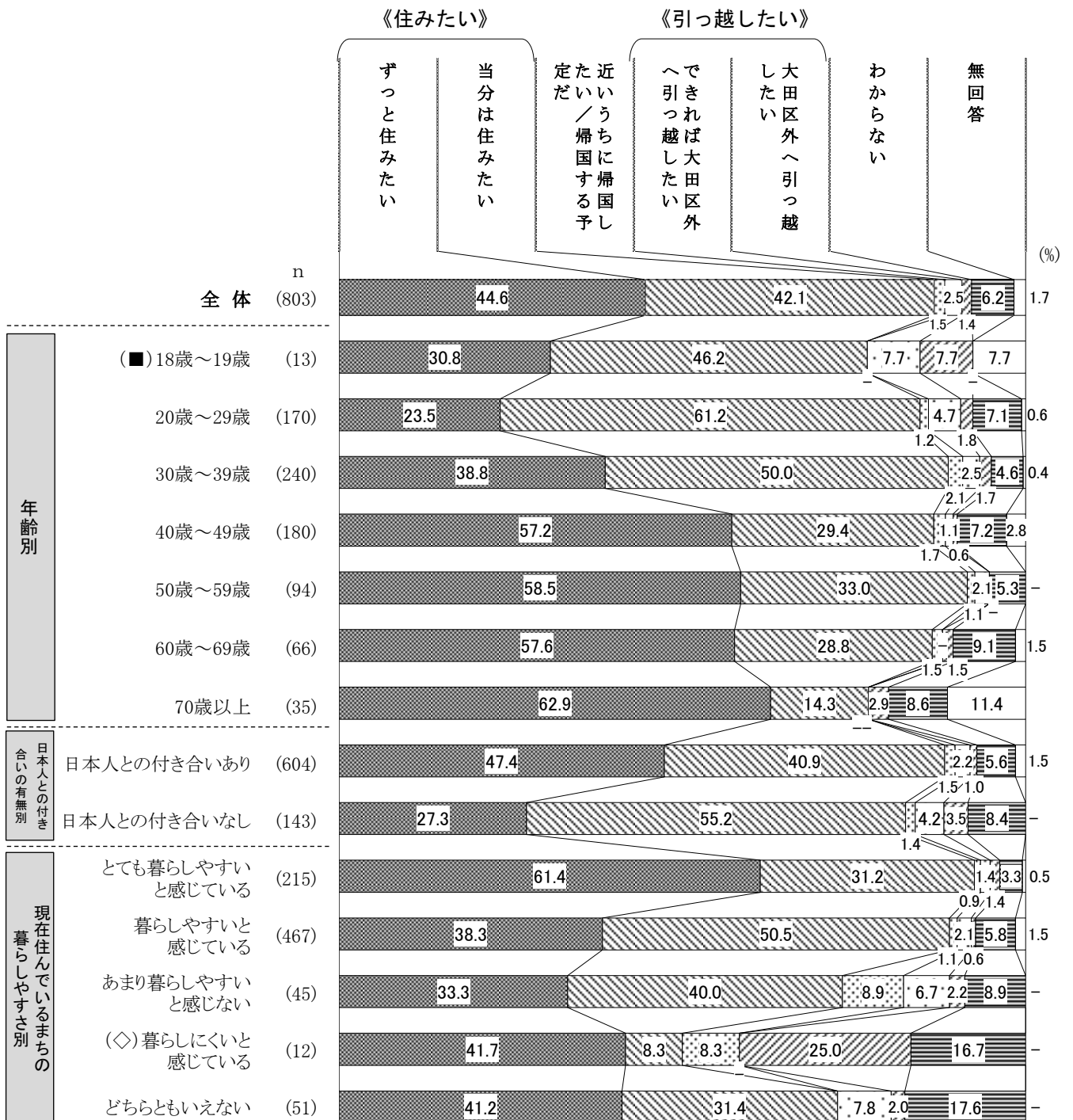
(3) 居留意向

問8 これからも大田区に住みたいですか。(回答は1つだけ)



居留意向では、「ずっと住みたい」が44.6%で最も高く、次いで、「当分は住みたい」(42.1%)、「わからない」(6.2%)となっている。

年齢別／日本人との付き合いの有無別／現在住んでいるまちの暮らしやすさ別



* 年齢別のクロス表について、(■) は回答数が30未満のため、参考数値として掲載している。(以下同様)

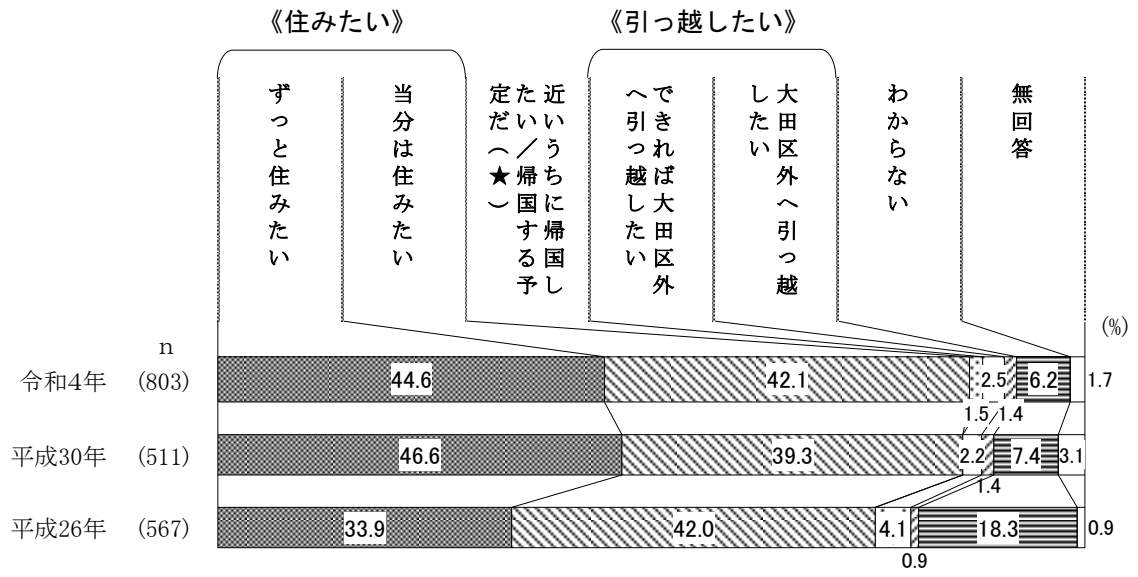
* 現在住んでいるまちの暮らしやすさ別のクロス表について、(◇) は回答数が30未満のため、参考数値として掲載している。

年齢別にみると、《住みたい》(「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を足した割合)は、20代～60代で8割を超えており、特に【50歳～59歳】で91.5%と高くなっている。なお、「ずっと住みたい」は【20歳～29歳】で23.5%と他の年代に比べて低くなっている。

日本人との付き合いの有無別にみると、《住みたい》は、【日本人との付き合いあり】で88.3%となっており、【日本人との付き合いなし】よりも5.8ポイント高くなっている。

現在住んでいるまちの暮らしやすさ別にみると、《住みたい》は、暮らしやすいと感じている人ほど割合が高く、【とても暮らしやすいと感じている】で92.6%となっている。

経年比較

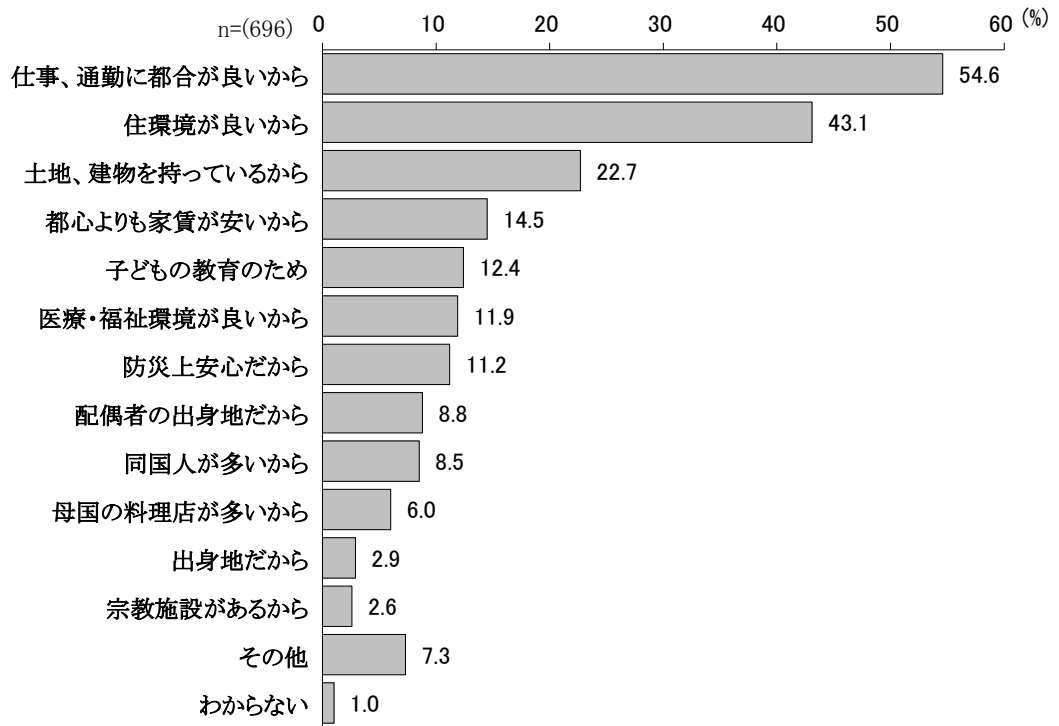


過去の調査と比較すると、平成26年から「ずっと住みたい」は10.7ポイント増加している。

(3-1) 大田区に住みたい理由

(問8で「ずっと住みたい」または「当分は住みたい」とお答えの方にお聞きします)

問8-1 これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(回答はいくつでも)



大田区に住みたい理由では、「仕事、通勤に都合が良いから」が54.6%で最も高く、次いで、「住環境が良いから」(43.1%)、「土地、建物を持っているから」(22.7%)となっている。

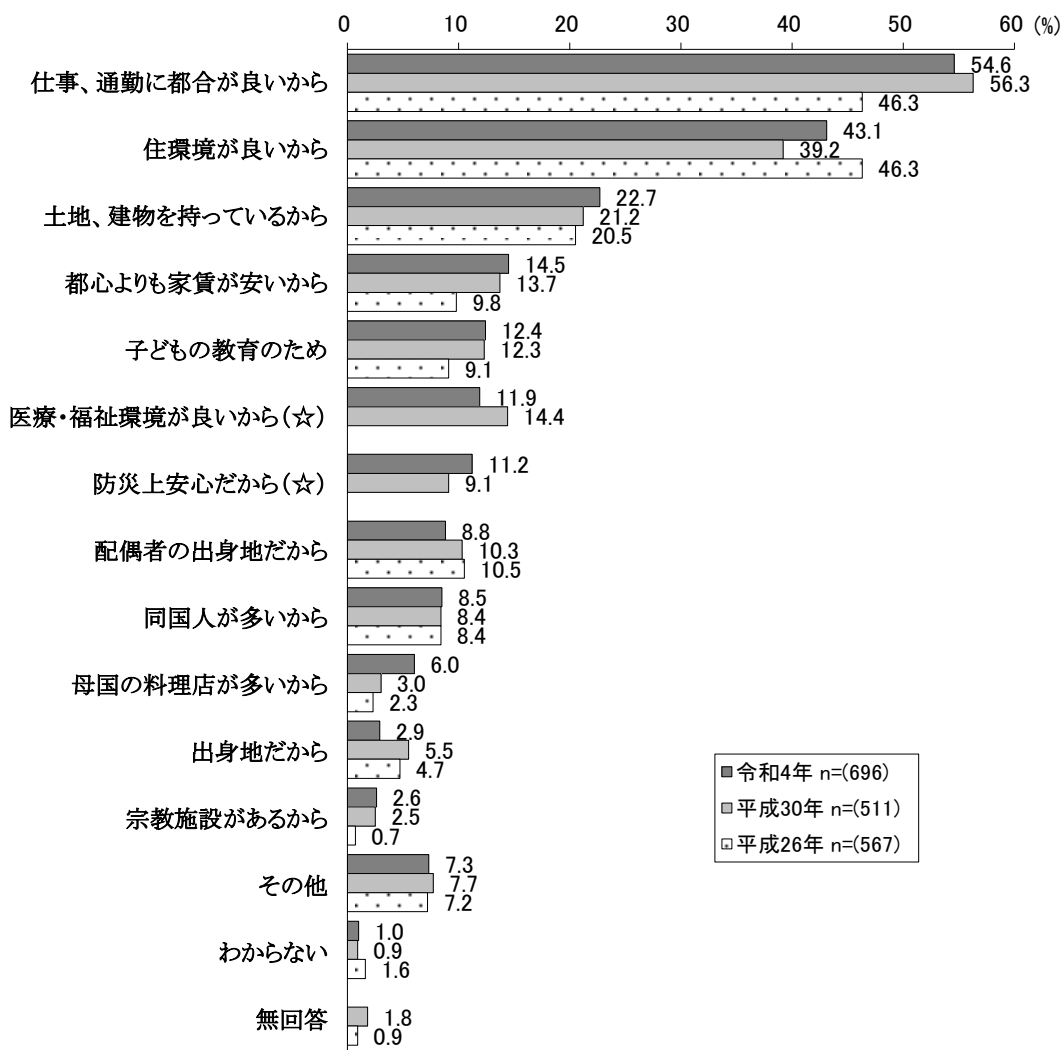
国・地域別

(%)

	調査数	仕事、通勤に都合が良いから	住環境が良いから	土地、建物を持っているから	都心よりも家賃が安いから	子どもの教育のため	医療・福祉環境が良いから	防災上安心だから	配偶者の出身地だから	同国人が多いから	母国の料理店が多いから	出身地だから	宗教施設があるから	その他	わからない
全体	696	54.6	43.1	22.7	14.5	12.4	11.9	11.2	8.8	8.5	6.0	2.9	2.6	7.3	1.0
【国・地域別】															
中国	234	57.3	34.6	30.8	11.5	12.4	9.4	3.8	6.0	9.4	6.0	1.3	0.4	7.7	1.7
韓国	76	39.5	31.6	32.9	10.5	7.9	6.6	6.6	9.2	1.3	-	17.1	-	6.6	1.3
フィリピン	76	47.4	60.5	3.9	14.5	18.4	18.4	32.9	14.5	14.5	14.5	1.3	9.2	10.5	1.3
ネパール	36	69.4	41.7	2.8	2.8	19.4	8.3	8.3	5.6	27.8	25.0	-	8.3	2.8	-
ベトナム	68	70.6	36.8	13.2	8.8	16.2	16.2	14.7	5.9	10.3	2.9	1.5	1.5	-	1.5
台湾	34	55.9	26.5	32.4	11.8	-	2.9	5.9	17.6	5.9	2.9	-	-	8.8	-
(*)アメリカ	27	44.4	66.7	40.7	18.5	18.5	22.2	37.0	14.8	-	-	3.7	-	7.4	-
(*)タイ	20	40.0	35.0	30.0	20.0	10.0	20.0	5.0	15.0	-	5.0	-	5.0	-	-
(*)インド	11	63.6	63.6	-	45.5	-	-	-	-	9.1	9.1	-	-	9.1	-
(*)インドネシア	14	85.7	50.0	-	50.0	7.1	-	7.1	-	7.1	7.1	-	14.3	7.1	-
(*)ドイツ	3	33.3	100.0	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
(*)朝鮮	3	33.3	33.3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-
その他	92	51.1	62.0	19.6	23.9	12.0	18.5	13.0	9.8	2.2	2.2	1.1	3.3	13.0	-

国・地域別にみると、「仕事、通勤に都合が良いから」は【ベトナム】で70.6%、【ネパール】で69.4%と高くなっている。また、「住環境が良いから」は【フィリピン】で60.5%と高くなっている。

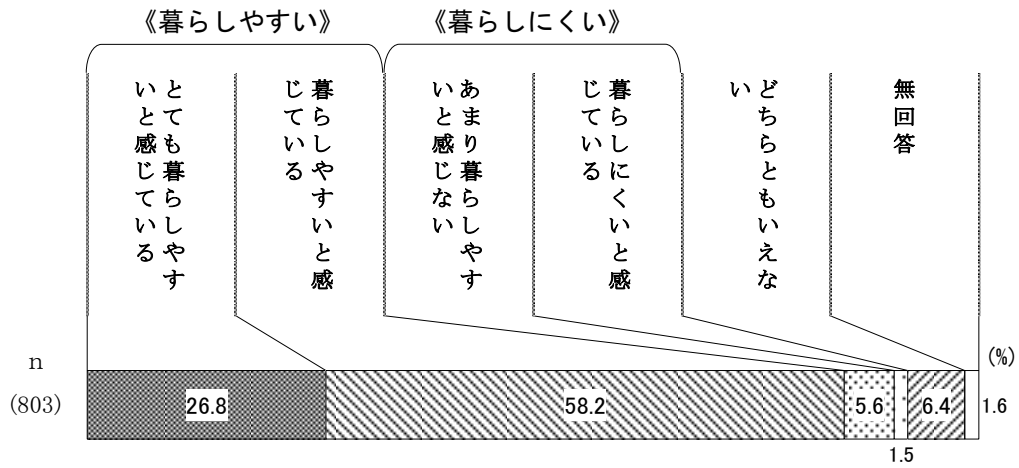
経年比較



過去の調査と比較すると、平成26年から「仕事、通勤に都合が良いから」は8.3ポイント増加している。

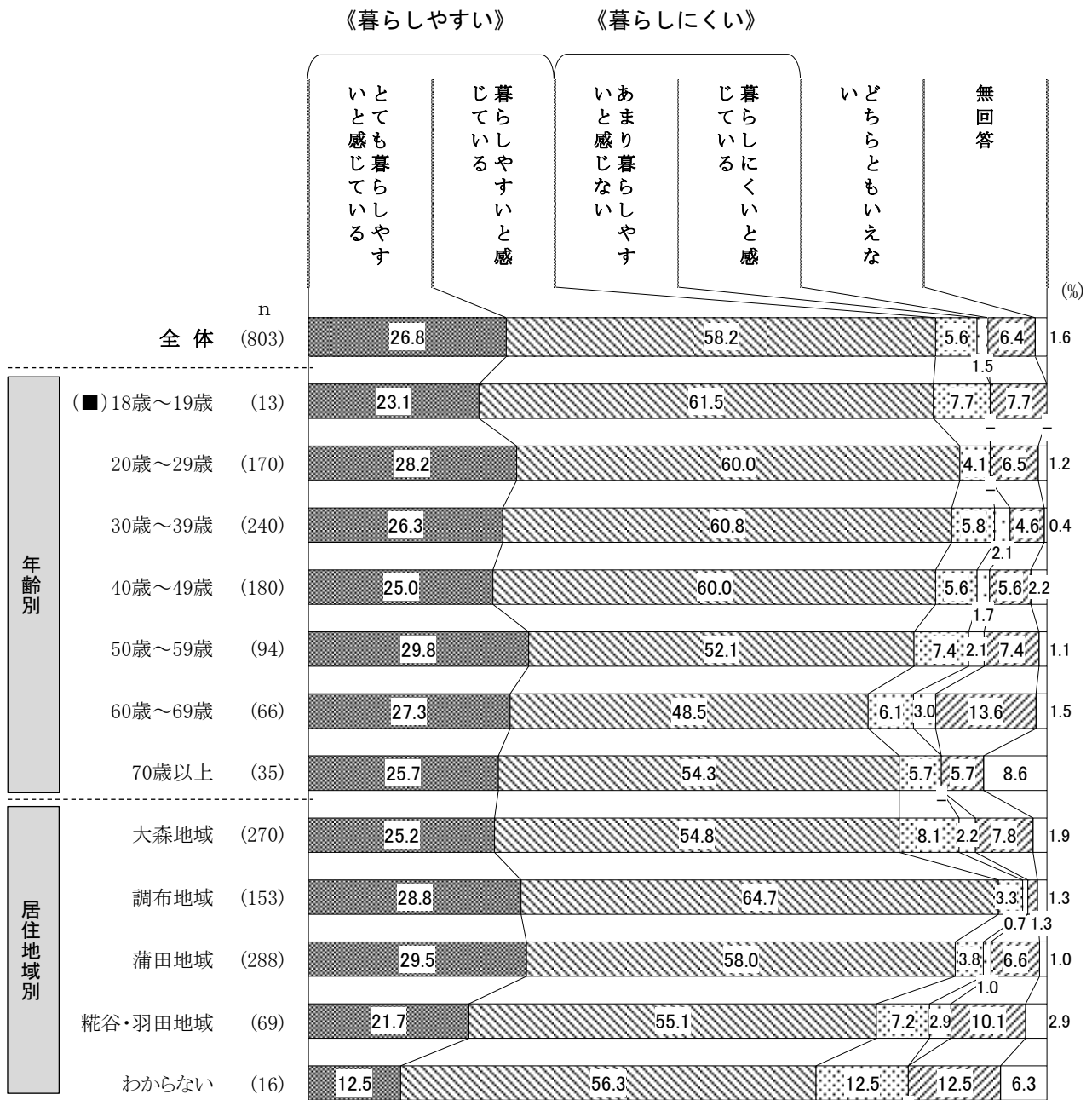
(4) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ

問9 現在住んでいるまちは暮らしやすいですか。(回答は1つだけ)



現在住んでいるまちの暮らしやすさでは、《暮らしやすい》(「とても暮らしやすいと感じている」(26.8%)と「暮らしやすいと感じている」(58.2%)を足した割合)は、85.0%となっている。

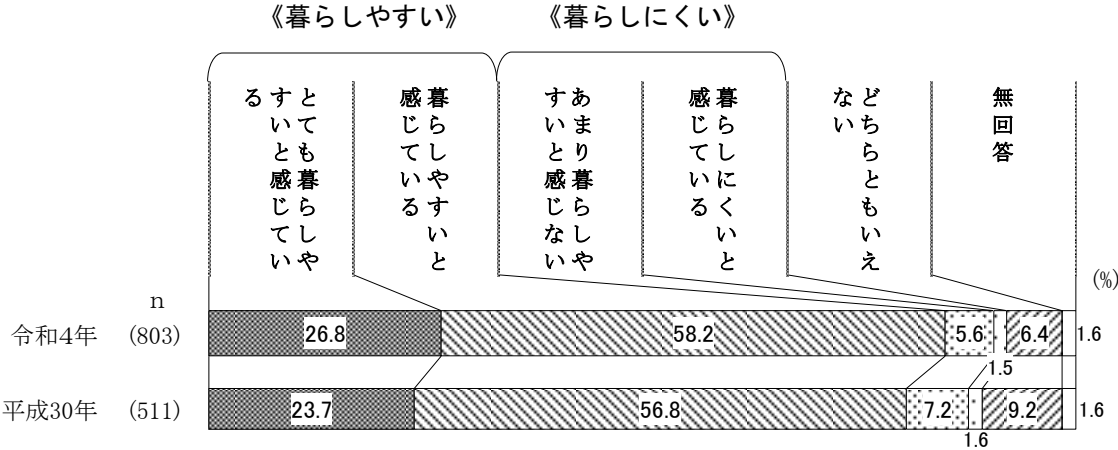
年齢別／居住地域別



年齢別にみると、《暮らしやすい》は、20代～50代、70歳以上で8割を超えており、特に【20歳～29歳】で88.2%と高くなっている。一方、【60歳～69歳】では75.8%と他の年代に比べて低くなっている。

居住地域別にみると、《暮らしやすい》は、【調布地域】で93.5%と最も高く、次いで、【蒲田地域】(87.5%)、【大森地域】(80.0%)、【糀谷・羽田地域】(76.8%)となっている。

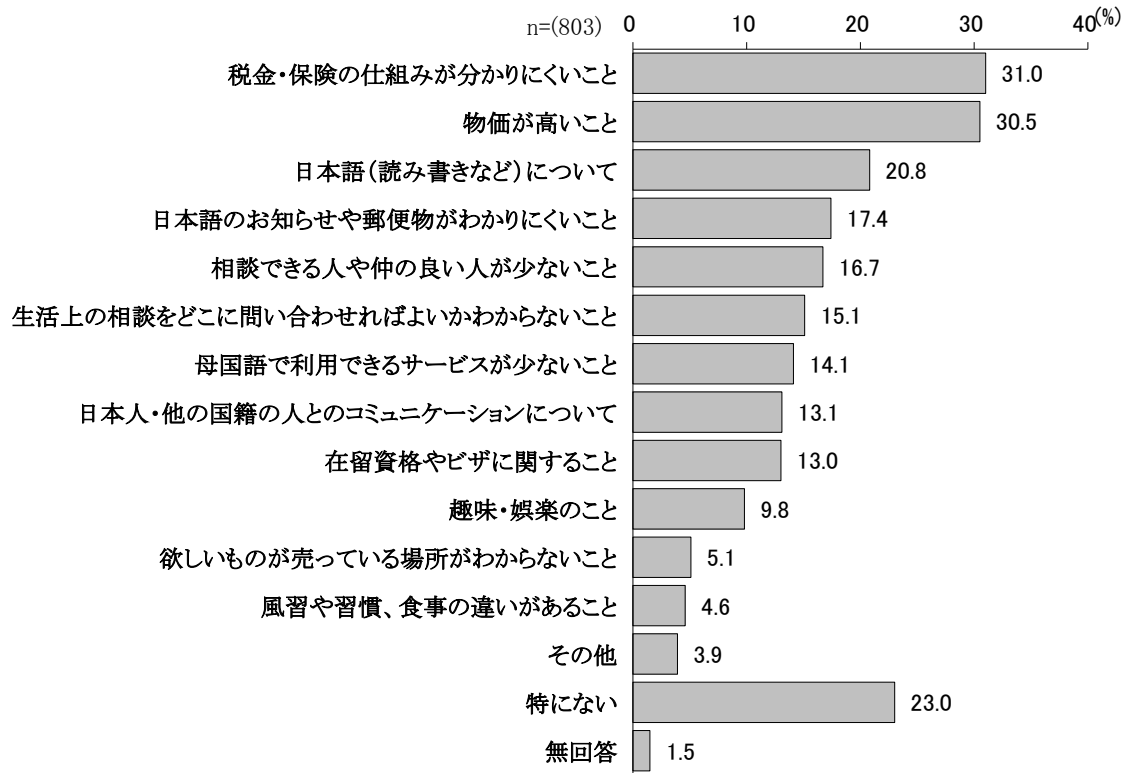
経年比較



過去の調査と比較すると、《暮らしやすい》は、今回調査で85.0%と、平成30年（80.5%）から4.5ポイント増加している。

(5) 日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていること

問10 あなたは、日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていることはありますか。
(回答はいくつでも)



日常の暮らしの中で不便を感じていることや困っていることでは、「税金・保険の仕組みが分かりにくいこと」が31.0%で最も高く、次いで、「物価が高いこと」(30.5%)、「日本語(読み書きなど)について」(20.8%)となっている。

年齢別／国・地域別／居住地域別

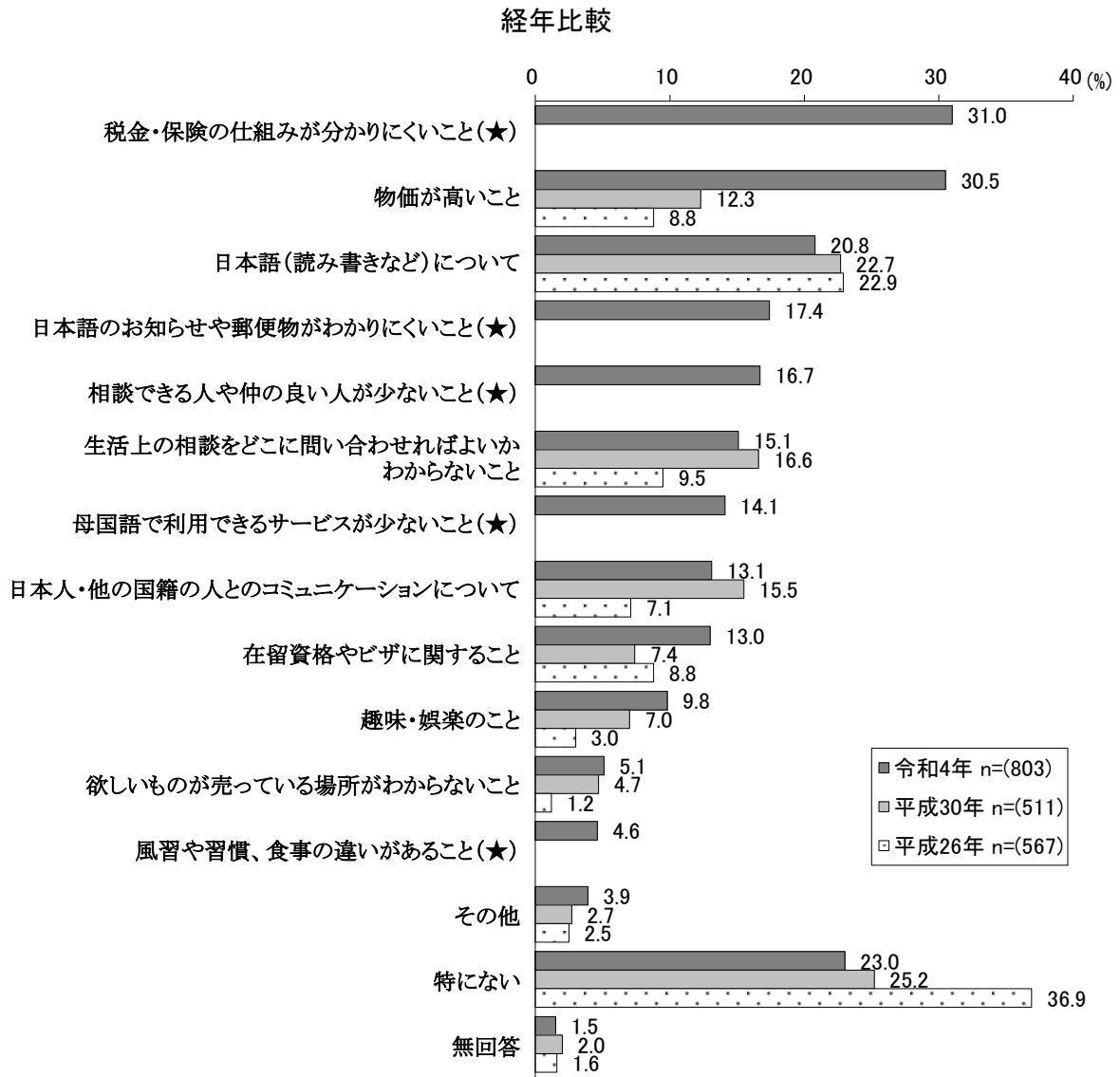
(%)

	調査数	税金・保険の仕組みが分かりにくいこと	物価が高いこと	日本語（読み書きなど）について	日本語のお知らせや郵便物がわかりにくいこと	日本語の知らない人が少ないこと	相談できる人や仲の良い人が少ないこと	生活上の相談をどこに問い合わせればよいかわからないこと	母国語で利用できるサービスが少ないこと	日本語・他の国籍の人のコミュニケーションについて	在留資格やビザに関すること	趣味・娯楽のこと	欲しくないものが売っている場所がわからないこと	風習や習慣、食事の違いがあること	その他	特にない	無回答
全体	803	31.0	30.5	20.8	17.4	16.7	15.1	14.1	13.1	13.0	9.8	5.1	4.6	3.9	23.0	1.5	
【年齢別】																	
(■)18歳～19歳	13	23.1	7.7	15.4	7.7	23.1	15.4	7.7	23.1	23.1	15.4	7.7	7.7	7.7	38.5	-	-
20歳～29歳	170	31.2	37.6	20.6	10.0	18.2	16.5	12.4	13.5	14.1	11.8	9.4	5.9	2.4	21.8	0.6	-
30歳～39歳	240	36.7	34.6	19.6	17.5	20.0	18.3	15.4	16.7	16.7	13.3	5.4	5.0	4.2	17.9	-	-
40歳～49歳	180	33.3	25.0	26.1	20.6	14.4	15.0	15.0	14.4	12.2	8.9	3.3	2.8	4.4	21.1	0.6	-
50歳～59歳	94	23.4	24.5	16.0	20.2	14.9	8.5	10.6	6.4	5.3	5.3	2.1	2.1	5.3	30.9	1.1	-
60歳～69歳	66	28.8	31.8	28.8	33.3	13.6	16.7	19.7	9.1	9.1	4.5	3.0	9.1	3.0	24.2	4.5	-
70歳以上	35	8.6	20.0	5.7	2.9	8.6	2.9	8.6	2.9	11.4	2.9	2.9	2.9	2.9	42.9	11.4	-
【国・地域別】																	
中国	268	28.7	31.7	13.4	5.6	17.5	13.1	10.4	16.4	14.2	11.9	6.0	4.5	4.1	23.1	0.7	-
韓国	90	22.2	28.9	4.4	3.3	13.3	8.9	5.6	1.1	12.2	7.8	5.6	-	8.9	30.0	4.4	-
フィリピン	90	33.3	30.0	30.0	36.7	7.8	12.2	18.9	13.3	13.3	8.9	4.4	5.6	1.1	21.1	-	-
ネパール	41	39.0	34.1	31.7	48.8	12.2	34.1	26.8	14.6	31.7	4.9	4.9	2.4	-	19.5	-	-
ベトナム	73	27.4	45.2	15.1	6.8	17.8	15.1	21.9	13.7	8.2	11.0	6.8	8.2	2.7	26.0	-	-
台湾	37	37.8	35.1	13.5	10.8	21.6	16.2	5.4	10.8	18.9	2.7	2.7	8.1	2.7	24.3	2.7	-
アメリカ	31	32.3	25.8	41.9	29.0	19.4	9.7	25.8	9.7	9.7	6.5	3.2	6.5	9.7	22.6	3.2	-
(*)タイ	20	40.0	35.0	35.0	20.0	20.0	15.0	20.0	-	15.0	10.0	5.0	-	-	10.0	-	-
(*)インド	11	45.5	45.5	63.6	45.5	27.3	27.3	18.2	36.4	-	27.3	-	9.1	-	-	-	-
(*)インドネシア	18	22.2	33.3	44.4	22.2	33.3	27.8	11.1	27.8	11.1	16.7	5.6	11.1	-	5.6	-	-
(*)ドイツ	5	20.0	-	60.0	60.0	-	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-
(*)朝鮮	5	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	60.0	-	-
その他	112	38.4	18.8	29.5	31.3	20.5	18.8	15.2	13.4	8.0	9.8	3.6	4.5	4.5	24.1	2.7	-
【居住地域別】																	
大森地域	270	30.4	30.0	22.6	17.8	16.3	14.1	15.2	12.6	12.2	9.3	4.8	5.9	5.6	22.6	1.9	-
調布地域	153	32.0	28.8	20.9	18.3	19.6	12.4	11.1	11.1	9.8	12.4	3.3	2.0	3.3	21.6	2.6	-
蒲田地域	288	29.2	28.1	19.4	15.3	13.5	16.3	12.8	15.3	14.6	10.4	6.9	3.8	1.7	26.4	0.3	-
糀谷・羽田地域	69	33.3	40.6	18.8	17.4	18.8	15.9	20.3	11.6	14.5	2.9	1.4	8.7	5.8	20.3	1.4	-
わからない	16	37.5	56.3	31.3	43.8	37.5	25.0	18.8	12.5	18.8	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	-	-

年齢別にみると、「税金・保険の仕組みが分かりにくいこと」は【30歳～39歳】で36.7%と最も高く、30代以降は年代が上がるほど割合がおおむね低くなっている。また、「物価が高いこと」は【20歳～29歳】(37.6%)と【30歳～39歳】(34.6%)、「日本語(読み書きなど)について」は【60歳～69歳】(28.8%)と【40歳～49歳】(26.1%)で高くなっている。

国・地域別にみると、「税金・保険の仕組みが分かりにくいこと」は【ネパール】で39.0%、【台湾】で37.8%と高くなっている。また、「物価が高いこと」は【ベトナム】(45.2%)、「日本語(読み書きなど)について」は【アメリカ】(41.9%)で高くなっている。

居住地域別にみると、「税金・保険の仕組みが分かりにくいこと」は【大森地域】(30.4%)【調布地域】(32.0%)【糀谷・羽田地域】(33.3%)で高くなっている。また、【糀谷・羽田地域】では、「物価が高いこと」が40.6%と高くなっている。

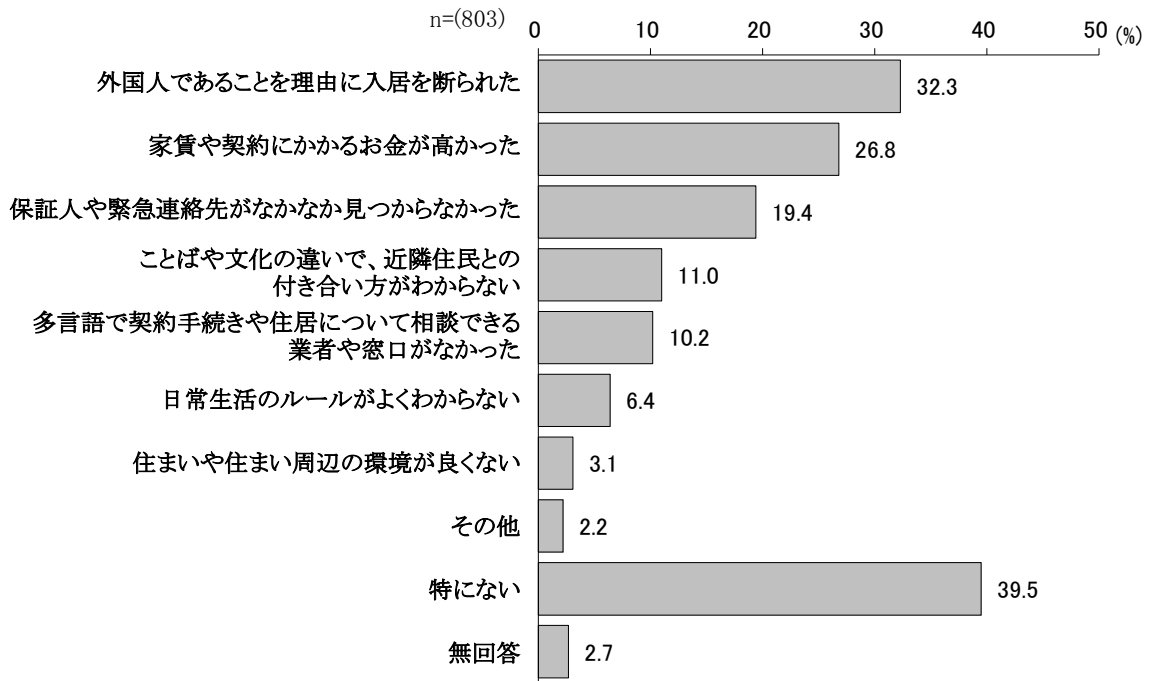


*平成26年・30年度調査とは選択肢が異なるため、比較できるものを掲載している。

過去の調査と比較すると、「物価が高いこと」は平成26年から21.7ポイント、平成30年から18.2ポイント増加している。

(6) 住まいに関して困ったこと

問11 あなたが、住まいを探したり、住んだあとで困ったことがありますか。
 (回答はいくつでも)

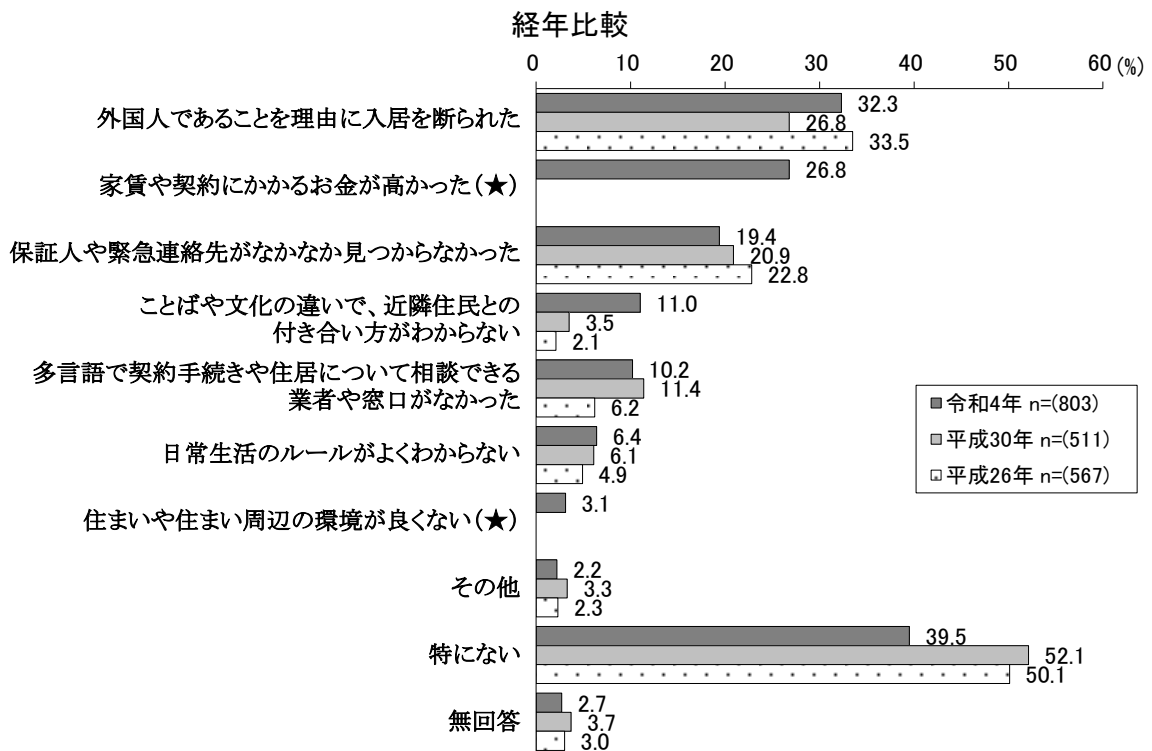


住まいに関して困ったことでは、「外国人であることを理由に入居を断られた」が32.3%で最も高く、次いで、「家賃や契約にかかるお金が高かった」(26.8%)、「保証人や緊急連絡先がなかなか見つからなかった」(19.4%)となっている。

居住地域別

	調査数	外国人であることを理由に入居を断られた	家賃や契約にかかるお金が高かった	保証人や緊急連絡先がなかなか見つからなかった	ことばや文化の違いで、近隣住民との付き合い方がわからない	多言語で契約手続きや住居について相談できる業者や窓口がなかった	日常生活のルールがよくわからない	住まいや住まい周辺の環境が良くない	その他	特にない	無回答
全体	803	32.3	26.8	19.4	11.0	10.2	6.4	3.1	2.2	39.5	2.7
【居住地域別】											
大森地域	270	28.9	28.1	16.3	8.9	9.6	5.9	3.7	1.1	40.4	4.4
調布地域	153	36.6	24.8	20.3	13.1	11.1	6.5	2.0	3.3	39.9	2.0
蒲田地域	288	33.3	26.7	20.1	10.1	10.4	6.3	3.1	1.7	41.0	1.7
糎谷・羽田地域	69	31.9	18.8	21.7	11.6	7.2	5.8	2.9	4.3	37.7	1.4
わからない	16	25.0	31.3	37.5	37.5	18.8	12.5	6.3	12.5	18.8	-

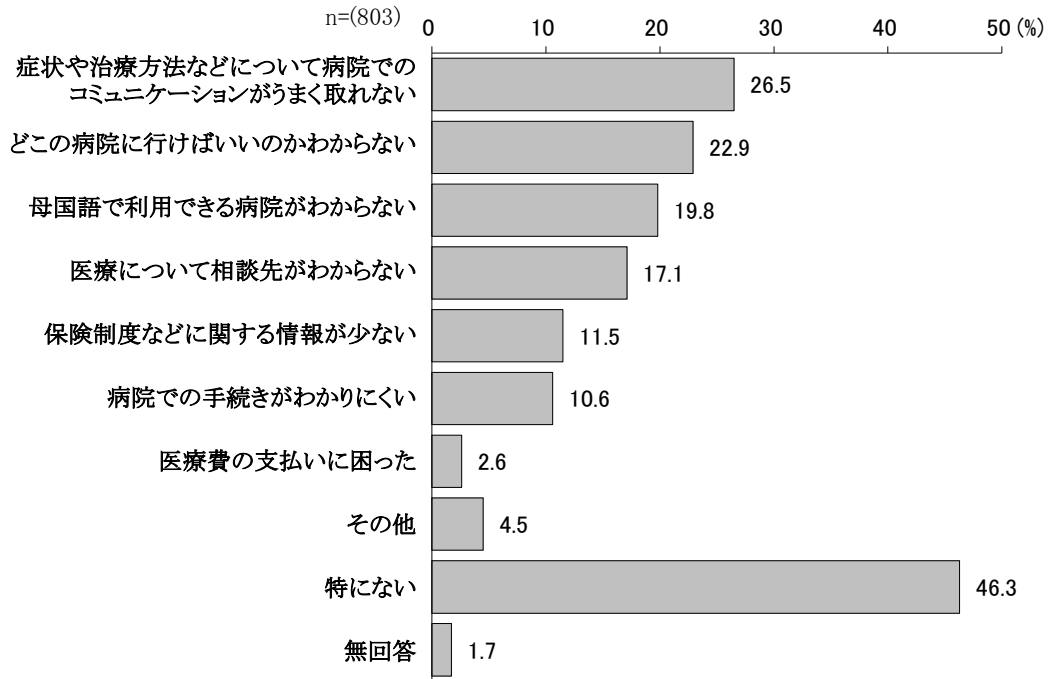
居住地域別にみると、すべての地域で「外国人であることを理由に入居を断られた」が最も高くなっている。



過去の調査と比較すると、「外国人であることを理由に入居を断られた」は平成30年で26.8%と、平成26年から6.7ポイント減少したものの、今回調査では5.5ポイント増加している。また、「ことばや文化の違いで、近隣住民との付き合い方がわからない」は平成26年から8.9ポイント、平成30年から7.5ポイント増加している。

(7) 病院を利用する際に困ったこと

問12 あなたは、病院を利用する際に困ったことや不満に思ったことがありますか。
 (回答はいくつでも)

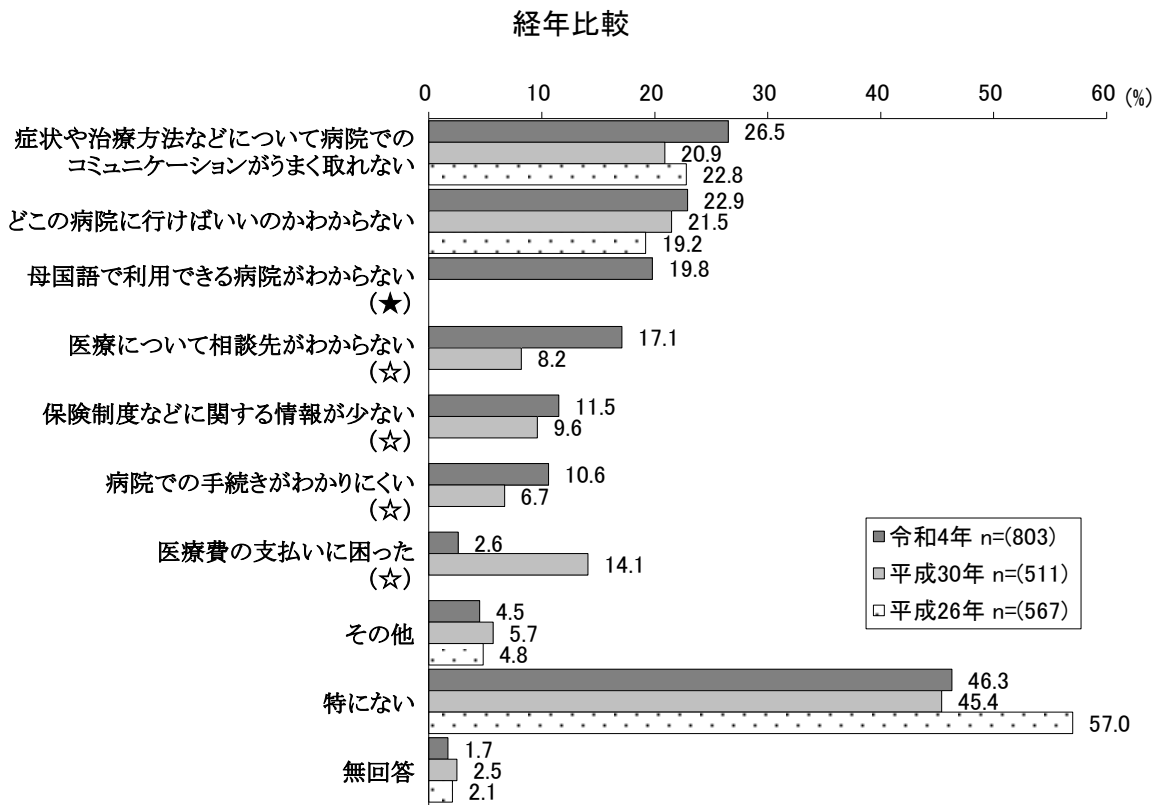


病院を利用する際に困ったことでは、「症状や治療方法などについて病院でのコミュニケーションがうまく取れない」が26.5%で最も高く、次いで、「どこの病院に行けばいいのかわからない」(22.9%)、「母国語で利用できる病院がわからない」(19.8%)となっている。

国・地域別

(%)											
	調査数	症状や治療方法などについて病院でのコミュニケーションがうまく取れない	いどこの病院に行けばいいのかわからない	母国語で利用できる病院がわからない	医療について相談先がわからない	保険制度などに関する情報が少ない	病院での手続きがわかりにくい	医療費の支払いに困った	その他	特にない	無回答
全体	803	26.5	22.9	19.8	17.1	11.5	10.6	2.6	4.5	46.3	1.7
【国・地域別】											
中国	268	24.3	24.3	17.5	17.9	11.6	6.0	1.5	4.5	45.9	1.5
韓国	90	5.6	13.3	3.3	7.8	8.9	-	3.3	4.4	65.6	5.6
フィリピン	90	34.4	10.0	18.9	8.9	12.2	12.2	3.3	2.2	44.4	3.3
ネパール	41	43.9	29.3	48.8	34.1	17.1	19.5	4.9	-	26.8	-
ベトナム	73	23.3	26.0	20.5	16.4	9.6	8.2	4.1	4.1	43.8	-
台湾	37	21.6	27.0	21.6	18.9	16.2	2.7	2.7	2.7	48.6	2.7
アメリカ	31	29.0	16.1	32.3	9.7	9.7	22.6	3.2	6.5	45.2	3.2
(*)タイ	20	35.0	25.0	30.0	25.0	5.0	15.0	-	5.0	50.0	-
(*)インド	11	72.7	54.5	36.4	36.4	-	45.5	-	-	9.1	-
(*)インドネシア	18	33.3	33.3	5.6	16.7	22.2	27.8	5.6	-	38.9	-
(*)ドイツ	5	40.0	40.0	60.0	20.0	-	-	-	-	40.0	-
(*)朝鮮	5	20.0	20.0	-	20.0	40.0	20.0	-	-	60.0	-
その他	112	32.1	28.6	22.3	21.4	10.7	19.6	2.7	9.8	44.6	-

国・地域別にみると、「症状や治療方法などについて病院でのコミュニケーションがうまく取れない」は【ネパール】(43.9%)と【フィリピン】(34.4%)で高くなっている。また、「母国語で利用できる病院がわからない」は【ネパール】(48.8%)と【アメリカ】(32.3%)、「医療について相談先がわからない」は【ネパール】(34.1%)で高くなっている。

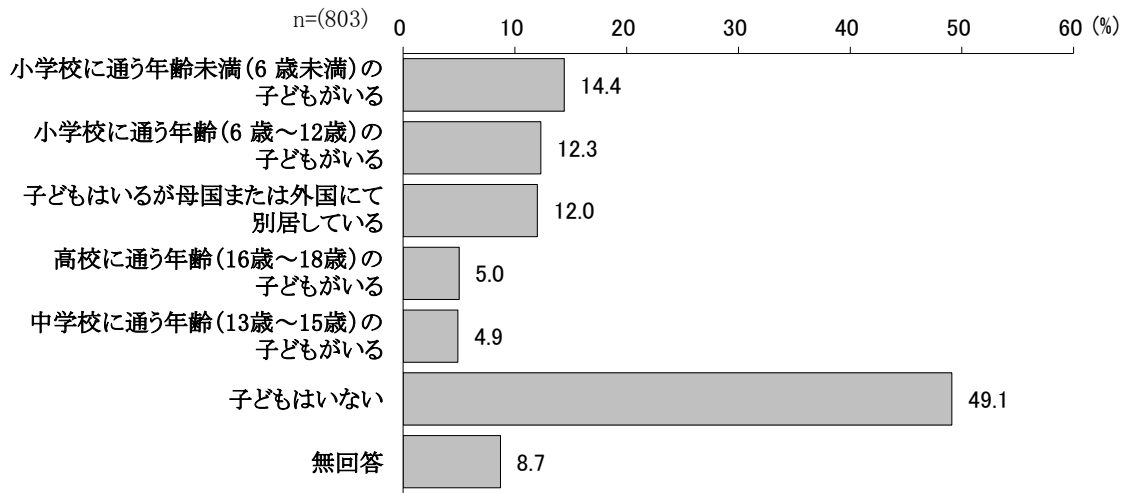


*平成26年・30年度調査とは選択肢が異なるため、比較できるものを掲載している。

過去の調査と比較すると、平成30年から、「医療について相談先がわからない」は8.9ポイント、「症状や治療方法などについて病院でのコミュニケーションがうまく取れない」は5.6ポイント増加している。一方、「医療費の支払いに困った」は11.5ポイント減少している。

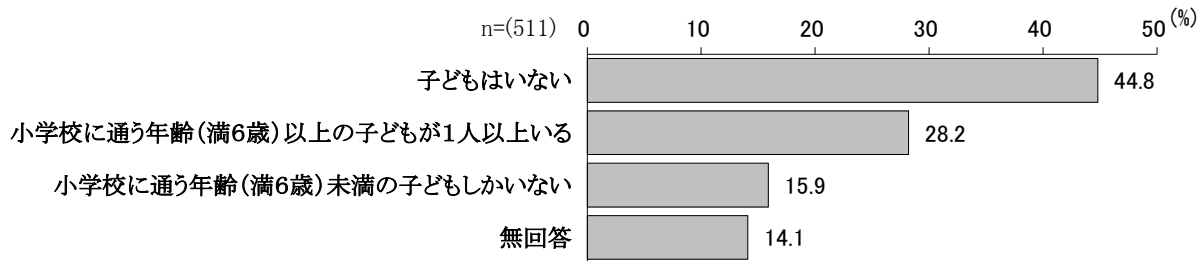
(8) 子どもの有無

問13 あなたには、子どもがいますか。(回答はいくつでも)



子どもの有無では、「子どもはいない」が49.1%で最も高く、次いで、「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子どもがいる」(14.4%)、「小学校に通う年齢(6歳~12歳)の子どもがいる」(12.3%)、「子どもはいるが母国または外国にて別居している」(12.0%)となっている。

経年比較 (参考比較-H30)



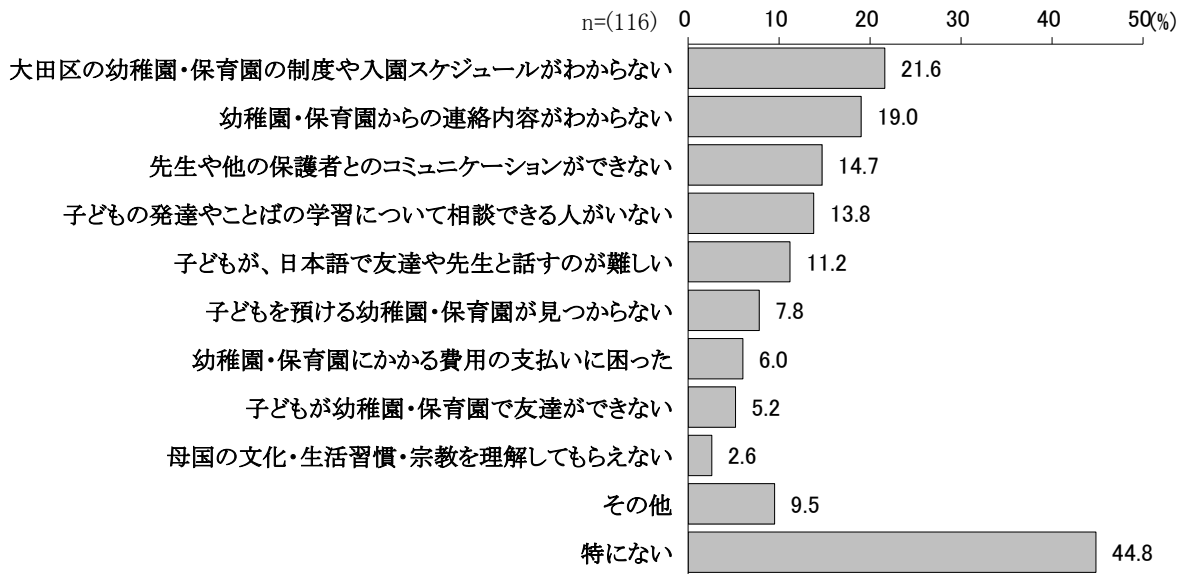
*平成30年度調査とは選択肢が異なるため、参考として掲載した。

(8-1) 子ども又は回答者自身が幼稚園・保育園／学校で困ったこと

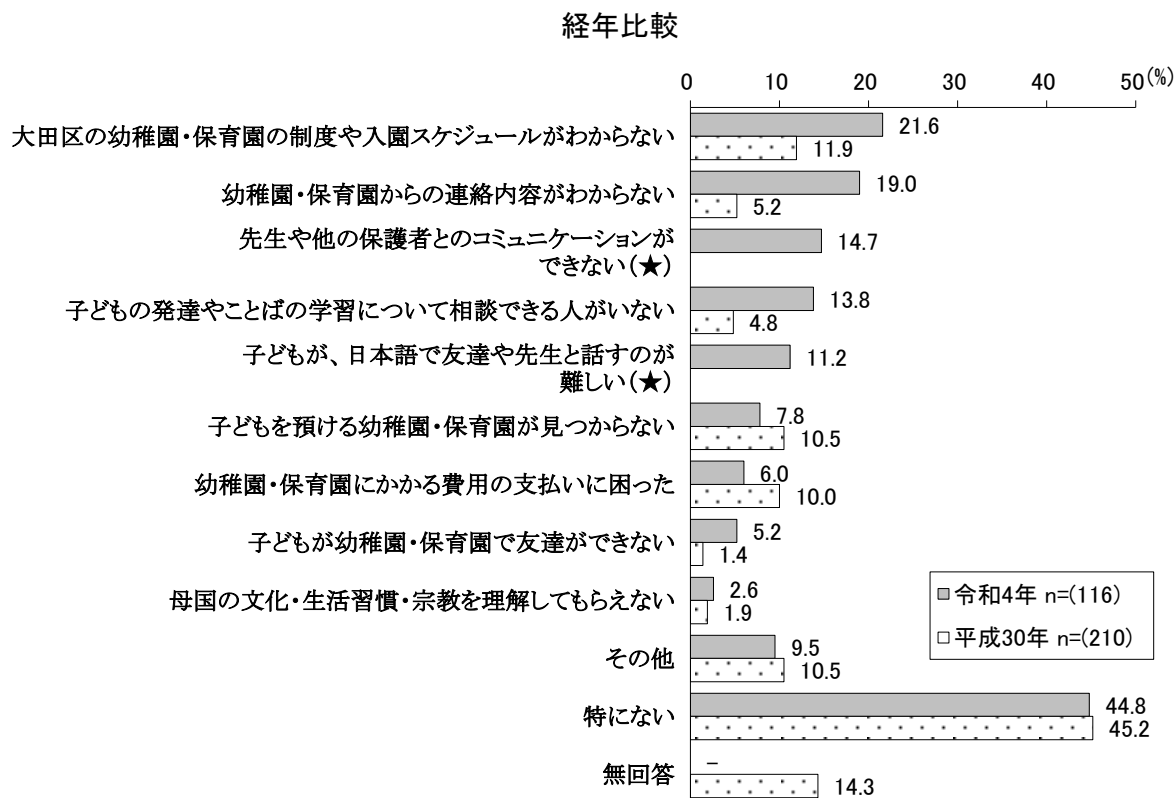
(問13で「子どもがいる」(小学校に通う年齢未満、小学校に通う年齢、中学校に通う年齢、高校に通う年齢)とお答えの方にお聞きします)

問13-1 あなたの子ども、またはあなた自身が幼稚園・保育園や学校で困ったことはありますか。(回答はいくつでも)

【問13で「小学校に通う年齢未満(6歳未満)の子どもがいる」と答えた方】



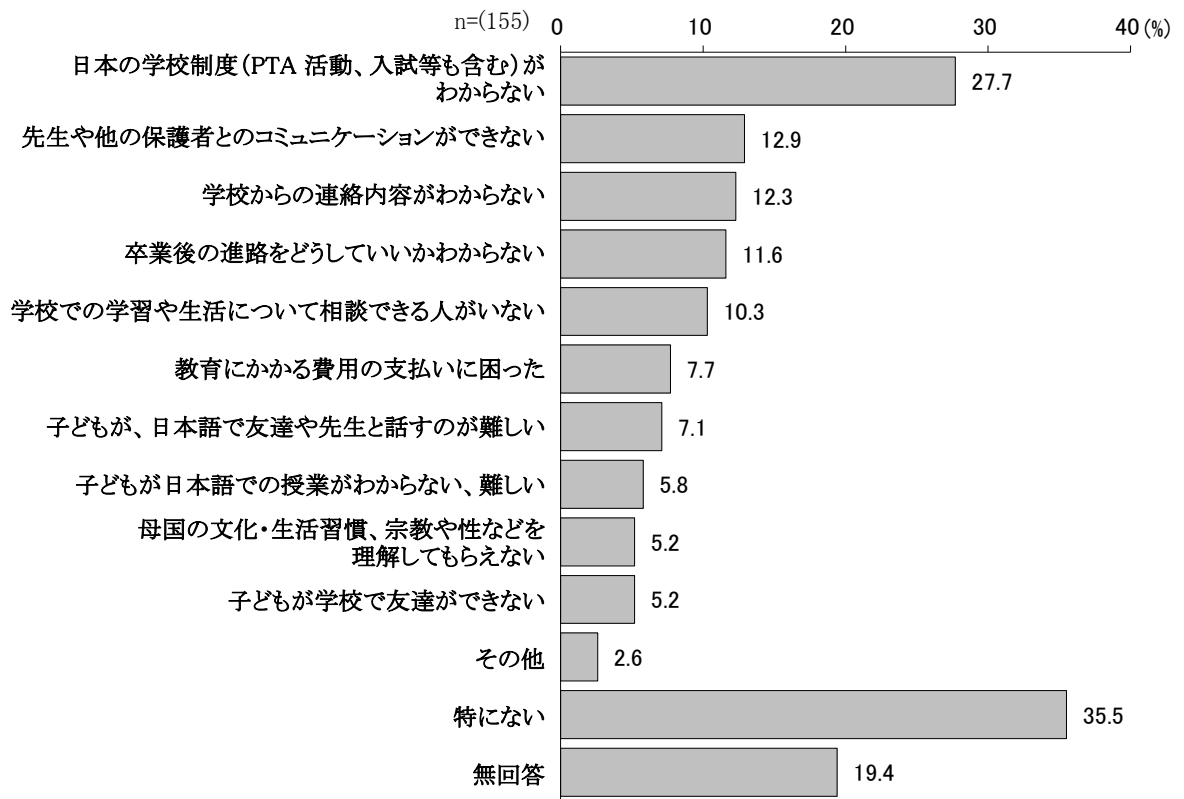
子ども又は回答者自身が幼稚園・保育園で困ったことでは、「大田区の幼稚園・保育園の制度や入園スケジュールがわからない」が21.6%で最も高く、次いで、「幼稚園・保育園からの連絡内容がわからない」(19.0%)、「先生や他の保護者とのコミュニケーションができない」(14.7%)、「子どもの発達やことばの学習について相談できる人がいない」(13.8%)となっている。



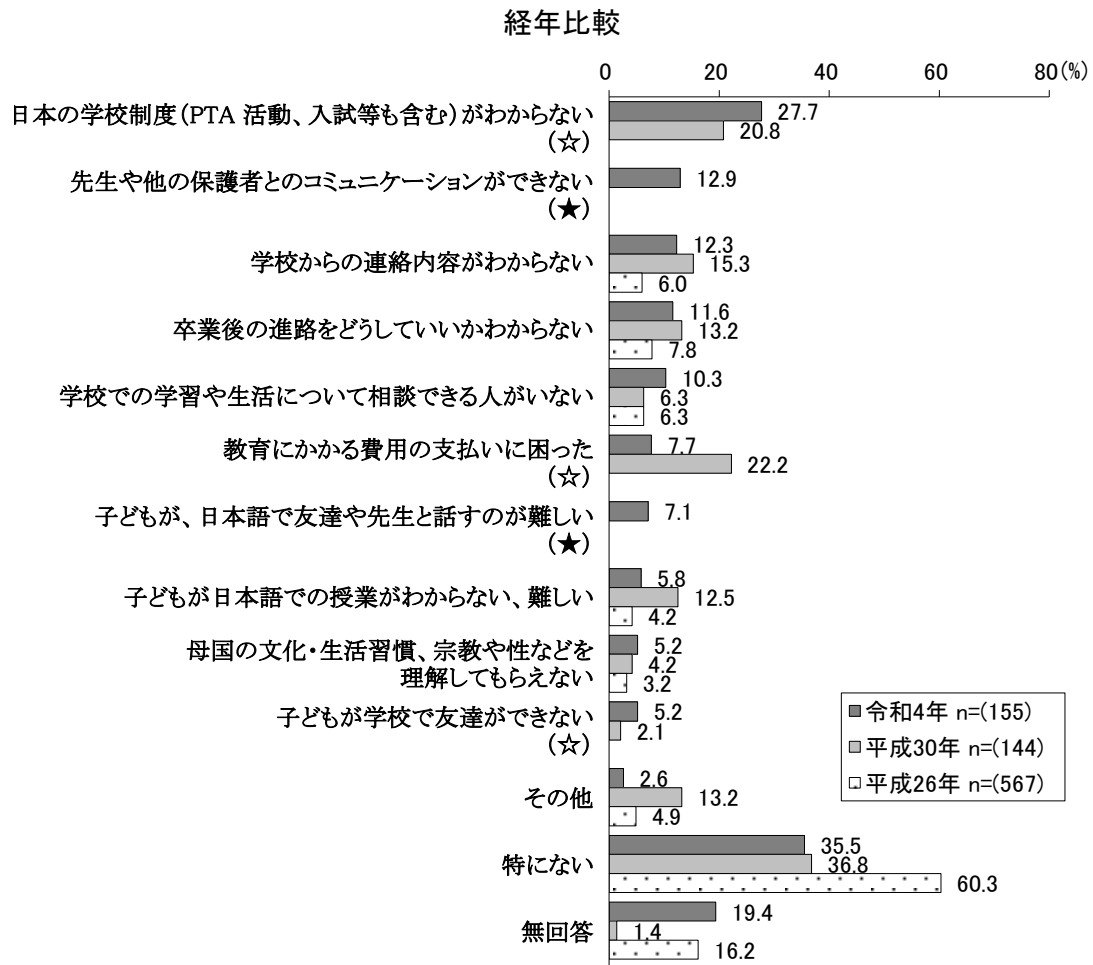
*平成30年度調査とは選択肢が異なるため、比較できるものを掲載している。

過去の調査と比較すると、平成30年から、「幼稚園・保育園からの連絡内容がわからない」は13.8ポイント、「大田区の幼稚園・保育園の制度や入園スケジュールがわからない」は9.7ポイント、「子どもの発達やことばの学習について相談できる人がいない」は9.0ポイント増加している。

【問13で「小学校に通う年齢（6歳～12歳）の子どもがいる」、「中学校に通う年齢（13歳～15歳）の子どもがいる」、「高校に通う年齢（16歳～18歳）の子どもがいる」と答えた方】



子ども又は回答者自身が学校で困ったことでは、「日本の学校制度（PTA活動、入試等も含む）がわからない」が27.7%、次いで、「先生や他の保護者とのコミュニケーションができない」（12.9%）、「学校からの連絡内容がわからない」（12.3%）、「卒業後の進路をどうしていいかわからない」（11.6%）、「学校での学習や生活について相談できる人がいない」（10.3%）となっている。



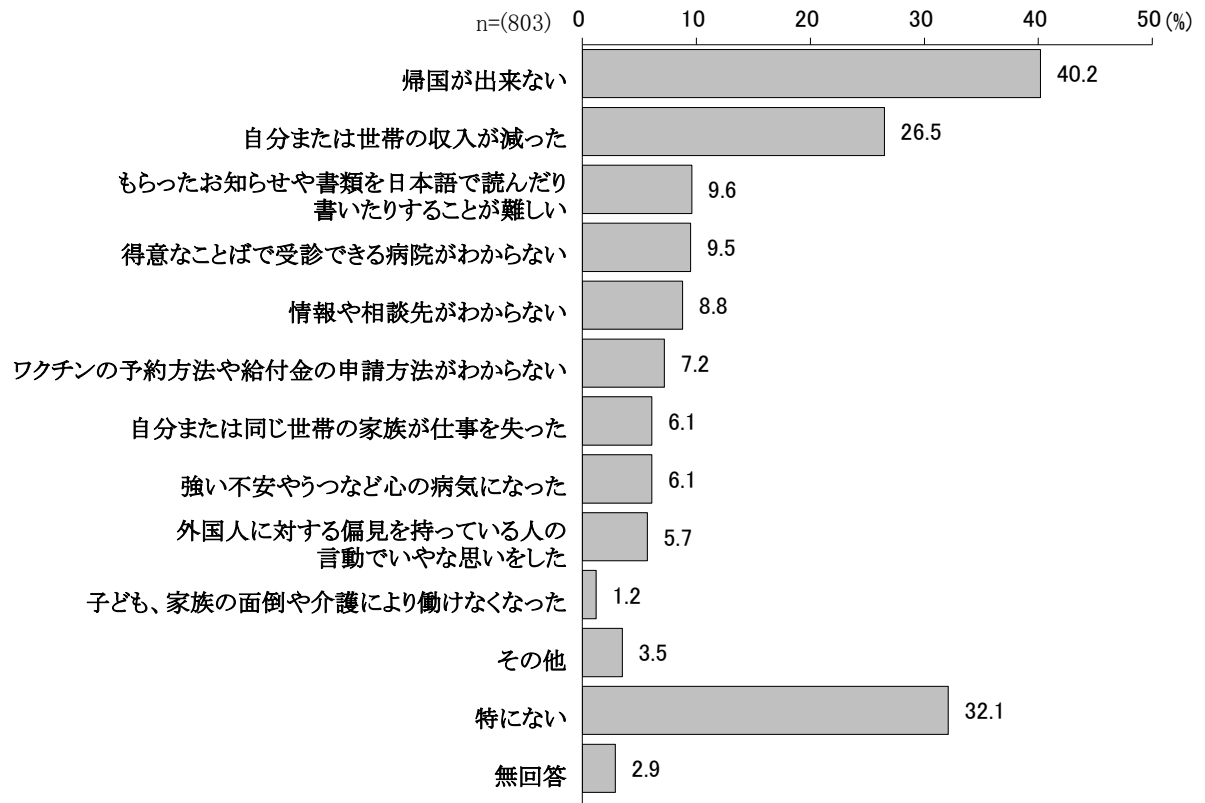
*本年度調査、平成30年度調査では、「子どもがいる」と回答した方のみを対象としているが、平成26年度調査ではすべての回答者が回答している。

*平成26年度・30年度調査とは選択肢が異なるため、比較できるもののみ掲載している。

過去の調査と比較すると、平成30年から、「日本の学校制度 (PTA 活動、入試等も含む) がわからない」は6.9ポイント増加している。一方、「教育にかかる費用の支払いに困った」は14.5ポイント、「子どもが日本語での授業がわからない、難しい」は6.7ポイント減少している。

(9) 新型コロナウイルス感染拡大での困りごと

問14 新型コロナウイルス感染拡大による困りごとや困ったことはありますか。
(回答はいくつでも)



新型コロナウイルス感染拡大での困りごとでは、「帰国が出来ない」が40.2%で最も高く、次いで、「自分または世帯の収入が減った」(26.5%)となっている。

居住地域別／日本での居住年数別

(%)

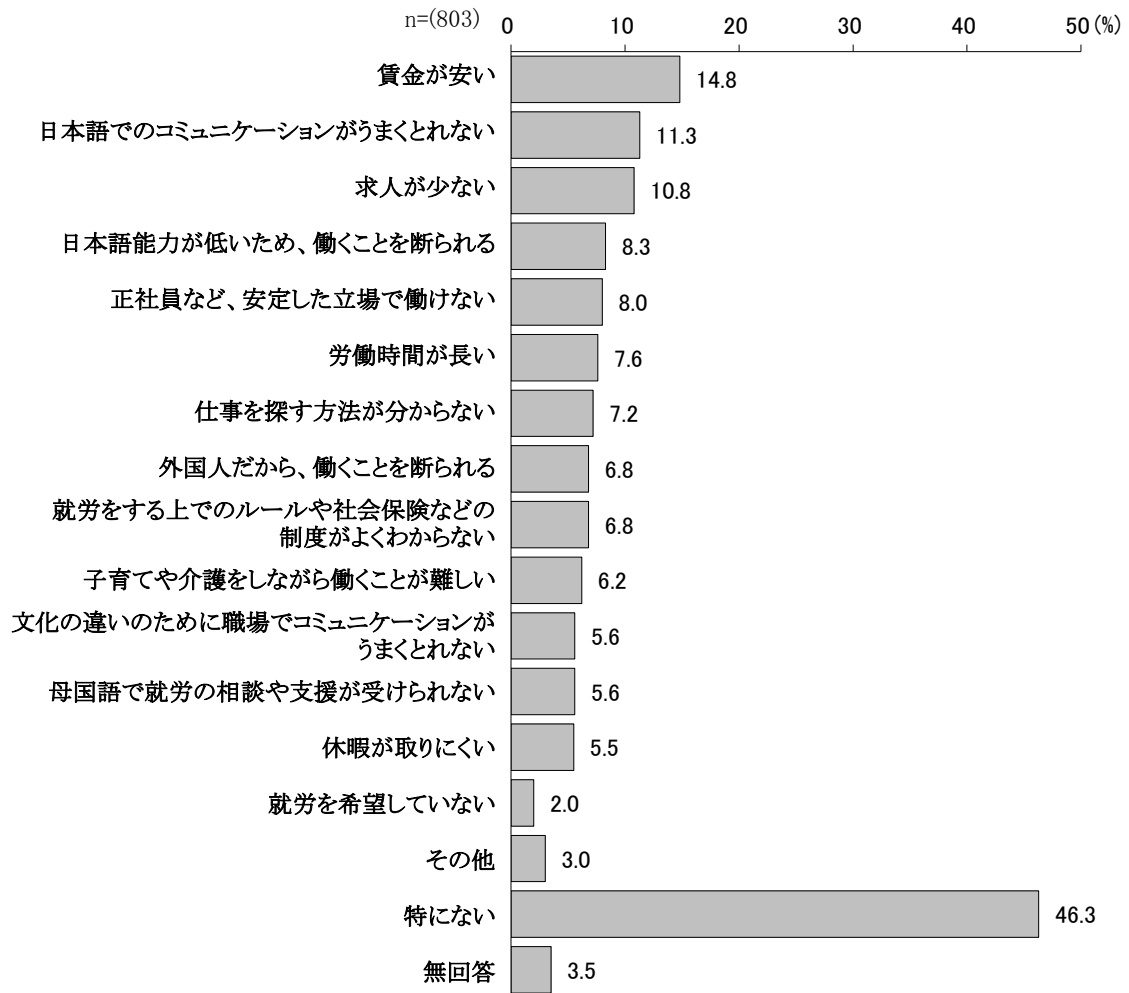
	調査数	帰国が出来ない	自分または世帯の収入が減った	もらったお知らせや書類を日本語で読み書きすることが難しい	得意なことばで受診できる病院がわからない	情報や相談先がわからない	ワクチンの予約方法や給付金の申請方法がわからない	自分または同じ世帯の家族が仕事を失った	強い不安やうつなど心の病気になった	外国人に対する偏見を持っている人の言動でいやな思いをした	子ども、家族の面倒や介護により働けなくなった	その他	特になし	無回答	
全体	803	40.2	26.5	9.6	9.5	8.8	7.2	6.1	6.1	5.7	1.2	3.5	32.1	2.9	
【居住地域別】															
大森地域	270	40.0	28.1	10.4	8.5	10.4	7.0	6.3	4.1	7.0	0.4	4.1	33.3	3.3	
調布地域	153	43.1	15.7	8.5	9.2	7.8	8.5	1.3	8.5	5.2	-	4.6	34.0	1.3	
蒲田地域	288	39.9	29.2	8.7	10.4	8.3	6.3	5.9	6.6	3.8	2.1	2.8	31.6	2.8	
糀谷・羽田地域	69	39.1	31.9	10.1	10.1	8.7	7.2	15.9	5.8	10.1	4.3	-	29.0	2.9	
わからない	16	37.5	18.8	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	12.5	-	-	6.3	25.0	12.5	
【日本での居住年数別】															
0～3年未満	96	27.1	17.7	7.3	9.4	10.4	15.6	4.2	6.3	3.1	1.0	3.1	38.5	-	
3年～10年未満	294	49.3	27.2	10.2	14.3	10.5	7.1	5.4	6.8	4.8	1.7	2.4	26.9	1.0	
10年以上	407	37.3	27.8	9.6	5.9	7.4	5.4	6.9	5.7	6.9	1.0	4.2	34.9	4.4	

居住地域別にみると、すべての地域で「帰国が出来ない」が最も高くなっている。また、【糀谷・羽田地域】で「自分または同じ世帯の家族が仕事を失った」が15.9%と他の地域に比べて高くなっている。

日本での居住年数別にみると、「帰国が出来ない」は【3年～10年未満】で49.3%と高くなっている。また、「ワクチンの予約方法や給付金の申請方法がわからない」は居住年数が短いほど割合が高く、【0～3年未満】で15.6%となっている。

(10) 就労する際の困りごと

問15 あなたは、就労する上で困ったことはありますか。(回答はいくつでも)



就労する際の困りごとでは、「賃金が安い」が14.8%で最も高く、次いで、「日本語でのコミュニケーションがうまくとれない」(11.3%)、「求人が少ない」(10.8%)となっている。

在留資格別

(%)

	調査数	賃金が安い	日本語でのコミュニケーションがうまくとれない	求人が少ない	日本語能力が低いため、働くことを断られる	正社員など、安定した立場で働けない	労働時間が長い	仕事を探す方法が分からない	外国人だから、働くことを断られる	就労をする上でのルールや社会保険などの制度がよくわからない	子育てや介護をしながら働くことが難しい	文化の違いのために職場でコミュニケーションがうまくとれない	母国語で就労の相談や支援が受けられない	休暇が取りにくい	就労を希望していない	その他	特になし	無回答
全体	803	14.8	11.3	10.8	8.3	8.0	7.6	7.2	6.8	6.8	6.2	5.6	5.6	5.5	2.0	3.0	46.3	3.5

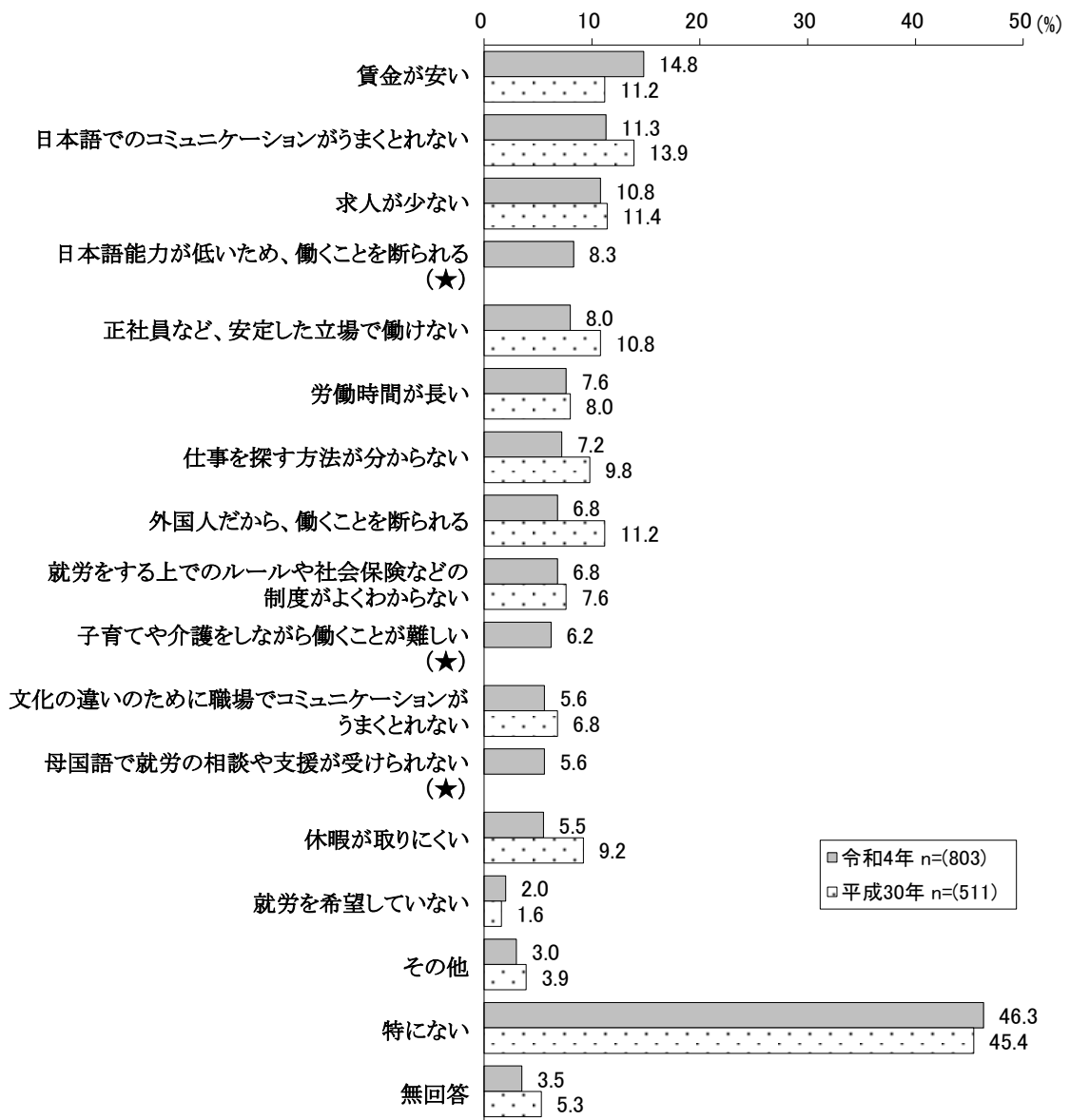
【在留資格別】

身分又は地位に基づく在留資格	433	15.0	11.1	10.4	8.8	7.9	8.3	5.1	7.6	5.8	8.1	5.1	6.5	5.3	2.1	3.7	46.9	4.6
専門的・技術的分野の在留資格	237	17.7	8.9	11.4	6.3	8.4	10.1	5.5	4.2	8.9	3.8	6.3	5.1	6.3	0.8	1.7	47.7	0.8
留学	44	4.5	18.2	13.6	6.8	6.8	2.3	27.3	13.6	11.4	-	13.6	6.8	2.3	4.5	4.5	40.9	-
その他	75	13.3	16.0	12.0	13.3	8.0	-	13.3	8.0	4.0	8.0	2.7	1.3	6.7	2.7	1.3	41.3	4.0

*ここでは「在留資格」として、調査票F3の選択肢のうち、「永住者」「日本人の配偶者等」「永住者の配偶者等」「定住者」「特別永住者」を「身分又は地位に基づく在留資格」、「特定技能」「教授」「芸術」「宗教」「報道」「高度専門職」「経営・管理」「法律・会計事務」「医療」「研究」「教育」「技術・人文知識・国際業務」「企業内転勤」「介護」「興行」「特定活動」を「専門的・技術的分野の在留資格」、「留学」を「留学」、「技能実習」「文化活動」「研修」「家族滞在」を「その他」として集計している。

在留資格別にみると、具体的な困りごとでは、【身分又は地位に基づく在留資格】【専門的・技術的分野の在留資格】で「賃金が安い」、【留学】で「仕事を探す方法が分からない」、【その他】で「日本語でのコミュニケーションがうまくとれない」が高くなっている。

経年比較

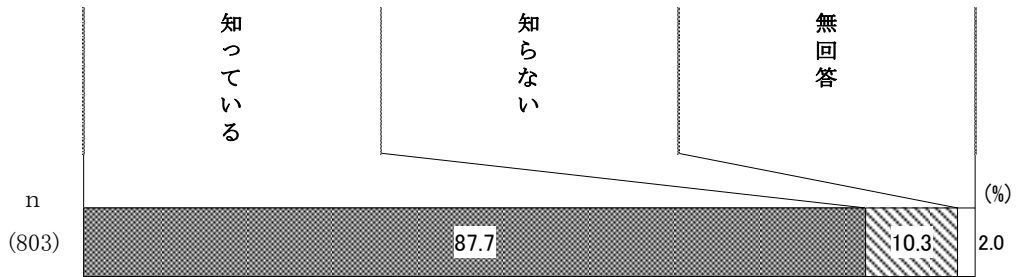


過去の調査と比較すると、平成30年から「外国人だから、働くことを断られる」は4.4ポイント減少している。

5. 防災について

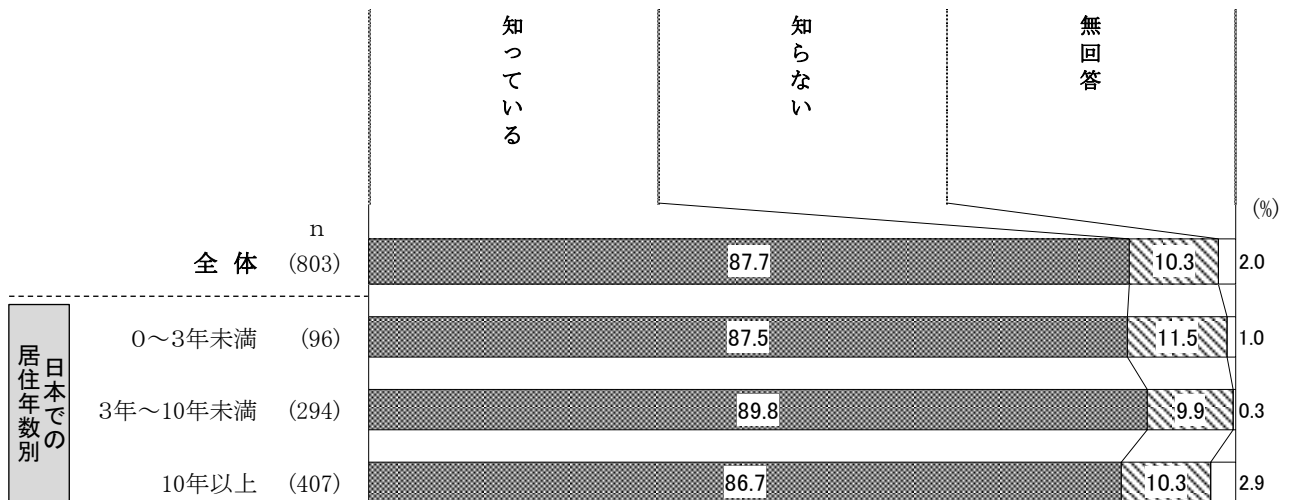
(1) 日本における災害の認知度

問16 日本でどのような災害が起こるか知っていますか。(回答は1つだけ)



日本における災害の認知度では、「知っている」が87.7%、「知らない」が10.3%となっている。

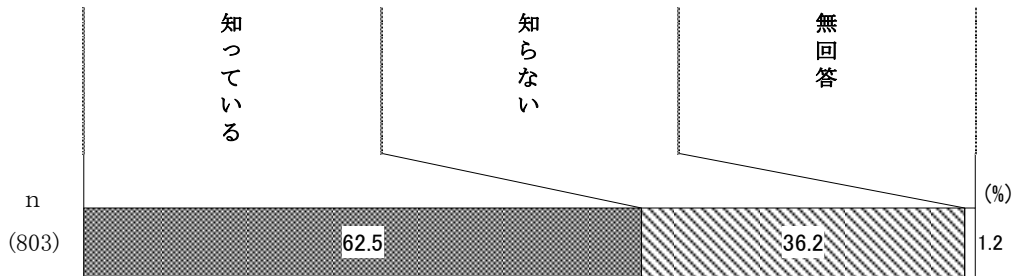
日本での居住年数別



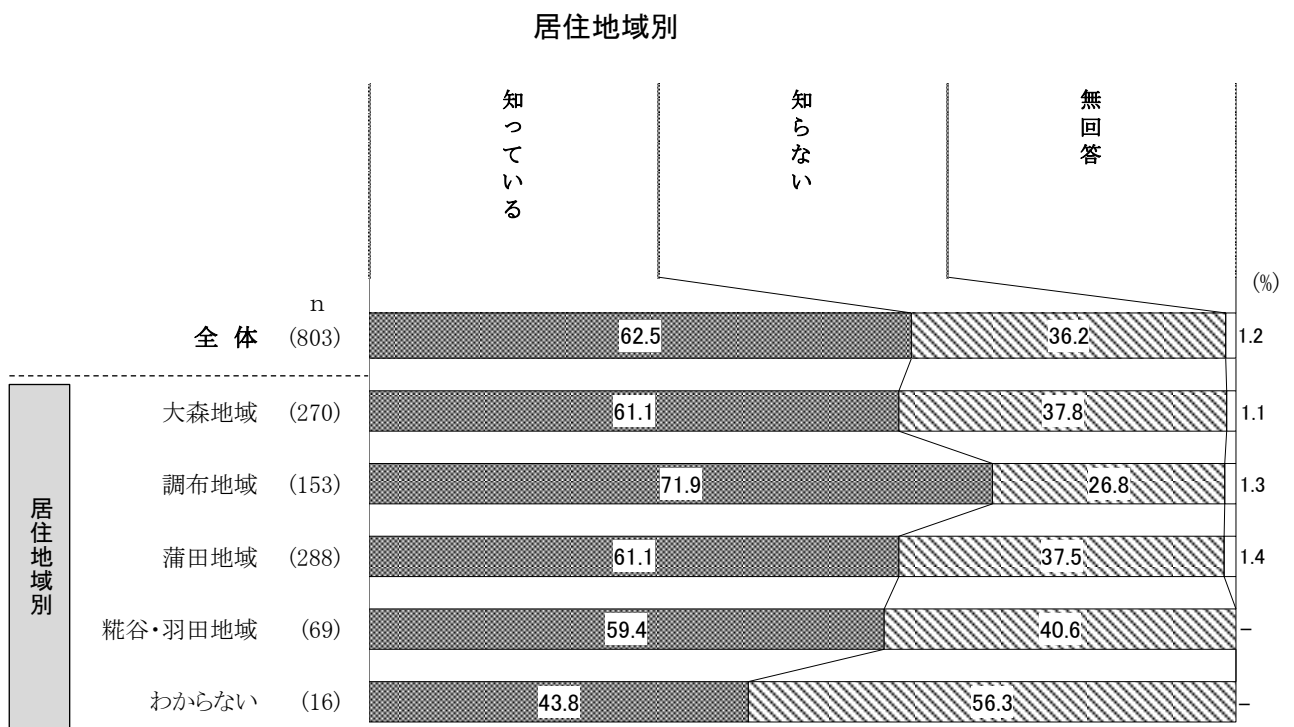
日本での居住年数別にみると、「知っている」はいずれの年数でも8割台となっている。

(2) 地域の避難先の認知度

問17 地震などの災害のときに、避難する場所を知っていますか。(回答は1つだけ)

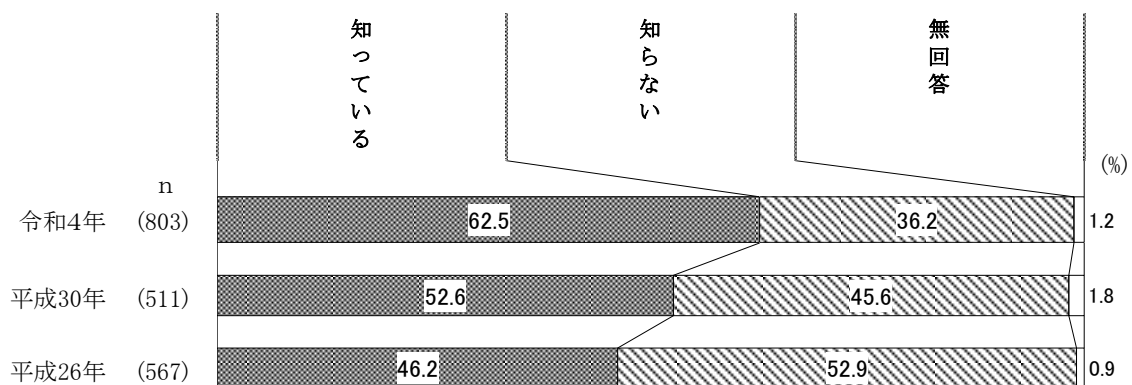


地域の避難先の認知度では、「知っている」が62.5%、「知らない」が36.2%となっている。



居住地域別にみると、「知っている」は【調布地域】で71.9%と最も高く、次いで、【大森地域】【蒲田地域】(ともに61.1%)、【糎谷・羽田地域】(59.4%)となっている。

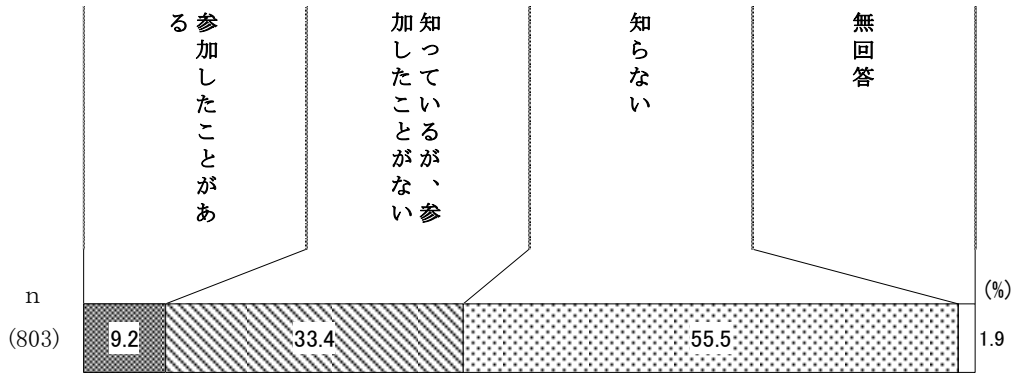
経年比較



過去の調査と比較すると、「知っている」は平成26年から16.3ポイント、平成30年から9.9ポイント増加している。

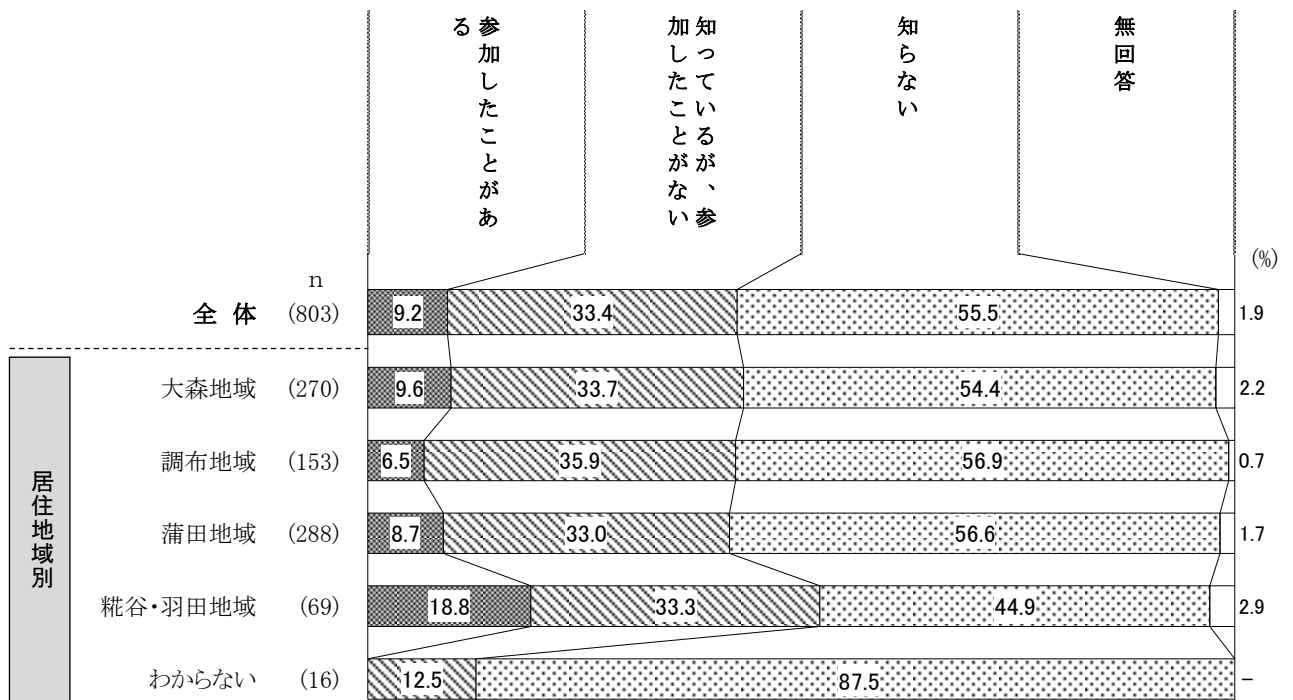
(3) 地域で行われている防災訓練への参加経験

問18 大田区では防災訓練を地域で行っています。防災訓練に参加したことがあります。
(回答は1つだけ)



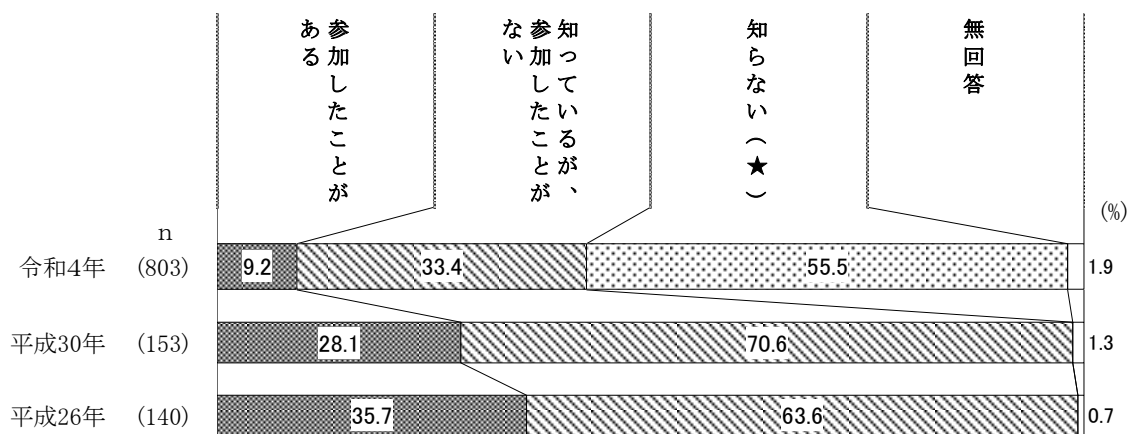
地域で行われている防災訓練への参加経験では、「参加したことがある」が9.2%、「知っているが、参加したことがない」が33.4%、「知らない」が55.5%となっている。

居住地域別



居住地域別にみると、「参加したことがある」は【糀谷・羽田地域】で18.8%と、他の地域に比べて高くなっている。「知っているが、参加したことがない」はすべての地域で3割台となっており、「知らない」は糀谷・羽田地域を除くすべての地域で5割台となっている。

経年比較



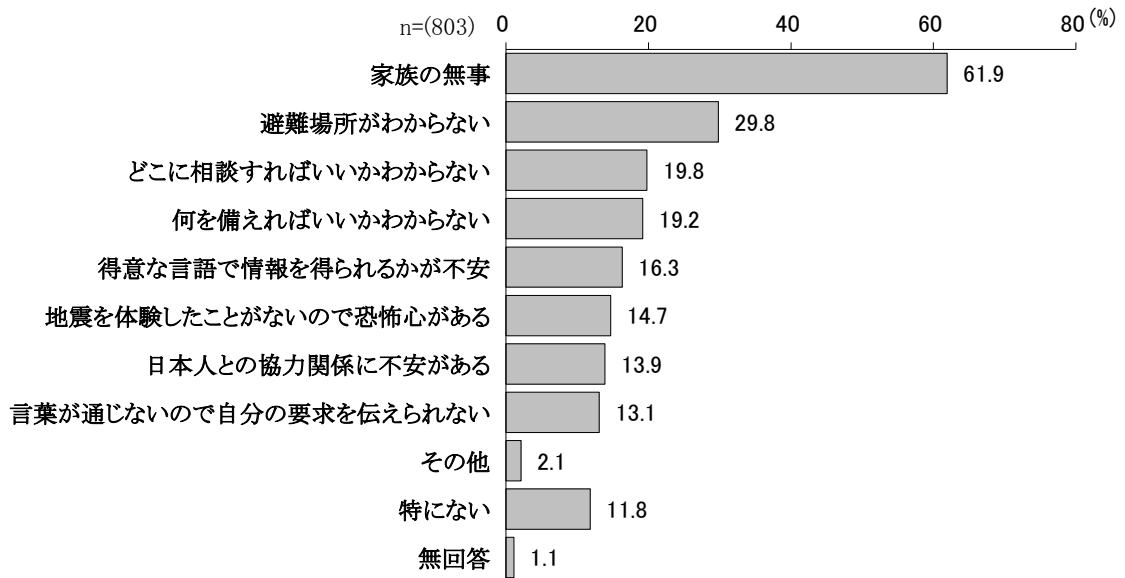
*平成26年度及び平成30年度調査では、防災訓練を「知っている」と回答した方のみを対象としているが、本年度調査ではすべての回答者を対象としている。

過去の調査と比較すると、平成30年から「参加したことがある」は18.9ポイント、「知っているが、参加したことがない」は37.2ポイント減少している。

(4) 災害が起きた時に心配なこと

問19 地震などの災害が起きたとき、あなたは何が心配ですか。

(回答はいくつでも)



災害が起きた時に心配なことでは、「家族の無事」が61.9%で最も高く、次いで、「避難場所がわからない」(29.8%)、「どこに相談すればいいかわからない」(19.8%)、「何を備えればいいかわからない」(19.2%)となっている。

日本での居住年数別／居住地域別

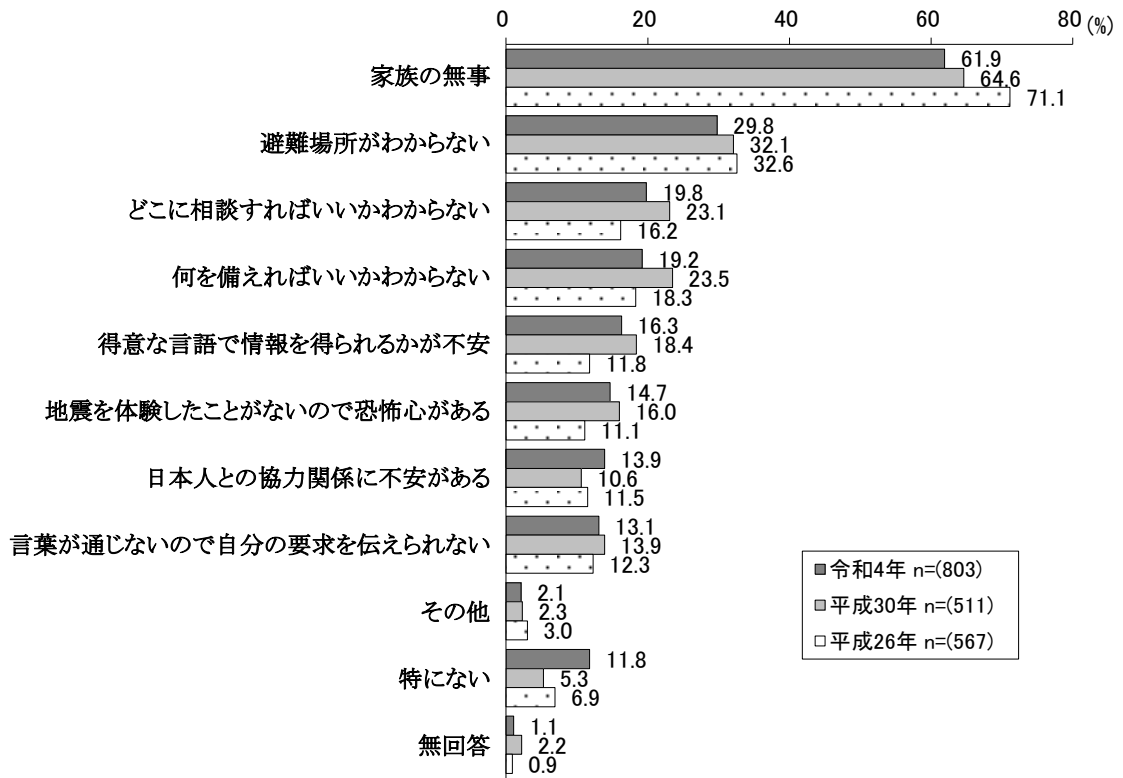
(%)

	調査数	家族の無事	避難場所がわからない	どこに相談すればいいかわからない	何を備えればいいかわからない	得意な言語で情報を得られるかが不安	地震を体験したことがある	日本人との協力関係に不安がある	言葉が通じないので自分の要求を伝えられない	その他	特になし	無回答
全体	803	61.9	29.8	19.8	19.2	16.3	14.7	13.9	13.1	2.1	11.8	1.1
【日本での居住年数別】												
0～3年未満	96	36.5	34.4	20.8	26.0	22.9	25.0	13.5	32.3	-	16.7	1.0
3年～10年未満	294	54.4	34.4	23.5	24.1	19.0	18.0	17.0	16.0	2.0	13.6	-
10年以上	407	73.2	25.6	16.7	14.0	12.8	9.8	11.8	6.4	2.7	9.6	1.7
【居住地域別】												
大森地域	270	64.4	29.3	21.1	20.7	16.7	14.4	13.7	11.9	1.9	10.0	1.5
調布地域	153	52.9	22.9	19.6	13.1	20.3	11.8	19.0	15.0	2.0	15.0	0.7
蒲田地域	288	62.5	31.3	18.8	19.1	13.5	14.6	12.5	13.2	2.1	13.2	1.4
糎谷・羽田地域	69	69.6	31.9	13.0	23.2	17.4	20.3	11.6	10.1	4.3	10.1	-
わからない	16	50.0	62.5	31.3	31.3	12.5	25.0	6.3	25.0	-	-	-

日本での居住年数別にみると、「家族の無事」は居住年数が長いほど割合が高く、【10年以上】で73.2%となっている。他の項目は居住年数が短いほどおおむね割合が高くなっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「家族の無事」が最も高く、次いで、「避難場所がわからない」となっている。【大森地域】では「どこに相談すればいいかわからない」、【調布地域】では「得意な言語で情報を得られるかが不安」、【蒲田地域】と【糎谷・羽田地域】では「何を備えればいいかわからない」が第3位となっている。

経年比較

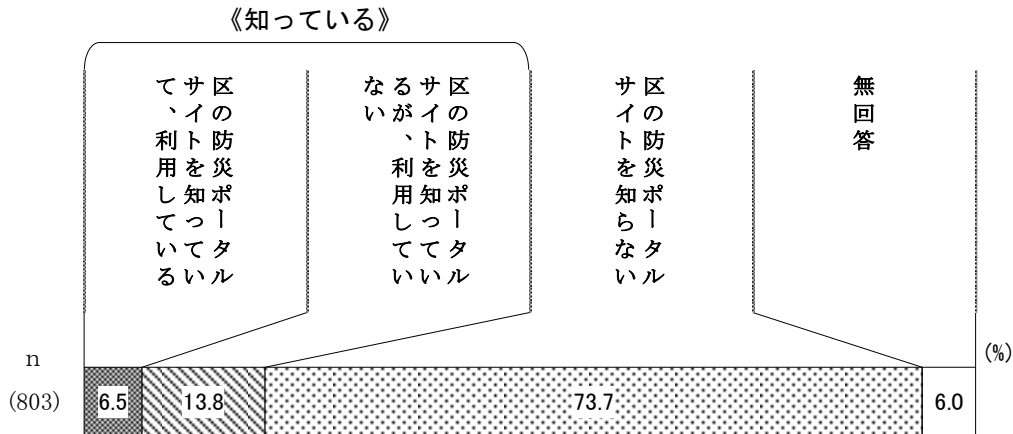


過去の調査と比較すると、「家族の無事」は平成26年から9.2ポイント減少している。ほとんどの項目が平成30年から減少しているなかで、「日本人との協力関係に不安がある」のみ平成30年から3.3ポイント増加している。

(5) 防災ポータルサイトの認知度／区民安全・安心メールの認知度

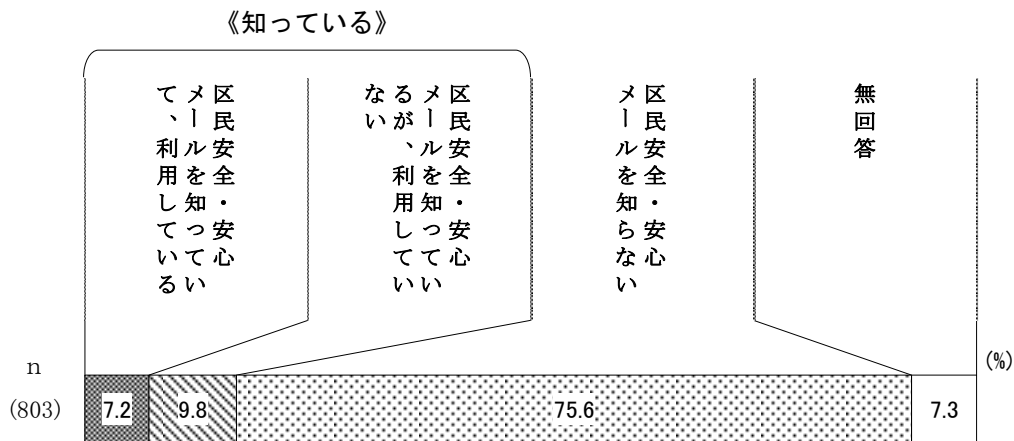
問20 区の防災ポータルサイトや緊急時に届く区民安全・安心メールを知っていますか。
 (回答は防災ポータルサイト・区民安全・安心メール別に1つずつ)

【防災ポータルサイトの認知度】



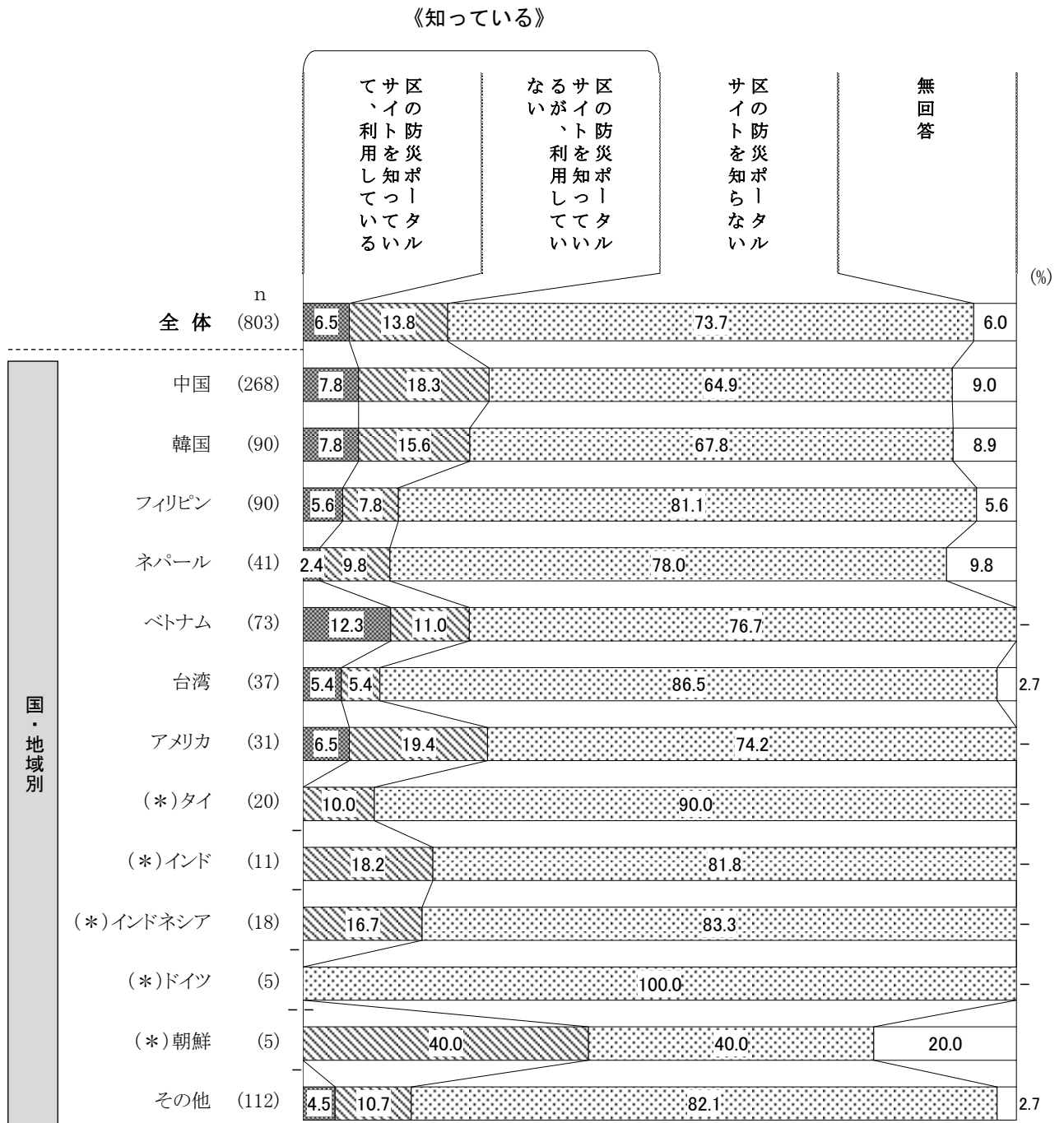
防災ポータルサイトの認知度では、「区の防災ポータルサイトを知っていて、利用している」が6.5%、「区の防災ポータルサイトを知っているが、利用していない」が13.8%、「区の防災ポータルサイトを知らない」が73.7%となっている。

【区民安全・安心メールの認知度】



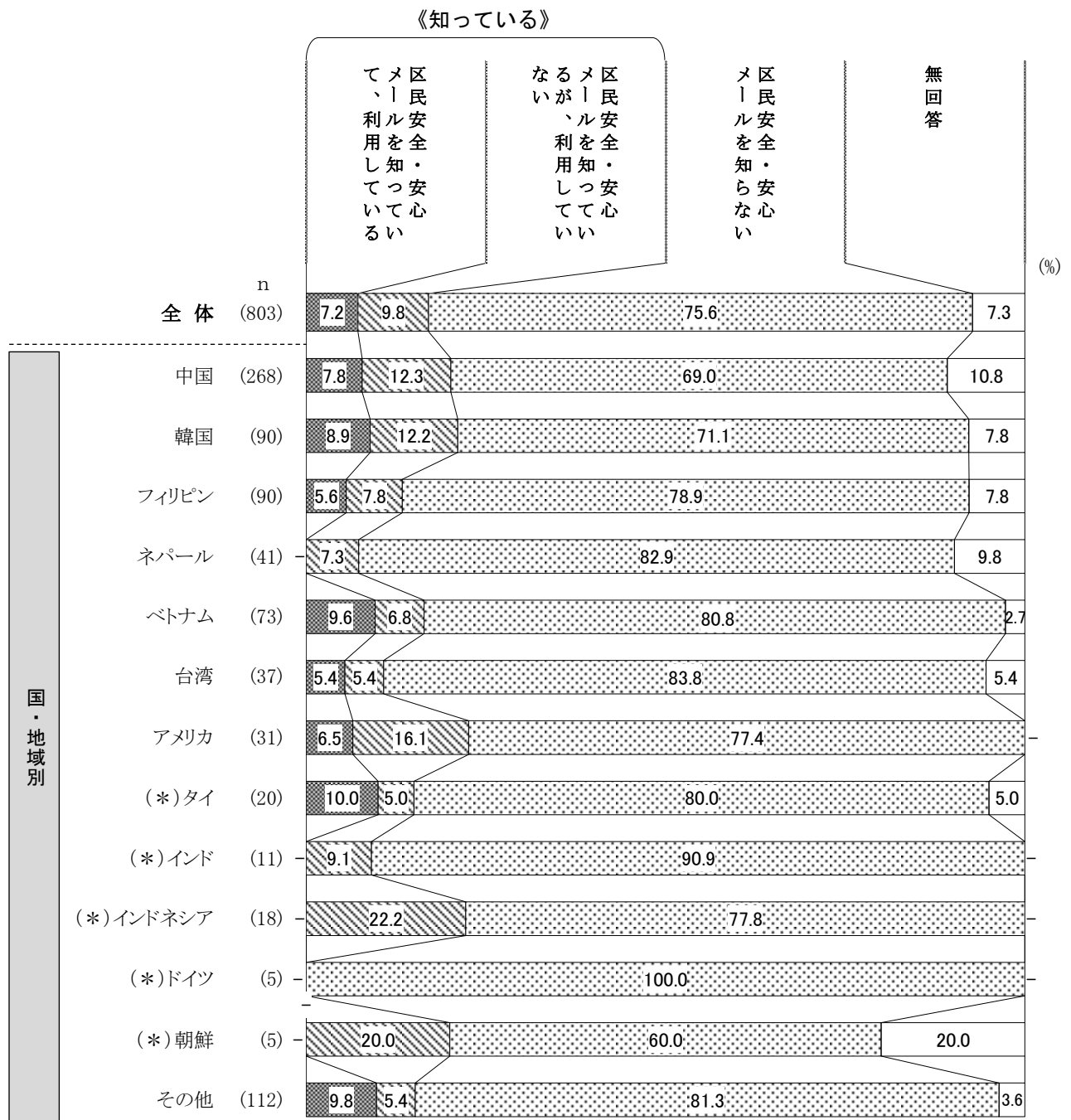
区民安全・安心メールの認知度では、「区民安全・安心メールを知っていて、利用している」が7.2%、「区民安全・安心メールを知っているが、利用していない」が9.8%、「区民安全・安心メールを知らない」が75.6%となっている。

防災ポータルサイトの認知度／国・地域別



国・地域別にみると、《区の防災ポータルサイトを知っている》（「区の防災ポータルサイトを知っていて、利用している」と「区の防災ポータルサイトを知っているが、利用していない」を足した割合）は、【中国】（26.1%）、【アメリカ】（25.9%）、【韓国】（23.4%）、【ベトナム】（23.3%）で高くなっている。なお、「区の防災ポータルサイトを知っていて、利用している」は【ベトナム】で12.3%と最も高くなっている。一方、「区の防災ポータルサイトを知らない」は【台湾】（86.5%）、【フィリピン】（81.1%）で高くなっている。

区民安全・安心メールの認知度／国・地域別



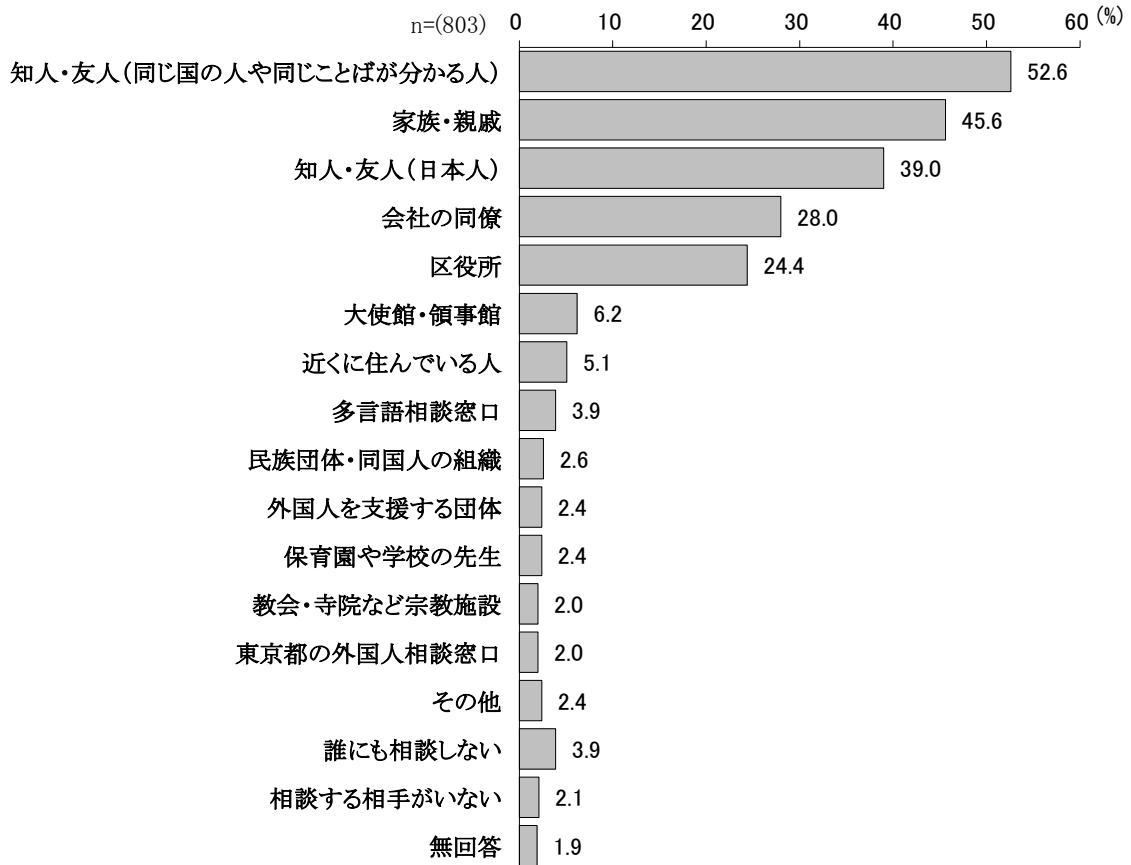
国・地域別にみると、《区民安全・安心メールを知っている》（「区民安全・安心メールを知っていて、利用している」と「区民安全・安心メールを知っているが、利用していない」を足した割合）は、【アメリカ】(22.6%)、【韓国】(21.1%)、【中国】(20.1%)で高くなっている。なお、「区民安全・安心メールを知っているが、利用していない」は【アメリカ】で16.1%と最も高くなっている。一方、「区民安全・安心メールを知らない」は【台湾】(83.8%)、【ネパール】(82.9%)、【ベトナム】(80.8%)で高くなっている。

6. 情報提供・相談体制について

(1) 生活で困った時の相談先

問21 生活で困っていることがある場合、どこ（または誰）に相談しますか。

(回答はいくつでも)



生活で困った時の相談先では、「知人・友人（同じ国の人や同じことばが分かる人）」が52.6%で最も高く、次いで、「家族・親戚」（45.6%）、「知人・友人（日本人）」（39.0%）、「会社の同僚」（28.0%）、「区役所」（24.4%）となっている。

国・地域別／在留資格別

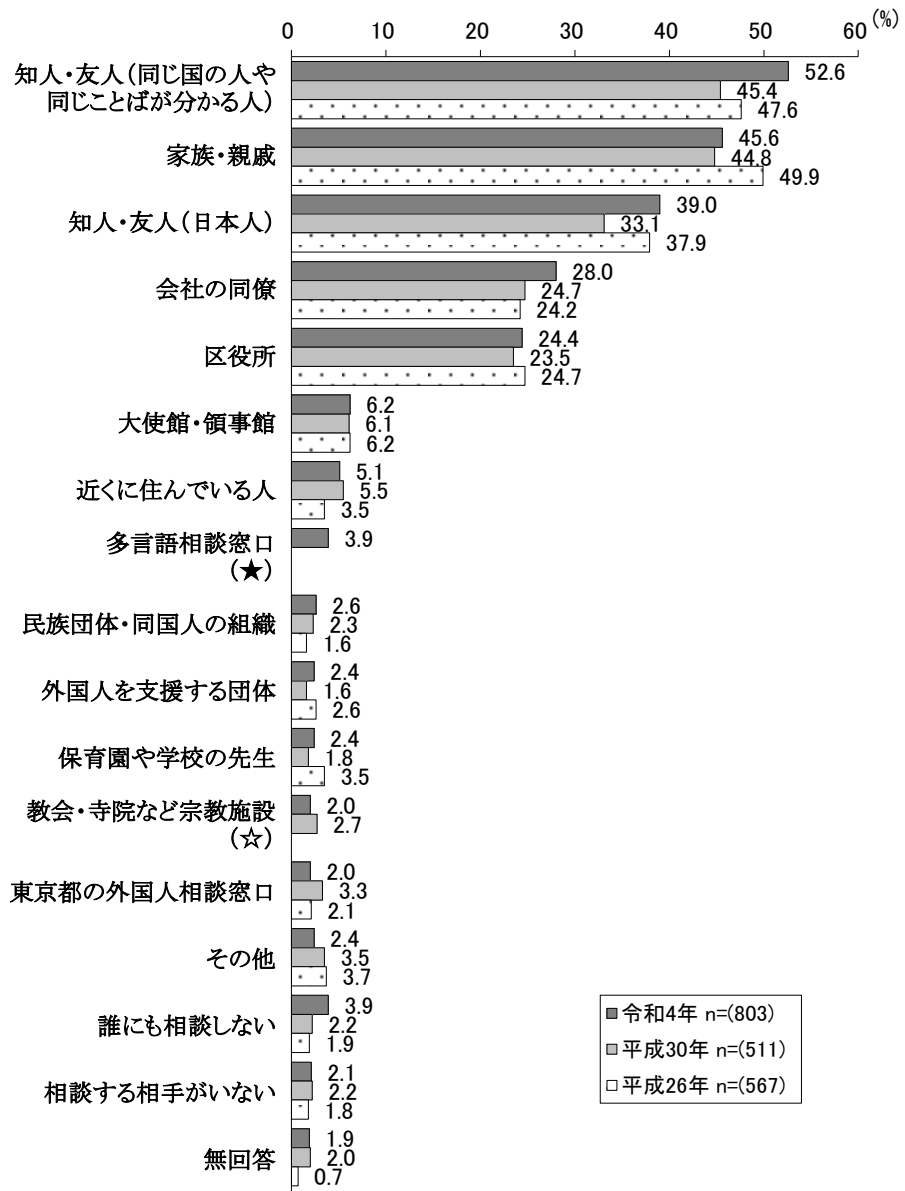
(%)

	調査数	知人・友人(同じ国の人や同じことばが分かる人)	家族・親戚	知人・友人(日本人)	会社の同僚	区役所	大使館・領事館	近くに住んでいる人	多言語相談窓口	民族団体・同国人の組織	外国人を支援する団体	保育園や学校の先生	教会・寺院など宗教施設	東京都の外国人相談窓口	その他	誰にも相談しない	相談する相手がいない	無回答
全体	803	52.6	45.6	39.0	28.0	24.4	6.2	5.1	3.9	2.6	2.4	2.4	2.0	2.0	2.4	3.9	2.1	1.9
【国・地域別】																		
中国	268	59.3	43.7	31.0	21.6	32.8	7.8	4.9	4.1	0.7	2.6	3.0	-	3.7	1.9	3.0	2.6	2.6
韓国	90	28.9	47.8	36.7	16.7	25.6	5.6	3.3	-	5.6	1.1	-	2.2	-	2.2	12.2	-	3.3
フィリピン	90	50.0	53.3	35.6	30.0	33.3	5.6	1.1	6.7	1.1	1.1	-	3.3	1.1	2.2	2.2	2.2	1.1
ネパール	41	61.0	48.8	48.8	31.7	22.0	7.3	7.3	9.8	2.4	9.8	2.4	2.4	2.4	2.4	-	2.4	4.9
ベトナム	73	64.4	32.9	32.9	35.6	17.8	4.1	6.8	5.5	6.8	5.5	5.5	1.4	1.4	-	5.5	2.7	-
台湾	37	56.8	54.1	56.8	24.3	13.5	2.7	8.1	2.7	-	-	-	-	5.4	2.7	-	8.1	-
アメリカ	31	45.2	61.3	41.9	35.5	19.4	3.2	12.9	-	-	-	3.2	6.5	-	3.2	-	3.2	3.2
(*)タイ	20	55.0	50.0	45.0	30.0	15.0	15.0	5.0	-	5.0	-	-	-	-	5.0	5.0	-	5.0
(*)インド	11	63.6	18.2	63.6	63.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
(*)インドネシア	18	77.8	33.3	61.1	38.9	16.7	-	5.6	11.1	5.6	5.6	5.6	-	5.6	-	-	-	-
(*)ドイツ	5	80.0	20.0	80.0	60.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	20.0	-	-
(*)朝鮮	5	40.0	60.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	40.0	20.0	-	-	-	-	20.0	-	-
その他	112	42.0	46.4	49.1	37.5	12.5	6.3	5.4	2.7	2.7	-	3.6	6.3	-	5.4	2.7	0.9	-
【在留資格別】																		
身分又は地位に基づく在留資格	433	43.9	57.7	35.8	21.2	27.3	6.0	6.5	3.0	2.8	1.2	1.6	2.1	1.6	2.3	4.4	1.6	2.3
専門的・技術的分野の在留資格	237	62.0	28.7	48.1	46.8	20.3	5.5	2.5	3.0	1.7	3.4	2.1	1.3	2.5	3.0	3.0	3.4	1.3
留学	44	72.7	20.5	40.9	13.6	20.5	9.1	6.8	2.3	2.3	2.3	11.4	4.5	2.3	2.3	4.5	2.3	-
その他	75	65.3	44.0	33.3	18.7	20.0	6.7	5.3	13.3	5.3	5.3	2.7	2.7	2.7	1.3	2.7	1.3	1.3

国・地域別にみると、「知人・友人(同じ国の人や同じことばが分かる人)」は【ベトナム】(64.4%)、【ネパール】(61.0%)で6割台と高くなっている。また、「知人・友人(日本人)」は【台湾】(56.8%)、「区役所」は【フィリピン】(33.3%)と【中国】(32.8%)で他の国籍に比べて高くなっている。

在留資格別にみると、【専門的・技術的分野の在留資格】【留学】【その他】では「知人・友人(同じ国の人や同じことばが分かる人)」、【身分又は地位に基づく在留資格】では「家族・親戚」が最も高くなっている。

経年比較

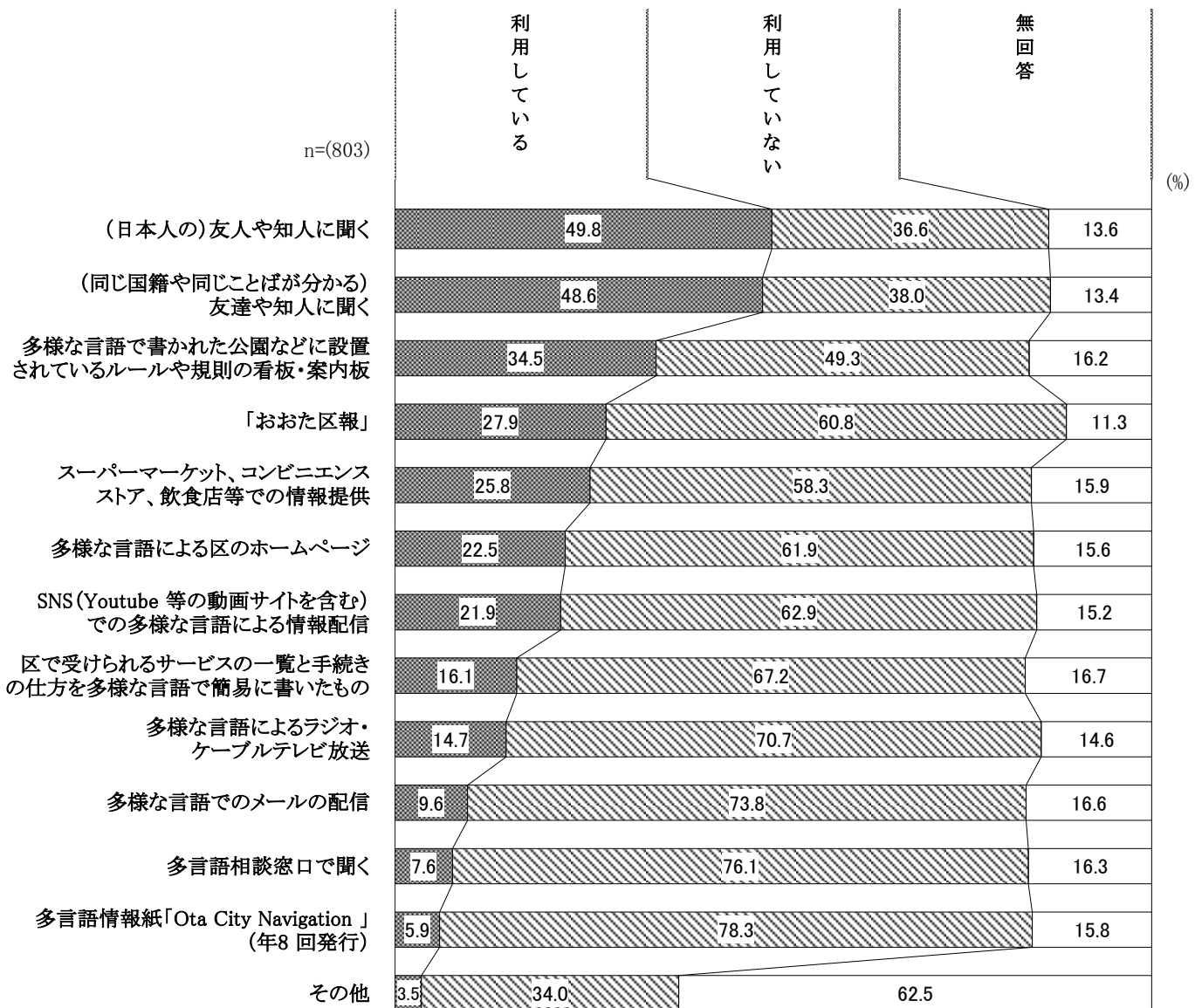


過去の調査と比較すると、平成30年から「知人・友人（同じ国の人や同じことばが分かる人）」は7.2ポイント、「知人・友人（日本人）」は5.9ポイント増加している。

(2) 情報収集にあたって利用している手段／行政サービス等の周知手段の希望

問22 あなたは、行政サービスやくらしの情報・ルールをどのような手段で知りますか。また、どのような手段を希望しますか。(「A」：回答は1つ、「B」：回答はいくつでも)

【A. 利用している手段】

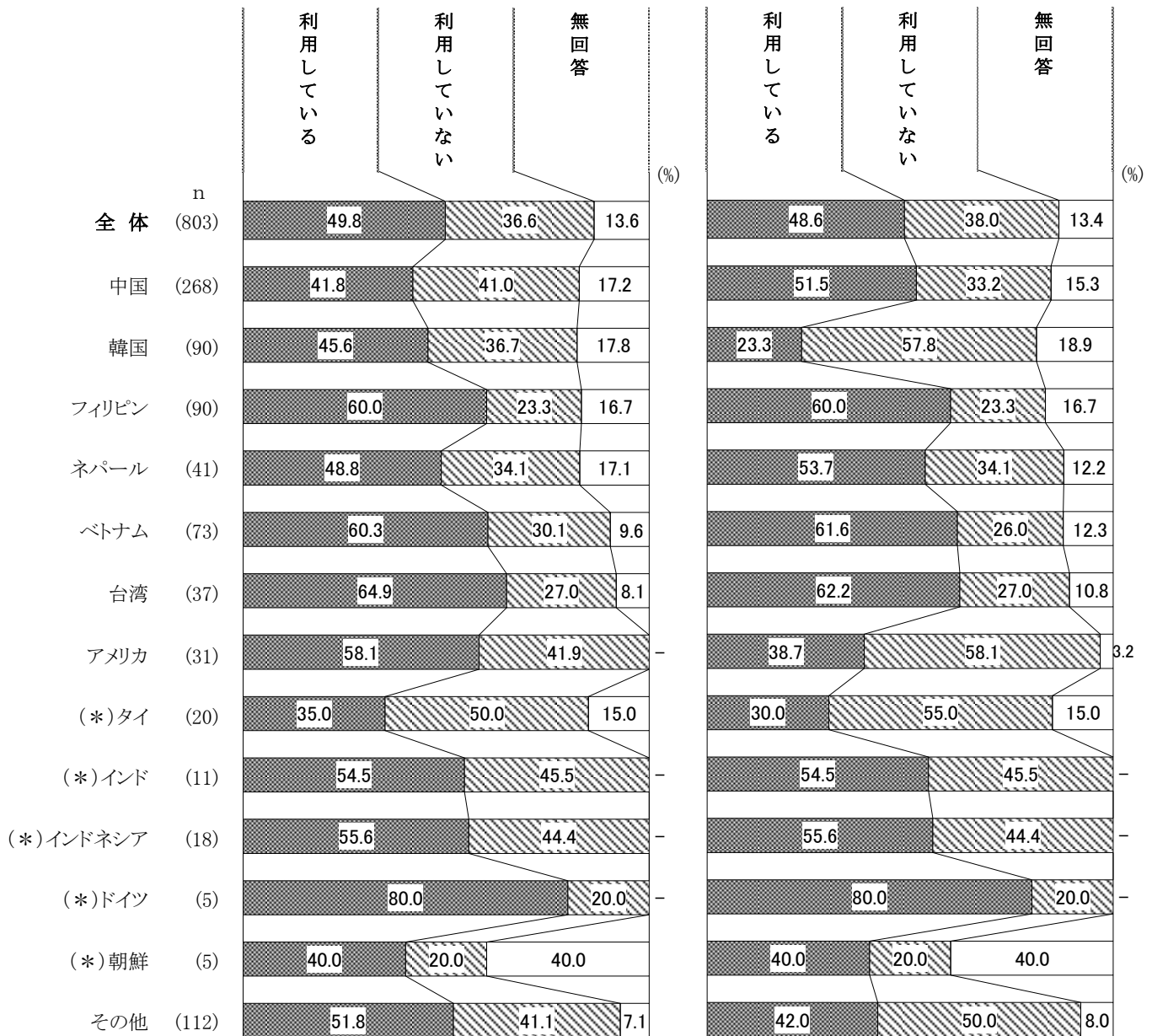


「利用している」が高い項目は、「(日本人の)友人や知人に聞く」(49.8%)、「(同じ国籍や同じことばが分かる)友達や知人に聞く」(48.6%)、「多様な言語で書かれた公園などに設置されているルールや規則の看板・案内板」(34.5%)となっている。

A. 利用している手段／国・地域別

【(日本人の) 友人や知人に聞く】

【(同じ国籍や同じことばが分かる) 友達や知人に聞く】

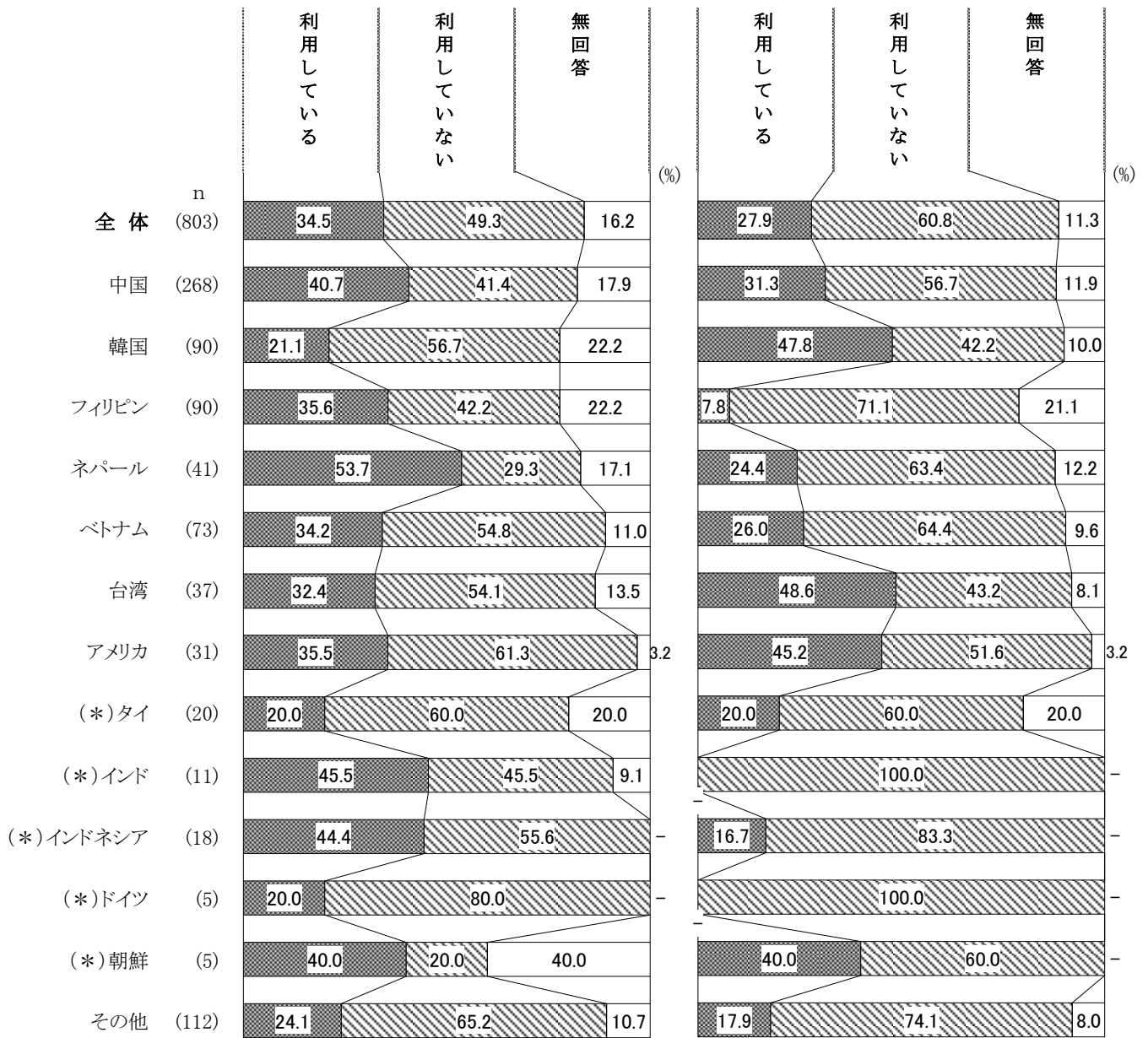


(日本人の) 友人や知人に聞くでは、「利用している」が49.8%、「利用していない」が36.6%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用している」が「利用していない」を上回っており、【台湾】(64.9%)、【ベトナム】(60.3%)、【フィリピン】(60.0%)で高くなっている。

(同じ国籍や同じことばが分かる) 友達や知人に聞くでは、「利用している」が48.6%、「利用していない」が38.0%となっている。また、国・地域別にみると、【韓国】と【アメリカ】以外では「利用している」が「利用していない」を上回っており、【台湾】(62.2%)、【ベトナム】(61.6%)、【フィリピン】(60.0%)で高くなっている。

【多様な言語で書かれた公園などに
設置されているルールや規則・案内板】

【「おおた区報】】

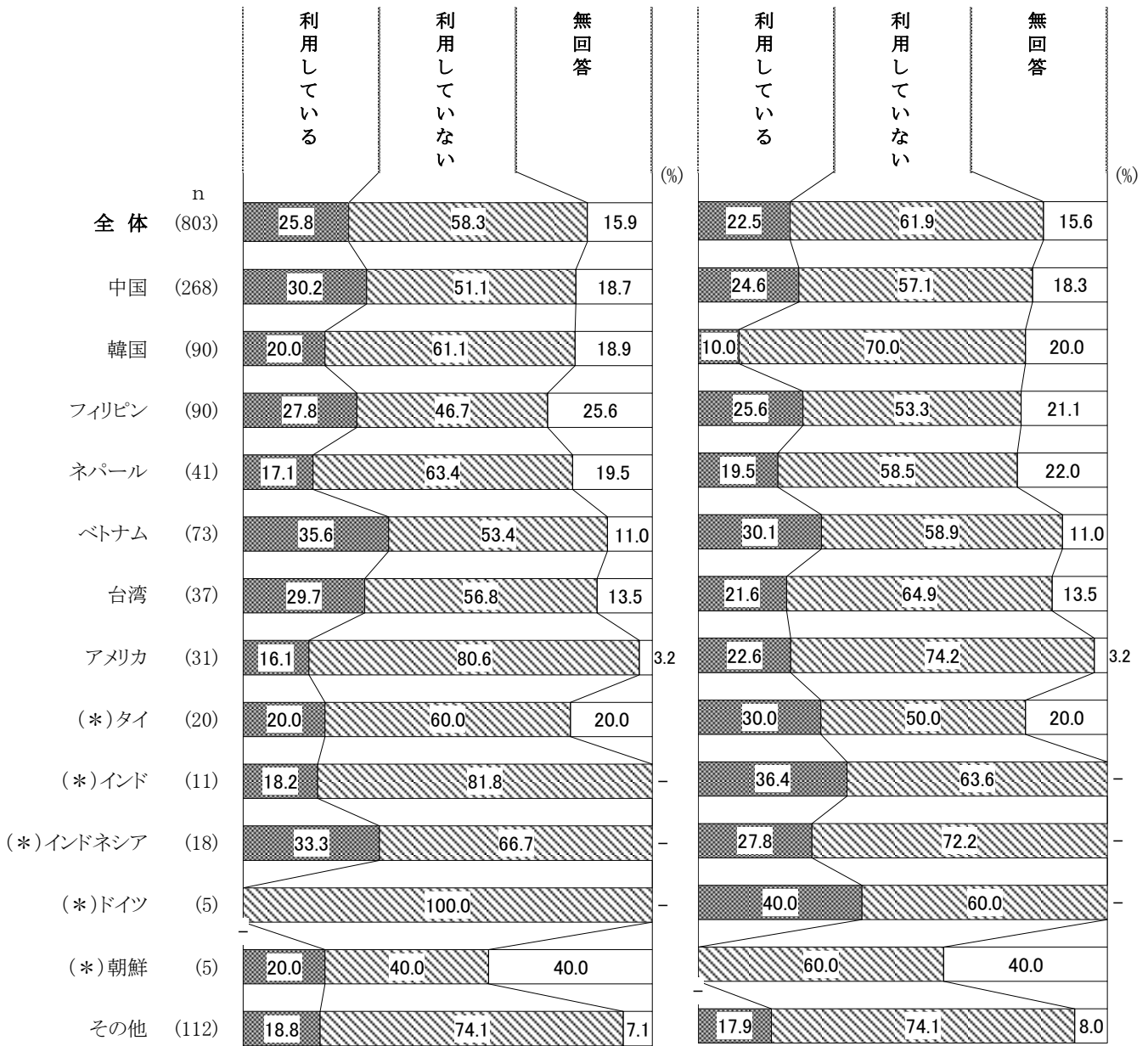


多様な言語で書かれた公園などに設置されているルールや規則の看板・案内板では、「利用していない」が49.3%、「利用している」が34.5%となっている。また、国・地域別にみると、【ネパール】のみ「利用している」が「利用していない」を上回っており、53.7%と半数を超えている。

「おおた区報」では、「利用していない」が60.8%、「利用している」が27.9%となっている。また、国・地域別にみると、【韓国】と【台湾】では「利用している」が「利用していない」を上回っている。一方、「利用していない」は【フィリピン】で71.1%と他の国籍に比べて高くなっている。

【スーパーマーケット、コンビニエンスストア、飲食店等での情報提供】

【多様な言語による区のホームページ】

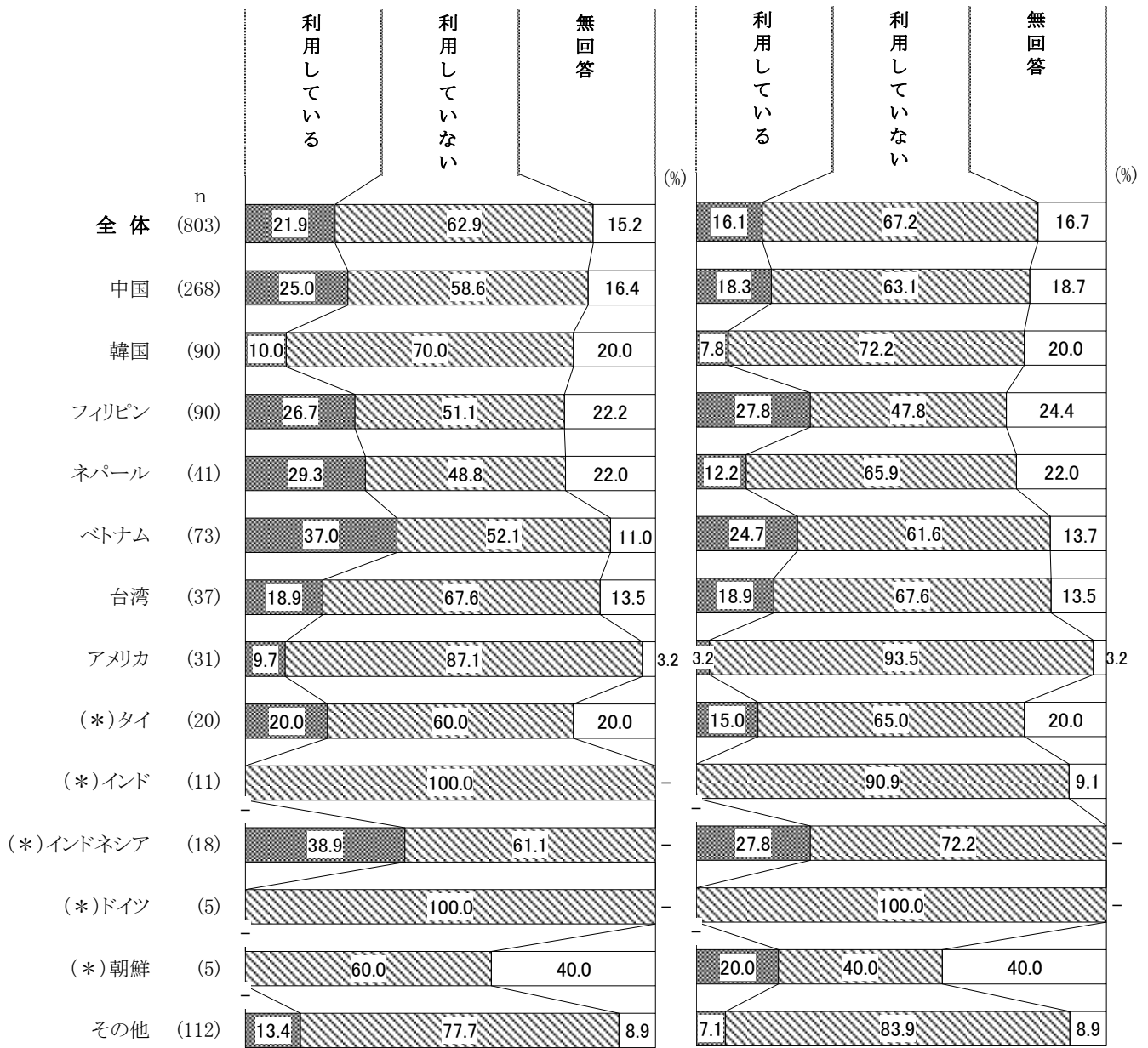


スーパーマーケット、コンビニエンスストア、飲食店等での情報提供では、「利用していない」が 58.3%、「利用している」が 25.8%となっている。また、国・地域別にみると、「利用している」は【ベトナム】(35.6%)と【中国】(30.2%)で高くなっている。一方、「利用していない」は【アメリカ】で 80.6%となっている。

多様な言語による区のホームページでは、「利用していない」が 61.9%、「利用している」が 22.5%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用していない」が半数を超えており、特に【アメリカ】で 74.2%、【韓国】で 70.0%と高くなっている。また、「利用している」は【ベトナム】で 30.1%と他の国籍に比べて高くなっている。

【SNS (Youtubeなどの動画サイトを
含む) の多様な言語による情報発信】

【区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で
簡易に書いたもの】

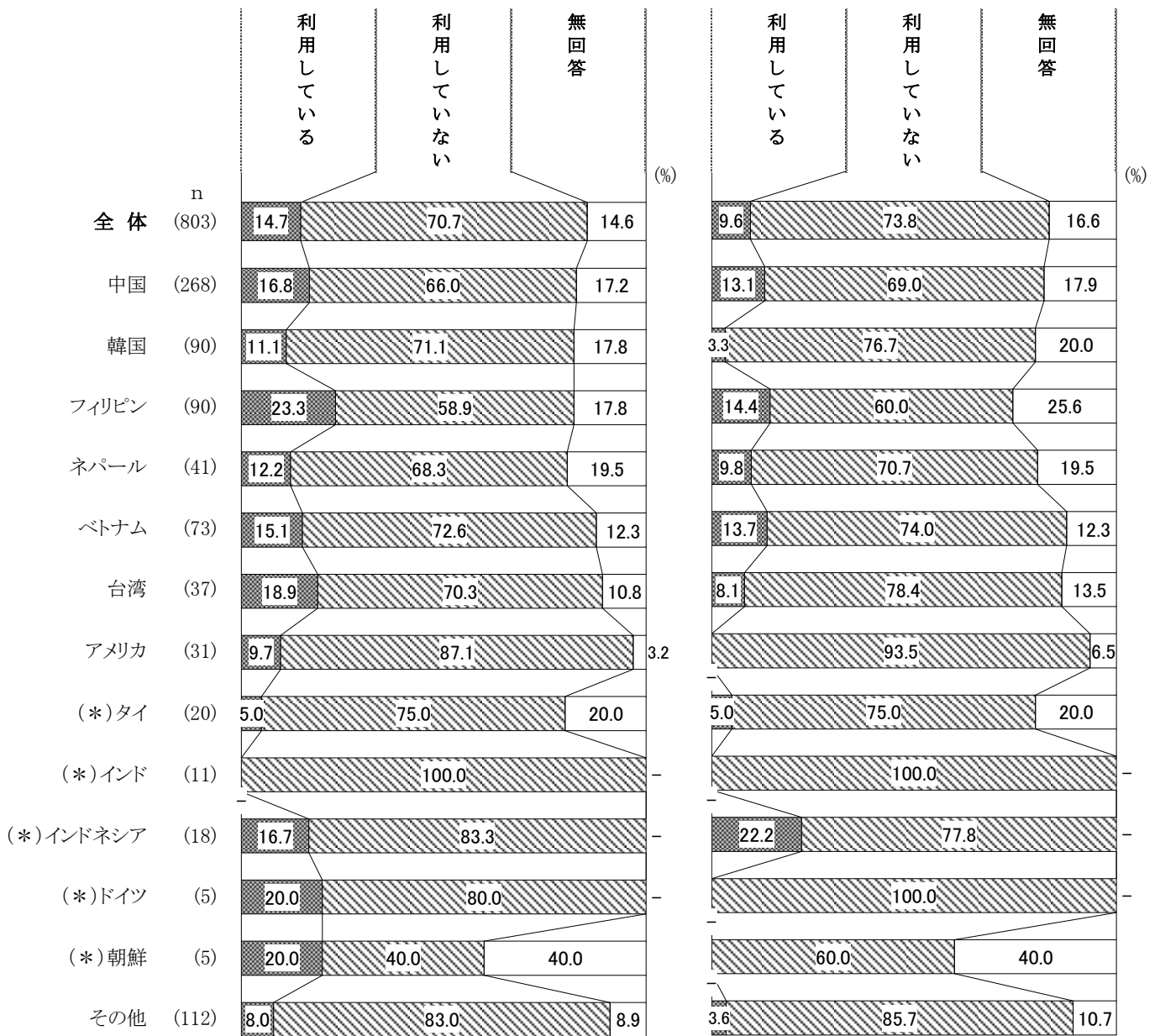


SNS (Youtube 等の動画サイトを含む) での多様な言語による情報配信では、「利用していない」が 62.9%、「利用している」が 21.9%となっている。また、国・地域別にみると、「利用している」は【ベトナム】で 37.0%と高くなっている。一方、「利用していない」は【アメリカ】で 87.1%と高くなっている。

区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で簡易に書いたものでは、「利用していない」が 67.2%、「利用している」が 16.1%となっている。また、国・地域別にみると、「利用している」は【フィリピン】で 27.8%、【ベトナム】で 24.7%と高くなっている。一方、「利用していない」は【アメリカ】で 93.5%と高くなっている。

【多様な言語によるラジオ・ケーブル
テレビ放送】

【多様な言語でのメール配信】

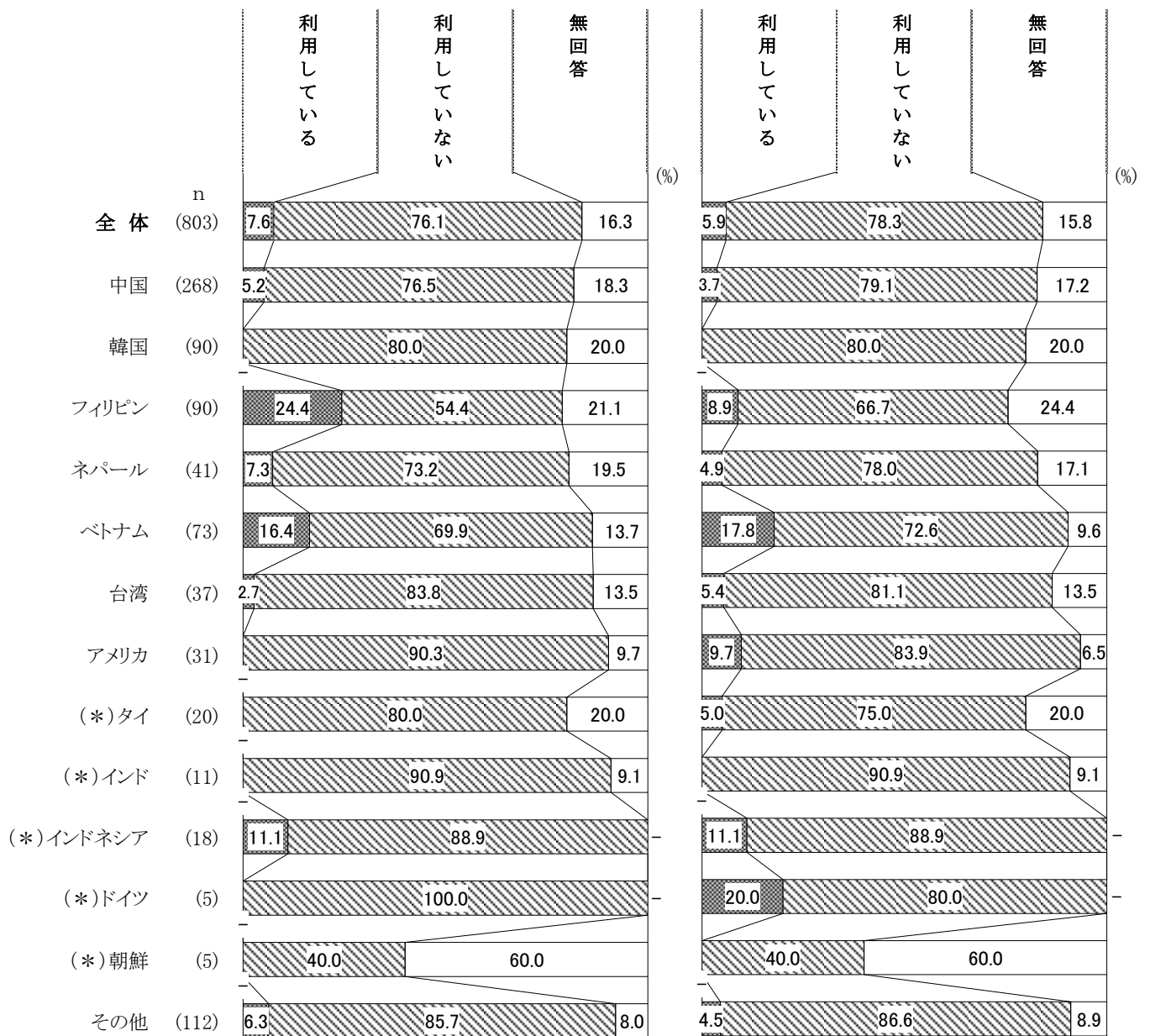


多様な言語によるラジオ・ケーブルテレビ放送では、「利用していない」が70.7%、「利用している」が14.7%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用していない」が半数を超えており、特に【アメリカ】で87.1%と高くなっている。また、「利用している」は【フィリピン】で23.3%と他の国籍に比べて高くなっている。

多様な言語でのメールの配信では、「利用していない」が73.8%、「利用している」が9.6%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用していない」が6割を超えており、特に【アメリカ】では93.5%と高くなっている。

【多言語相談窓口で聞く】

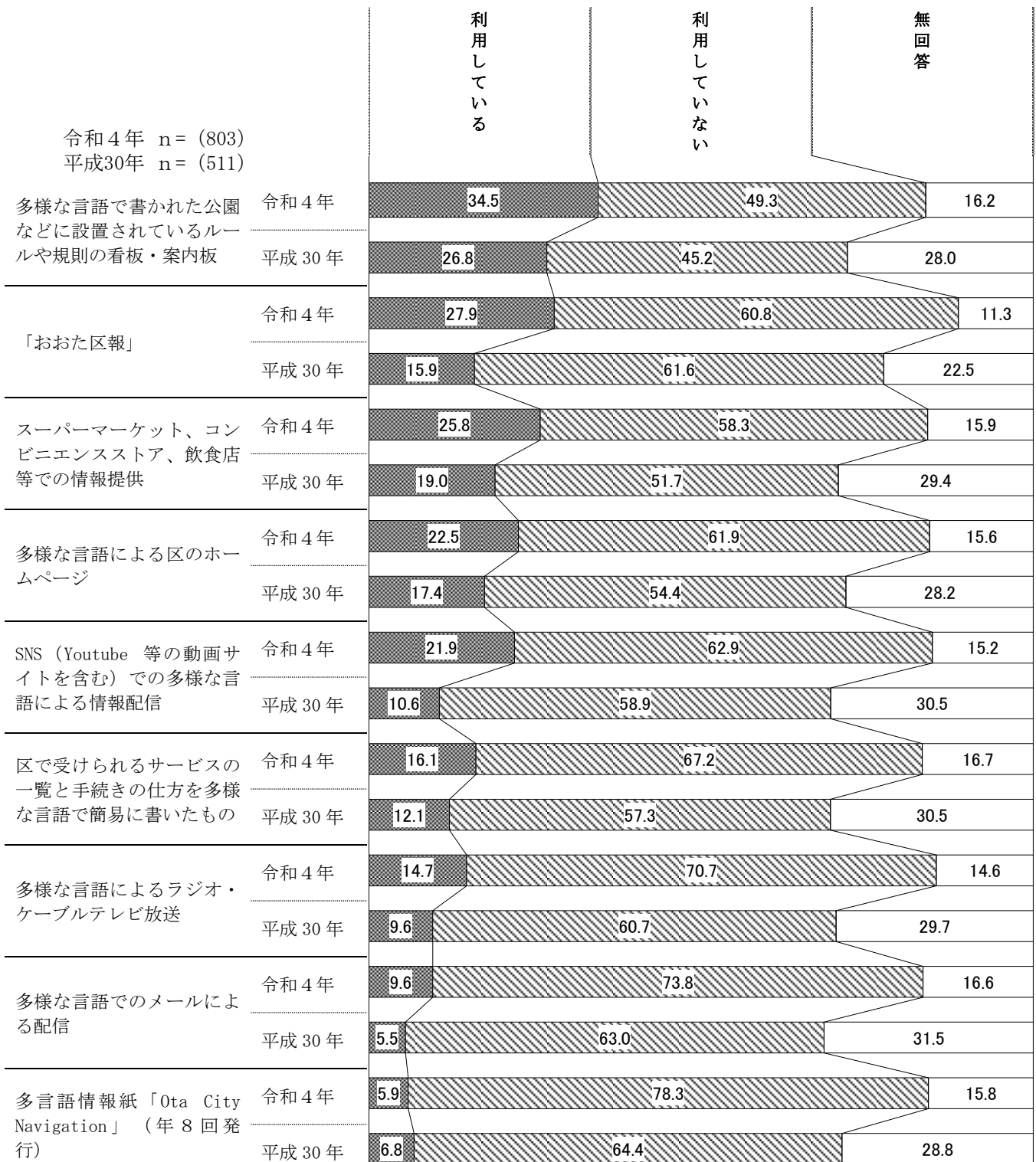
【多言語情報誌「Ota City Navigation」
(年8回発行)】



多言語相談窓口で聞くでは、「利用していない」が76.1%、「利用している」が7.6%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用していない」が半数を超えており、特に【アメリカ】では90.3%と高くなっている。また、「利用している」は【フィリピン】で24.4%と他の国籍に比べて高くなっている。

多言語情報誌「Ota City Navigation」(年8回発行)では、「利用していない」が78.3%、「利用している」が5.9%となっている。また、国・地域別にみると、すべての国籍で「利用していない」が6割を超えており、特に【アメリカ】(83.9%)、【台湾】(81.1%)、【韓国】(80.0%)と高くなっている。

経年比較（比較可能なもの）



* 「おおた区報」は、平成30年度調査では「多様な言語による「おおた区報」」であった。
* 「SNS（Youtube等の動画サイトを含む）での多様な言語による情報配信」は、平成30年度調査では「SNSなどでの情報発信」であった。

過去の調査と比較すると、すべての項目で増減の傾向がみられた。

個別にみると、「多様な言語で書かれた公園などに設置されているルールや規則の看板・案内板」で「利用している」は7.7ポイント増加している。

「おおた区報」で「利用している」は12.0ポイント増加している。

「スーパーマーケット、コンビニエンスストア、飲食店等での情報提供」で「利用している」は6.8ポイント、「利用していない」も6.6ポイント増加している。

「多様な言語による区のホームページ」で「利用している」は5.1ポイント、「利用していない」も7.5ポイント増加している。

「SNS（Youtube等の動画サイトを含む）での多様な言語による情報配信」で「利用している」は11.3ポイント増加している。

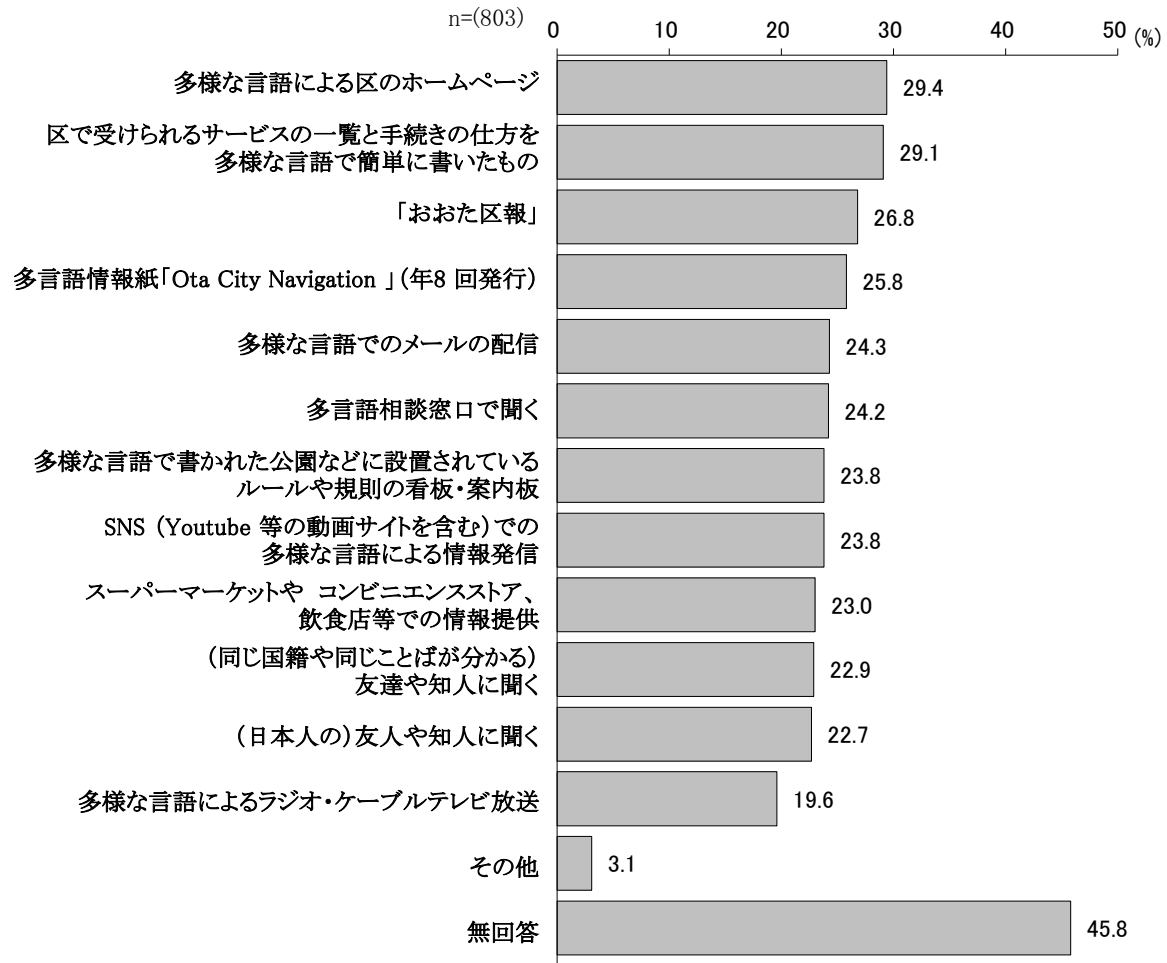
「区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で簡易に書いたもの」で「利用していない」は9.9ポイント増加している。

「多様な言語によるラジオ・ケーブルテレビ放送」で「利用している」は5.1ポイント、「利用していない」も10.0ポイント増加している。

「多様な言語でのメールによる配信」で「利用していない」は10.8ポイント増加している。

「多言語情報紙「Ota City Navigation」（年8回発行）」で「利用していない」は13.9ポイント増加している。

【B. 希望する手段】



行政サービス等の周知手段の希望では、「多様な言語による区のホームページ」が29.4%で最も高く、次いで、「区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で簡単に書いたもの」(29.1%)、「「おおた区報」」(26.8%)、「多言語情報紙「Ota City Navigation」(年8回発行)」(25.8%)となっている。

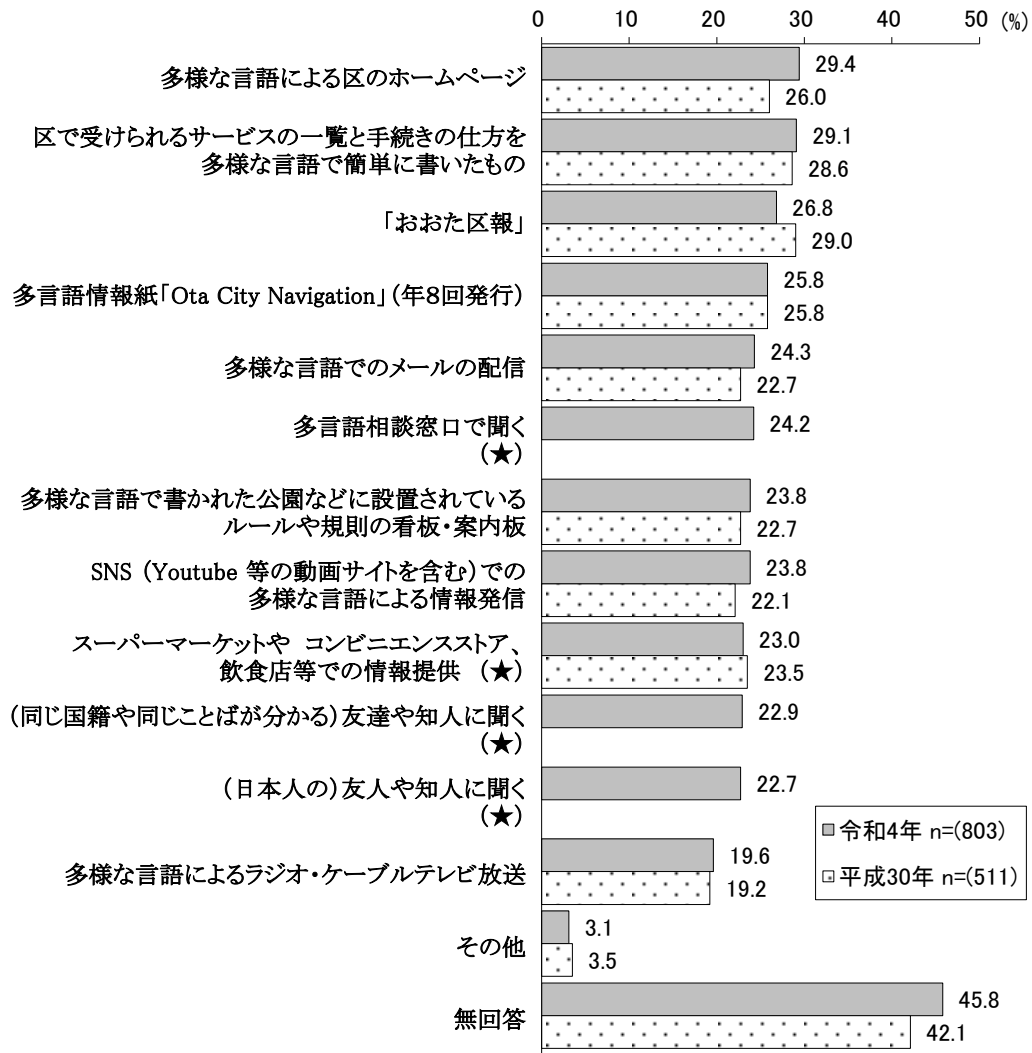
国・地域別

(%)

	調査数	多様な言語による区のホームページ	区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で簡単に書いたもの	「おおた区報」	多言語情報紙「Ota City Navigation」(年8回発行)	多様な言語でのメールの配信	多言語相談窓口で聞く	多様な言語で書かれた公園などに設置されているルールや規則の看板・案内板	SNS(YouTube等の動画サイトを含む)での多様な言語による情報発信	スーパーマーケットやコンビニエンスストア、飲食店等での情報提供	(同じ国籍や同じことばが分かる)友達や知人に聞く	(日本人の)友人や知人に聞く	多様な言語によるラジオ・ケーブルテレビ放送	その他	無回答	
全体	803	29.4	29.1	26.8	25.8	24.3	24.2	23.8	23.8	23.0	22.9	22.7	19.6	3.1	45.8	
【国・地域別】																
中国	268	26.5	25.4	24.6	20.5	20.9	20.9	22.4	22.0	20.5	22.0	19.0	19.8	3.0	49.3	
韓国	90	12.2	7.8	31.1	8.9	6.7	6.7	13.3	7.8	12.2	12.2	15.6	6.7	-	62.2	
フィリピン	90	31.1	33.3	22.2	27.8	28.9	31.1	22.2	23.3	27.8	25.6	25.6	23.3	5.6	41.1	
ネパール	41	24.4	22.0	34.1	26.8	24.4	24.4	31.7	29.3	24.4	26.8	26.8	22.0	9.8	51.2	
ベトナム	73	20.5	21.9	21.9	24.7	20.5	24.7	23.3	23.3	20.5	27.4	27.4	16.4	2.7	57.5	
台湾	37	29.7	43.2	43.2	32.4	29.7	21.6	18.9	27.0	27.0	27.0	21.6	13.5	-	32.4	
アメリカ	31	38.7	45.2	41.9	41.9	32.3	25.8	41.9	25.8	38.7	29.0	25.8	25.8	3.2	32.3	
(*)タイ	20	30.0	35.0	25.0	35.0	25.0	35.0	20.0	30.0	25.0	25.0	20.0	20.0	-	60.0	
(*)インド	11	36.4	45.5	27.3	63.6	45.5	63.6	36.4	18.2	36.4	36.4	36.4	36.4	-	-	
(*)インドネシア	18	66.7	50.0	27.8	38.9	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	38.9	44.4	44.4	5.6	22.2	
(*)ドイツ	5	80.0	40.0	60.0	40.0	40.0	60.0	60.0	-	20.0	80.0	80.0	20.0	-	20.0	
(*)朝鮮	5	-	20.0	-	20.0	-	20.0	-	-	-	20.0	20.0	-	-	80.0	
その他	112	45.5	44.6	23.2	36.6	35.7	29.5	25.9	34.8	25.0	17.9	23.2	22.3	3.6	32.1	

国・地域別にみると、「多様な言語による区のホームページ」は【アメリカ】で38.7%と高くなっている。【アメリカ】では多くの項目が他の地域に比べて高く、特に、「区で受けられるサービスの一覧と手続きの仕方を多様な言語で簡単に書いたもの」(45.2%)、「「おおた区報」」、「多言語情報紙「Ota City Navigation」(年8回発行)」、「多様な言語で書かれた公園などに設置されているルールや規則の看板・案内板」(いずれも41.9%)は4割台となっている。

経年比較

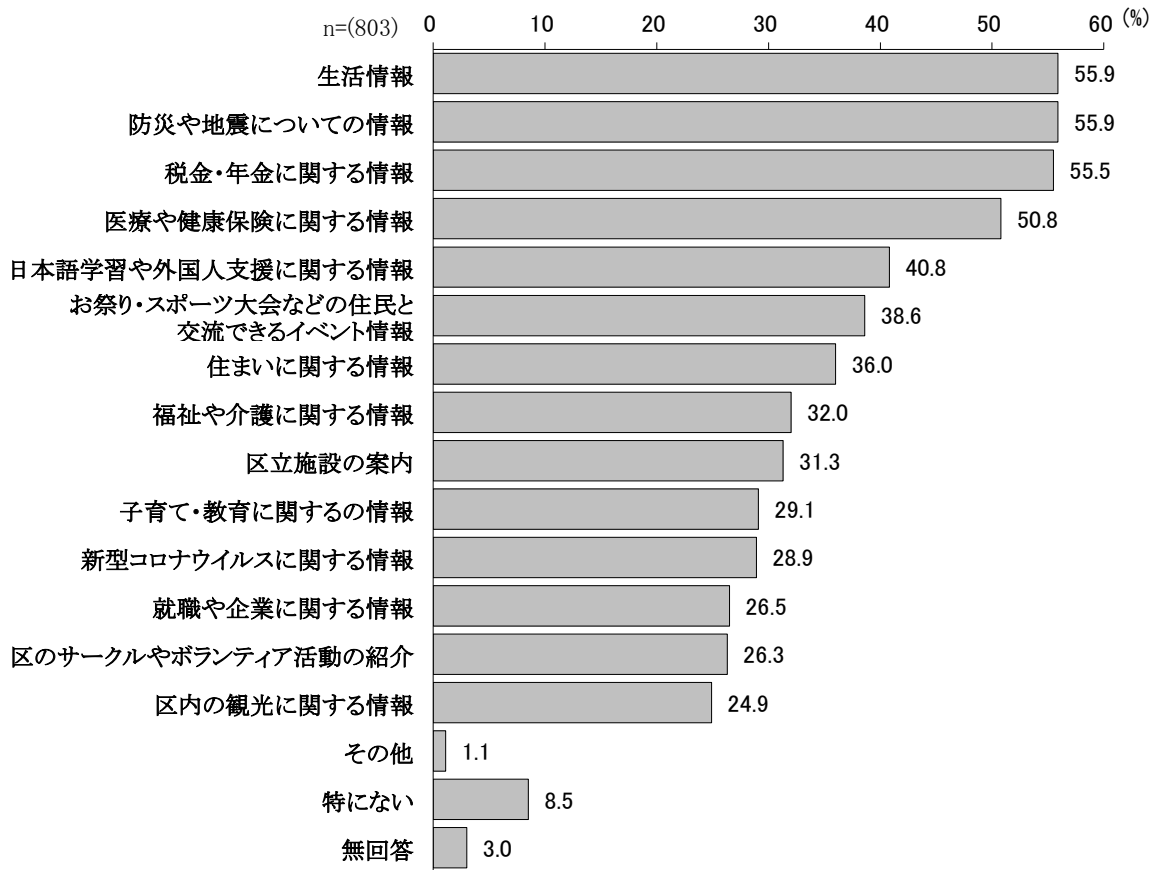


過去の調査と比較すると、「多様な言語による区のホームページ」は平成30年から3.4ポイント増加している。

(3) 生活していくうえで必要な情報

問23 あなたは大田区で生活していくうえで、どのような情報が必要ですか。

(回答はいくつでも)



生活していく上で必要な情報では、「生活情報」と「防災や地震についての情報」がともに55.9%で最も高く、次いで、「税金・年金に関する情報」(55.5%)、「医療や健康保険に関する情報」(50.8%)となっている。

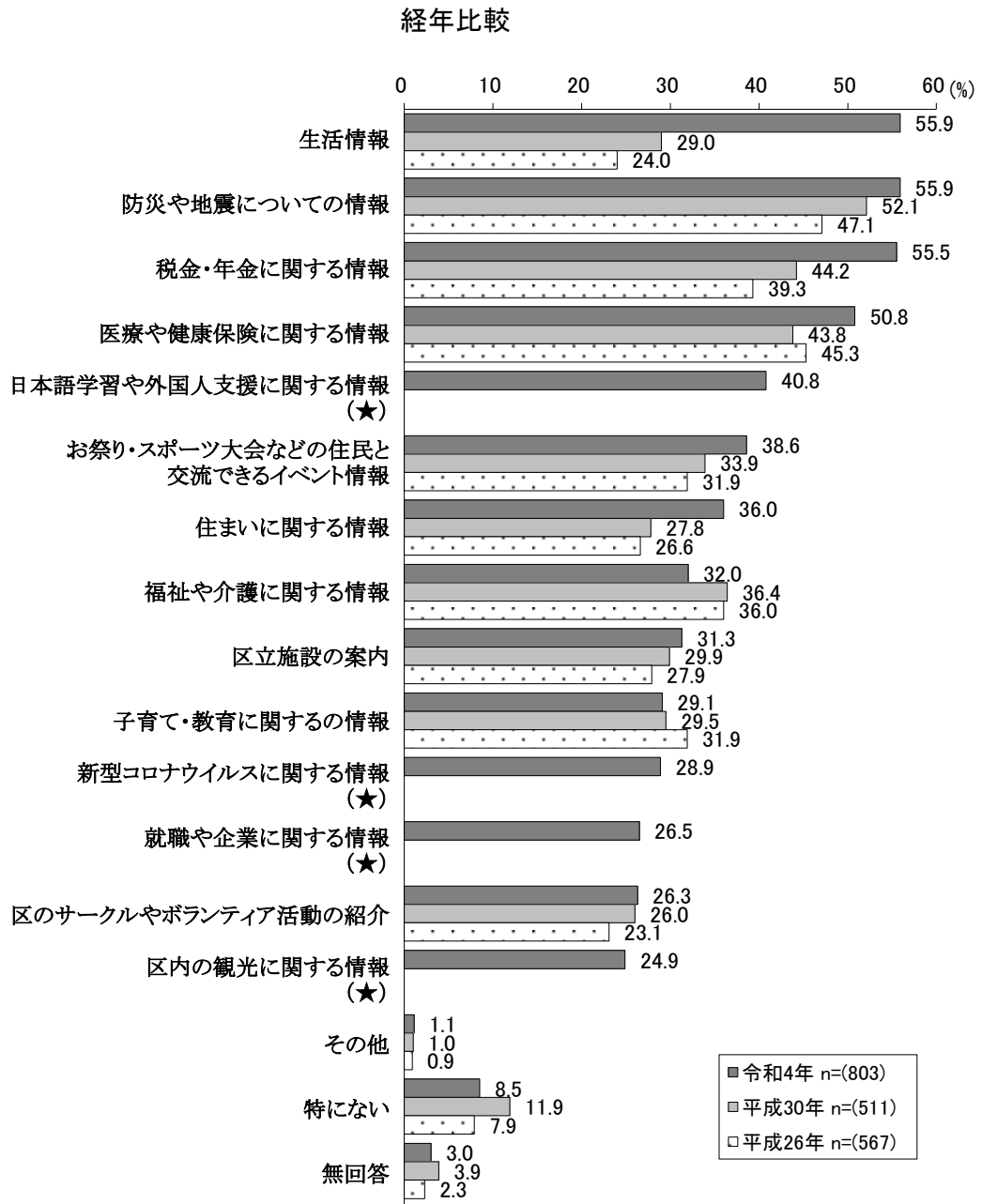
年齢別／大田区での居住年数別

(%)

	調査数	生活情報	防災や地震についての情報	税金・年金に関する情報	医療や健康保険に関する情報	日本語学習や外国人支援に関する情報	お祭り・スポーツ大会などの住民と交流できるイベント情報	住まいに関する情報	福祉や介護に関する情報	区立施設の案内	子育て・教育に関する情報	新型コロナウイルスに関する情報	就職や企業に関する情報	区のサークルやボランティア活動の紹介	区内の観光に関する情報	その他	特になし	無回答
全体	803	55.9	55.9	55.5	50.8	40.8	38.6	36.0	32.0	31.3	29.1	28.9	26.5	26.3	24.9	1.1	8.5	3.0
【年齢別】																		
(■)18歳～19歳	13	46.2	53.8	30.8	46.2	46.2	30.8	23.1	30.8	7.7	23.1	23.1	15.4	30.8	23.1	-	23.1	-
20歳～29歳	170	65.3	54.1	51.2	50.6	40.0	41.8	36.5	22.4	24.7	16.5	29.4	28.2	22.9	24.7	-	8.2	2.4
30歳～39歳	240	62.5	61.7	64.2	59.6	52.1	48.8	48.8	35.0	40.8	48.3	29.6	32.5	31.3	27.1	0.8	5.8	1.7
40歳～49歳	180	55.0	62.8	62.8	59.4	46.7	42.8	37.2	36.1	32.2	42.2	32.8	32.8	30.6	28.9	1.7	5.6	2.2
50歳～59歳	94	42.6	45.7	53.2	37.2	25.5	24.5	24.5	28.7	28.7	7.4	23.4	22.3	20.2	22.3	3.2	13.8	4.3
60歳～69歳	66	43.9	45.5	43.9	33.3	25.8	18.2	24.2	36.4	22.7	6.1	31.8	6.1	18.2	16.7	-	12.1	4.5
70歳以上	35	37.1	40.0	20.0	20.0	8.6	11.4	2.9	40.0	25.7	-	17.1	-	11.4	14.3	-	14.3	14.3
【大田区での居住年数別】																		
0～3年未満	266	59.8	59.0	55.6	52.3	50.4	48.5	39.1	28.9	31.2	23.7	26.7	26.7	30.8	29.3	0.8	6.4	1.9
3年～10年未満	280	60.4	60.7	58.9	54.3	42.5	43.2	37.9	31.8	31.8	39.3	29.3	31.1	27.1	23.9	1.1	8.6	1.8
10年以上	251	47.4	47.4	52.2	46.2	29.1	23.5	31.1	36.3	31.1	24.3	31.5	21.9	21.1	21.5	1.6	10.8	4.8

年齢別にみると、「生活情報」は【20歳～29歳】(65.3%)と【30歳～39歳】(62.5%)、「防災や地震についての情報」は【40歳～49歳】(62.8%)と【30歳～39歳】(61.7%)、「税金・年金に関する情報」は【30歳～39歳】(64.2%)と【40歳～49歳】(62.8%)で高くなっている。「福祉や介護に関する情報」は年齢が上がるほど割合がおおむね高くなっており、【70歳以上】で40.0%となっている。

大田区での居住年数別にみると、「日本語学習や外国人支援に関する情報」と「お祭り・スポーツ大会などの住民と交流できるイベント情報」は居住年数が短いほど割合が高くなっている。

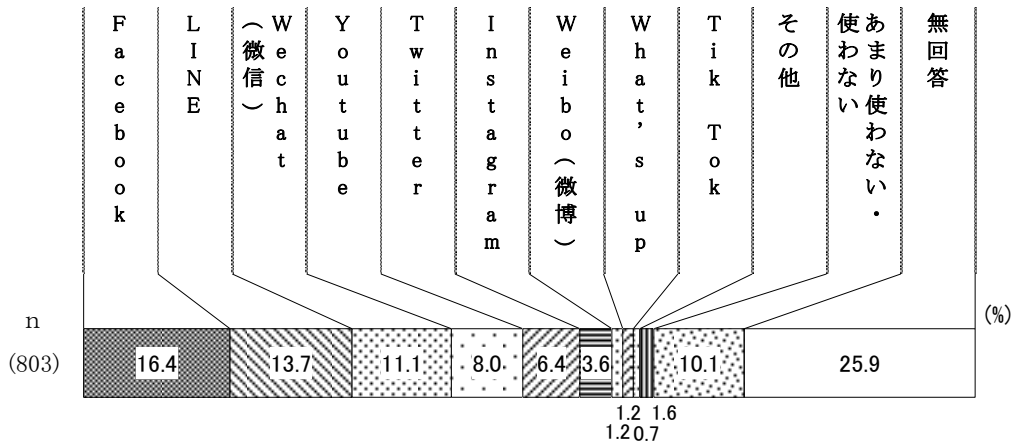


過去の調査と比較すると、平成30年から「生活情報」は26.9ポイント、「税金・年金に関する情報」は11.3ポイント、「住まいに関する情報」は8.2ポイント、「医療や健康保険に関する情報」は7.0ポイント増加している。

(4) 最も使うSNS

問24 あなたが情報を得るときに、最も利用するSNSはどれですか。

(回答は1つだけ)



最も使うSNSでは、「Facebook」が16.4%で最も高く、次いで、「LINE」(13.7%)、「Wechat(Weixin)」(11.1%)となっている。

年齢別／国・地域別

(%)

	調査数	Facebook	LINE	Wechat(微信)	Youtube	Twitter	Instagram	Weibo(微博)	What's up	Tik Tok	その他	あまり使わない・使わない	無回答
全体	803	16.4	13.7	11.1	8.0	6.4	3.6	1.2	1.2	0.7	1.6	10.1	25.9
【年齢別】													
(■)18歳～19歳	13	7.7	-	15.4	7.7	15.4	7.7	-	7.7	-	-	15.4	23.1
20歳～29歳	170	21.8	13.5	9.4	4.1	12.4	7.6	2.9	-	0.6	0.6	4.1	22.9
30歳～39歳	240	21.3	10.8	13.3	7.9	7.1	4.2	2.1	0.8	-	0.8	5.4	26.3
40歳～49歳	180	14.4	16.1	11.7	7.2	3.3	2.8	-	2.8	1.7	2.8	6.7	30.6
50歳～59歳	94	9.6	19.1	12.8	14.9	1.1	-	-	2.1	2.1	4.3	10.6	23.4
60歳～69歳	66	12.1	13.6	7.6	12.1	4.5	-	-	-	-	-	30.3	19.7
70歳以上	35	-	11.4	2.9	5.7	2.9	-	-	-	-	2.9	48.6	25.7
【国・地域別】													
中国	268	1.5	6.3	32.8	6.7	7.5	1.5	3.7	-	1.9	0.7	6.0	31.3
韓国	90	-	14.4	-	12.2	11.1	7.8	-	-	-	3.3	32.2	18.9
フィリピン	90	40.0	11.1	-	10.0	3.3	1.1	-	1.1	-	-	3.3	30.0
ネパール	41	48.8	2.4	-	4.9	-	-	-	-	2.4	2.4	7.3	31.7
ベトナム	73	53.4	11.0	-	2.7	2.7	2.7	-	-	-	2.7	9.6	15.1
台湾	37	16.2	27.0	-	-	5.4	10.8	-	-	-	-	8.1	32.4
アメリカ	31	3.2	35.5	-	12.9	12.9	-	-	-	-	3.2	16.1	16.1
(*)タイ	20	20.0	20.0	-	10.0	10.0	5.0	-	-	-	-	15.0	20.0
(*)インド	11	18.2	36.4	-	-	-	9.1	-	9.1	-	-	-	27.3
(*)インドネシア	18	11.1	33.3	-	5.6	11.1	16.7	-	11.1	-	-	5.6	5.6
(*)ドイツ	5	-	-	-	20.0	-	-	-	40.0	-	-	40.0	-
(*)朝鮮	5	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0	60.0
その他	112	16.1	23.2	0.9	12.5	4.5	5.4	-	3.6	-	3.6	7.1	23.2
無国籍	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※このクロス集計は、グラフでの表記では数値が見つからないため、表で記載している。

年齢別にみると、【20歳～29歳】と【30歳～39歳】では「Facebook」、【40歳～49歳】と【50歳～59歳】では「LINE」、【60歳～69歳】と【70歳以上】では「あまり使わない・使わない」が最も高くなっている。

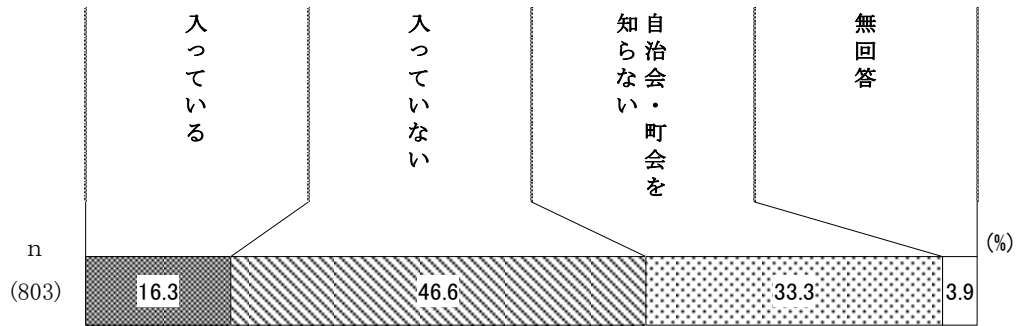
国・地域別にみると、【中国】では「Wechat(微信)」、【韓国】では「あまり使わない・使わない」、【フィリピン】【ネパール】【ベトナム】では「Facebook」、【台湾】【アメリカ】では「LINE」が最も高くなっている。

7. 地域での交流について

(1) 自治会・町会への加入状況

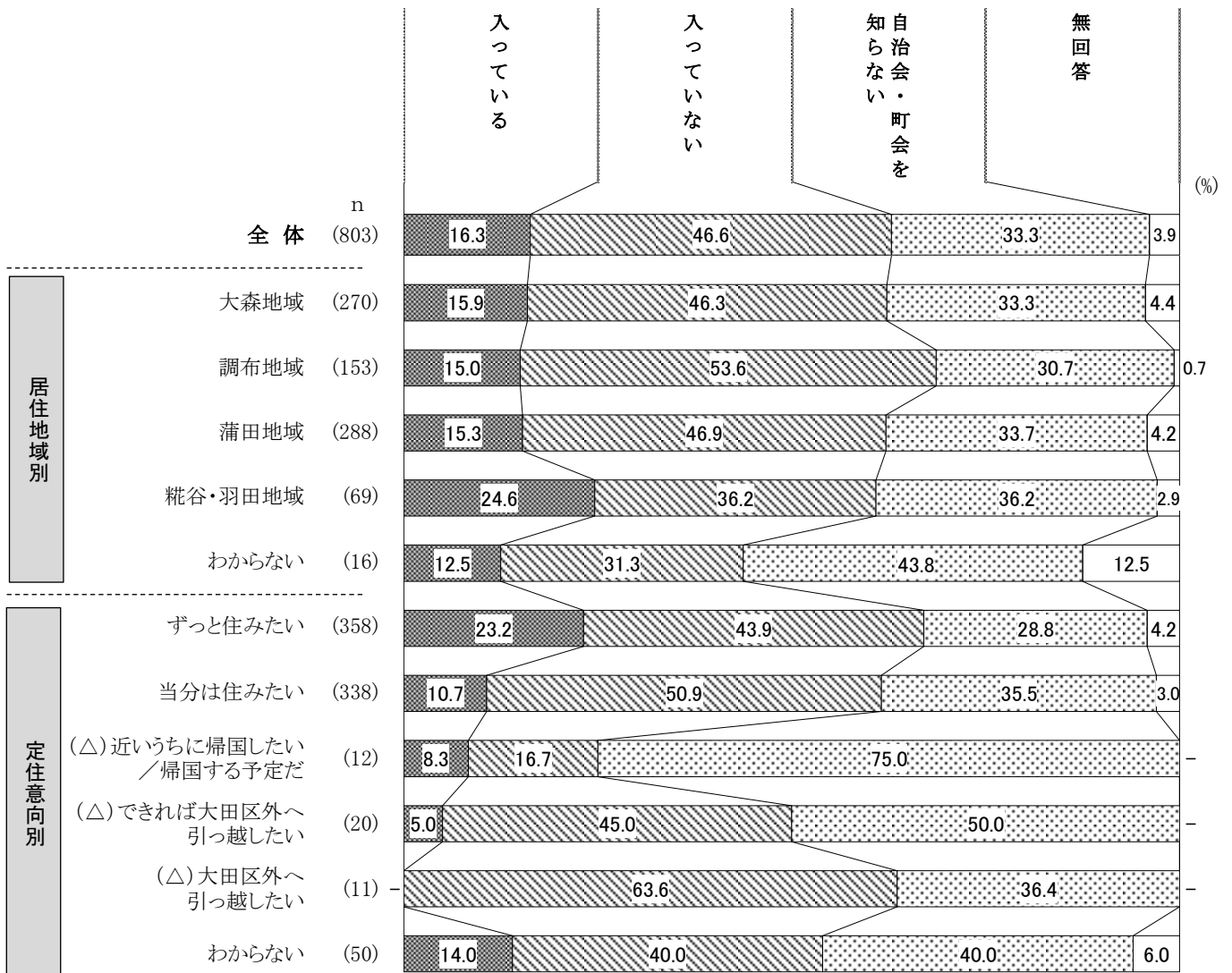
問25 あなた（あなたの世帯）は、自治会・町会に入っていますか。

（回答は1つだけ）



自治会・町会への加入状況では、「加入している」が16.3%、「加入していない」が46.6%「自治会・町会を知らない」が33.3%となっている。

居住地域別／定住意向別

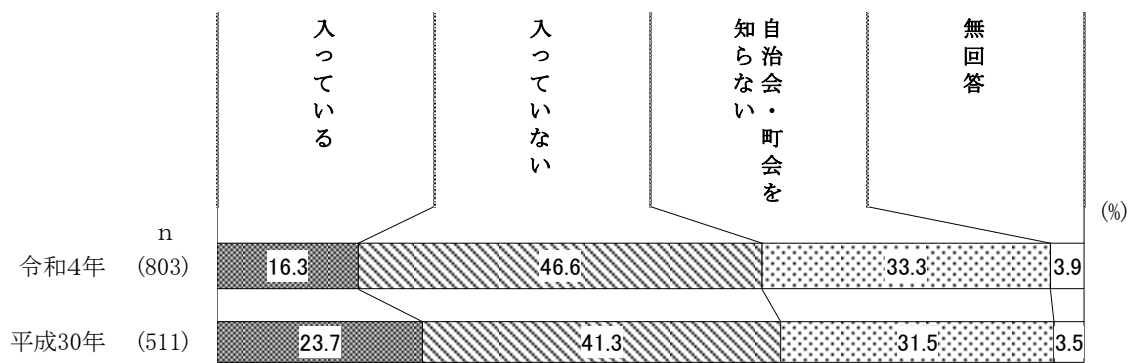


*定住意向別のクロス表について、(△)は回答数が30未満のため、参考数値として掲載している。

居住地域別にみると、「入っている」は【糀谷・羽田地域】で24.6%、その他の地域でいずれも15%台となっている。また、「自治会・町会を知らない」はすべての地域で30%以上と高くなっている。

定住意向別にみると、「入っている」は【ずっと住みたい】で23.2%と、【当分は住みたい】よりも12.5ポイント、また、「自治会・町会を知らない」は【当分は住みたい】で35.5%と、【ずっと住みたい】よりも6.7ポイント高くなっている。

経年比較

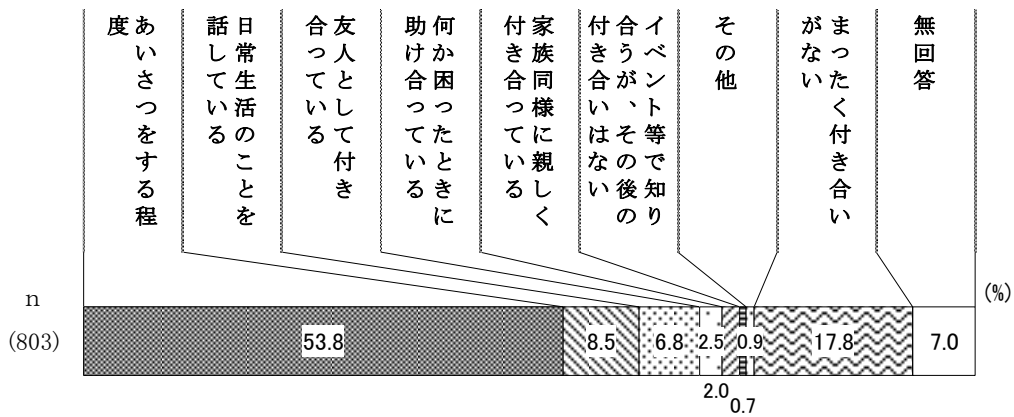


過去の調査と比較すると、平成30年から、「入っている」は7.4ポイント減少、「入っていない」は5.3ポイント増加している。

(2) 近くに住む日本人との付き合い

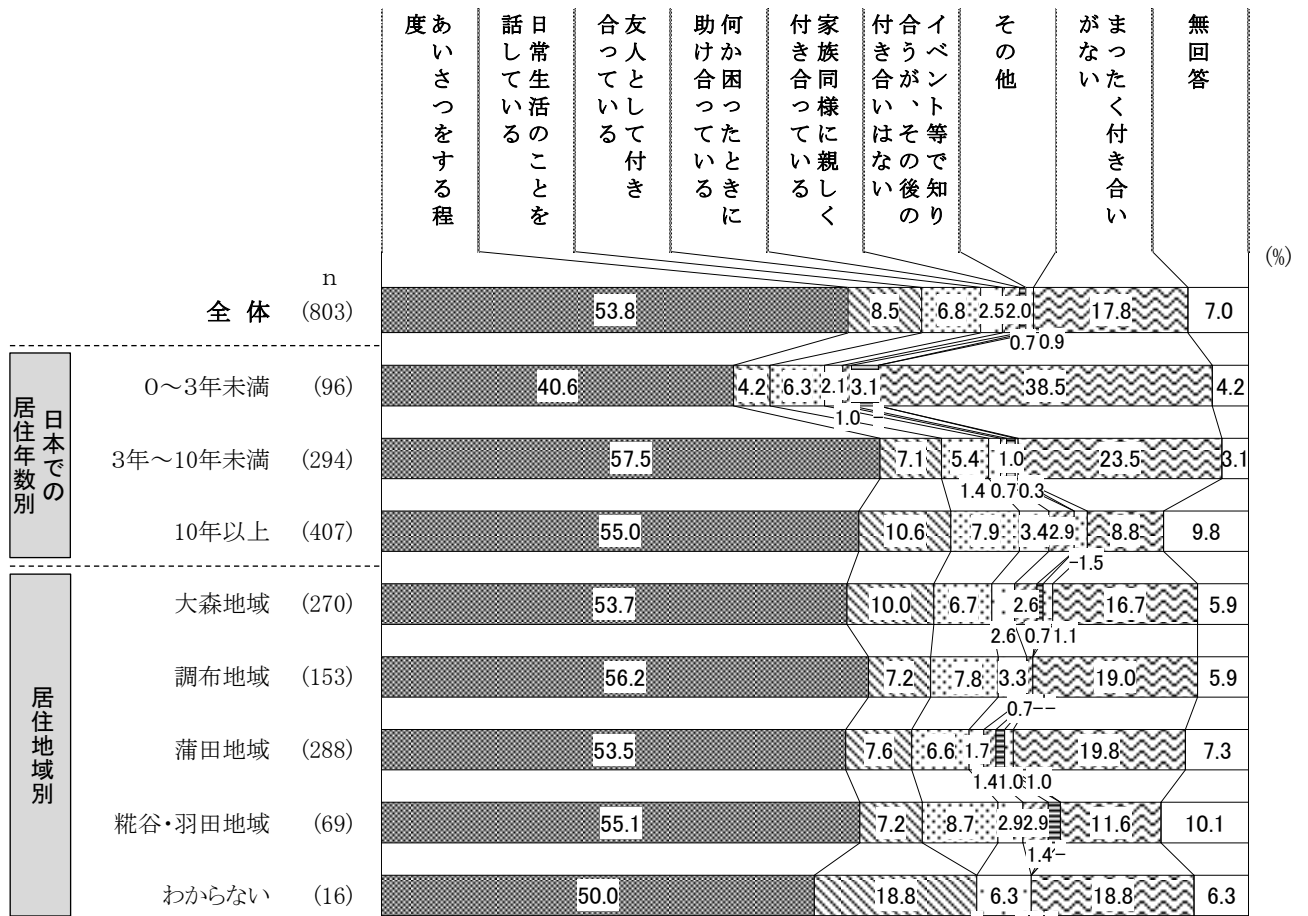
問26 あなたは、近くに住む日本人とどのような付き合いがありますか。

(回答は1つだけ)



近くに住む日本人との付き合いでは、「あいさつをする程度」が53.8%で最も高く、次いで、「日常生活のことを話している」(8.5%)、「友人として付き合い合っている」(6.8%)となっている。

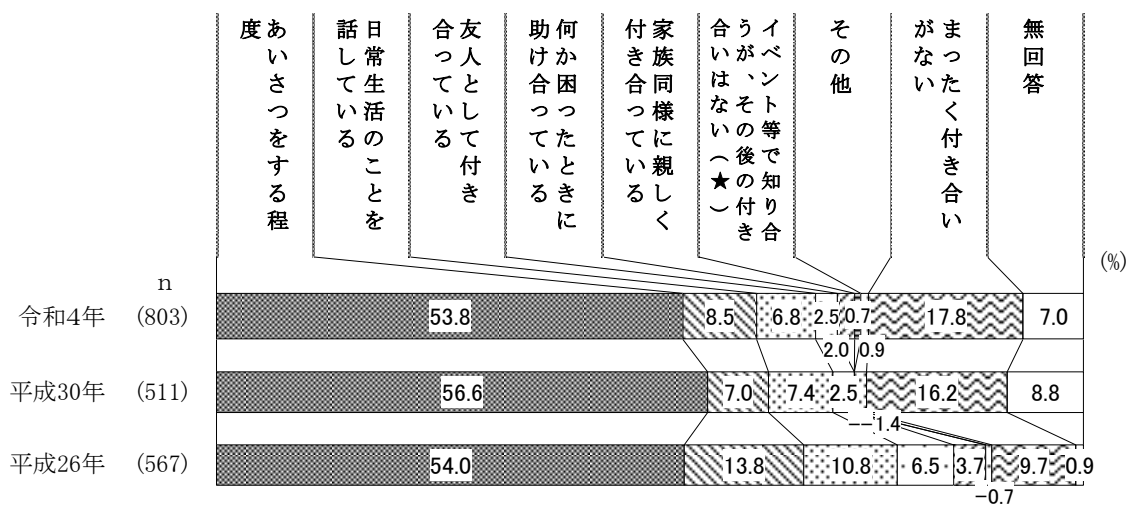
日本での居住年数別／居住地域別



日本での居住年数別にみると、「日常生活のことを話している」は居住年数が長いほど割合が高く、【10年以上】で10.6%となっている。一方、「まったく付き合いがない」は居住年数が短いほど割合が高く、【0～3年未満】で38.5%となっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「あいさつをする程度」が半数を超えている。また、「まったく付き合いがない」はすべての地域で1割台となっているが、【糀谷・羽田地域】では11.6%と、他の地域に比べて低くなっている。

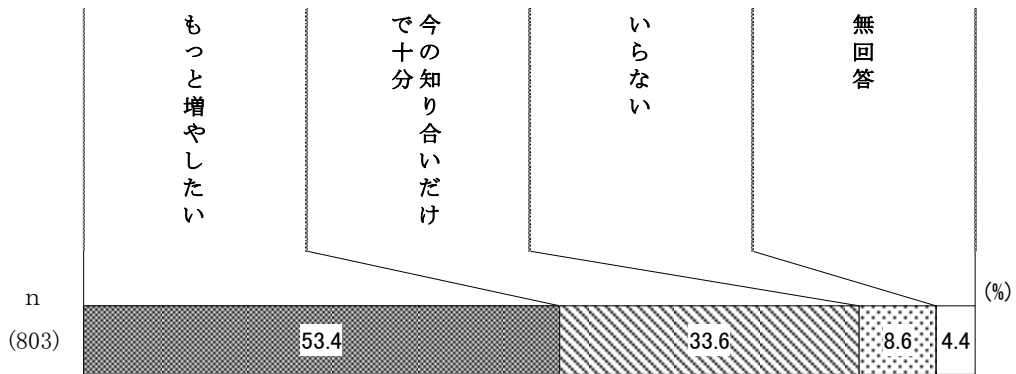
経年比較



過去の調査と比較すると、平成26年から「日常生活のことを話している」は5.3ポイント減少している。

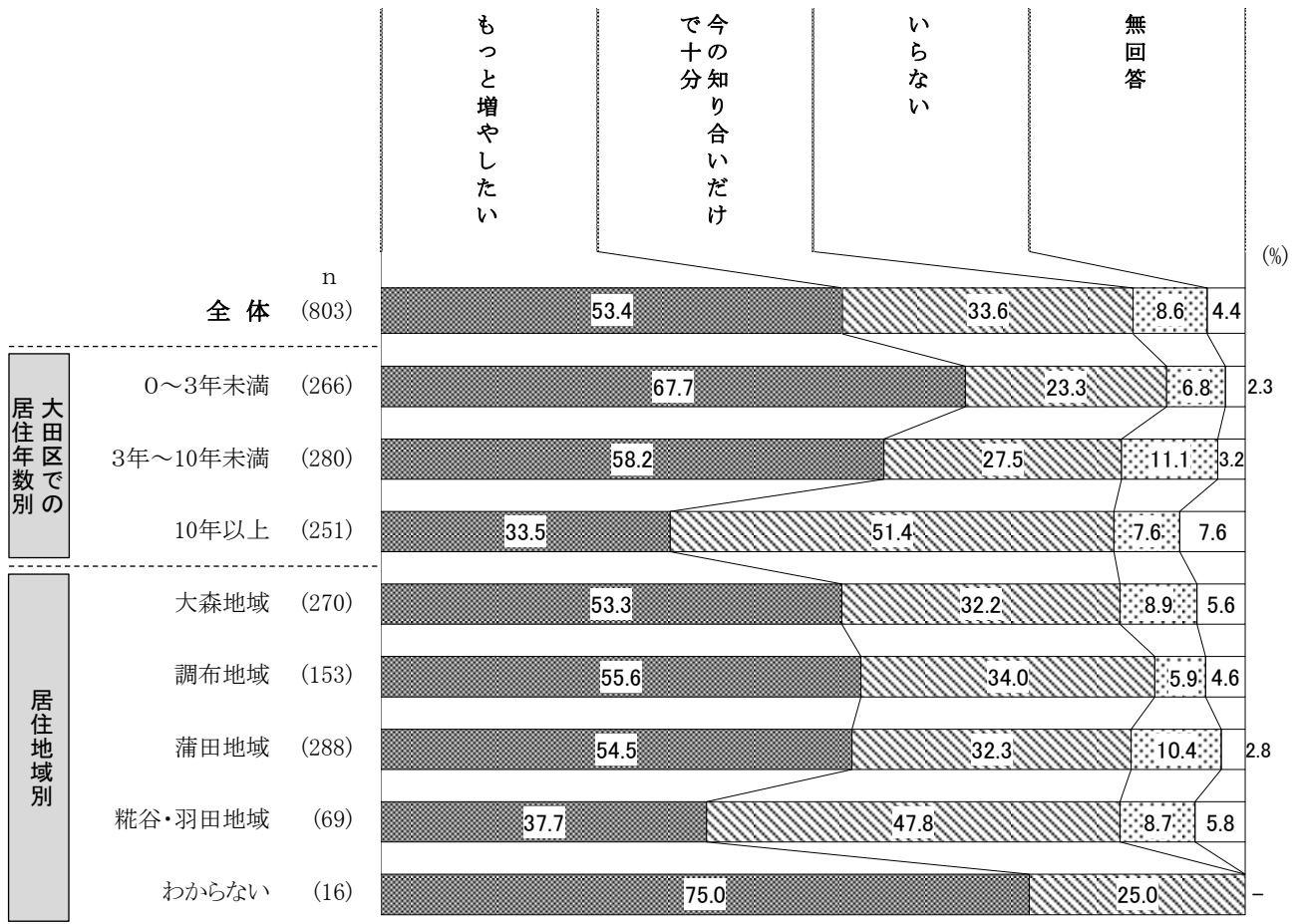
(3) 地域に日本人の知り合いを希望するか

問27 あなたは、地域に日本人の知り合いが欲しいですか。(回答は1つだけ)



地域に日本人の知り合いがほしいかでは、「もっと増やしたい」が53.4%、「今の知り合いだけで十分」が33.6%、「いらない」が8.6%となっている。

大田区での居住年数別／居住地域別

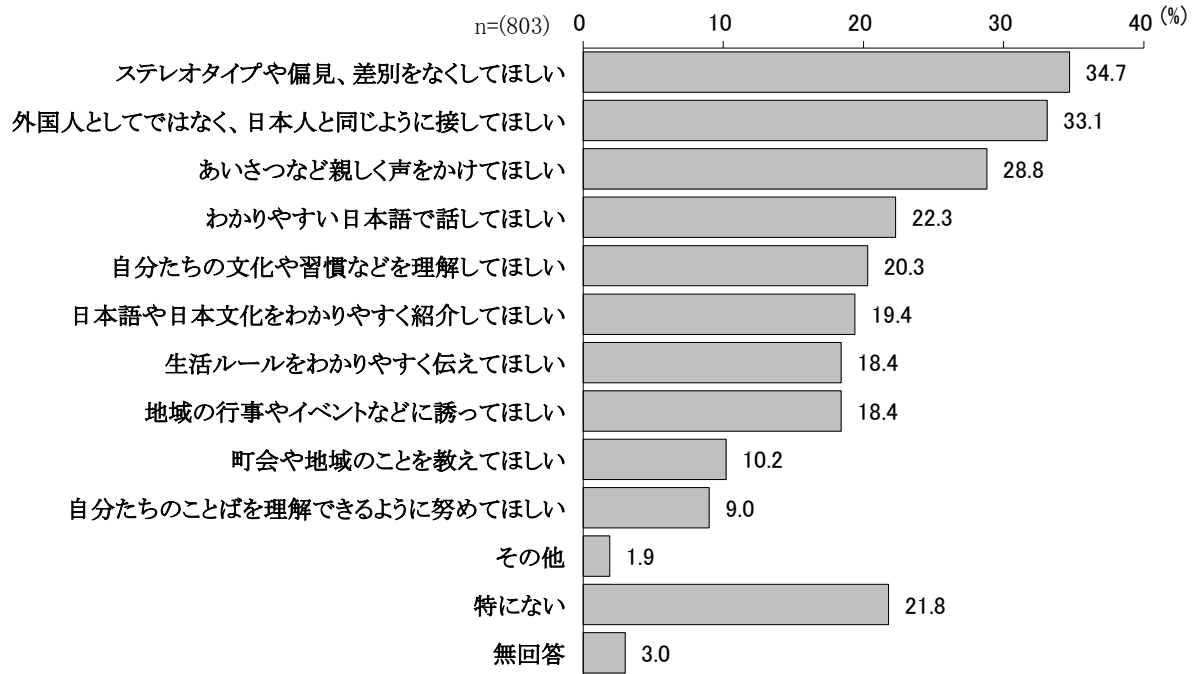


大田区での居住年数別にみると、「もっと増やしたい」は居住年数が短いほど、一方、「今の知り合いだけで十分」は居住年数が長いほど割合が高くなっている。

居住地域別にみると、【大森地域】【調布地域】【蒲田地域】では「もっと増やしたい」が最も高く、いずれの地域でも半数を超えている。一方、【糀谷・羽田地域】では「今の知り合いだけで十分」が47.8%と、他の地域に比べて高くなっている。

(4) 地域社会の一員として日本人に望むこと

問28 地域社会の一員として、あなたが日本人に望むことは何ですか。
(回答はいくつでも)



地域社会の一員として日本人に望むことでは、「ステレオタイプや偏見、差別をなくしてほしい」が34.7%で最も高く、次いで、「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」(33.1%)、「あいさつなど親しく声をかけてほしい」(28.8%)、「わかりやすい日本語で話してほしい」(22.3%)となっている。

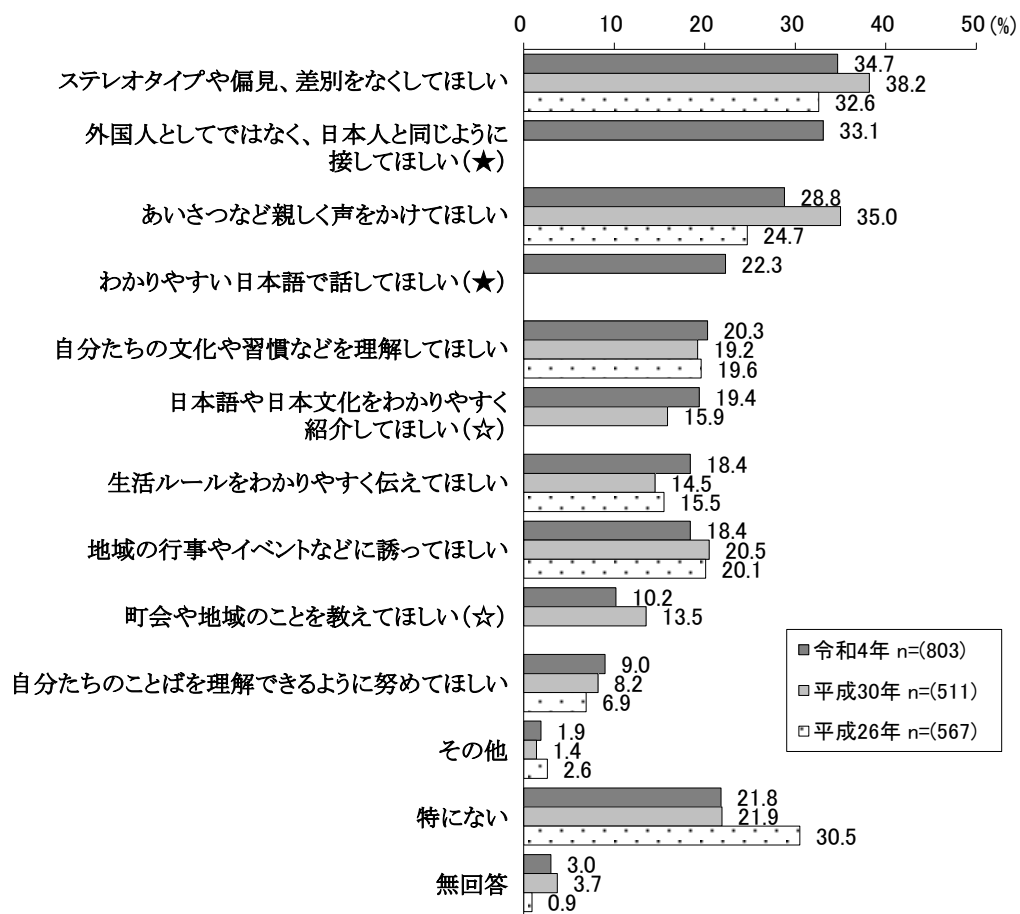
日本での居住年数別

(%)

調査数	あいさつなど親しく声をかけてほしい	生活ルールをわかりやすく伝えてほしい	日本語や日本文化をわかりやすく紹介してほしい	自分たちの文化や習慣などを理解してほしい	自分たちのことばを理解できるように努めてほしい	町会や地域のことを教えてほしい	地域の行事やイベントなどに誘ってほしい	ステレオタイプや偏見、差別をなくしてほしい	わかりやすい日本語で話してほしい	外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい	その他	特にない	無回答	
全体	803	28.8	18.4	19.4	20.3	9.0	10.2	18.4	34.7	22.3	33.1	1.9	21.8	3.0
【日本での居住年数別】														
0～3年未満	96	32.3	27.1	27.1	19.8	16.7	10.4	24.0	33.3	37.5	20.8	1.0	17.7	2.1
3年～10年未満	294	34.7	22.4	26.2	25.2	9.9	10.5	20.7	39.5	26.5	41.2	1.7	15.3	0.3
10年以上	407	24.1	13.5	13.0	16.7	6.4	10.1	15.7	31.9	16.0	30.0	2.2	27.8	4.9

日本での居住年数別にみると、「外国人としてではなく、日本人と同じように接してほしい」は【3年～10年未満】で41.2%と高くなっている。また、「わかりやすい日本語で話してほしい」は居住年数が短いほど割合が高く、【0～3年未満】で37.5%となっている。

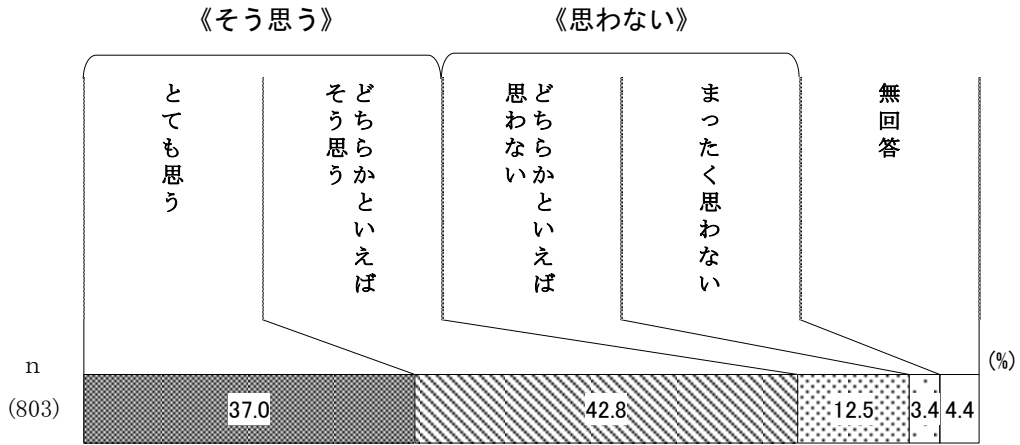
経年比較



過去の調査と比較すると、「あいさつなど親しく声をかけてほしい」は平成30年で35.0%と、平成26年から10.3ポイント増加したものの、今回調査では6.2ポイント減少している。

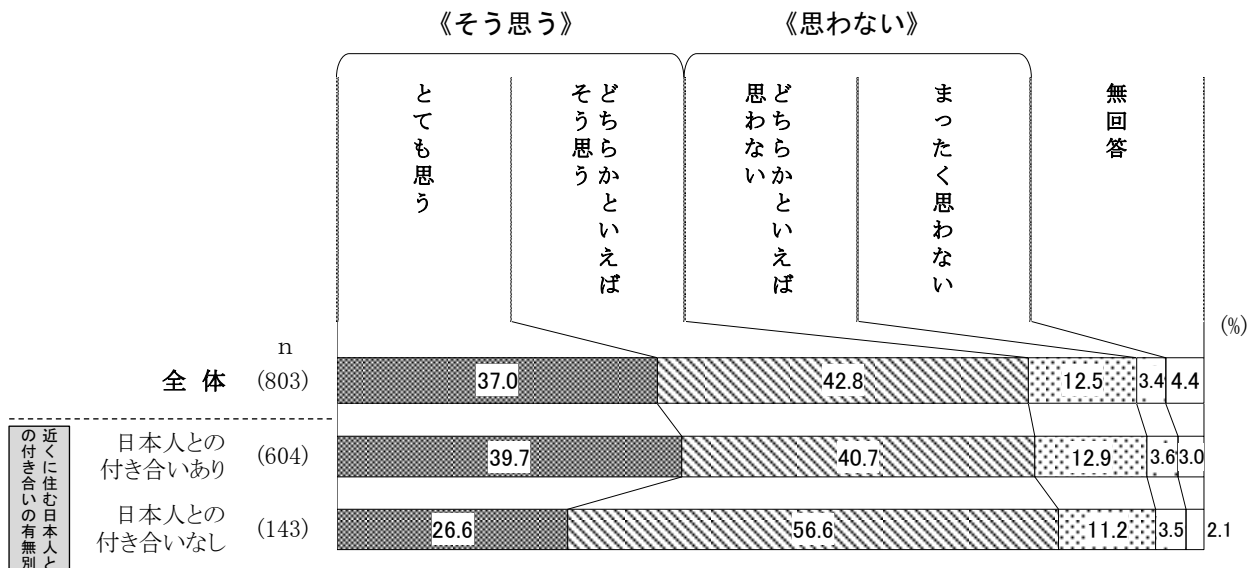
(5) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか

問29 あなたは、大田区では日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(回答は1つだけ)



大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うかでは、《そう思う》(「とても思う」(37.0%)と「どちらかといえばそう思う」(42.8%)を足した割合)は79.8%となっている。

近くに住む日本人との付き合いの有無別



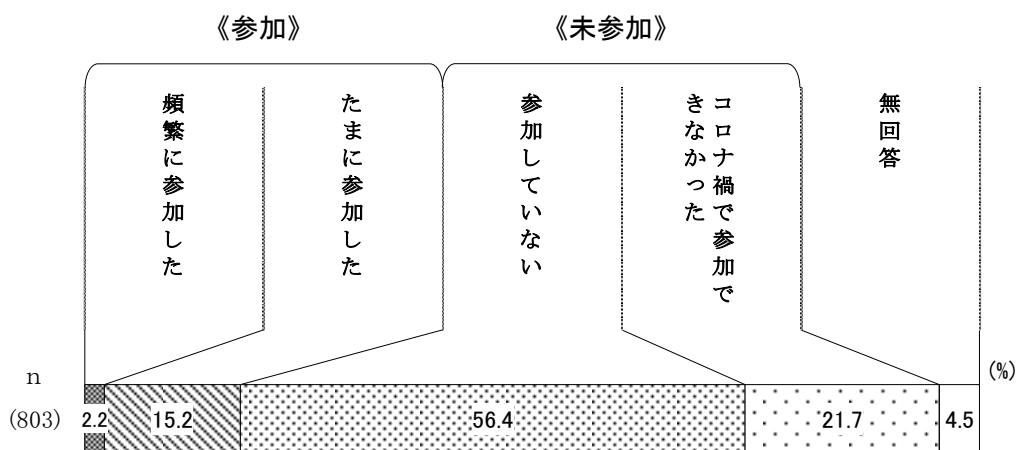
近くに住む日本人との付き合いの有無別にみると、「とても思う」は【日本人との付き合いあり】で39.7%と、【日本人との付き合いなし】よりも13.1ポイント高くなっている。

(6) 直近の1年間の地域活動への参加状況／地域活動への今後の参加意向

問30 あなたは、この1年間で地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）に参加しましたか。また、参加したいと思いますか。

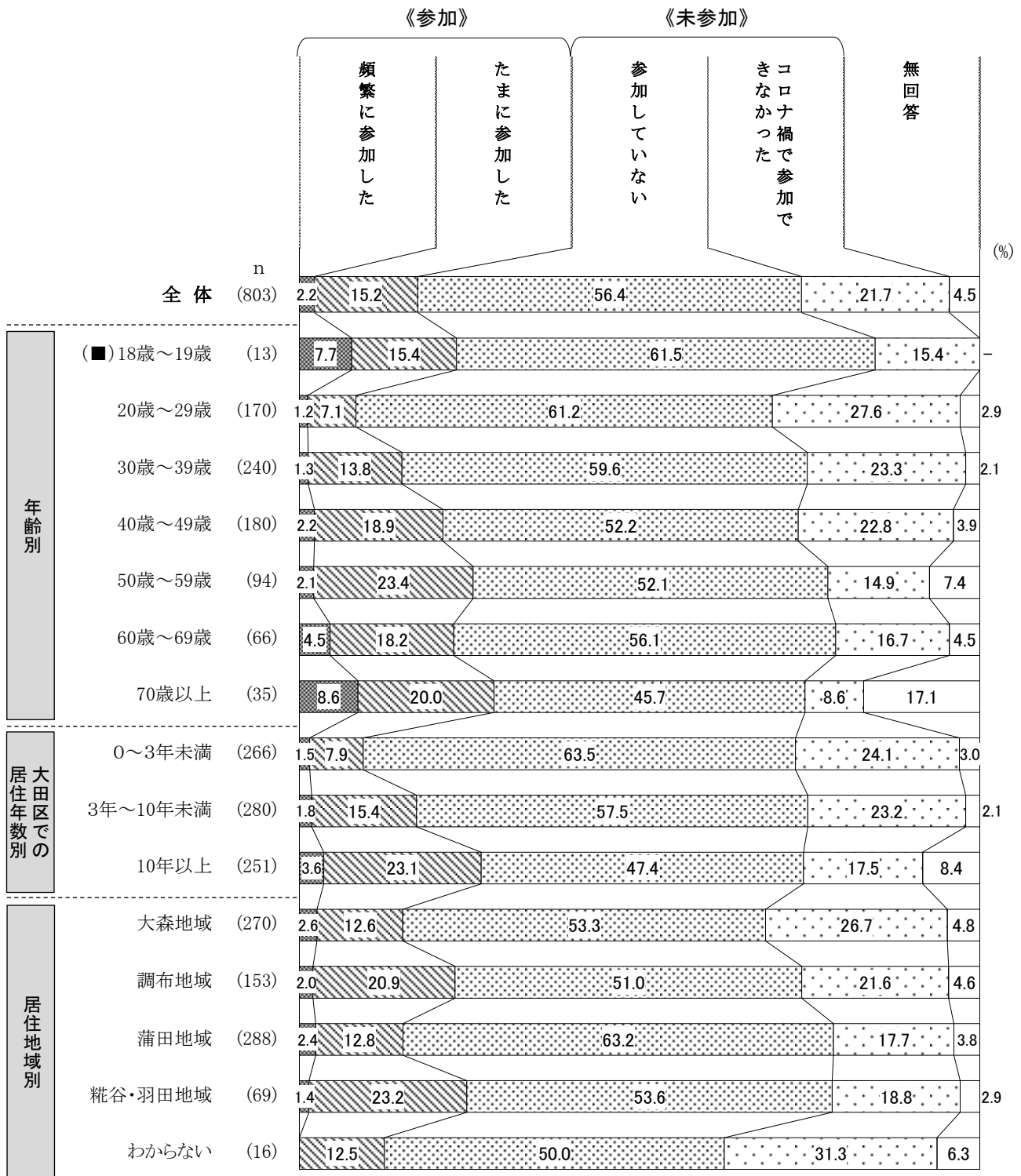
（あてはまるものへの回答は参加状況・参加意向別に1つずつ）

【参加状況】



直近1年間の地域活動への参加状況では、《参加》（「頻繁に参加した」(2.2%)と「たまに参加した」(15.2%)を足した割合)は17.4%となっている。一方、「参加していない」が56.4%、「コロナ禍で参加できなかった」が21.7%となっている。

年齢別／大田区での居住年数別／居住地域別

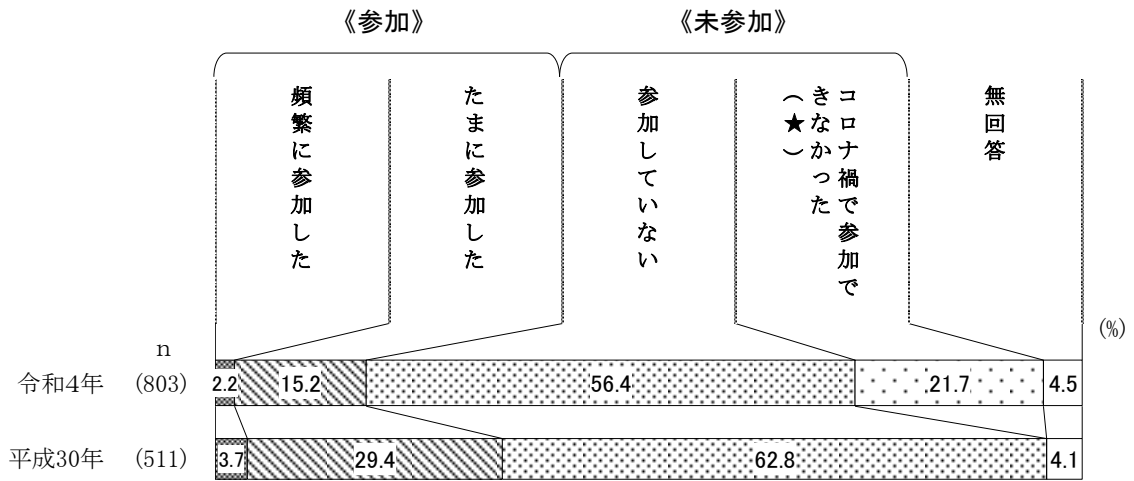


年齢別にみると、【70歳以上】以外の年代で「参加していない」が半数を超えており、特に【20歳～29歳】で61.2%と高くなっている。また、「たまに参加した」は【50歳～59歳】で23.4%と他の年代に比べて高くなっている。

大田区での居住年数別にみると、《参加》は、居住年数が長いほど割合が高く、【10年以上】で26.7%となっている。

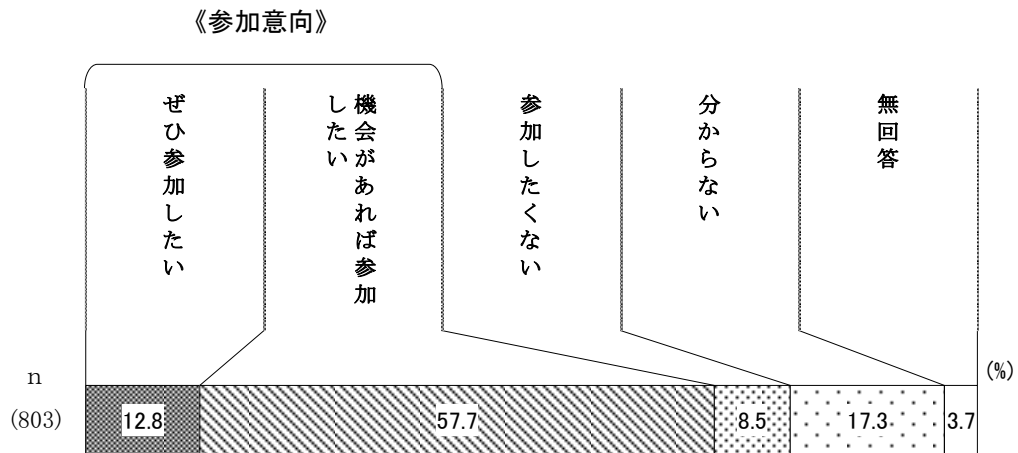
居住地域別にみると、すべての地域で「参加していない」が半数を超えており、特に【蒲田地域】では63.2%と高くなっている。また、「たまに参加した」は【糞谷・羽田地域】で23.2%と、他の地域に比べて高くなっている。

経年比較



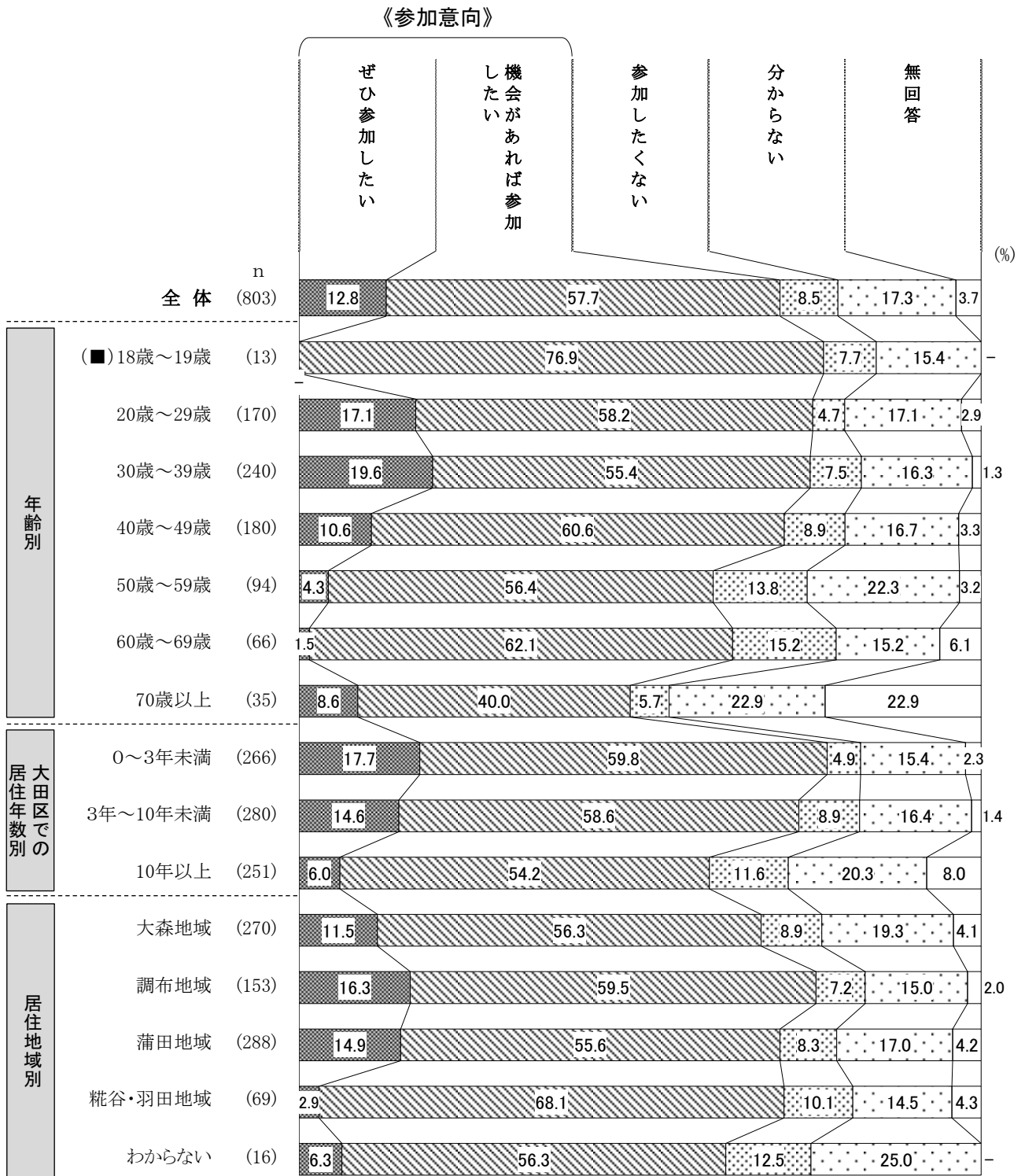
過去の調査と比較すると、《参加》は、平成30年から15.7ポイント減少している。

【今後の参加意向】



今後の参加意向では、《参加意向》（「ぜひ参加したい」(12.8%)と「機会があれば参加したい」(57.7%)を足した割合)は70.5%となっている。一方、「参加したくない」は8.5%、「分からない」は17.3%となっている。

年齢別／大田区での居住年数別／居住地域別

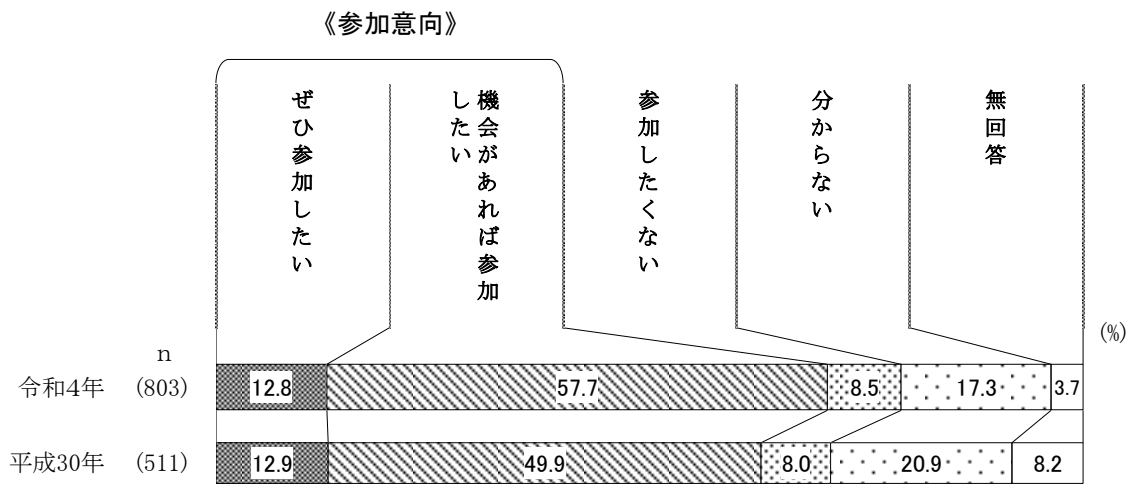


年齢別にみると、《参加意向》は【20歳～29歳】で75.3%と最も高く、以降は年齢が上がるほど割合がおおむね低くなっている。

大田区での居住年数別にみると、《参加意向》は、居住年数が短いほど割合が高く、【0～3年未満】で77.5%となっている。

居住地域別にみると、《参加意向》は【調布地域】【蒲田地域】【糎谷・羽田地域】で7割台となっている。

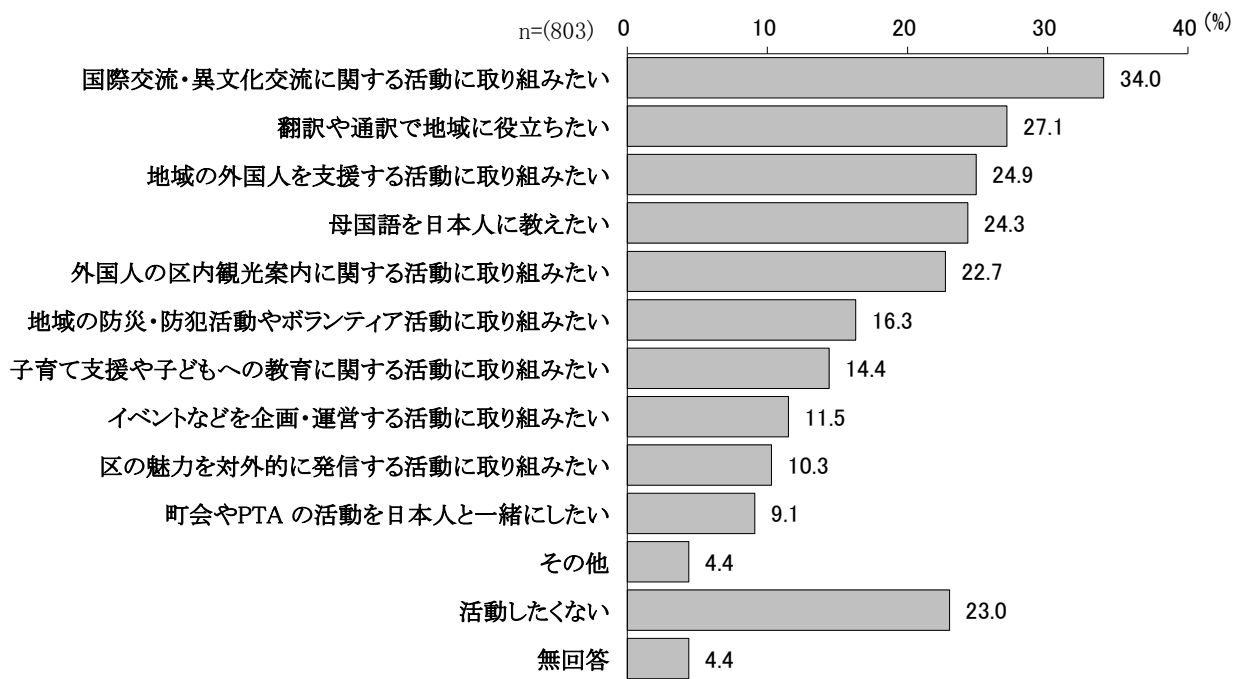
経年比較



過去の調査と比較すると、《参加意向》は、平成30年から7.7ポイント増加している。

(7) 地域の中で活動してみたいこと

問31 大田区では、みなさんの能力や経験を活かして地域で活躍してほしいと考えています。そこで、あなたは地域の中でどのように活動してみたいですか。(回答はいくつでも)



地域の中で活動してみたいことでは、「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」が34.0%で最も高く、次いで、「翻訳や通訳で地域に役立ちたい」(27.1%)、「地域の外国人を支援する活動に取り組みたい」(24.9%)、「母国語を日本人に教えたい」(24.3%)、「外国人の区内観光案内に関する活動に取り組みたい」(22.7%)となっている。

年齢別／大田区での居住年数別／居住地域別／地域活動への参加状況別

(%)

	調査数	国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい	翻訳や通訳で地域に役立ちたい	地域の外国人を支援する活動に取り組みたい	母国語を日本人に教えたい	外国人の区内観光案内に関する活動に取り組みたい	地域の防災・防犯活動やボランティア活動に取り組みたい	子育て支援や子どもへの教育に関する活動に取り組みたい	イベントなどを企画・運営する活動に取り組みたい	区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい	町会やPTAの活動を日本人と一緒にしたい	その他	活動したくない	無回答
全体	803	34.0	27.1	24.9	24.3	22.7	16.3	14.4	11.5	10.3	9.1	4.4	23.0	4.4
【年齢別】														
(■)18歳～19歳	13	46.2	15.4	38.5	23.1	30.8	23.1	-	-	7.7	-	-	15.4	-
20歳～29歳	170	38.8	38.2	30.0	25.9	28.2	21.2	10.0	15.9	10.0	8.8	2.9	20.6	2.4
30歳～39歳	240	42.9	29.6	27.5	27.1	23.8	16.3	24.2	12.5	12.1	8.8	3.3	17.5	2.5
40歳～49歳	180	35.6	30.6	30.0	29.4	28.3	18.9	15.6	12.2	15.0	13.9	5.0	20.0	3.9
50歳～59歳	94	21.3	14.9	14.9	14.9	13.8	10.6	11.7	8.5	7.4	7.4	4.3	33.0	7.4
60歳～69歳	66	13.6	10.6	9.1	18.2	7.6	10.6	1.5	6.1	1.5	4.5	7.6	40.9	3.0
70歳以上	35	14.3	11.4	5.7	11.4	5.7	2.9	2.9	2.9	2.9	2.9	8.6	34.3	25.7
【大田区での居住年数別】														
0～3年未満	266	45.9	28.9	31.6	30.5	28.6	16.5	13.2	15.8	14.3	6.8	4.1	16.9	2.3
3年～10年未満	280	36.1	31.8	25.4	25.0	22.5	20.4	19.3	11.4	9.3	9.3	2.9	21.4	2.5
10年以上	251	19.9	19.9	17.9	17.5	17.1	12.0	10.8	7.2	7.6	11.2	6.4	31.5	8.0
【居住地域別】														
大森地域	270	34.1	26.7	24.1	22.6	24.4	14.4	13.7	12.2	8.1	8.5	3.0	24.4	4.1
調布地域	153	41.8	26.1	30.1	28.1	22.9	17.6	13.1	11.8	10.5	7.2	3.3	17.6	3.9
蒲田地域	288	32.3	28.5	25.0	23.6	23.3	18.4	14.9	10.8	12.2	9.0	4.9	24.3	4.2
糎谷・羽田地域	69	27.5	24.6	17.4	24.6	11.6	13.0	17.4	10.1	11.6	13.0	7.2	27.5	5.8
わからない	16	12.5	31.3	31.3	18.8	25.0	12.5	18.8	12.5	6.3	18.8	6.3	18.8	6.3
【地域活動への参加状況別】														
(◆)頻繁に参加した	18	44.4	33.3	22.2	27.8	33.3	22.2	22.2	11.1	27.8	16.7	5.6	16.7	5.6
たまに参加した	122	36.1	26.2	28.7	28.7	29.5	20.5	20.5	12.3	8.2	13.9	4.1	14.8	0.8
参加していない	453	32.5	26.7	23.0	23.2	22.5	15.5	11.5	10.4	9.5	5.3	4.6	28.0	2.0
コロナ禍で参加できなかった	174	40.8	32.8	31.0	28.2	20.1	17.2	19.0	14.9	13.2	15.5	3.4	19.5	0.6

* 地域活動への参加状況別のクロス表について、(◆)は回答数が30未満のため、参考数値として掲載している。
(以下同様)

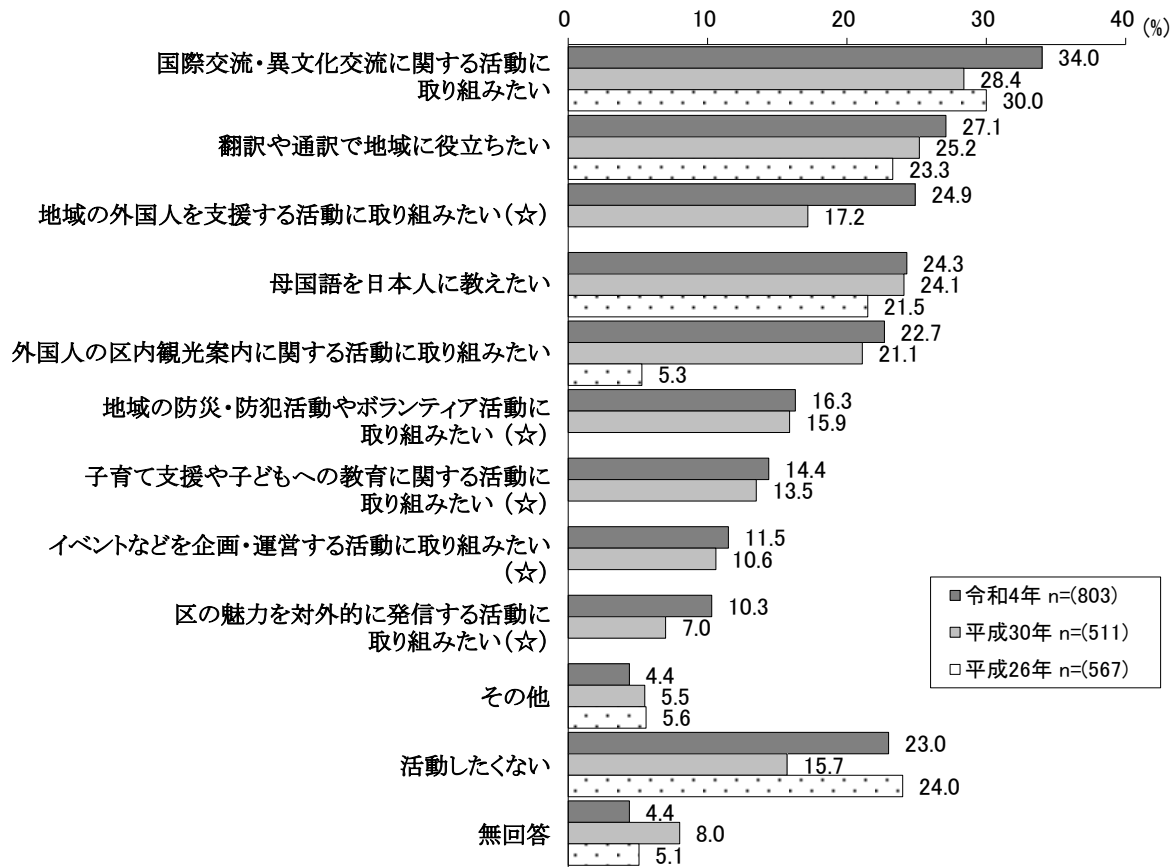
年齢別にみると、20代～40代では「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」が最も高くなっている。一方、50代以降は「活動したくない」が最も高くなっている。

大田区での居住年数別にみると、「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」、「地域の外国人を支援する活動に取り組みたい」、「母国語を日本人に教えたい」、「外国人の区内観光案内に関する活動に取り組みたい」、「イベントなどを企画・運営する活動に取り組みたい」、「区の魅力を対外的に発信する活動に取り組みたい」は居住年数が短いほど割合が高くなっている。一方、「活動したくない」は居住年数が長いほど割合が高く、【10年以上】で31.5%となっている。

居住地域別にみると、すべての地域で「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」が最も高く、特に【調布地域】では41.8%となっている。また、【糎谷・羽田地域】は「活動したくない」(27.5%)も同率1位となっている。

地域活動への参加状況別にみると、「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」は【コロナ禍で参加できなかった】で40.8%と高くなっている。また、「外国人の区内観光案内に関する活動に取り組みたい」は【たまに参加した】で29.5%と高くなっている。

経年比較



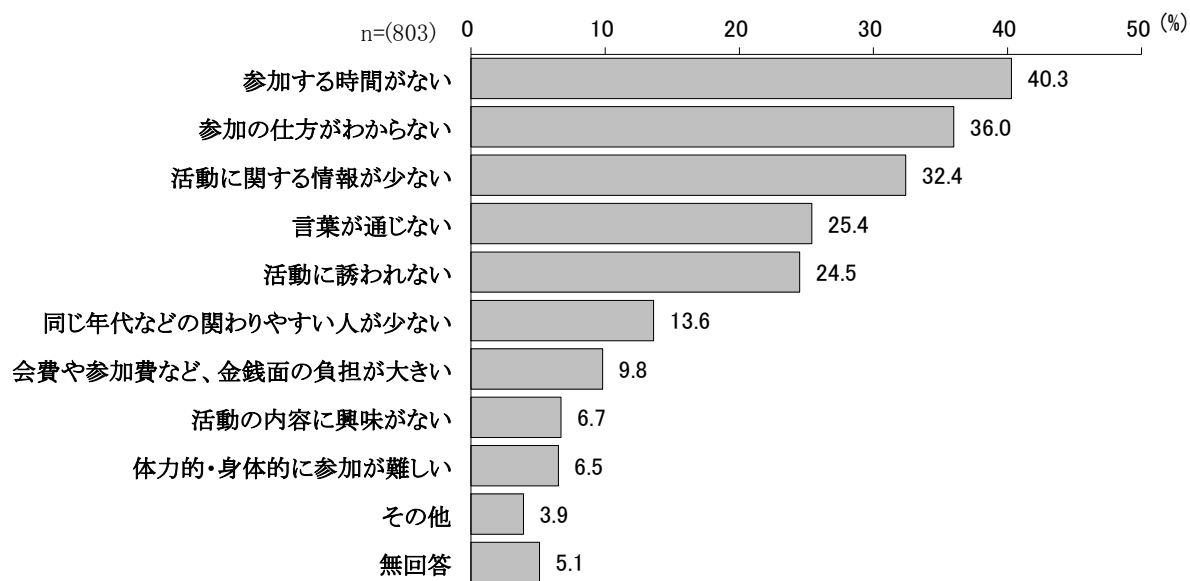
* 「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」の平成26年度調査の数値は、「地域の日本人との交流やイベントを企画したい」、「出身国の文化や料理を日本人に教えたい」を合算したものである。

* 平成26年・30年度調査とは選択肢が異なるため、比較できるものを掲載している。

過去の調査と比較すると、平成30年から「地域の外国人を支援する活動に取り組みたい」は7.7ポイント、「国際交流・異文化交流に関する活動に取り組みたい」は5.6ポイント増加している。また、「活動したくない」も平成30年から7.3ポイント増加している。

(8) 地域活動に参加する上での困りごと

問32 あなたが地域活動に参加する上での困りごとは何ですか。(回答はいくつでも)



地域活動に参加する上での困りごとでは、「参加する時間がない」が40.3%で最も高く、次いで、「参加の仕方がわからない」(36.0%)、「活動に関する情報が少ない」(32.4%)、「言葉が通じない」(25.4%)、「活動に誘われない」(24.5%)となっている。

年齢別／大田区での居住年数別／居住地域別／地域活動への参加状況別

(%)

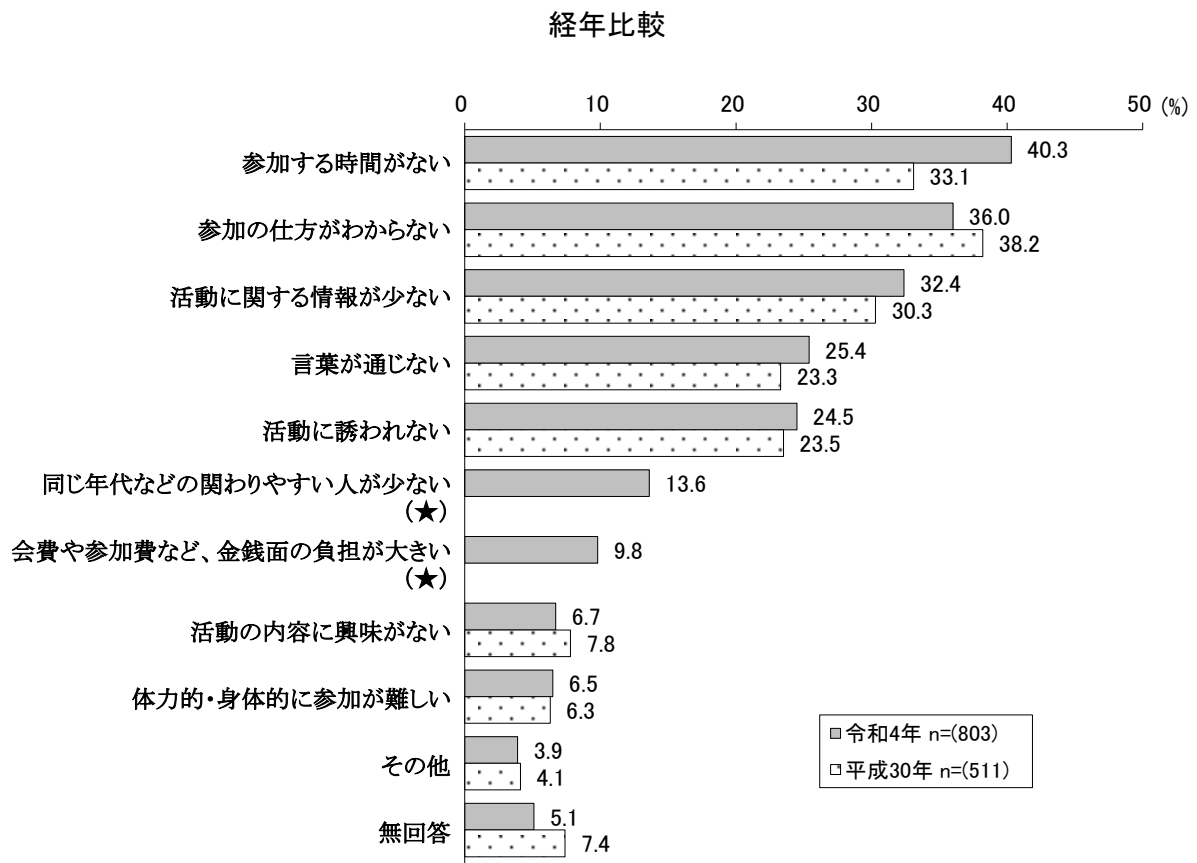
	調査数	参加する時間がない	参加の仕方がわからない	活動に関する情報が少ない	言葉が通じない	活動に誘われない	同じ年代などの関わりやすい人が少ない	会費や参加費など、金銭面の負担が大きい	活動の内容に興味が無い	活動の難しい・身体的に参加が難しい	その他	無回答
全体	803	40.3	36.0	32.4	25.4	24.5	13.6	9.8	6.7	6.5	3.9	5.1
【年齢別】												
(■)18歳～19歳	13	61.5	38.5	38.5	30.8	30.8	30.8	30.8	15.4	-	-	-
20歳～29歳	170	44.7	40.0	36.5	21.8	30.0	15.9	11.8	7.1	2.4	2.4	2.9
30歳～39歳	240	40.0	41.7	38.3	32.5	26.3	19.2	10.8	4.2	2.9	5.0	2.5
40歳～49歳	180	41.1	38.3	28.9	27.2	23.9	10.6	6.7	6.7	7.2	3.3	5.0
50歳～59歳	94	43.6	25.5	27.7	18.1	13.8	3.2	5.3	5.3	6.4	-	7.4
60歳～69歳	66	34.8	25.8	22.7	24.2	21.2	9.1	12.1	15.2	21.2	10.6	9.1
70歳以上	35	11.4	11.4	17.1	5.7	17.1	8.6	11.4	8.6	22.9	5.7	22.9
【大田区での居住年数別】												
0～3年未満	266	41.7	43.6	36.1	30.8	32.7	15.8	10.5	6.8	1.5	2.3	3.4
3年～10年未満	280	41.1	38.9	38.6	28.2	21.4	15.7	10.4	4.6	5.0	5.0	2.1
10年以上	251	38.6	25.1	22.3	16.7	19.5	9.2	8.0	9.2	13.1	4.4	10.0
【居住地域別】												
大森地域	270	48.5	34.1	30.7	27.0	17.0	11.9	10.7	5.9	7.0	4.1	4.4
調布地域	153	39.2	35.9	35.9	28.1	38.6	15.7	6.5	6.5	3.3	3.3	3.3
蒲田地域	288	34.0	39.6	30.9	25.3	23.6	14.6	10.1	7.3	6.3	3.8	5.6
糎谷・羽田地域	69	34.8	29.0	34.8	15.9	21.7	15.9	10.1	10.1	11.6	5.8	10.1
わからない	16	50.0	31.3	37.5	18.8	37.5	-	18.8	-	12.5	-	6.3
【地域活動への参加状況別】												
(◆)頻繁に参加した	18	27.8	16.7	33.3	27.8	11.1	16.7	5.6	-	5.6	11.1	11.1
たまに参加した	122	42.6	32.8	29.5	23.0	17.2	9.0	4.1	4.1	4.9	4.9	2.5
参加していない	453	41.7	37.3	31.8	26.0	26.9	14.6	10.2	9.1	7.5	3.8	2.2
コロナ禍で参加できなかった	174	41.4	41.4	39.1	27.6	27.6	14.9	14.4	4.0	6.3	3.4	1.7

年齢別にみると、「参加する時間がない」は20代～50代で4割台となっている。また、「参加する時間がない」、「参加の仕方がわからない」、「活動に関する情報が少ない」、「言葉が通じない」、「活動に誘われない」、「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」は年齢が若いほどおおむね割合が高くなっている。

大田区での居住年数別にみると、「参加する時間がない」、「参加の仕方がわからない」、「言葉が通じない」、「活動に誘われない」、「同じ年代などの関わりやすい人が少ない」、「会費や参加費など、金銭面の負担が大きい」は居住年数が短いほどおおむね割合が高くなっている。また、「体力的・身体的に参加が難しい」は居住年数が長いほど割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「参加する時間がない」は【大森地域】で48.5%、「活動に誘われない」は【調布地域】で38.6%、「参加の仕方がわからない」は【蒲田地域】で39.6%、「体力的・身体的に参加が難しい」は【糎谷・羽田地域】で11.6%と高くなっている。

地域活動への参加状況別にみると、「参加の仕方がわからない」と「活動に関する情報が少ない」は【コロナ禍で参加できなかった】でそれぞれ高くなっている。



過去の調査と比較すると、平成30年から「参加する時間がない」は7.2ポイント増加している。

8. 自由意見

日本人区民と外国人区民がお互いを認めあい、協力しあって、大田区をもっと住みやすいまちにするためにはどうしたらよいと思いますか。あなたのご意見を自由にお書きください。

※現行の「国際都市おおた」多文化共生推進プラン2019-2023年度版」の施策類型ごとに整理したうえで、主な意見を抜粋して掲載している。

※いただいた意見は延べ295件となった。（1人で2つ以上の施策類型にわたって記述した場合はそれぞれを1とカウント）

（1）情報の多言語化と発信

- ・私は外国人で、日本語はあまりよくわからず、いろいろな情報に詳しくないので、インドネシア語をはじめ、いろいろな言語を使った情報がほしいです。よろしくおねがいします。
- ・大田区には他の区に比べて韓国語のパンフレットとか資料が足りないようです。
- ・可能であれば、日本語教室の数を増やし、医療や地区事務所などの日常生活での言語翻訳の支援をより多く提供するようにしてください。
- ・大田区へ転入する外国人に、区役所で転入の手続きを行う際のいろいろな情報（日本語教室やコミュニケーション活動など）をご提供していただけると良いと思います。
- ・言語や文化の面で、改善の必要があります。祭りや行事について情報を提供していただき、それらに（外国人が）参加できるようにしてほしいです。

（2）日本語習得と日本社会に関する学習支援

- ・日本の文化、習慣などを理解するために、日本語教室を増やしてほしい。同時に異文化も広げたく、異文化の違いを認め合い尊敬し、日本で気持ちよく暮らす。
- ・日本語で困っている外国人に対する就職支援、日本語教室などがあると嬉しいです。
- ・私は日本語学校で勉強したい。お金がかからないよう日本語を話したい。会話をしたい。独りでもできるようにしたい。（買い物、いろいろ手続き等）よろしくお願いします。
- ・日本語を勉強していく過程で、その言語の背景にある文化、習慣や社会的規範を理解するのは大切だ。

（3）安全・安心

- ・同国籍ボランティアの方々を集まって緊急訓練を実施してほしい、必要な時には効率的にサポートができると思う。
- ・緊急警報と発表が英語で行われなため、何をすべきかを理解するのが非常に難しい。私たちが理解できるように、災害関連のすべての情報を英語と日本語で放送し、発表してください。

（4）子育て・教育

- ・育児や学校情報など、子どもの日本語支援などあれば、友人もできやすくなると思います。交流機会なども増やせばよいではないかと思っております。

- ・おそらく文化の違いで日本人の子どもたちと馴染めない、孤独を感じると言っていたので、日本政府や大田区には、子どもの言語支援で大変助かった。ありがとうございます。機会があれば異文化を広げたく、子どもたちには良い環境を整えてほしい。また、それによって外国人への偏見や差別も解消されるでしょう。

(5) 医療・福祉

- ・お年寄りに、何か特別なサービスを。お年寄りに体操教室はありますか。リタイアした人たちに向けた、おもしろい集まりはありますか。

(6) ネットワークづくり

- ・外国人にとっては日本のルールや文化がわからなく、税金や年金などの仕組みもわからないので、自分でなかなかやりづらいと思います。それについての教育や交流などがあれば、助かると思います。

(7) 日本人の外国人との交流の充実

- ・都市に住む人の、近隣の人に対する無関心さは、外国人が外部と交流せず殻に閉じこもる要因のひとつになっていると思います。
- ・まだ大田区についてよくわかっていませんが、外国人としてできるだけ現在住んでいる地域に慣れるようにして、地域の人たちにあいさつをしたり、必要な時に協力したりするなど心がけることは大切だと考えています。人々は内面に共通な心情や文化などがあると信じて、互いに幸せになるために、何かしていければ良いなと思います。
- ・論文のネイティブチェックがときどき必要なので、手伝っていただける方（たとえば定年退職後の日本人男性の方）と知り合いたい。その代わりにボランティアの方に中国語を教えることが可能である。どうぞよろしくお願いします。
- ・日中友好関係を築いてほしい。お互いに見守りあい、助け合い、ともに難局を乗り越えたいと思う。
- ・今よりもっと多言語・多文化の交流会を増やす。例えば、屋外で飲食、音楽交流会や物々交換会など、制限なしで誰でも参加可能なイベントを開催することで、共通の趣味や関心を持つ人と出会い、地域コミュニティ活性化につながる。
- ・休日に異文化交流イベントを開催してほしい、異文化交流を体験したり学んだりすることにより、人と人との触れ合いを促進できる。私にとって日本は第二の故郷のような存在であり、妻と私で大田区の美しい街づくりに貢献したい。日本の温かさを感じたい。大田区、ありがとうございます。
- ・国際交流、異文化交流をもっと多く開催していただければ、日本人区民と外国人区民がお互いを認めあい、協力しあうことになると思う。
- ・もっとコミュニティの形成に良い活動、イベントなどがあれば参加したいです。良いコミュニティで住みたい、良いコミュニティと一緒に作りたいと思います。国籍を問わず、住民全員が協力しながら良い街を作りたいです。

(8) グローバル人材の育成・活躍

- ・ 官公庁には英語の対応ができる係員がいると良いです。
- ・ 昔に比べると、最近では区役所などでの対応は、とても親切で丁寧にしてくれるので、行きやすくなりました。外国人の中には言葉が通じないとか、あるいは主張の激しい人もいますが、お互いに身構えず、協力し合えたらいいですね。
- ・ 仕事と育児を両立することがすごく難しいことになっている状況、区内の就職しやすい紹介や募集情報があれば、近くで働けることができ、両立しやすい状況になるかもしれないです。
- ・ 日本語があまりできない外国人も仕事できる場を作ってほしい。(特に差別がなく、日本人と外国人が平等で仲良く仕事できる場づくり)

(9) 「国際都市おおた」の魅力の向上

- ・ 私の写真のスキルやSNSのプロモーションなどを通じて、大田区をサポートできたら嬉しく思います。
- ・ 外国人区民が中心となるイベント等を催したらどうか。昔住んでいたまちでは、様々な国の方々が、食べ物や文化に触れられるお店を出し、たくさんのお客さん(日本人も外国人も)が訪れ、とても良い交流の場となっていました。知らない、わからない相手を認める、協力しあう事は、とても難しい事だと思う。日本人の方々が多国籍の方を「知る」事も重要だと思います。

(10) その他

- ・ 大田区の住まいと住まいの現状について。部屋を探すのに助けが必要。子どもが家を手に入れることができない。子どものために助けが必要です。快適に仕事ができれば良いのですが。
- ・ 大田区は、外国人が住居を借りることを簡単にするよう努めるべきです。言語の壁は、賃貸の契約を拒否する理由であってはなりません。
- ・ 1日も早く新型コロナウイルス感染症の感染が終息してほしい。大田区は通常通りでイベント開催してほしい。
- ・ 例えば、代々木公園で定期的で開催されているような、大規模な食のフードフェスティバルを開催するのはどうでしょうか。国ごとに分けて開催するよりも、多くの国が一度に参加するインターナショナル・フードフェスティバルが効率的で良いと思います。
- ・ 外国の文化をもっと紹介するイベントを開催する。
- ・ 外国人も日本人も心を開いて、差別がなく、ルールを守って、お互いを理解した上で仲良く住める大田区を作ってほしい。住みやすい場所になれるかどうかは行政の政策、能力、努力、責任に決められる。こういった意見を言える機会をいただきありがとうございます。
- ・ 外国人に対する偏見を無くす。日本は比較的閉鎖的な国なので、日本語がそこまで上手でない外国人には近づこうとしない人がおそらく多い。お国柄なので何とかできるものでもないと思いますが。
- ・ 大田区はとても住みやすいですし、特に外国人に対する差別を感じたことはありません。地域での活動から日本全体にも広がっていくとありがたいです。
- ・ 相手に対して、国籍などの先入観を持たず、一人の人間として接すれば、偏見やヘイトは減

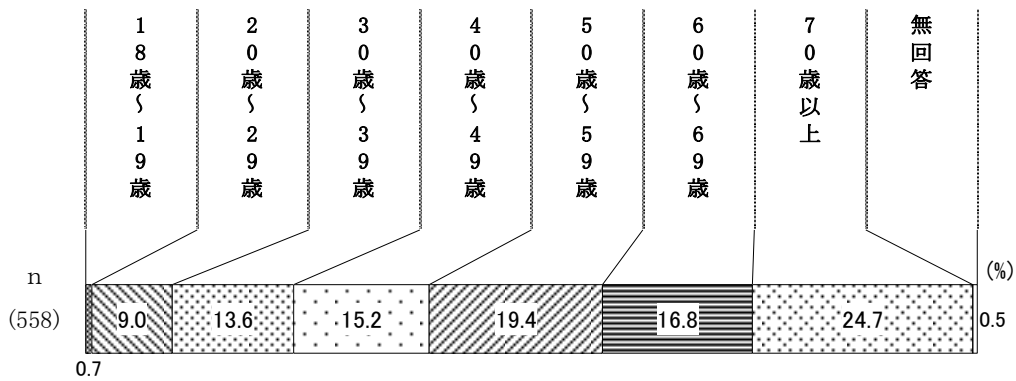
と思う。

- 外国人の私にとって、日本は自分の国を超えるほど好きです。みんなと一緒に住みよい街づくりに貢献したい。今後、外国人向け支援活動も増やしてほしい。日本にいる外国人がもつこの国を良さや魅力を知って、好きになってほしい。
- 特に必要ないと思います。あまり支援をすると区民税が高くなると思うので、必要最低限で良いと思います。日本語は生活に必要であればすぐ覚えると思います。あまり支援すると、逆に日本人住民からの差別が起きると思います。外国に住むと不便がいっぱいあるからたくましくなると思います。
- 外国人ママ達を支援してもらいたいです。
- 診察や治療を受ける（外国人の）ために、すべての医療機関に通訳（英語またはネパール語）の支援があるとよいです。また、低家賃の公営住宅を希望します。

第3章 日本人区民調査結果の詳細

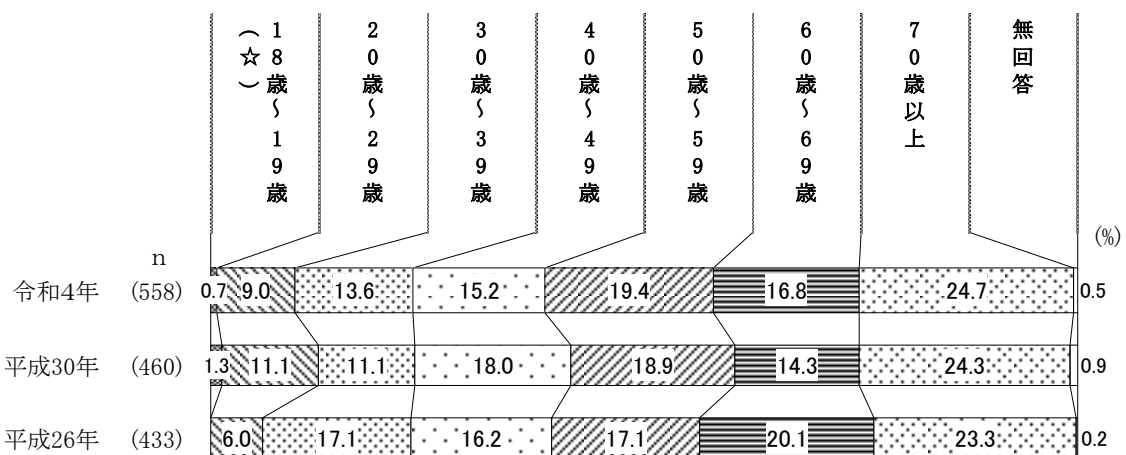
1. 基本属性

(1) 年齢 (単数回答)



年齢では、「70歳以上」が24.7%で最も高く、次いで、「50歳～59歳」(19.4%)、「60歳～69歳」(16.8%)、「40歳～49歳」(15.2%)となっている。

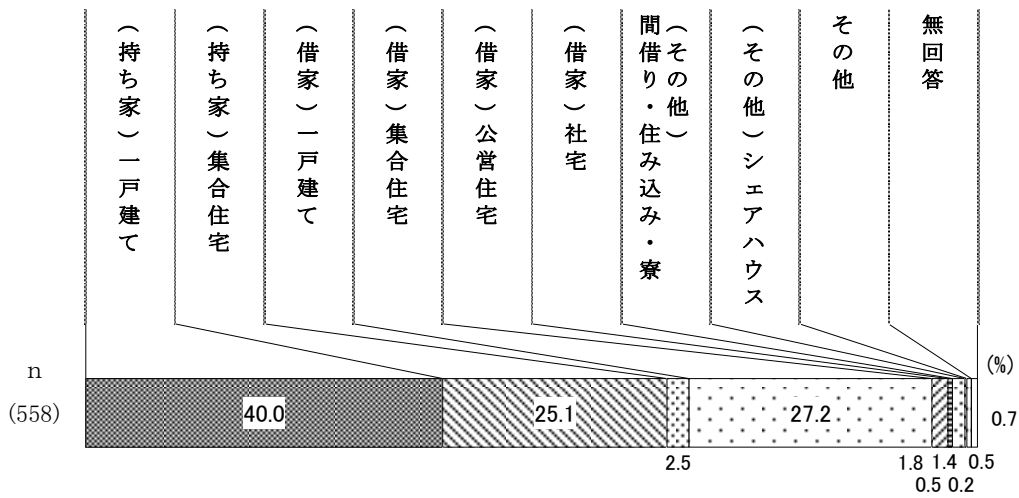
経年比較



*経年比較について、選択肢中の(☆)は平成30年度調査から新設された選択肢であることを表す。(以下同様)

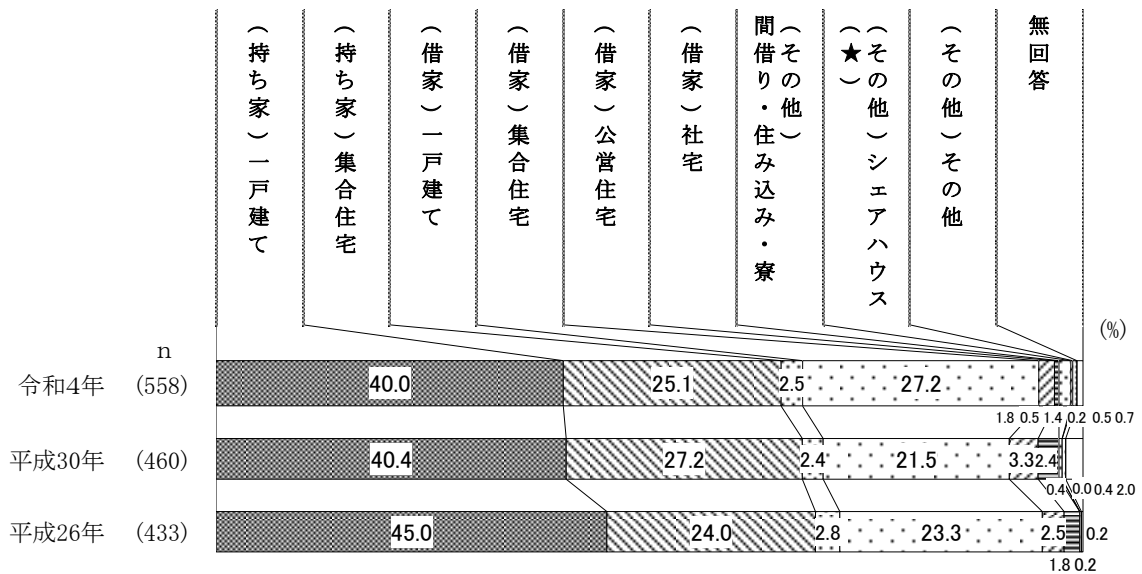
過去の調査と比較すると、50歳以上で平成30年から増加している。

(2) 住居 (単数回答)



住居では、「(持ち家) 一戸建て」が40.0%で最も高く、次いで、「(借家) 集合住宅」(27.2%)、「(持ち家) 集合住宅」(25.1%)となっている。

経年比較

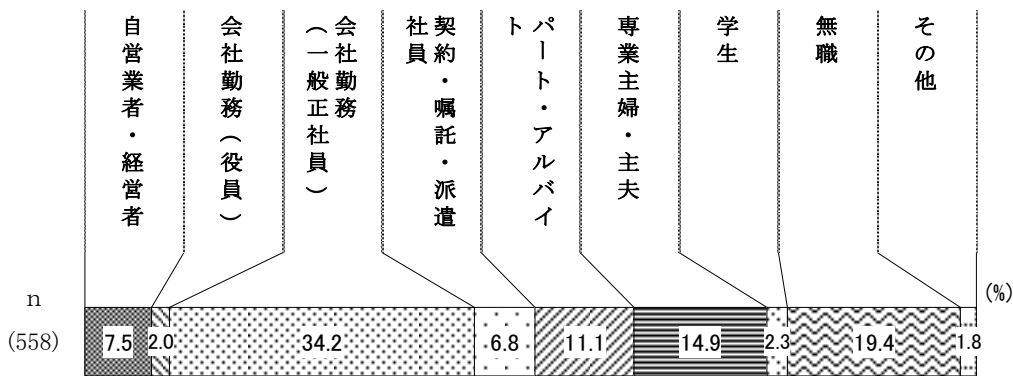


*経年比較について、選択肢中の(★)は令和4年度調査から新設された選択肢であることを表す。(以下同様)

*「(借家) 集合住宅」は平成26年度調査の数値は「借家：民間・木造アパート」、「借家：民間・鉄筋アパート・マンション」を合算したものの

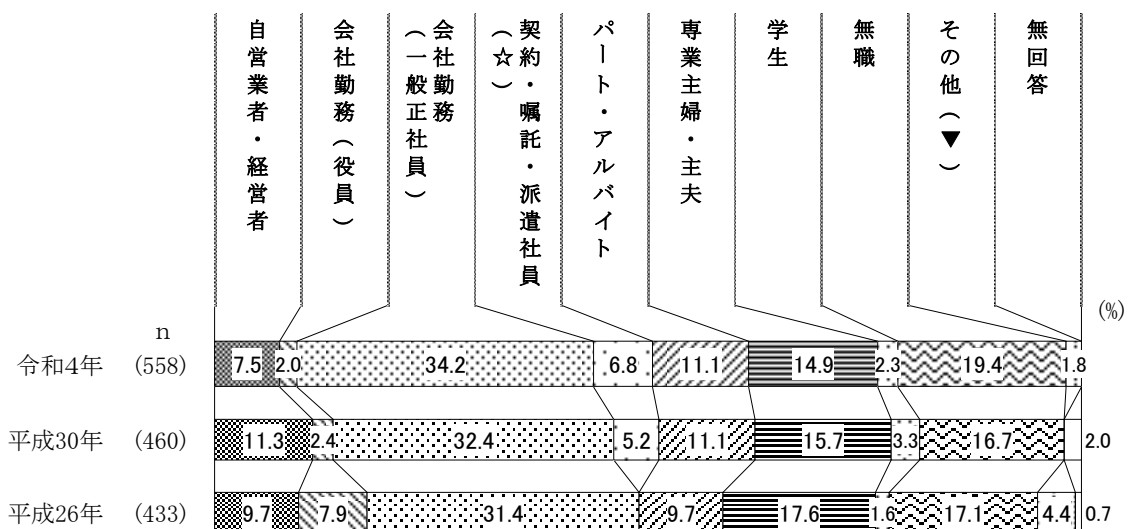
過去の調査と比較すると、平成30年から「(借家) 集合住宅」は5.7ポイント増加している。

(3) 職業 (単数回答)



職業では、「会社勤務 (一般正社員)」が34.2%で最も高く、次いで、「無職」(19.4%)、「専業主婦・主夫」(14.9%)、「パート・アルバイト」(11.1%)となっている。

経年比較



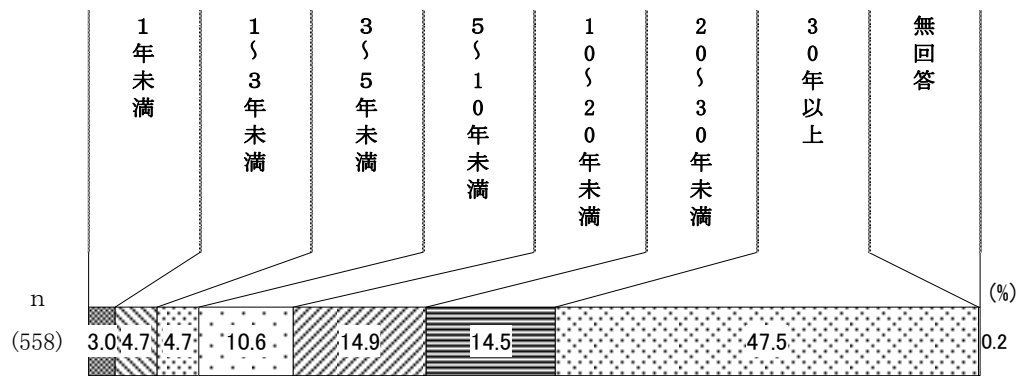
* 経年比較について、選択肢中の (▼) は平成30年度の調査では選択肢にないことを表す。(以下同様)

* 「自営業者・経営者」の平成26年度調査の数値は、「自営業・事業主」、「自由業 (開業医、弁護士、作家、芸術家など)」を合算したもの。

* 「会社勤務 (一般正社員)」の平成26年度調査の数値は、「事務職 (一般事務職、オペレーターなど)」、「専門・技術職 (勤務医師、研究者、技術者など)」、「労務・サービス職 (販売員、工場などの生産工程従業者、運転者など)」を合算したもの。

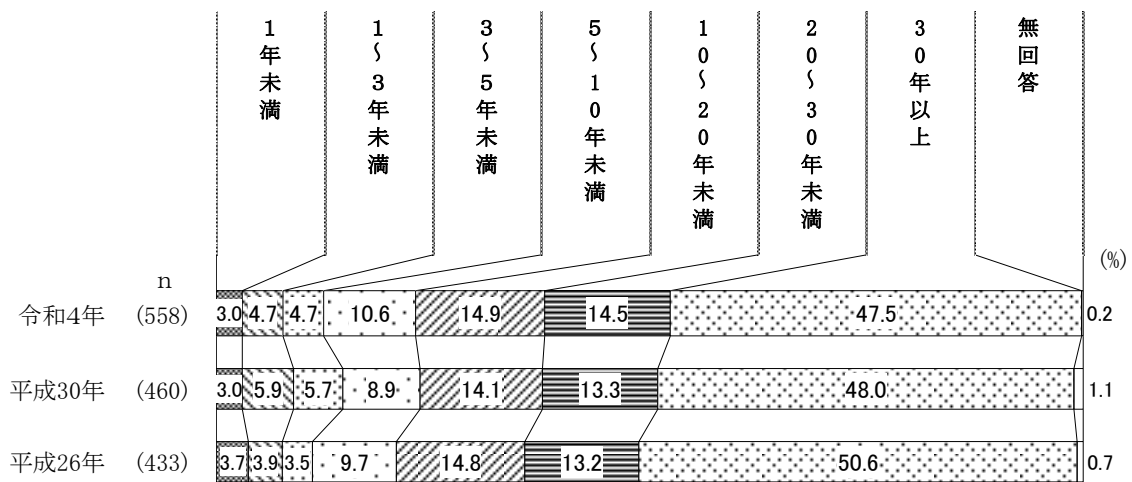
過去の調査と比較すると、「会社勤務 (一般正社員)」は平成26年から増加が続いている。「自営業者・経営者」や「専業主婦・主夫」は平成30年から減少している。

(4) 居住年数 (単数回答)



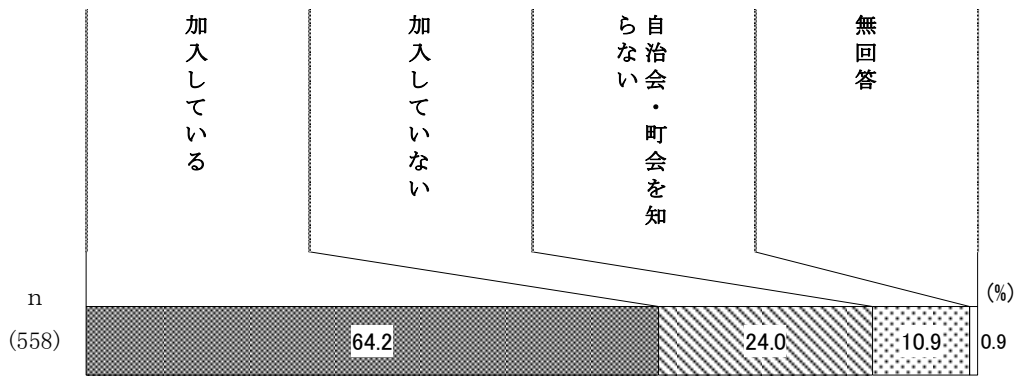
居住年数では、「30年以上」が47.5%で最も高く、次いで、「10～20年未満」(14.9%)、「20～30年未満」(14.5%)、「5～10年未満」(10.6%)となっている。

経年比較



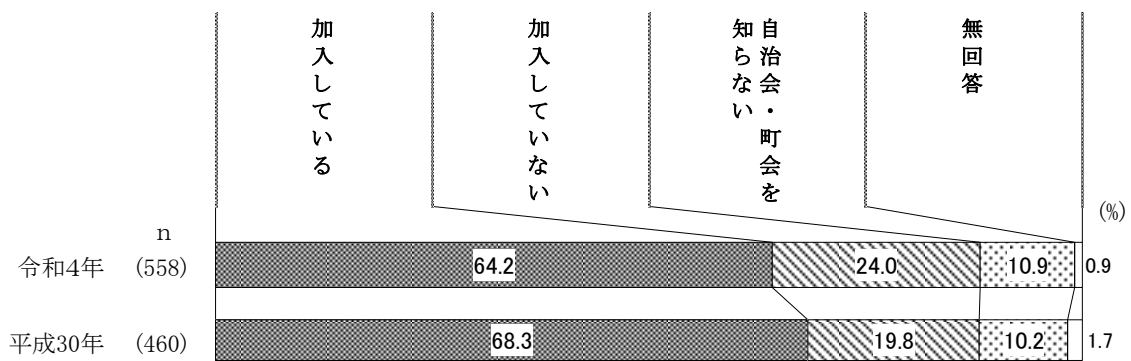
過去の調査と比較すると、平成26年から「20～30年未満」が増加傾向、「30年以上」では減少傾向となっている。

(5) 自治会・町会加入の有無（単数回答）



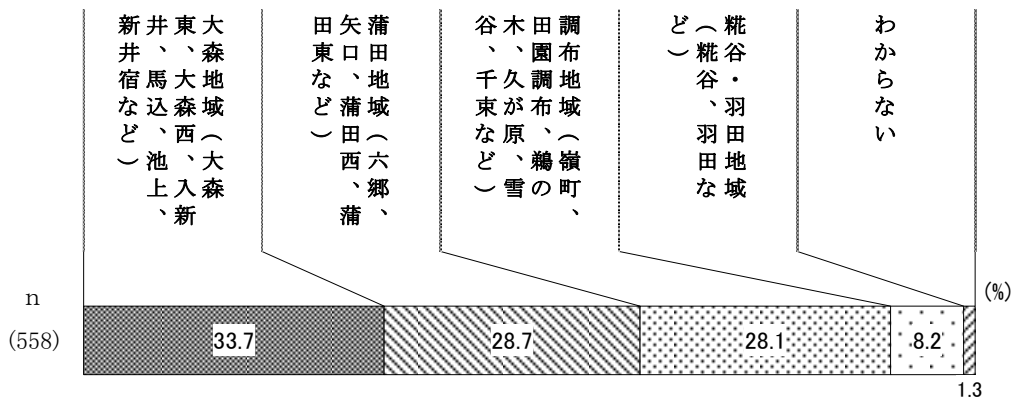
自治会・町会加入の有無では、「加入している」が64.2%で最も高く、次いで、「加入していない」(24.0%)、「自治会・町会を知らない」(10.9%)となっている。

経年比較



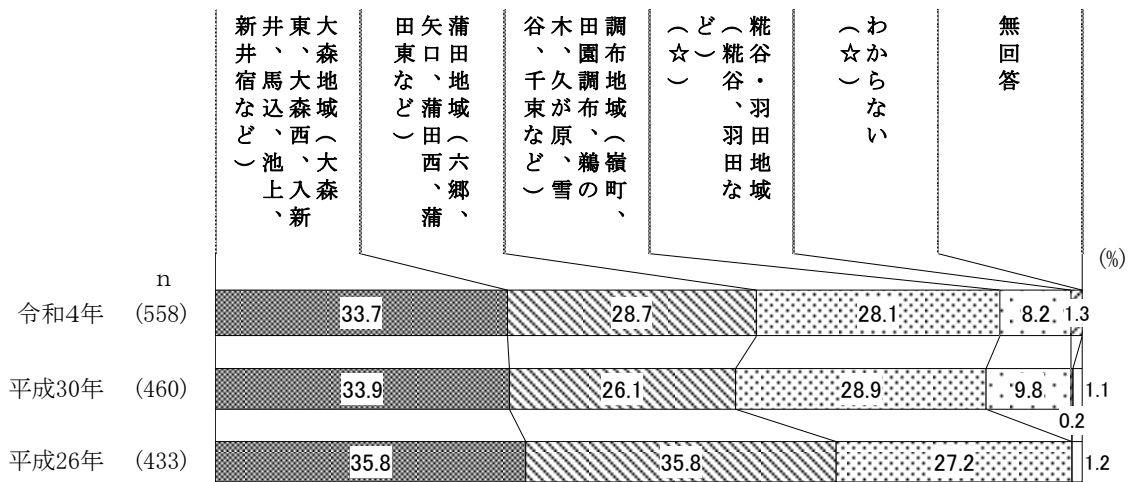
過去の調査と比較すると、自治会・町会加入率がやや減少している。

(6) 居住地 (単数回答)



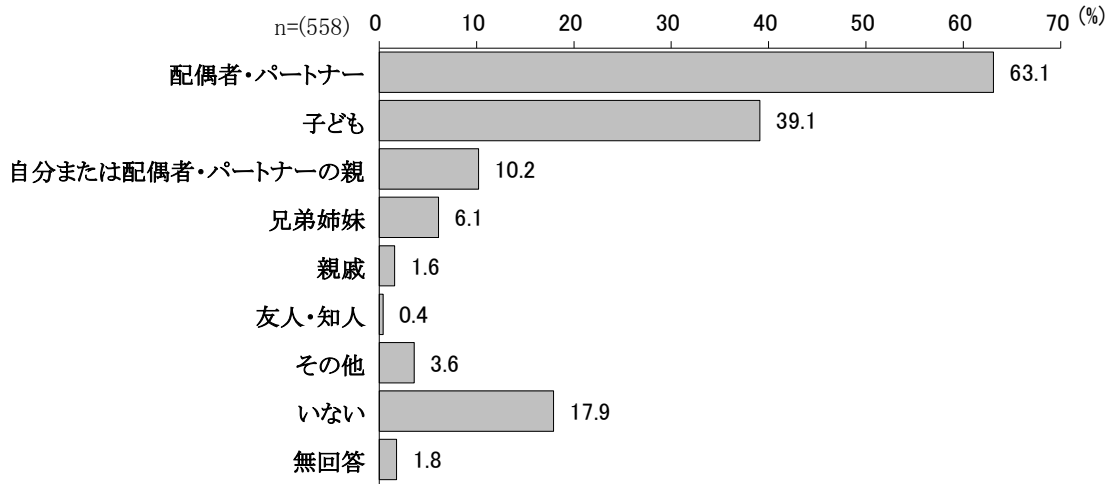
居住地では、「大森地域」が33.7%で最も高く、次いで、「蒲田地域」(28.7%)、「調布地域」(28.1%)、「糀谷・羽田地域」(8.2%)となっている。

経年比較

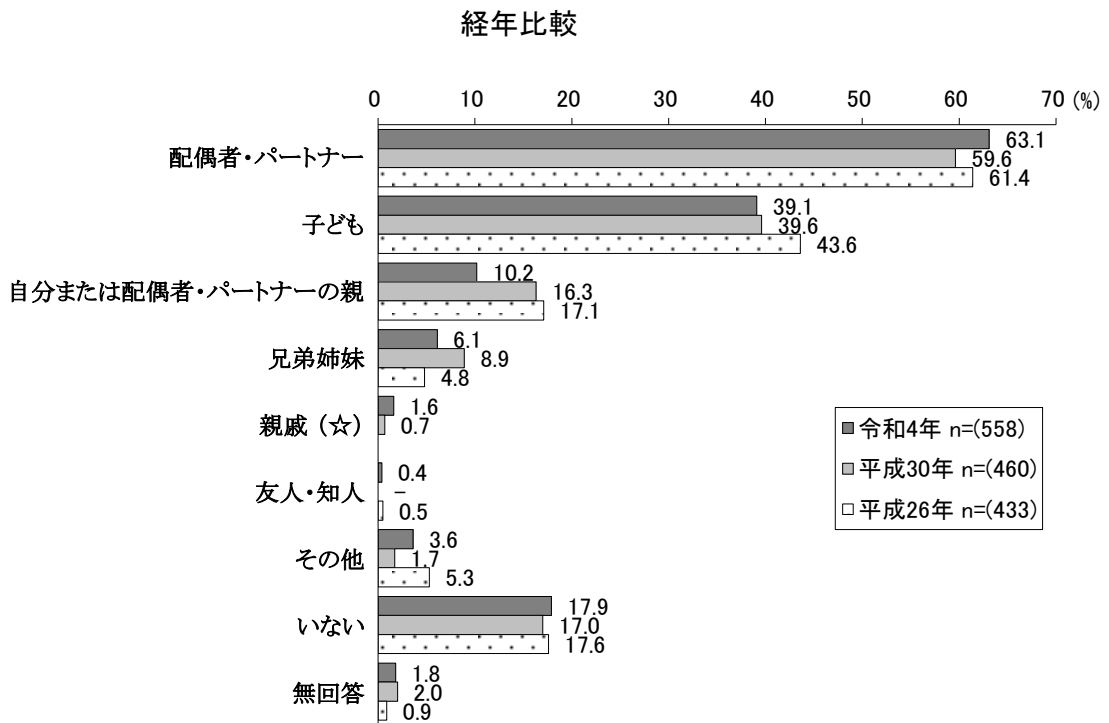


過去の調査と比較すると、「蒲田地域」は平成26年で35.8%であったが、平成30年に9.7ポイント減少して26.1%となり、今回はやや増加となった。

(7) 同居者（複数回答）

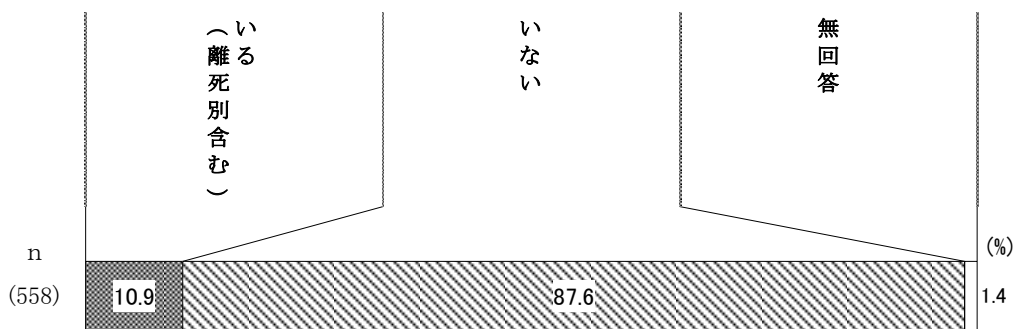


同居者では、「配偶者・パートナー」が 63.1%で最も高く、次いで、「子ども」(39.1%)、「自分または配偶者・パートナーの親」(10.2%)となっている。一方、「いない」は 17.9%となっている。



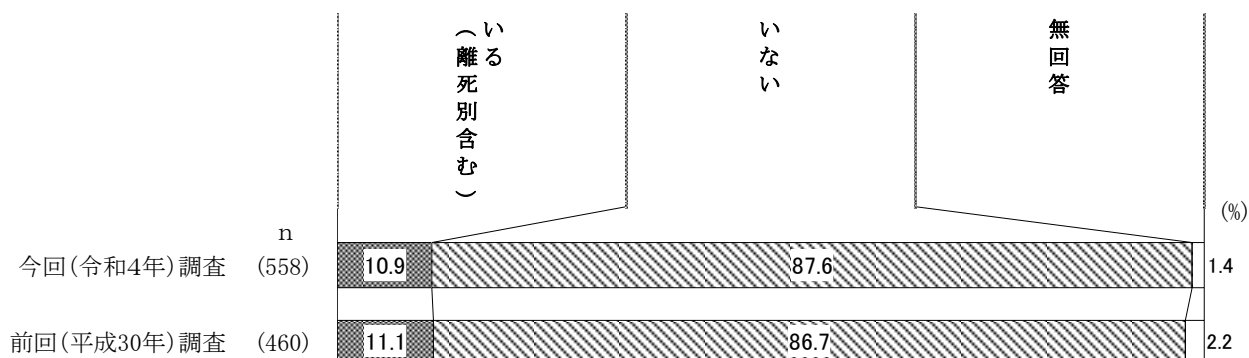
過去の調査と比較すると、平成 30 年から「自分または配偶者・パートナーの親」は 6.1 ポイント減少している。

(8) 外国人や外国にルーツを持つ家族や親戚の有無 (単数回答)



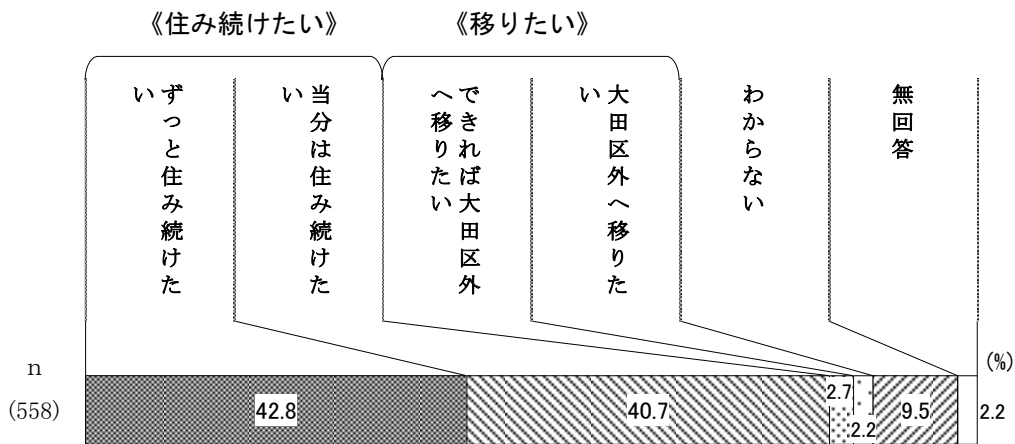
外国人や外国にルーツを持つ家族や親戚の有無では、「いる (離死別含む)」が10.9%、「いない」が87.6%となっている。

経年比較



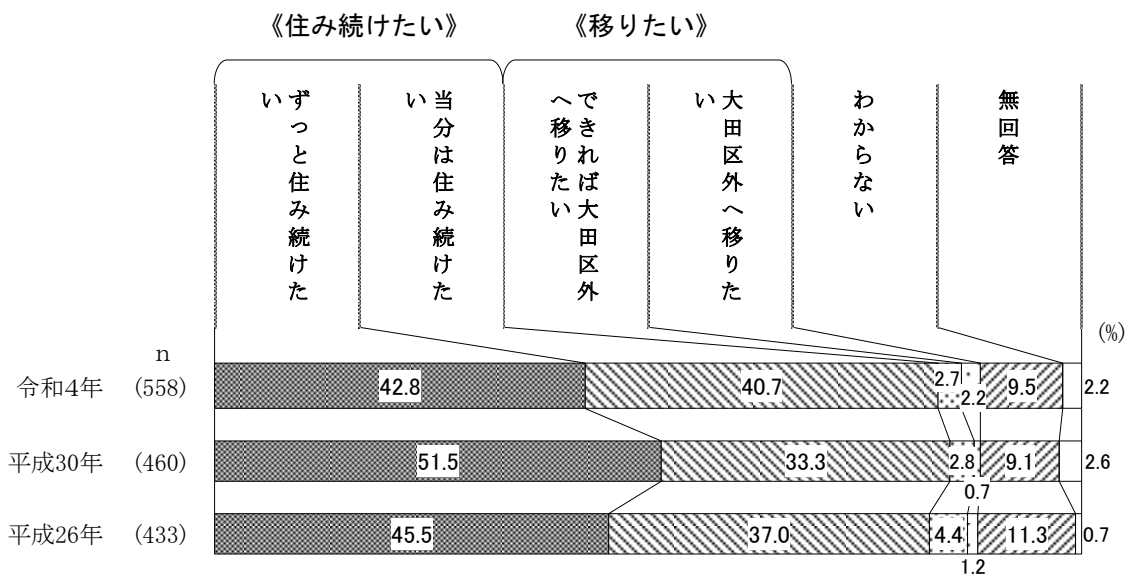
過去の調査と比較すると、「いる (離死別含む)」はやや減少し、「いない」がやや増加している。

(9) 定住意向 (単数回答)



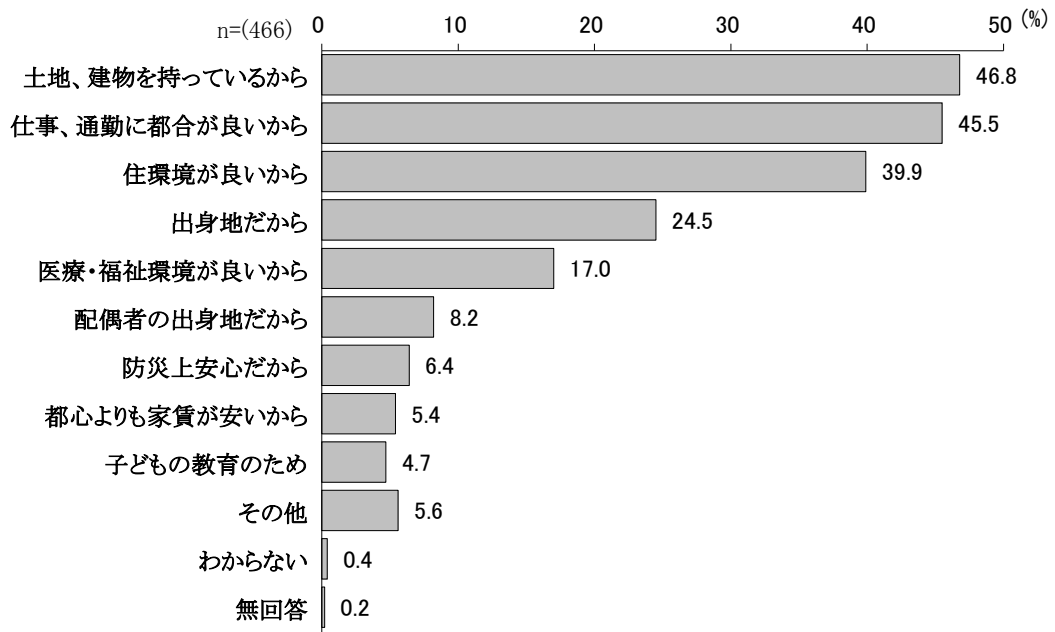
定住意向では、「ずっと住み続けたい」が42.8%で最も高く、次いで、「当分は住み続けたい」(40.7%)、「わからない」(9.5%)、「できれば大田区外へ移りたい」(2.7%)となっている。

経年比較

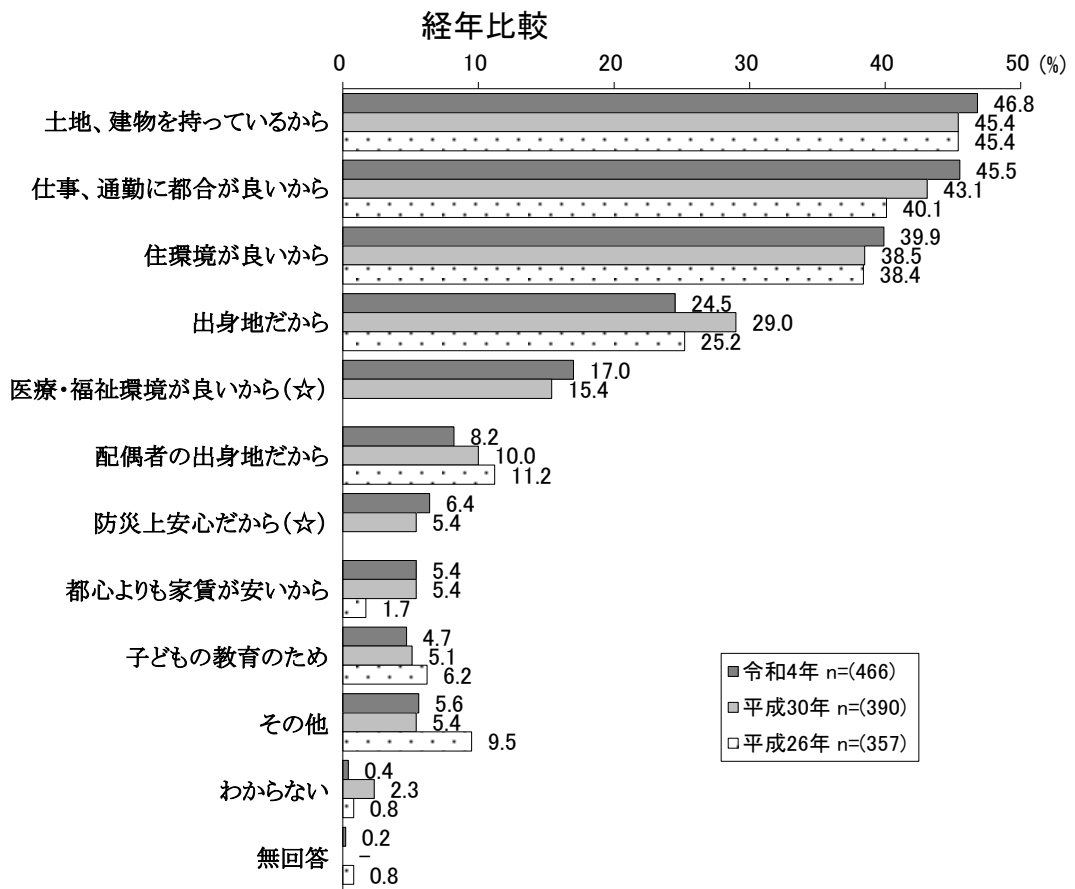


過去の調査と比較すると、「ずっと住み続けたい」は平成30年から8.7ポイント減少したが、「当分は住み続けたい」は7.4ポイント増加しており、定住意向としては同レベルで推移している。

(10-1) これからも大田区に住みたい理由（複数回答）

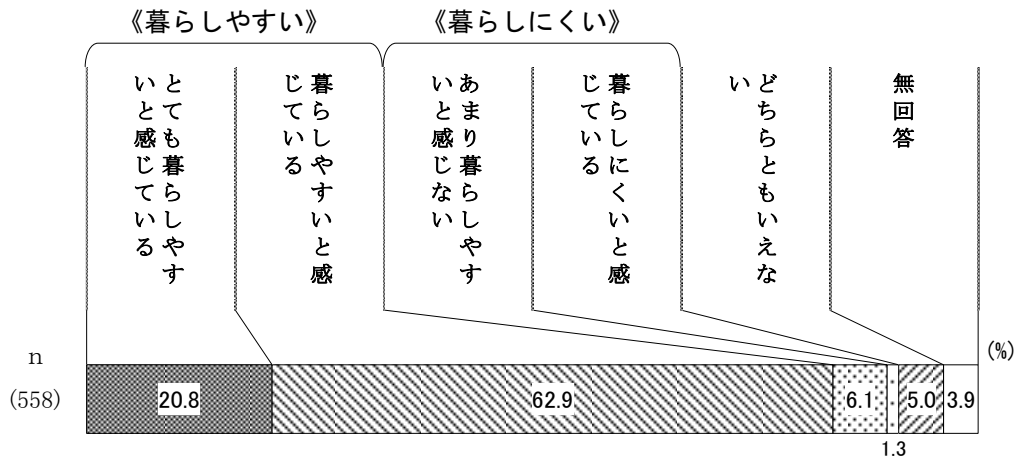


これからも大田区に住みたい理由では、「土地、建物を持っているから」が46.8%で最も高く、次いで、「仕事、通勤に都合が良いから」(45.5%)、「住環境が良いから」(39.9%)、「出身地だから」(24.5%)となっている。



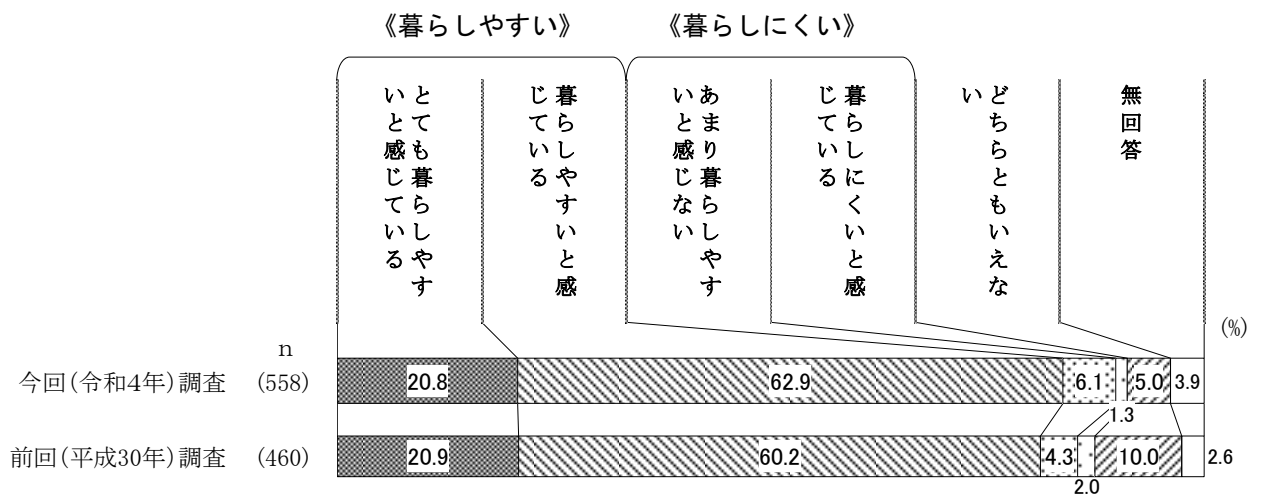
過去の調査と比較すると、平成26年から「仕事、通勤に都合が良いから」は5.4ポイント増加している。

(11) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ（単数回答）



現在住んでいるまちの暮らしやすさでは、「とても暮らしやすいと感じている」（20.8%）と「暮らしやすいと感じている」が（62.9%）を足した割合は、83.7%と高くなっている。

経年比較



過去の調査と比較すると、平成30年から「どちらともいえない」は5.0ポイント減少している。

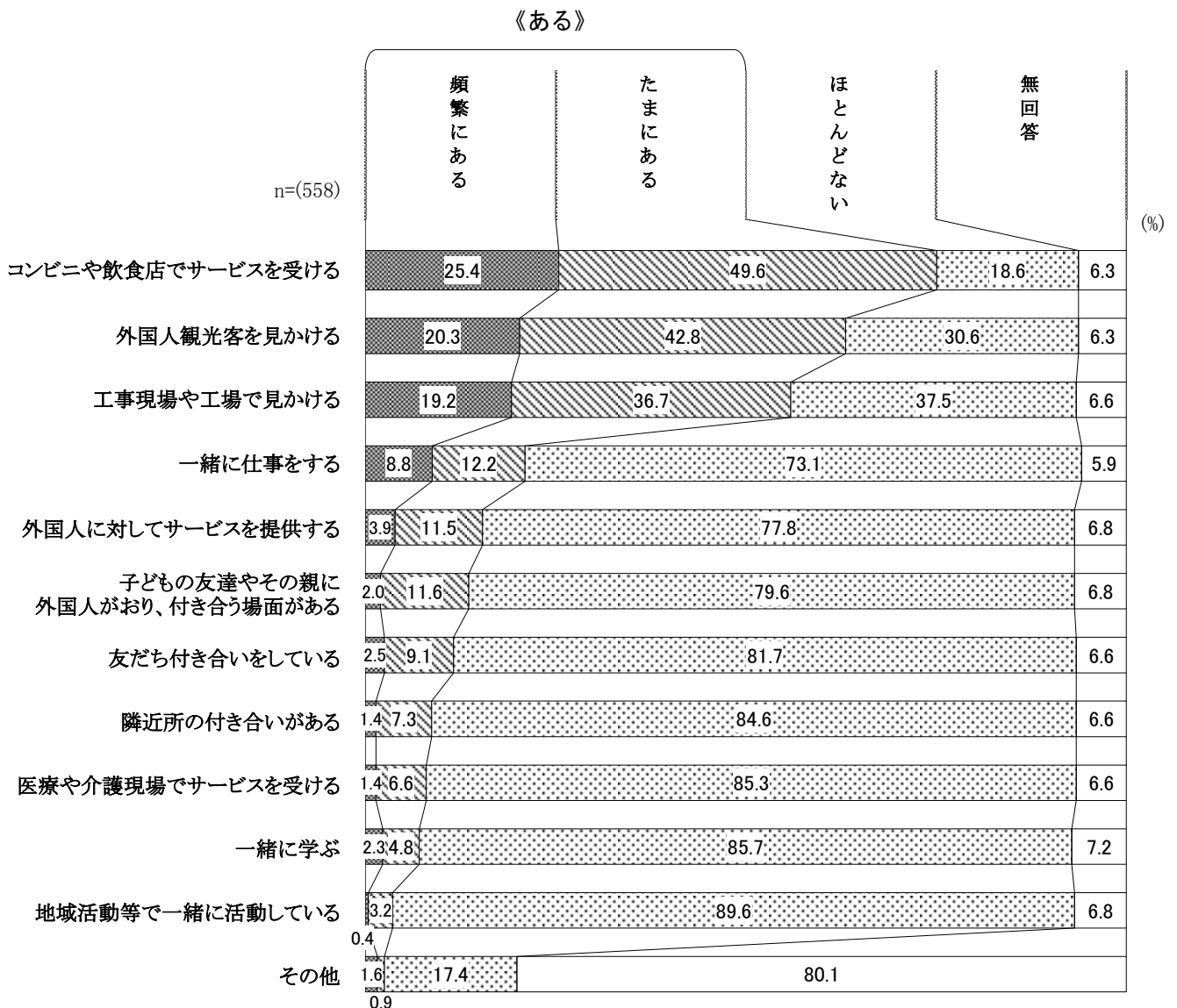
2. 外国人区民との関わりなどについて

(1) 外国人との関わり／4年前との比較（前回プラン策定時）

問1 現在、あなたが地域内で生活するなかで、①外国人と関わる場面の有無、および、②4年前（「国際都市おおた」多文化共生推進プランを策定した時期）と比較した際の増減（※）についてお答えください。（回答はア～シ、①②ごとにそれぞれ1つずつ）

※なお、大田区での在住歴が4年未満の方は、大田区に住み始めてから現在までの変化についてお答えください。

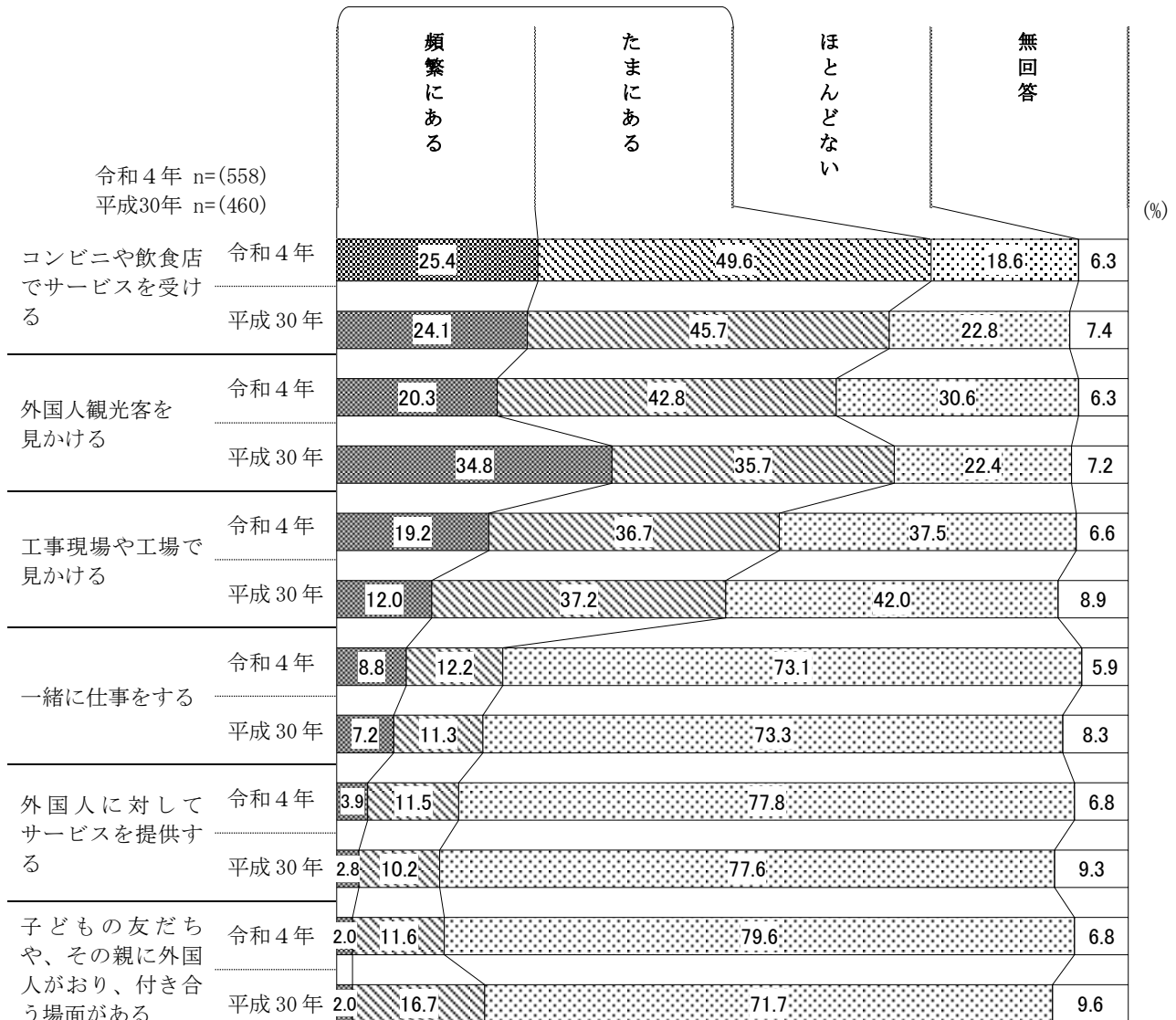
①外国人との関わりの状況



外国人区民との関わりについて《ある》（「頻繁にある」と「たまにある」を足した割合）が高い項目は、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」（75.0%）、「外国人観光客を見かける」（63.1%）、「工事現場や工場で見かける」（55.9%）となっている。一方、「ほとんどない」が高い項目は、「地域活動等で一緒に活動している」（89.6%）、「一緒に学ぶ」（85.7%）、「医療や介護現場でサービスを受ける」（85.3%）となっている。

経年比較

《ある》



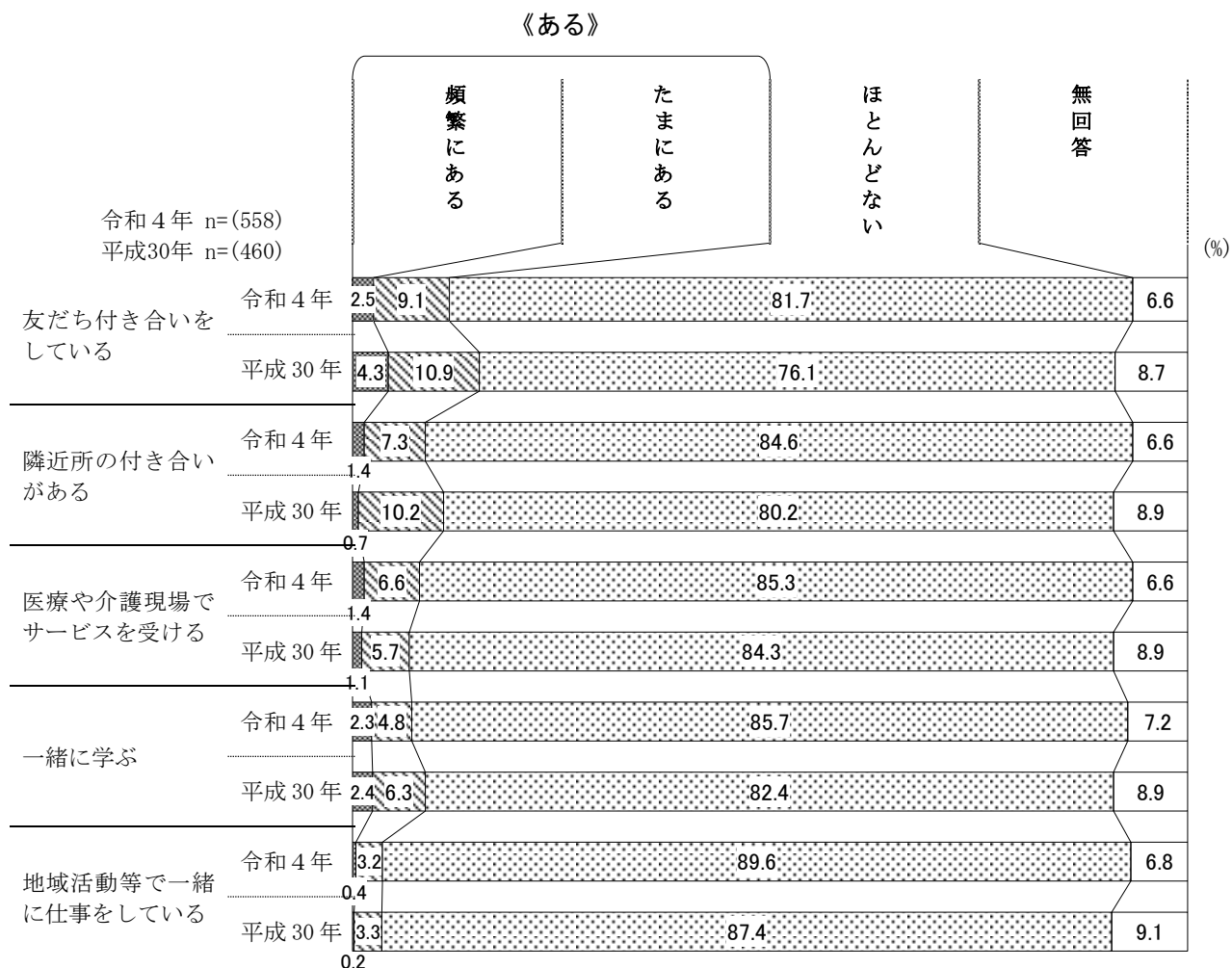
過去の調査と比較すると、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」で「ほとんどない」は 4.2 ポイント減少している。

「外国人観光客を見かける」で「頻繁にある」は 14.5 ポイント減少し、「たまにある」は 7.1 ポイント、「ほとんどない」は 8.2 ポイント増加している。

「工事現場や工場で見かける」で「頻繁にある」は 7.2 ポイント増加している。

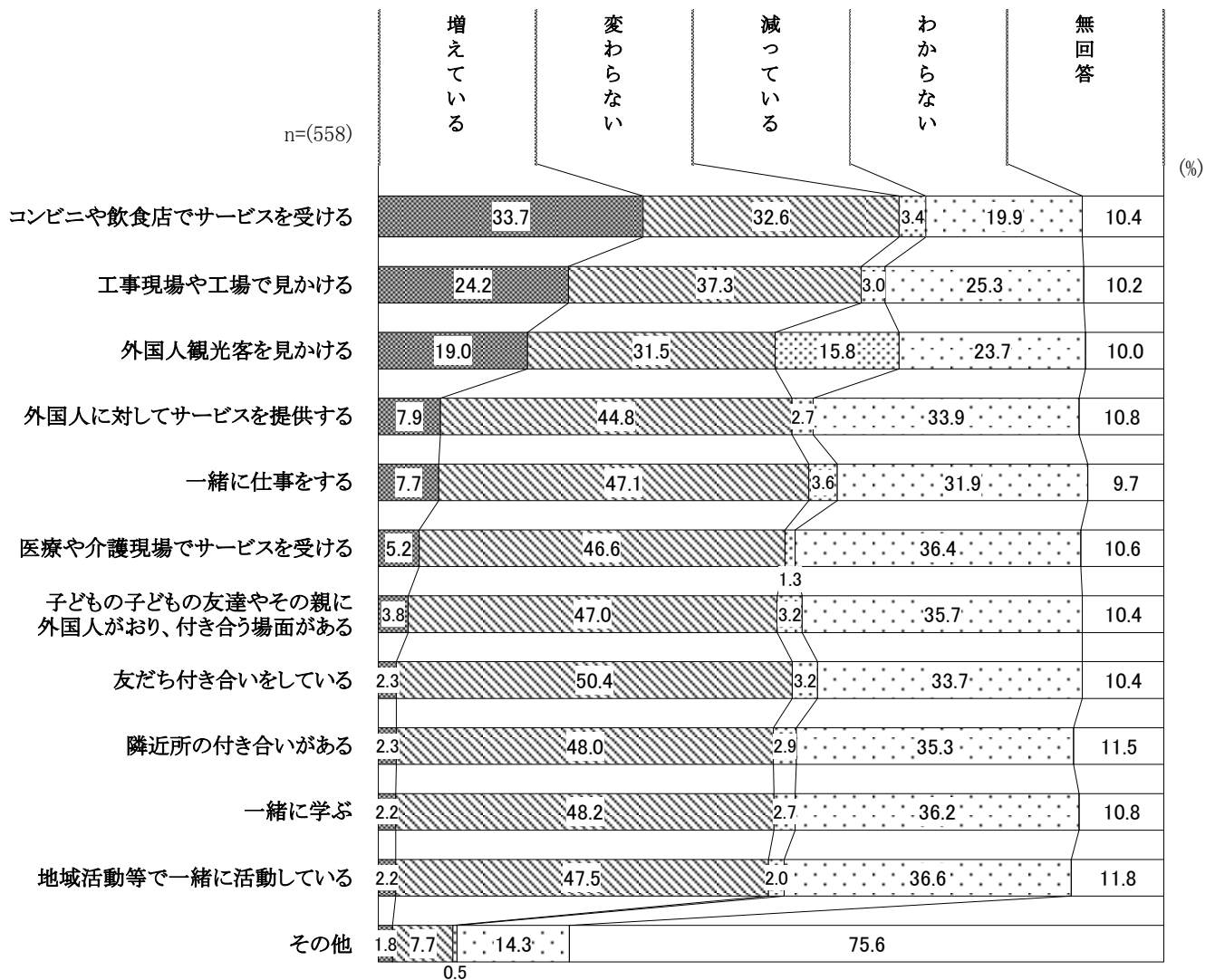
「子どもの友だちや、その親に外国人がおり、付き合う場面がある」で「ほとんどない」は 7.9 ポイント増加し、「たまにある」は 5.1 ポイント減少している。

経年比較（つづき）



過去の調査と比較すると、「友だち付き合いをしている」で「ほとんどない」は5.6ポイント、「隣近所の付き合いがある」で「ほとんどない」は4.4ポイントそれぞれ増加している。

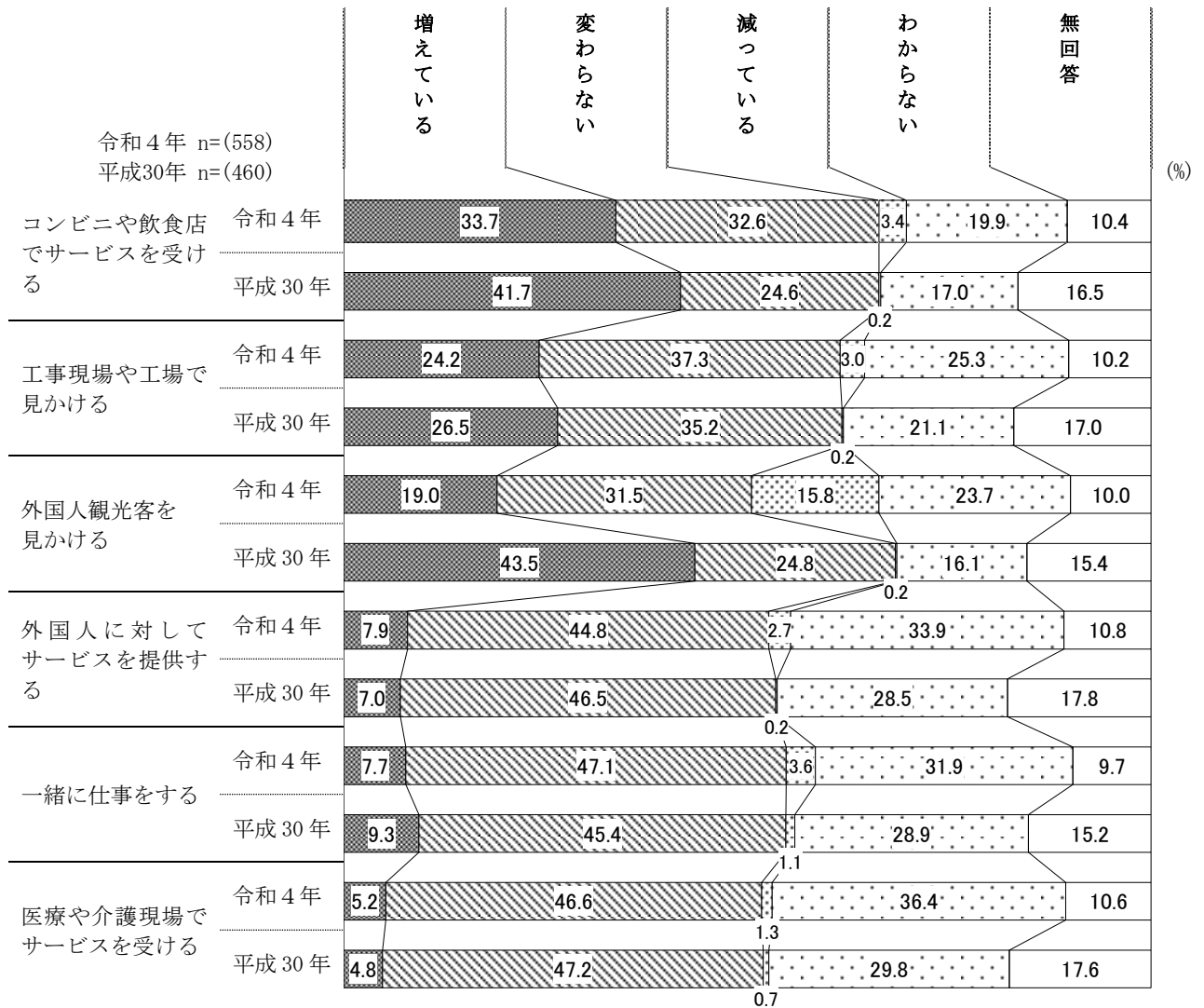
② 4年前との比較（前回プラン策定時）



「コンビニや飲食店でサービスを受ける」を除いたすべての項目で「変わらない」が最も高く、特に「友だち付き合いをしている」(50.4%)は半数を占めている。

「増えている」が比較的高い項目は、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」(33.7%)、「工事現場や工場で見かける」(24.2%)、「外国人観光客を見かける」(19.0%)となっている。

経年比較

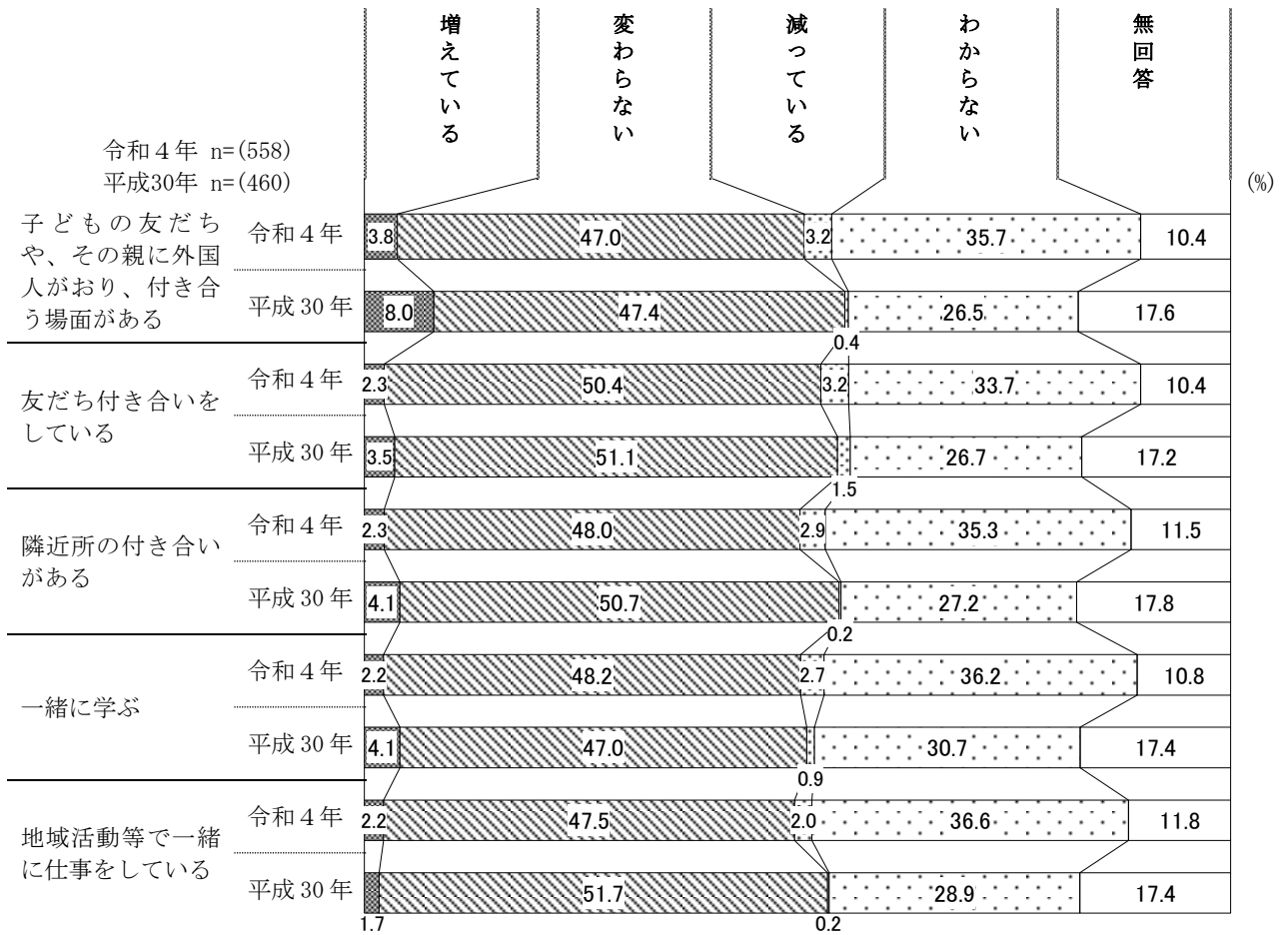


過去の調査と比較すると、「コンビニや飲食店でサービスを受ける」で「増えている」は8.0ポイント減少、「変わらない」は8.0ポイント増加している。

「外国人観光客を見かける」で「増えている」は24.5ポイント減少し、「減っている」は15.6ポイント増加している。

「工事現場や工場で見かける」、「外国人に対してサービスを提供する」、「医療や介護現場でサービスを受ける」では、「増えている」、「変わらない」、「減っている」は同レベルで推移している。

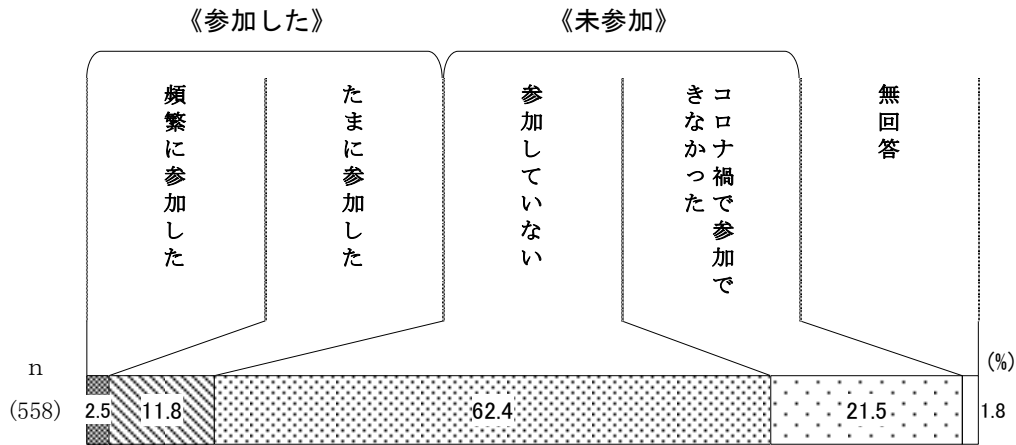
経年比較（つづき）



過去の調査と比較すると、「地域活動等で一緒に仕事をしている」を除いたすべての項目で外国人との関わりが「増えている」がやや減少傾向にあり、「子どもの友だちや、その親に外国人がおり、付き合う場面がある」で「増えている」は4.2ポイント減少している。

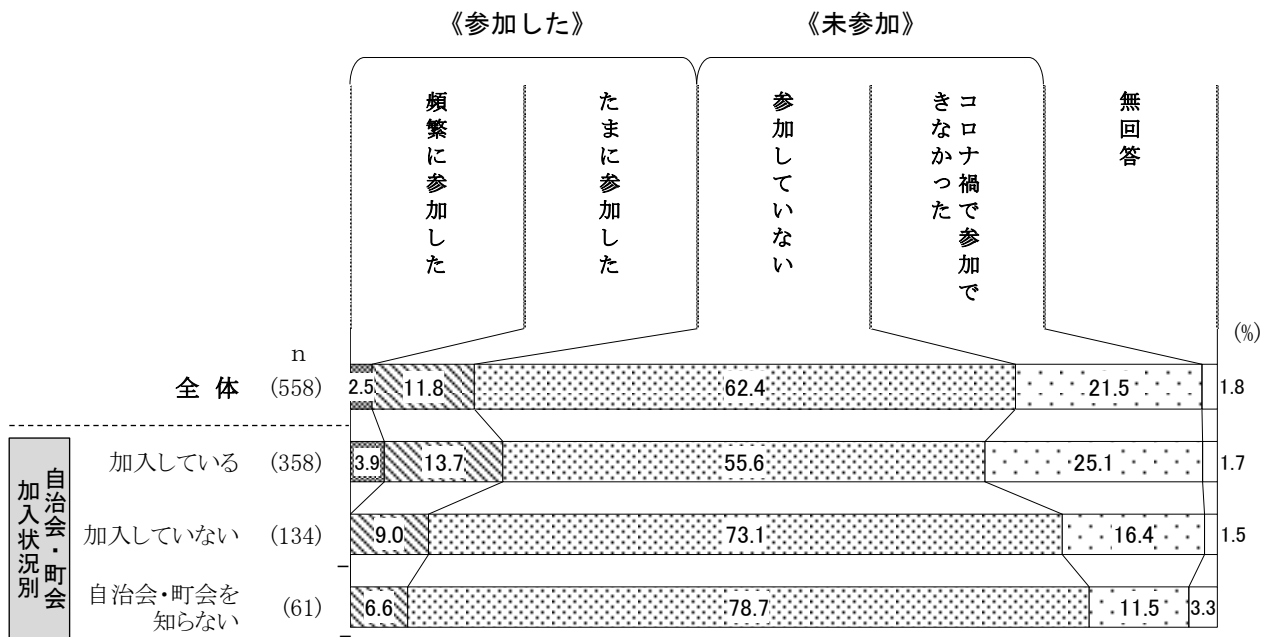
(2) 直近1年間の地域活動への参加状況

問2 あなたは、直近1年間で地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。
 （回答はそれぞれ参加状況、参加意向別に1つずつ）



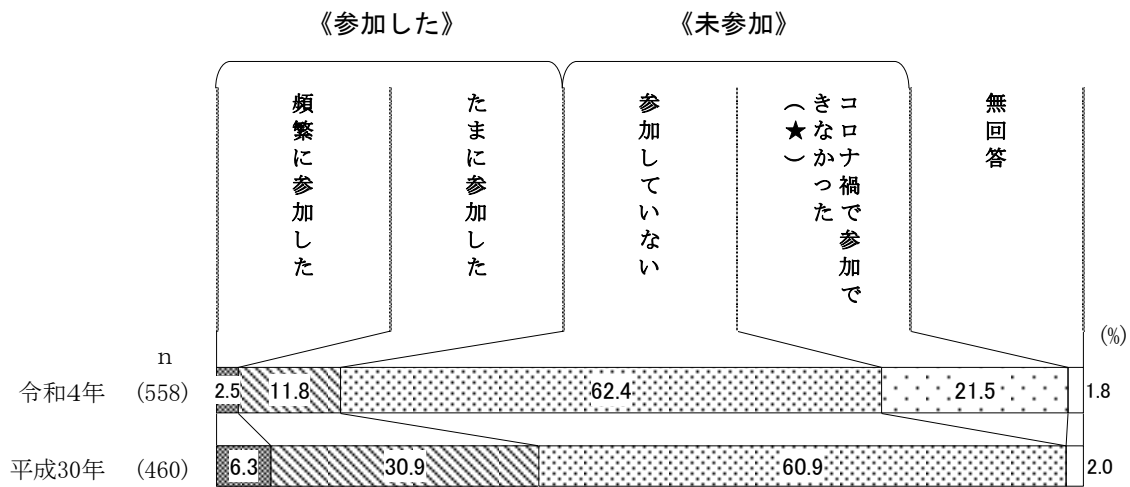
直近1年間の地域活動への参加状況では、《参加した》（「頻繁に参加した」(2.5%)と「たまに参加した」(11.8%)を足した割合）は14.3%となっている。一方、「参加していない」が62.4%、「コロナ禍で参加できなかった」が21.5%となっている。

自治会・町会加入状況別



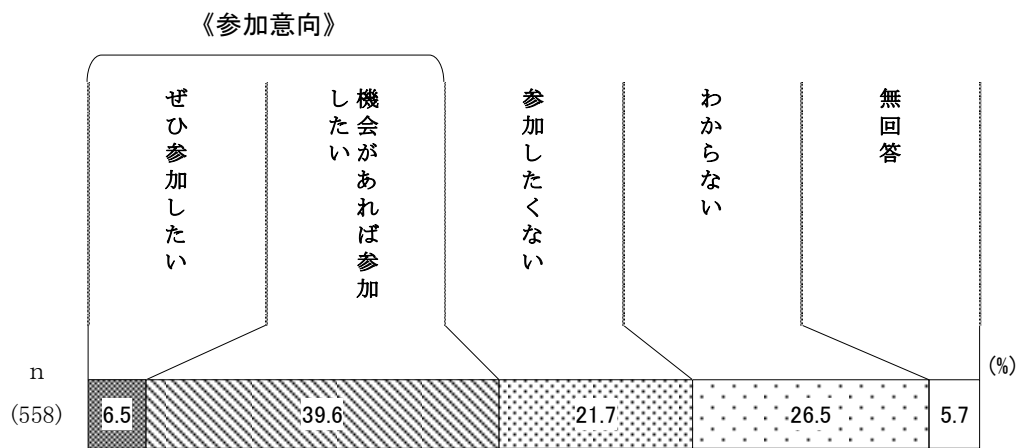
自治会・町会加入状況別にみると、《参加した》は、【加入している】で17.6%と、【加入していない】よりも8.6ポイント高くなっている。一方、「参加していない」は【加入していない】と【自治会・町会を知らない】で7割台となっている。

経年比較



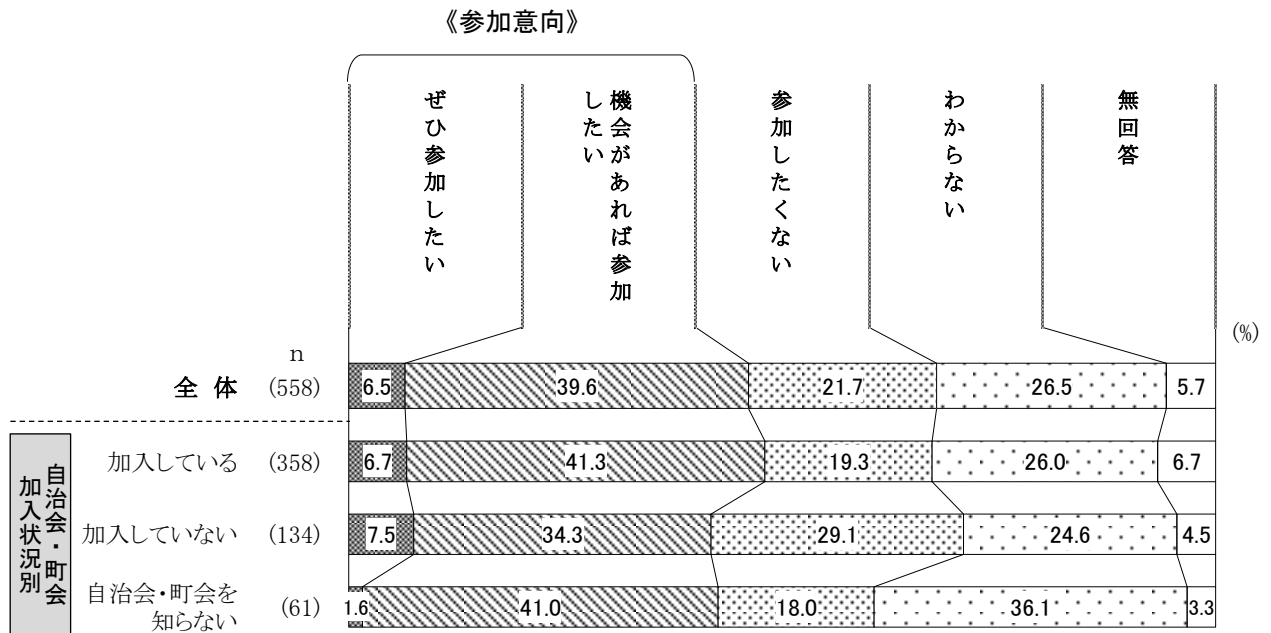
過去の調査と比較すると、「参加した」は平成30年から22.9ポイント減少している。

【今後の参加意向】



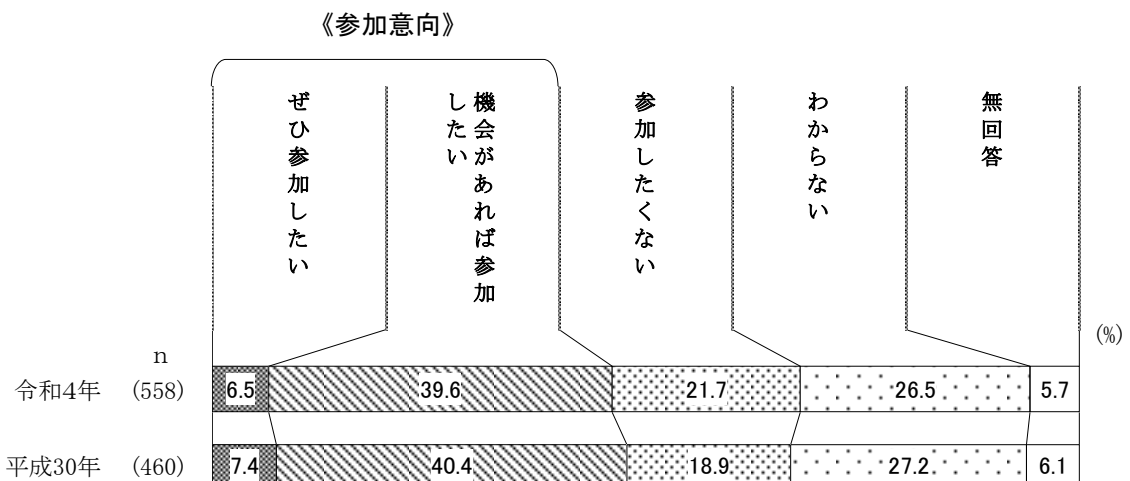
地域活動への今後の参加意向では、「ぜひ参加したい」(6.5%)と、「機会があれば参加したい」(39.6%)の割合を足すと46.1%となっている。一方、「参加したくない」は21.7%、「わからない」は26.5%となっている。

自治会・町会加入状況別



自治会・町会加入状況別にみると、「ぜひ参加したい」と「機会があれば参加したい」を足した割合は、【加入している】で48.0%と、【加入していない】(41.8%)よりも6.2ポイント高くなっている。一方、「参加したくない」は【加入していない】で29.1%となっている。

経年比較

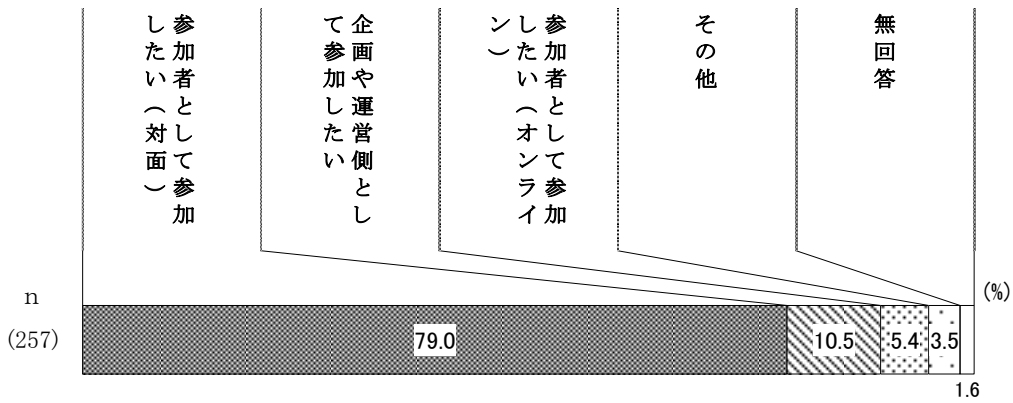


過去の調査と比較すると、参加意向としては減少している。

(2-1) 地域活動での希望する参加形式

(問2「今後の参加意向」で「ぜひ参加したい」または「機会があれば参加したい」とお答えの方にお聞きします)

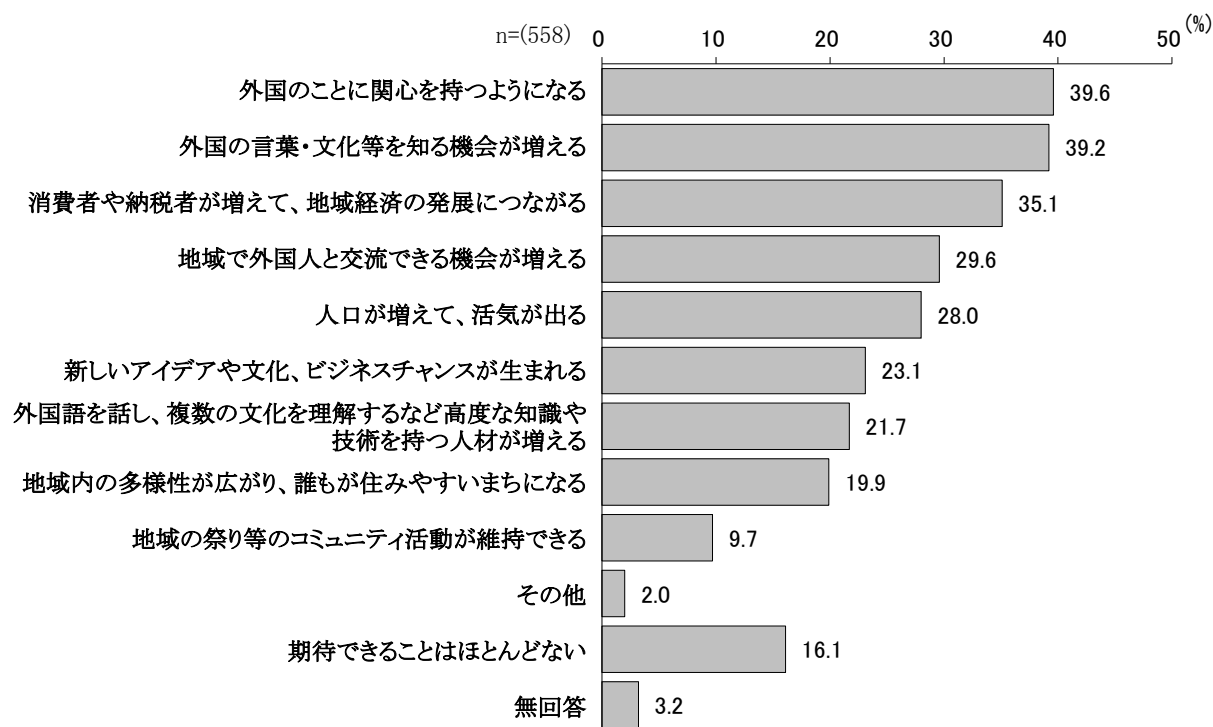
問2-1 あなたが地域の活動にどのような形で参加したいですか。(回答は1つだけ)



地域活動での希望する参加形式では、「参加者として参加したい(対面)」が79.0%で最も高く、次いで、「企画や運営側として参加したい」(10.5%)、「参加者として参加したい(オンライン)」(5.4%)となっている。

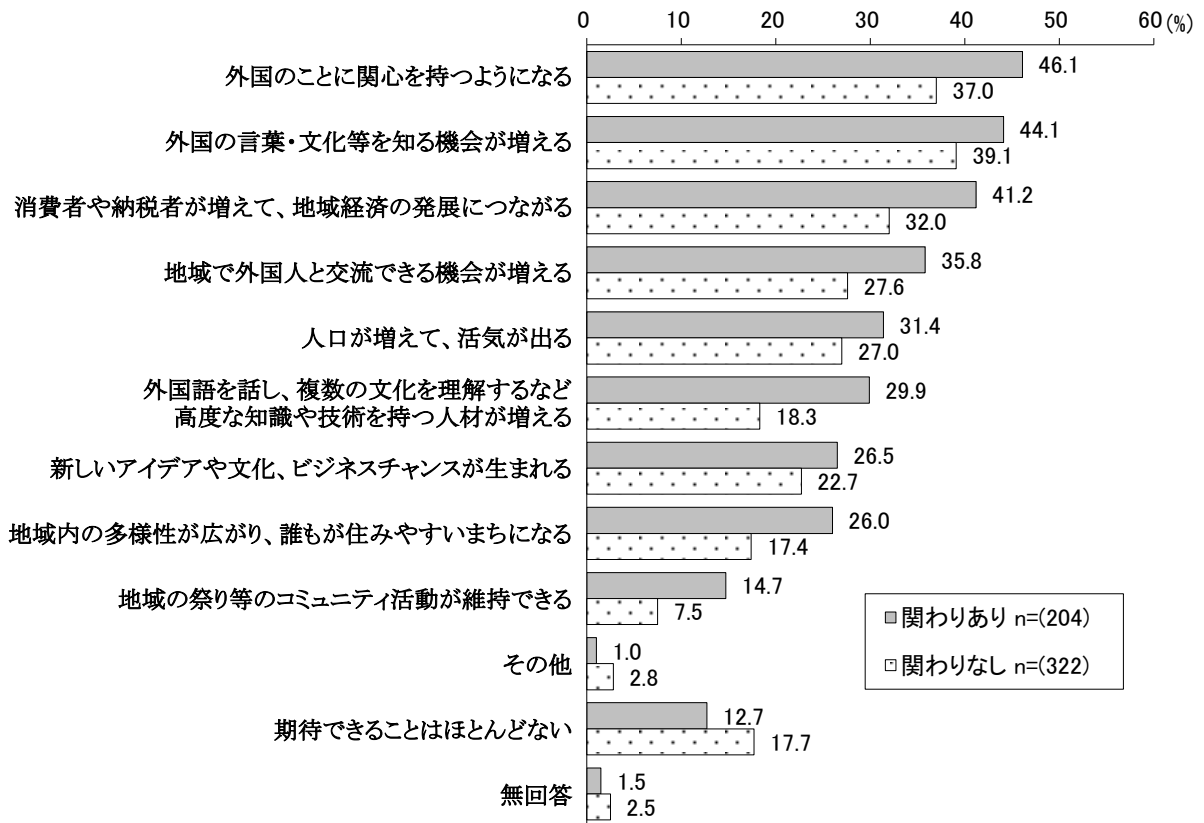
(3) 外国人が地域に増えることによるメリット

問3 あなたは、外国人が地域に増えることでどのようなメリットが地域にもたらされると考えますか。(回答はいくつでも)

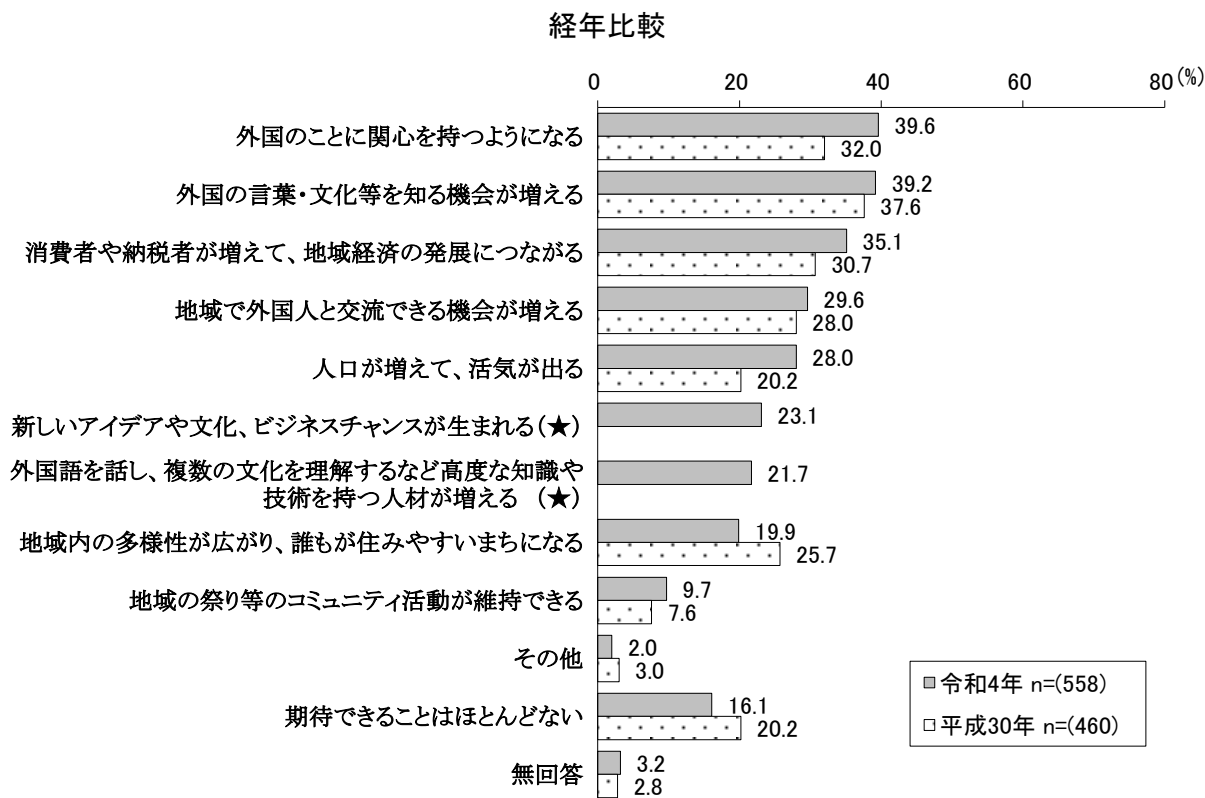


外国人が地域に増えることによるメリットでは、「外国のことに興味を持つようになる」が39.6%で最も高く、次いで、「外国の言葉・文化等を知る機会が増える」(39.2%)、「消費者や納税者が増えて、地域経済の発展につながる」(35.1%)、「地域で外国人と交流できる機会が増える」(29.6%)、「人口が増えて、活気が出る」(28.0%)となっている。

外国人との関わり有無別



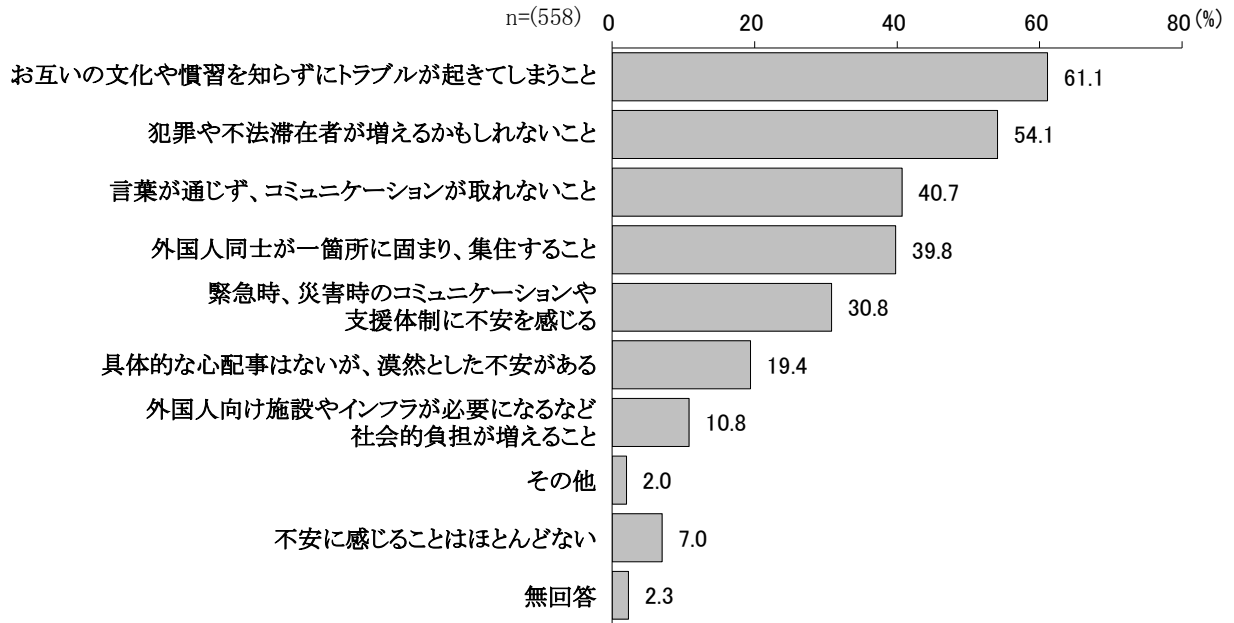
外国人との関わり有無別にみると、すべての項目で【関わりあり】の割合が高く、【関わりなし】よりも「消費者や納税者が増えて、地域経済の発展につながる」と「外国のことに興味を持つようになる」は9.0ポイント以上、「地域内の多様性が広がり、誰もが住みやすいまちになる」と「地域で外国人と交流できる機会が増える」は8.0ポイント以上、「地域の祭り等のコミュニティ活動が維持できる」は7.2ポイント高くなっている。



過去の調査と比較すると、平成30年から「人口が増えて、活気が出る」は7.8ポイント、「外国のことに興味を持つようになる」は7.6ポイント増加している。一方、「地域内の多様性が広がり、誰もが住みやすいまちになる」は5.8ポイント減少している。

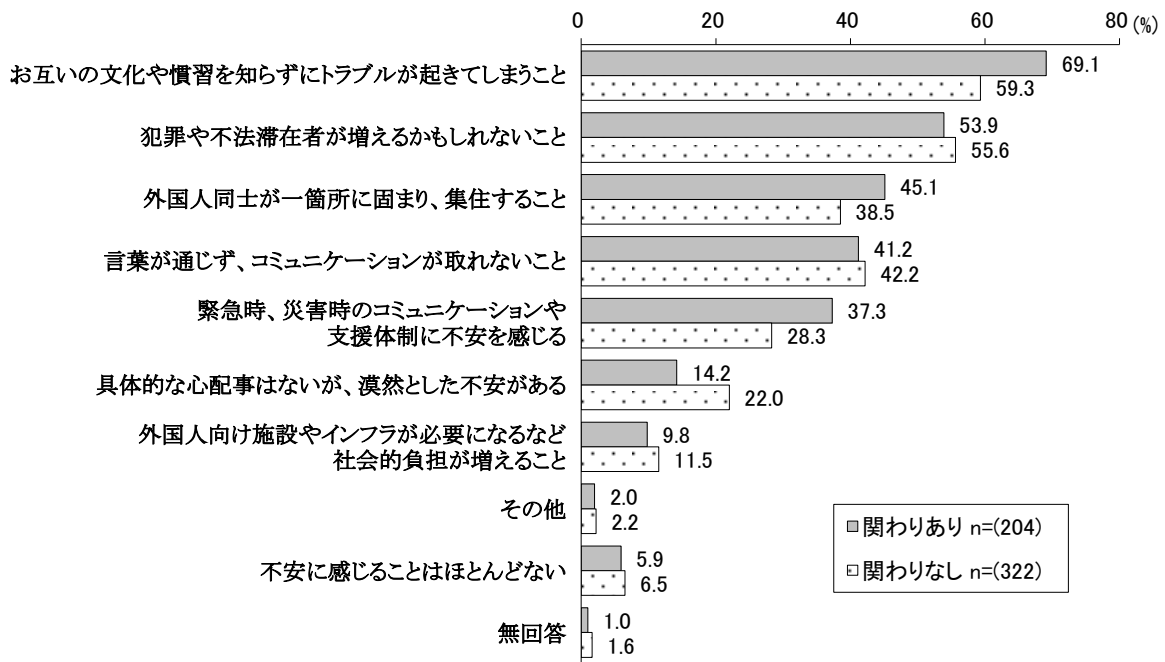
(4) 外国人が地域に増えることで、心配や不安に感じること

問4 あなたは、外国人が地域に増えることで、生活する上で心配や不安に感じることとしてどのようなことがありますか。(回答はいくつでも)



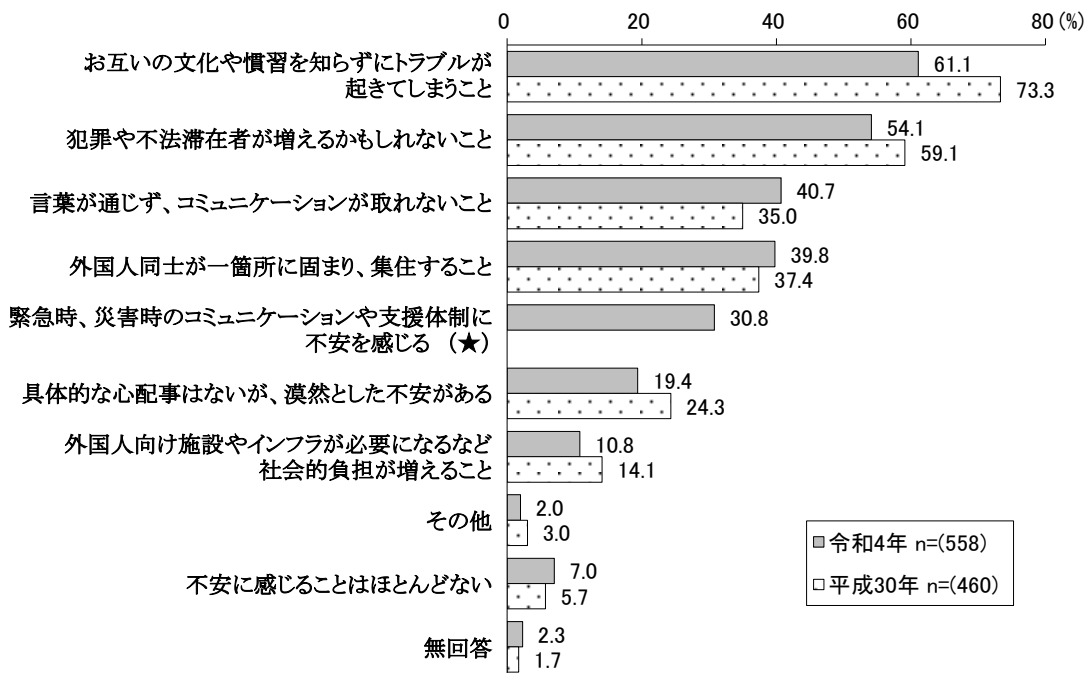
外国人が地域に増えることで、心配や不安に感じることでは、「お互いの文化や慣習を知らずにトラブルが起きてしまうこと」が61.1%で最も高く、次いで、「犯罪や不法滞在が増えるかもしれないこと」(54.1%)、「言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと」(40.7%)、「外国人同士が一箇所に固まり、集住すること」(39.8%)となっている。

外国人との関わり有無別



外国人との関わり有無別にみると、【関わりあり】は【関わりなし】よりも、「お互いの文化や慣習を知らずにトラブルが起きてしまうこと」と「緊急時、災害時のコミュニケーションや支援体制に不安を感じる」で9.0ポイント以上高くなっている。一方、「具体的な心配事はないが、漠然とした不安がある」は【関わりなし】で22.0%と、【関わりあり】よりも7.8ポイント高くなっている。

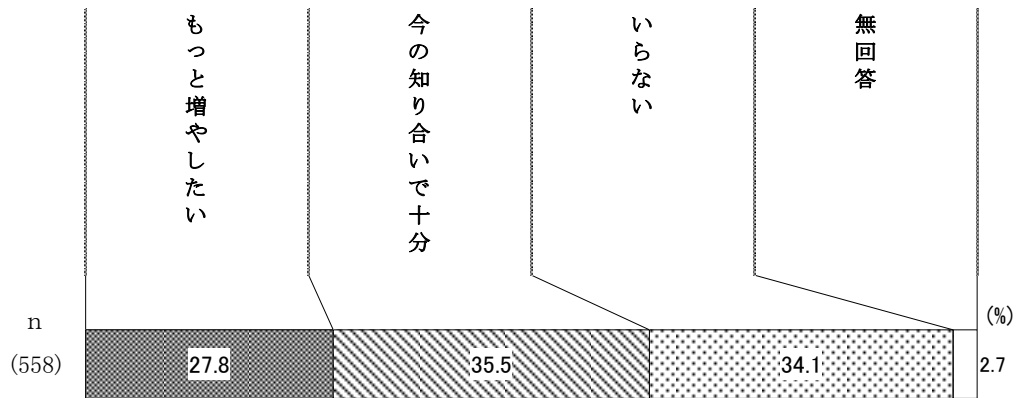
経年比較



過去の調査と比較すると、平成30年から「お互いの文化や慣習を知らずにトラブルが起きてしまうこと」は12.2ポイント、「犯罪や不法滞在者が増えるかもしれないこと」は5.0ポイント減少している。

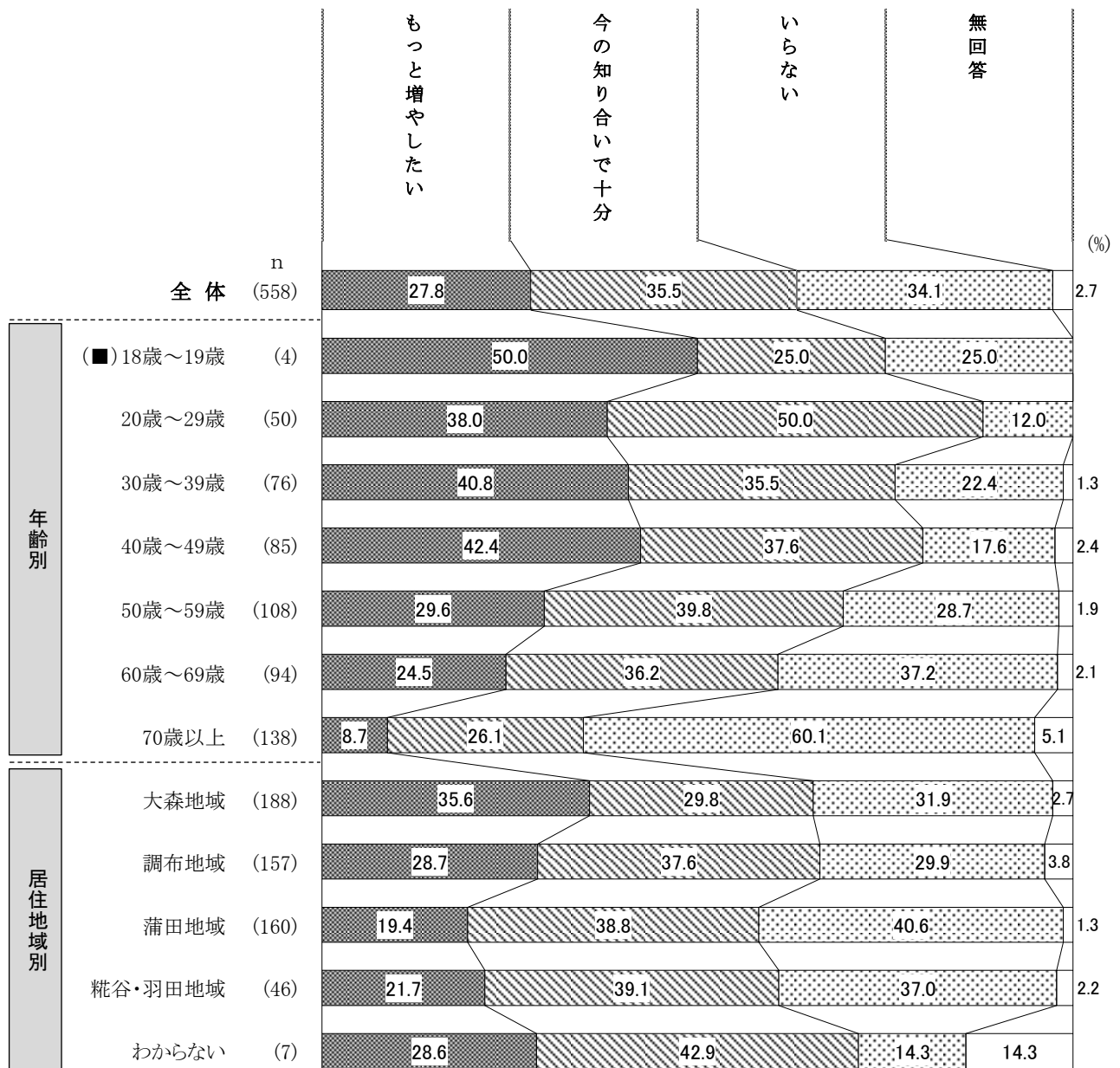
(5) 地域に外国人の知り合いが欲しいか

問5 あなたは、外国人の知り合いが欲しいですか。(回答は1つだけ)



地域に外国人の知り合いがほしいかでは、「もっと増やしたい」が27.8%、「今の知り合いで十分」が35.5%、「いない」が34.1%となっている。

年齢別／居住地域別

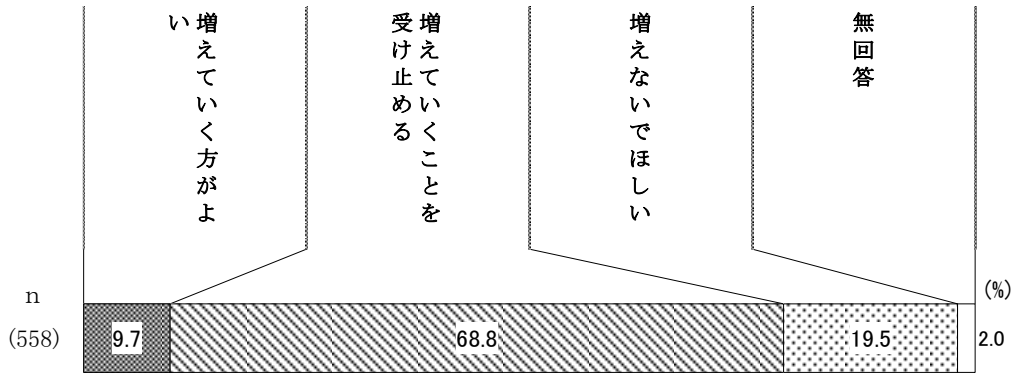


年齢別にみると、「もっと増やしたい」は【40歳～49歳】(42.4%)と【30歳～39歳】(40.8%)で高くなっている。また、「もっと増やしたい」と「今の知り合いで十分」は年齢が若いほど割合が高く、「いない」は年齢が上がるほど割合が高くなっている。

居住地域別にみると、「もっと増やしたい」は【大森地域】で35.6%と最も高く、次いで、【調布地域】(28.7%)、【糀谷・羽田地域】(21.7%)、【蒲田地域】(19.4%)となっている。

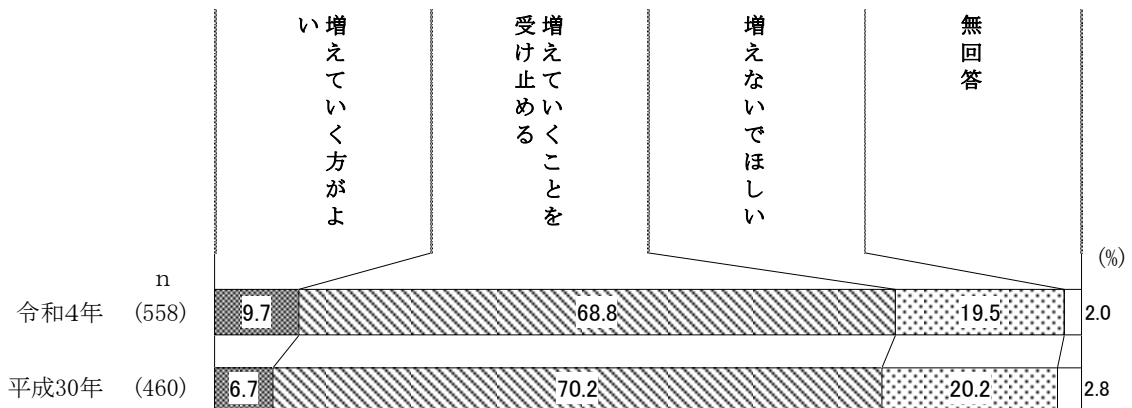
(6) 区内で暮らす外国人の増加傾向が継続することについて

問6 あなたは、区内で暮らす外国人の増加傾向が継続することについてどう感じますか。
(回答は1つだけ)



区内で暮らす外国人の増加傾向が継続することについては、「増えていく方がよい」(9.7%)と「増えていくことを受け止める」(68.8%)を足した割合は78.5%となっている。

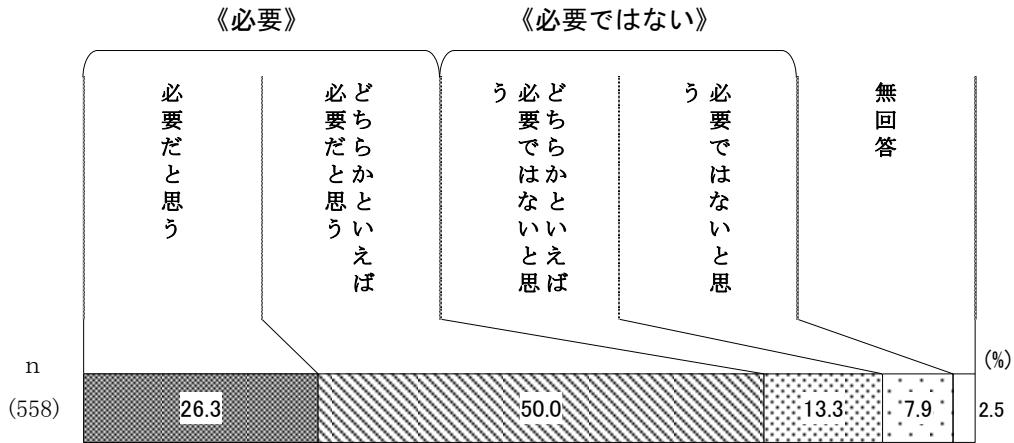
経年比較



過去の調査と比較すると、「増えていく方がよい」が増加している。

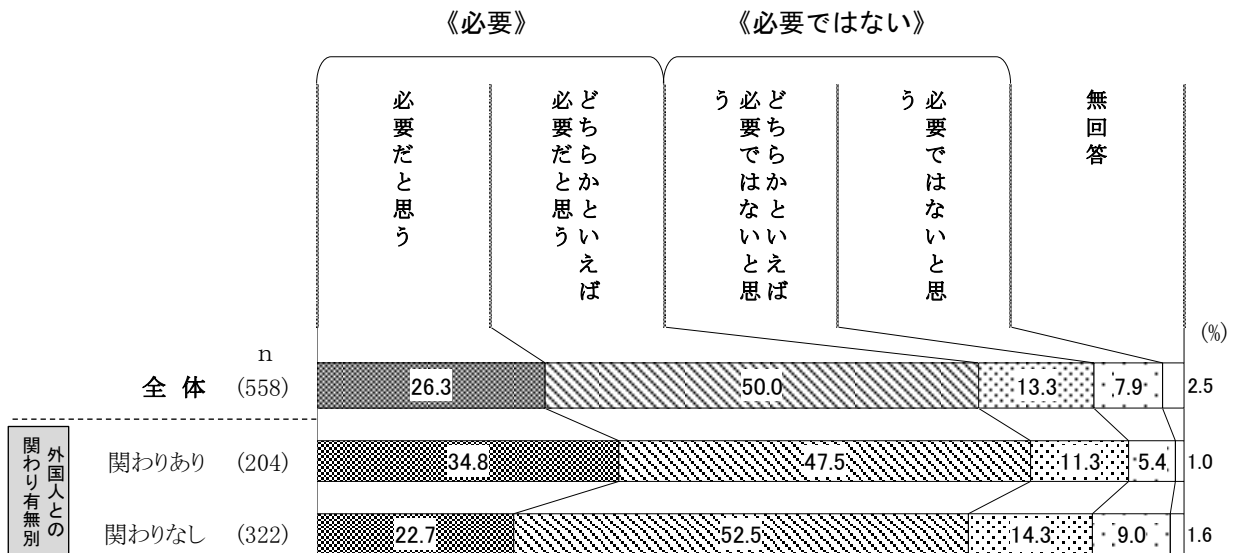
(7) 今後、地域で外国人が活躍することは必要か

問7 あなたは、労働力や地域コミュニティの担い手として、今後、地域で外国人が活躍することは必要だと思いますか。(回答は1つだけ)



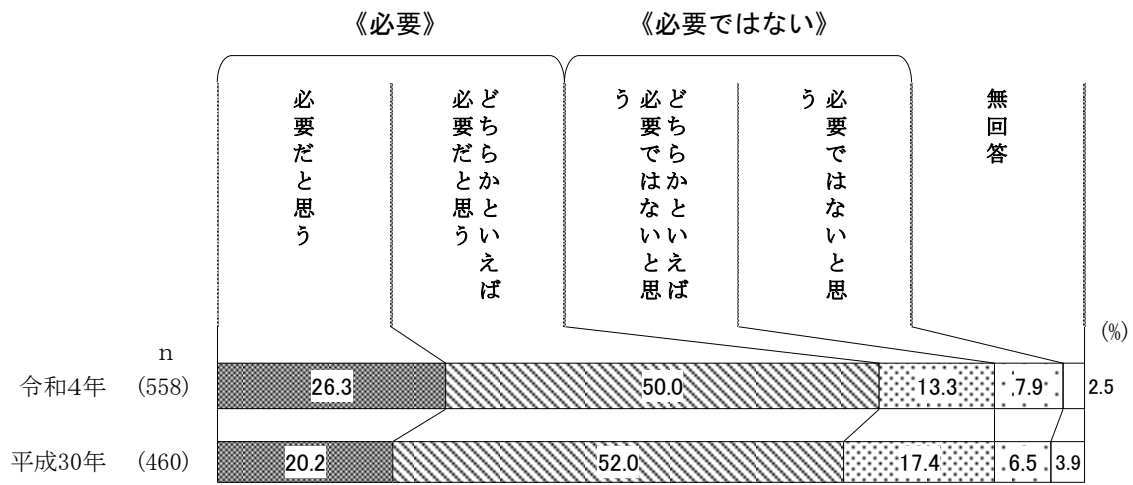
今後、地域で外国人が活躍することは必要かでは、「必要だと思う」(26.3%)と「どちらかといえば必要だと思う」(50.0%)を足した割合は76.3%となっている。

外国人との関わり有無別



外国人との関わり有無別にみると、「必要だと思う」と「どちらかといえば必要だと思う」を足した割合は、【関わりあり】で82.3%と、【関わりなし】(75.2%)よりも7.1ポイント高くなっている。

経年比較



過去の調査と比較すると、平成30年から「必要だと思う」は6.1ポイント増加している。

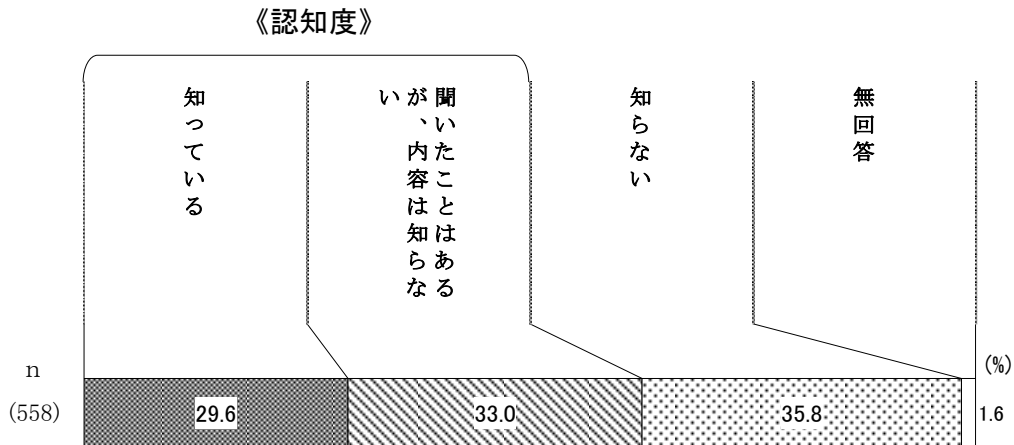
3. 多文化共生のまちづくりについて

(1) 多文化共生という言葉の認知度

問8 多文化共生*とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていくこと」をいいます。

あなたは、多文化共生という言葉を知っていますか。(回答は1つだけ)

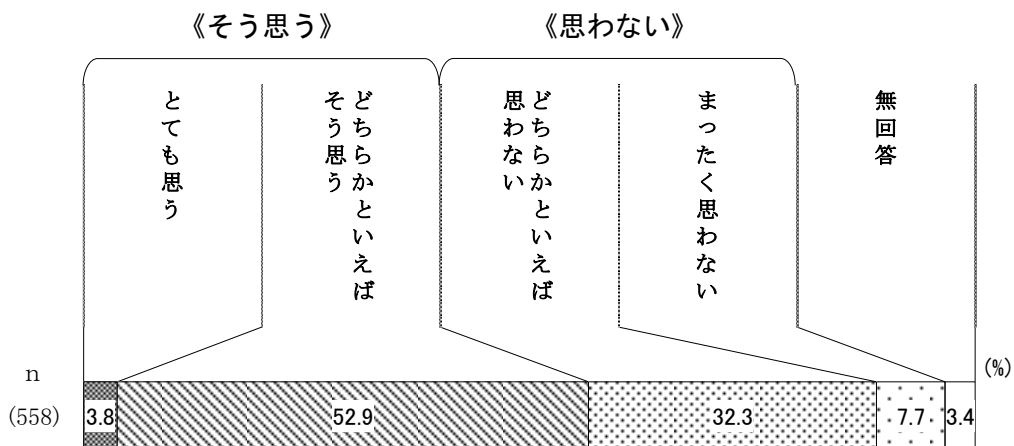
*総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書(2006年3月)」から抜粋



多文化共生という言葉の認知度では、「知っている」が29.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が33.0%、「知らない」が35.8%となっている。

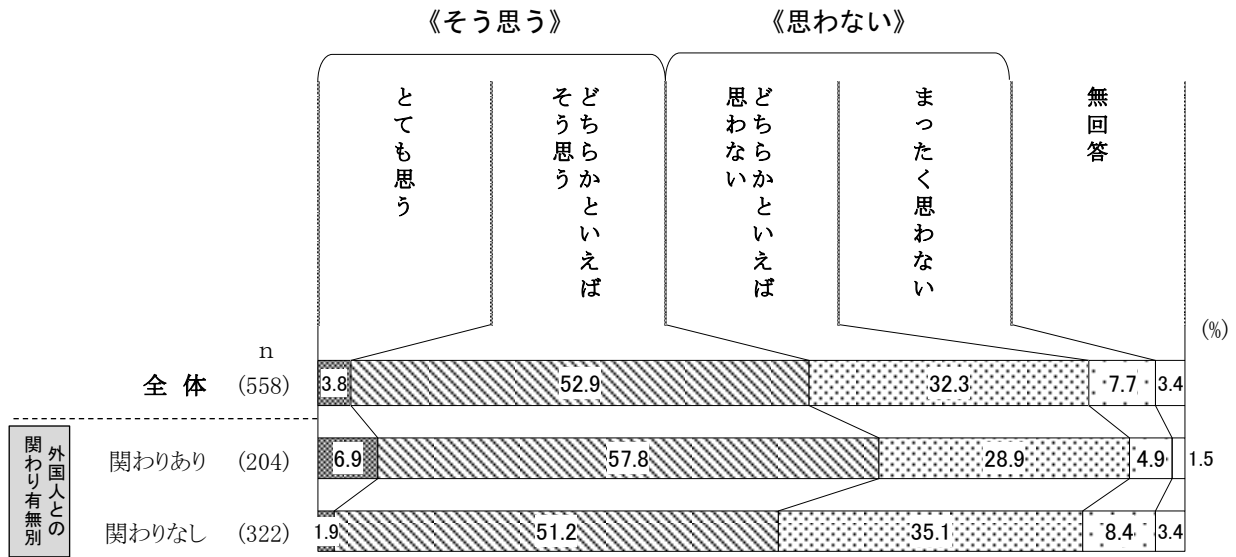
(2) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか

問9 あなたは、大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(回答は1つだけ)



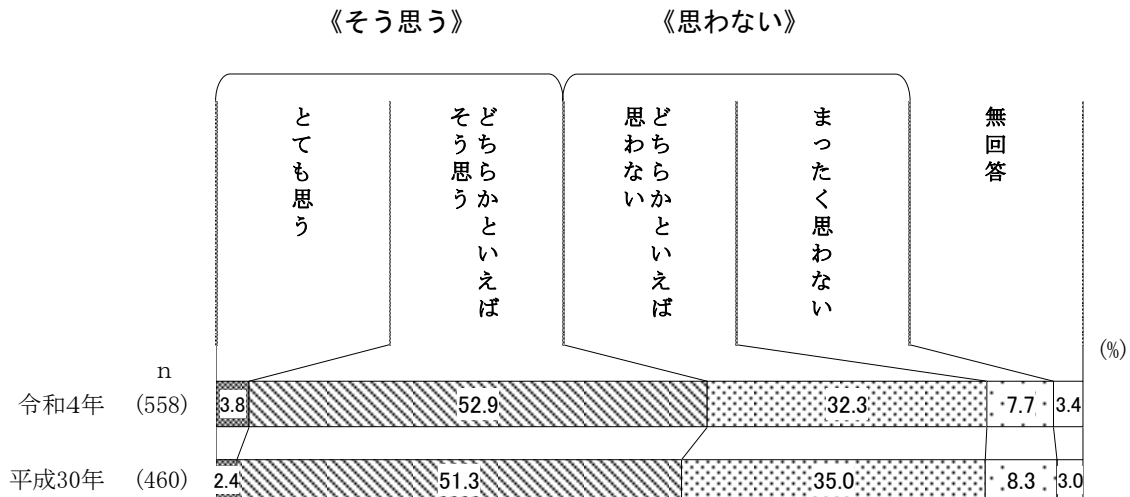
大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うかでは、「とても思う」(3.8%)と「どちらかといえばそう思う」(52.9%)を足した割合は56.7%となっている。

外国人との関わり有無別



外国人との関わり有無別にみると、「とても思う」と「どちらかといえばそう思う」を足した《そう思う》の割合は、【関わりあり】で64.7%と、【関わりなし】(53.1%)よりも11.6ポイント高くなっている。

経年比較

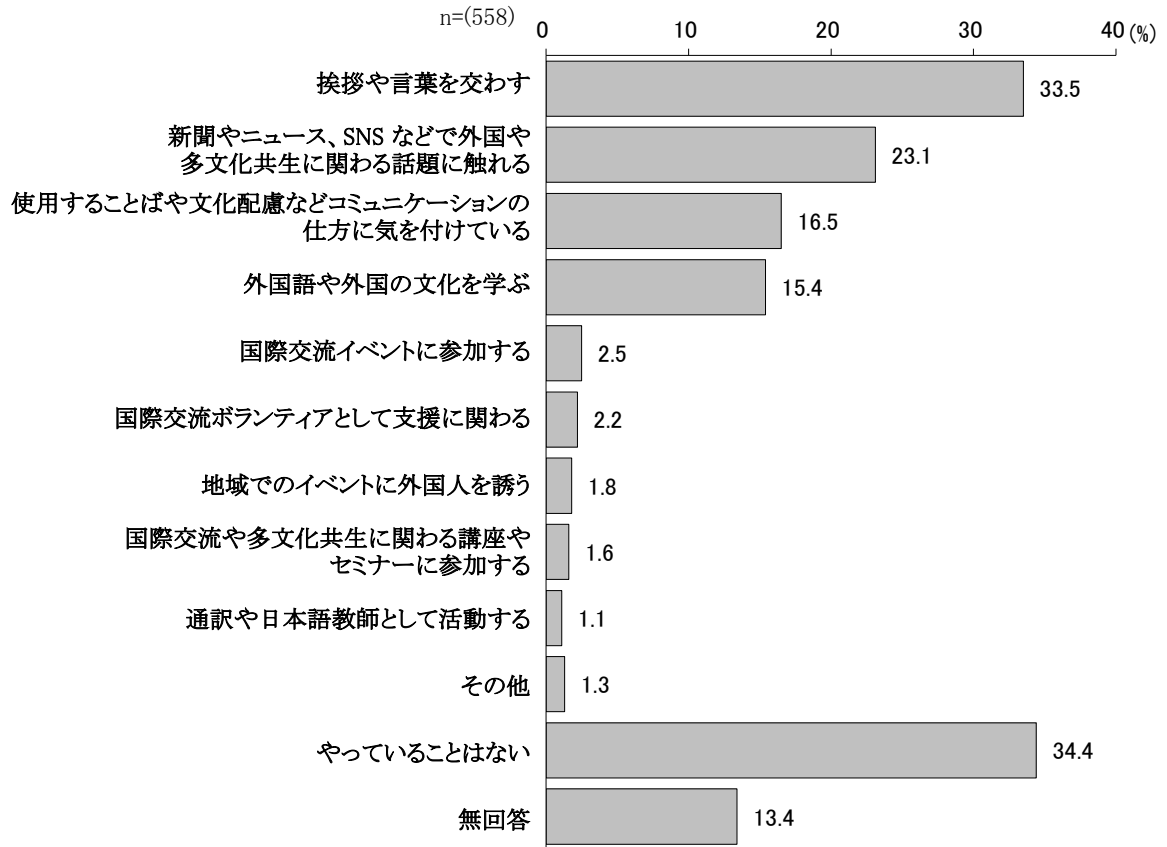


過去の調査と比較すると、互いに認め合って暮らしていると思う人が増加している。

(3) 多文化共生社会実現のために現在していること・今後したいこと

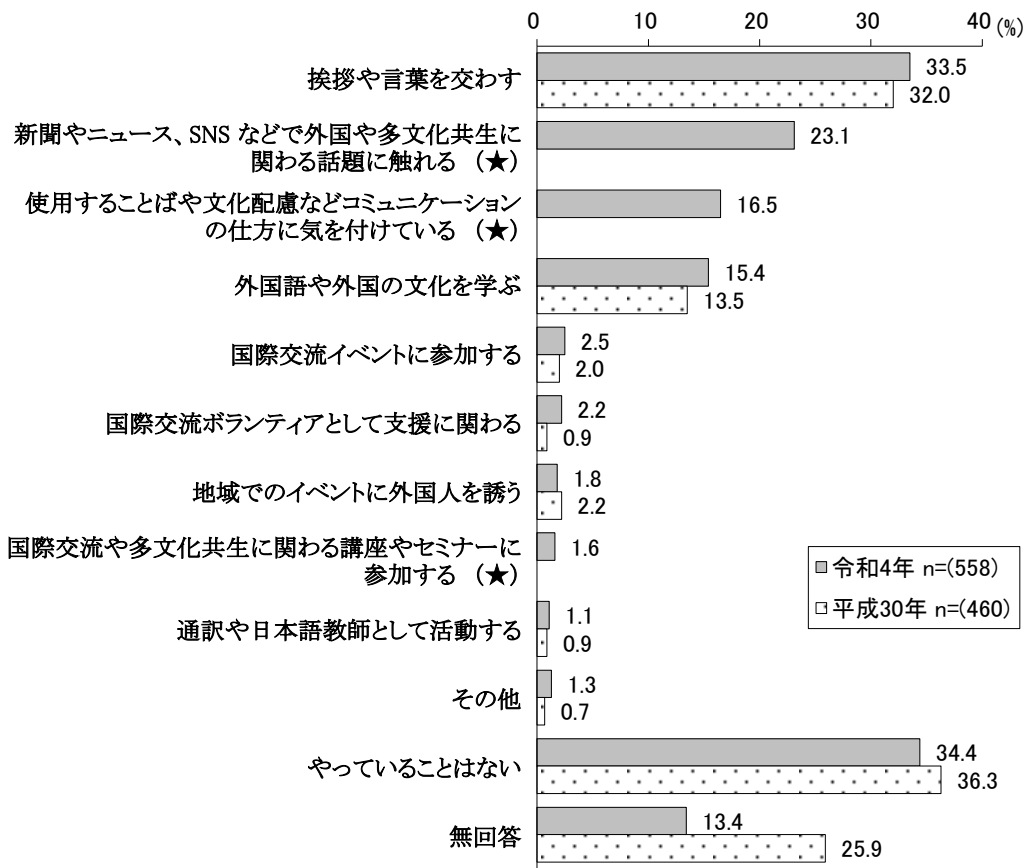
問10 あなたが、多文化共生社会実現のために、①現在していること、②今後したいこと（現在の実施の有無にかかわらず）について、お答えください。
 （回答は①現在していること、②今後したいこと（現在の実施の有無に関わらず）、ともにいくつでも）

【①現在していること】



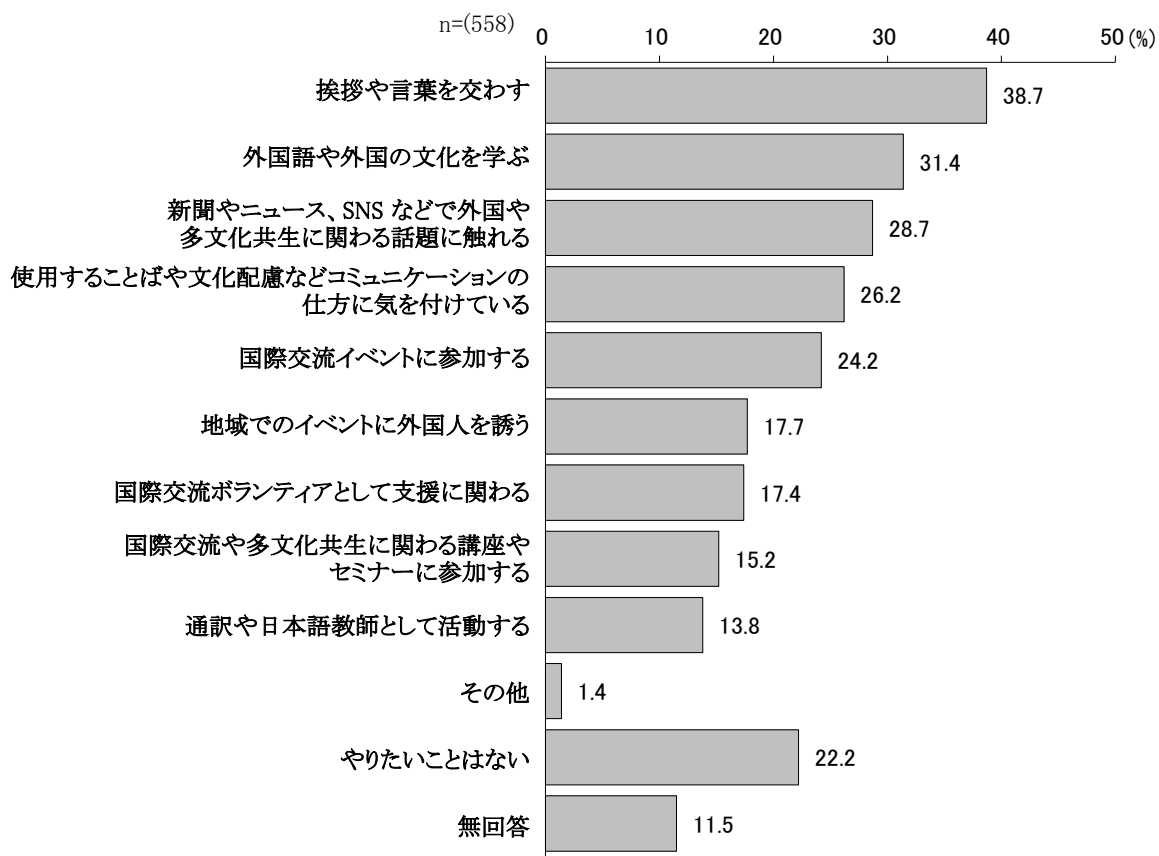
多文化共生社会実現のために現在していることでは、「挨拶や言葉を交わす」が33.5%で最も高く、次いで、「新聞やニュース、SNSなどで外国や多文化共生に関わる話題に触れる」(23.1%)、「使用することばや文化配慮などコミュニケーションの仕方に気を付けている」(16.5%)、「外国語や外国の文化を学ぶ」(15.4%)となっている。

経年比較／①現在していること



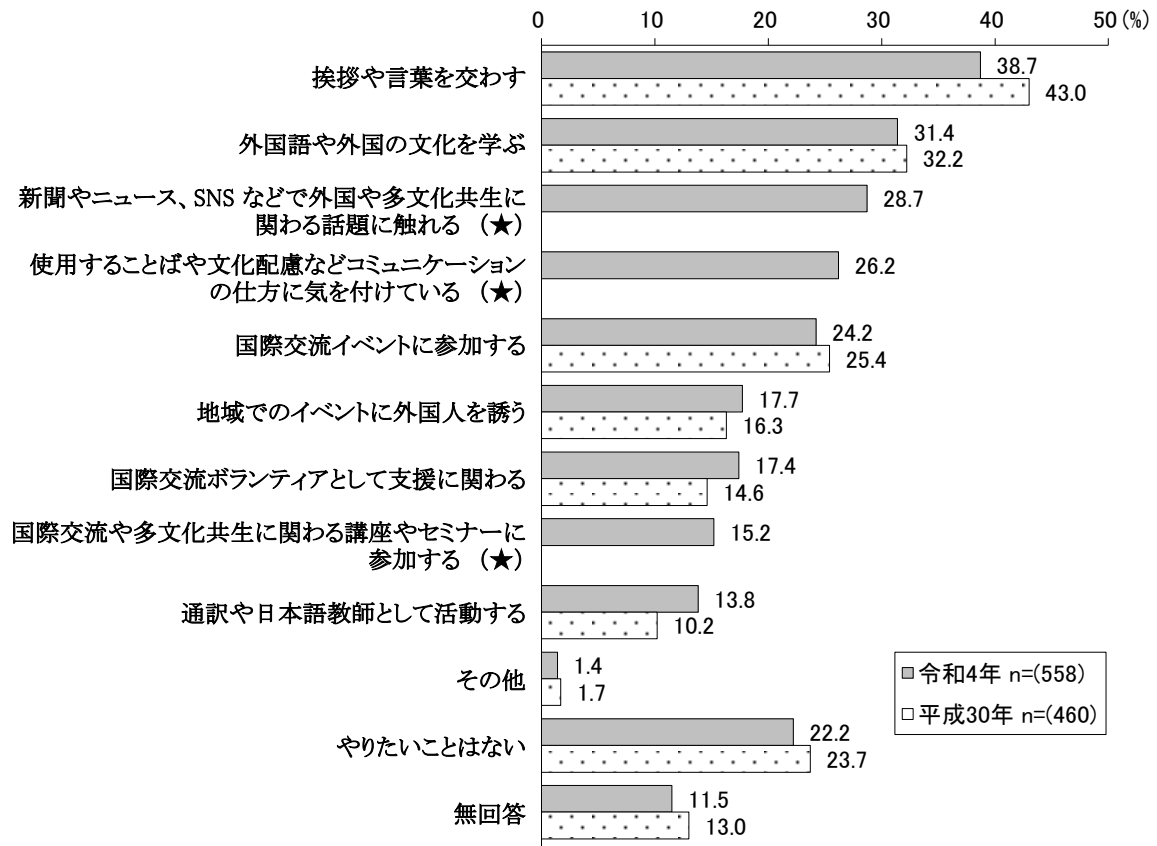
過去の調査と比較すると、「地域のイベントに外国人を誘う」を除き（新規設問も除く）、現在していることはいずれも増加となっている。

【②今後したいこと（現在の実施の有無に関わらず）】



多文化共生社会実現のために今後したいことでは、「挨拶や言葉を交わす」が38.7%で最も高く、次いで、「外国語や外国の文化を学ぶ」(31.4%)、「新聞やニュース、SNSなどで外国や多文化共生に関わる話題に触れる」(28.7%)、「使用することばや文化配慮などコミュニケーションの仕方に気を付けている」(26.2%)、「国際交流イベントに参加する」(24.2%)となっている。また、すべての項目で「今後したい」と回答する割合が高くなっている。

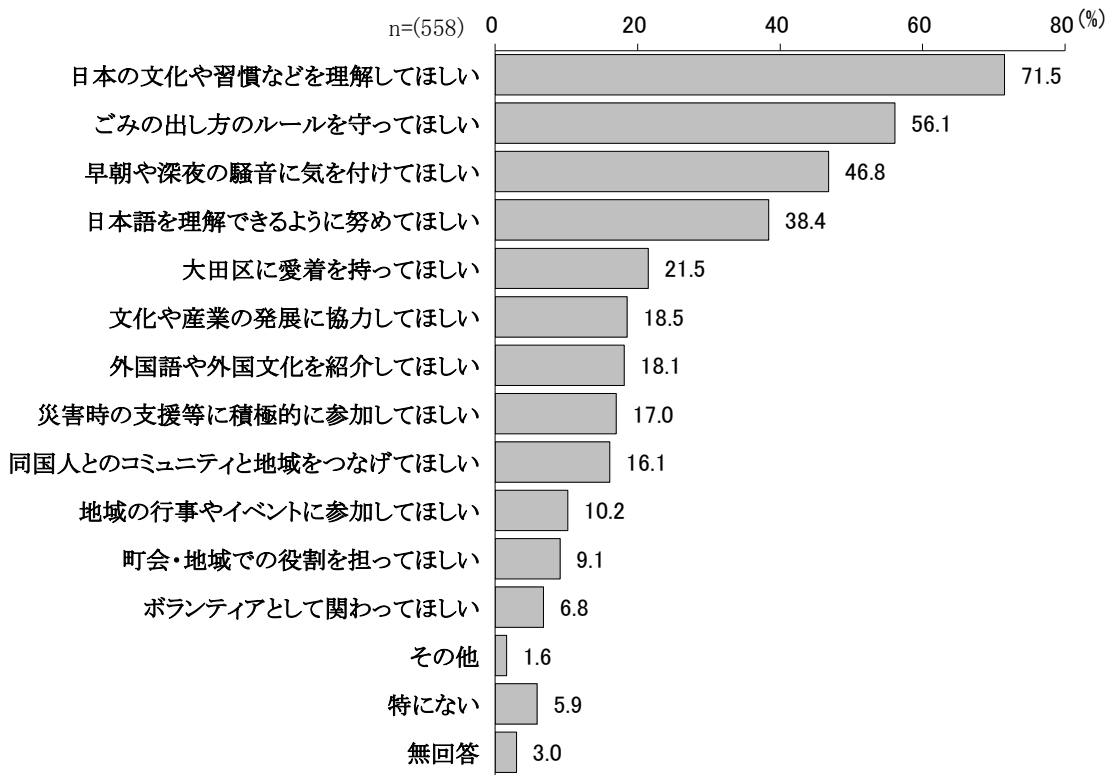
経年比較／②今後したいこと（現在の実施の有無に関わらず）



過去の調査と比較すると、平成30年から「挨拶や言葉を交わす」は4.3ポイント減少している。

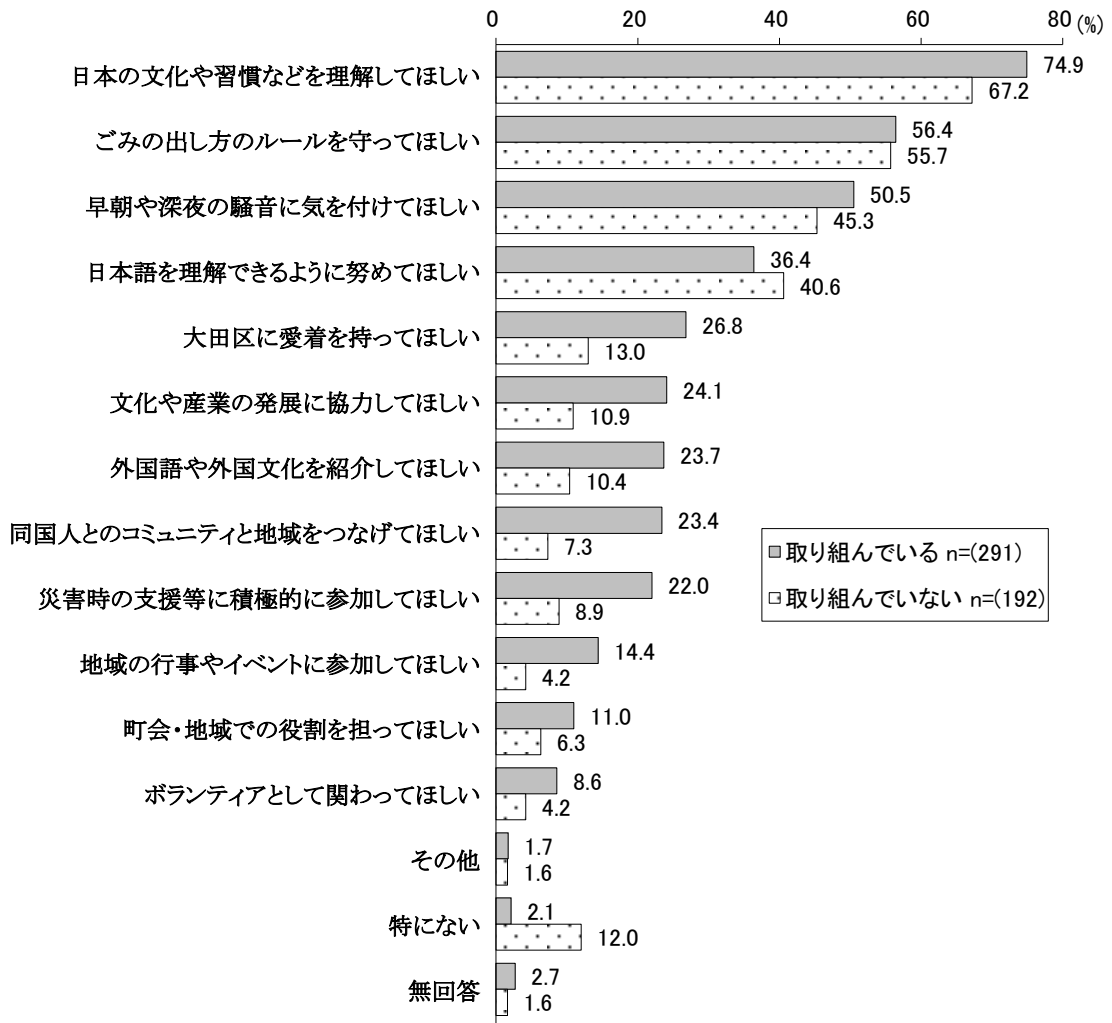
(4) 外国人に期待すること

問11 外国人区民とともにある地域づくりのために、外国人に期待することとして、どのようなことがありますか。(回答はいくつでも)

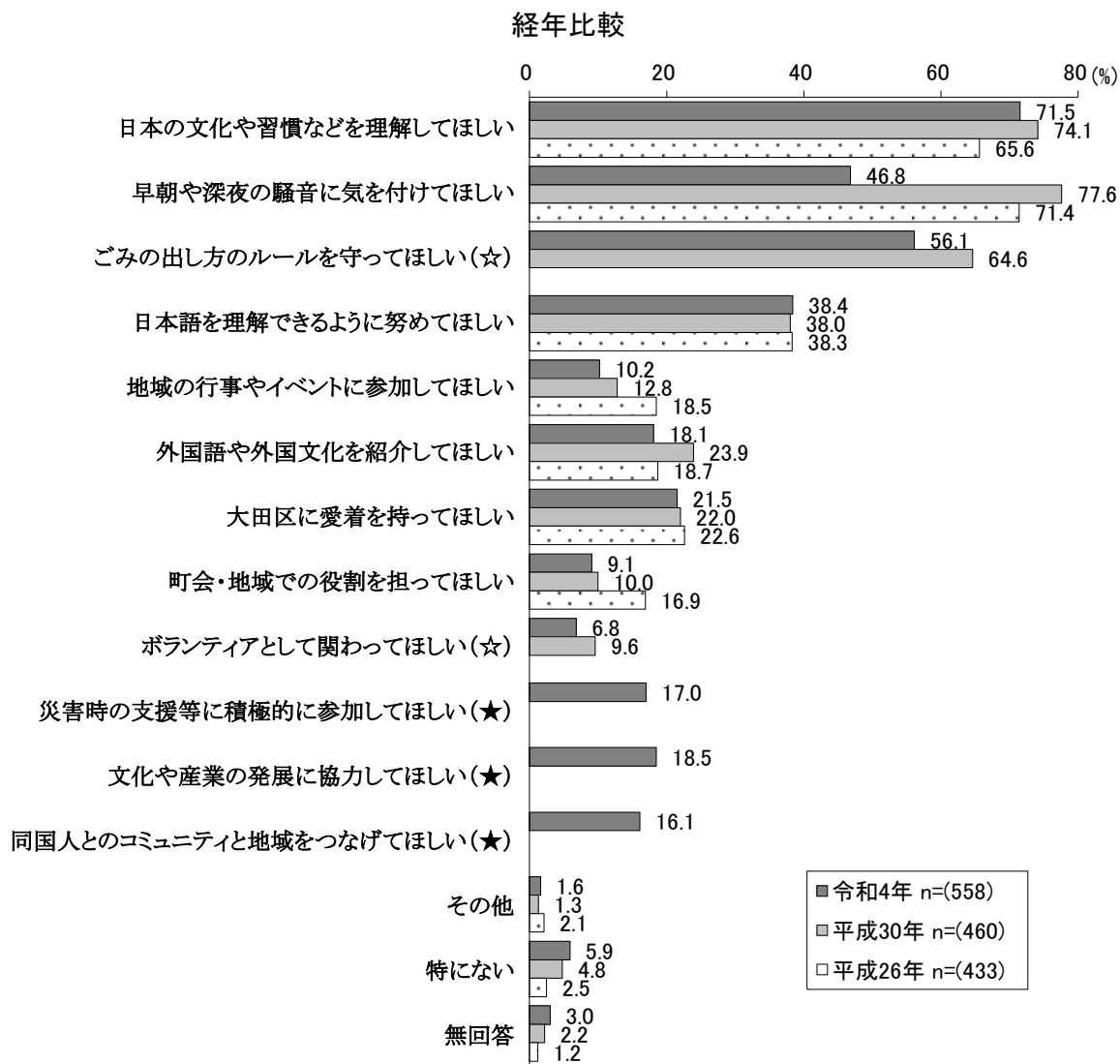


外国人に期待することでは、「日本の文化や習慣などを理解してほしい」が71.5%で最も高く、次いで、「ごみの出し方のルールを守ってほしい」(56.1%)、「早朝や深夜の騒音に気を付けてほしい」(46.8%)、「日本語を理解できるように努めてほしい」(38.4%)となっている。

多文化共生社会実現のために現在していること有無別



多文化共生社会実現のために現在していること有無別にみると、ほとんどの項目で【取り組んでいる】の割合が高く、「同国人とのコミュニティと地域をつなげてほしい」では16.1ポイント、「大田区に愛着を持ってほしい」、「外国語や外国文化を紹介してほしい」と「文化や産業の発展に協力してほしい」ではそれぞれ13.0ポイント以上、「地域の行事やイベントに参加してほしい」では10.2ポイント【取り組んでいる】が高くなっている。一方、「日本語を理解できるように努めてほしい」は【取り組んでいない】で40.6%と、【取り組んでいる】(36.4%)よりも4.2ポイント高くなっている。



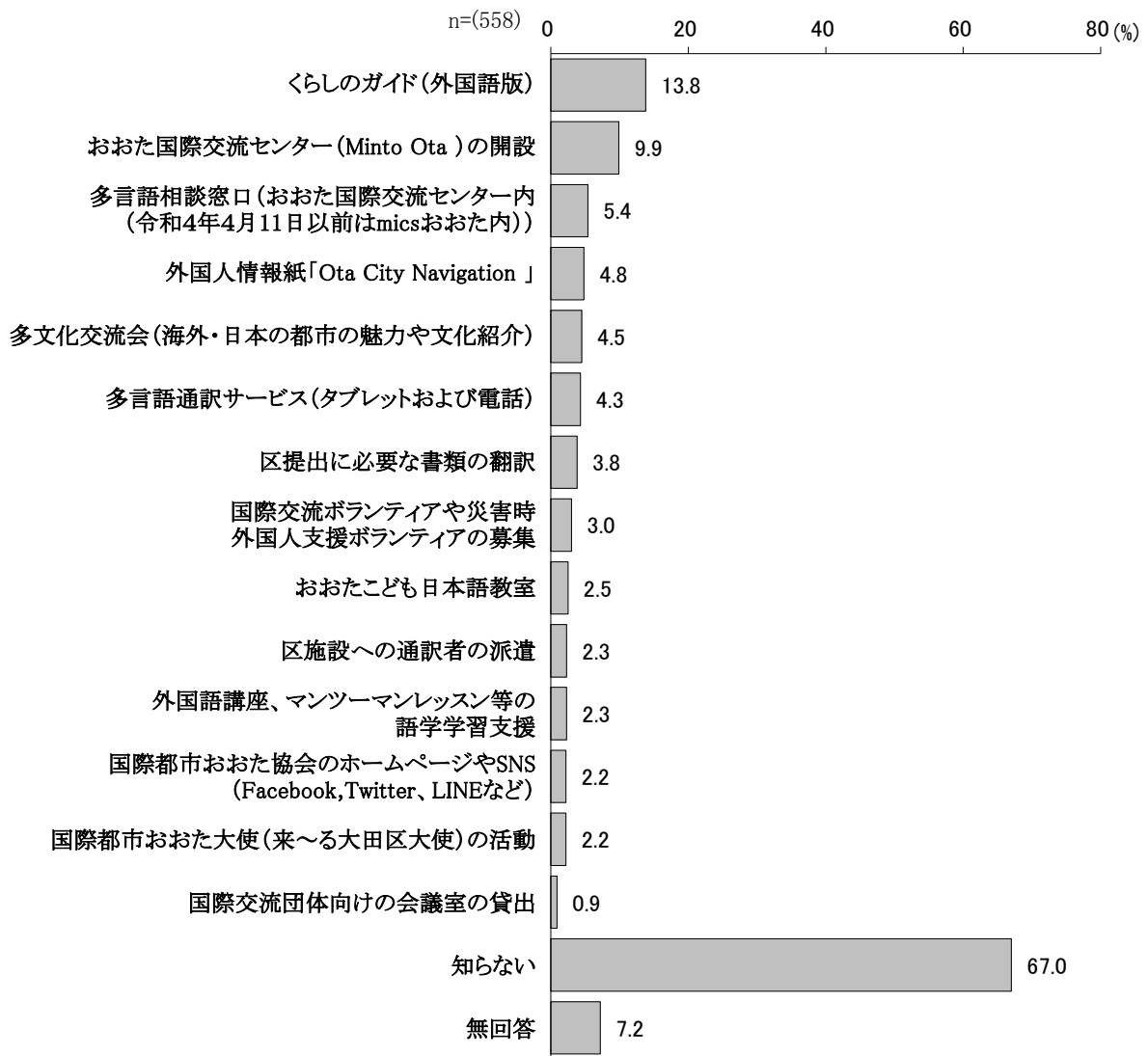
過去の調査と比較すると、平成30年から「早朝や深夜の騒音に気を付けてほしい」は30.8ポイント、「ごみの出し方のルールを守ってほしい」は8.5ポイント、「外国語や外国文化を紹介してほしい」は5.8ポイント減少している。

(5) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度

問12 あなたは、多文化共生に関して、大田区や国際都市おおた協会*が行っている以下のサービスや取組等を知っていますか。あてはまるものをすべてお選びください。

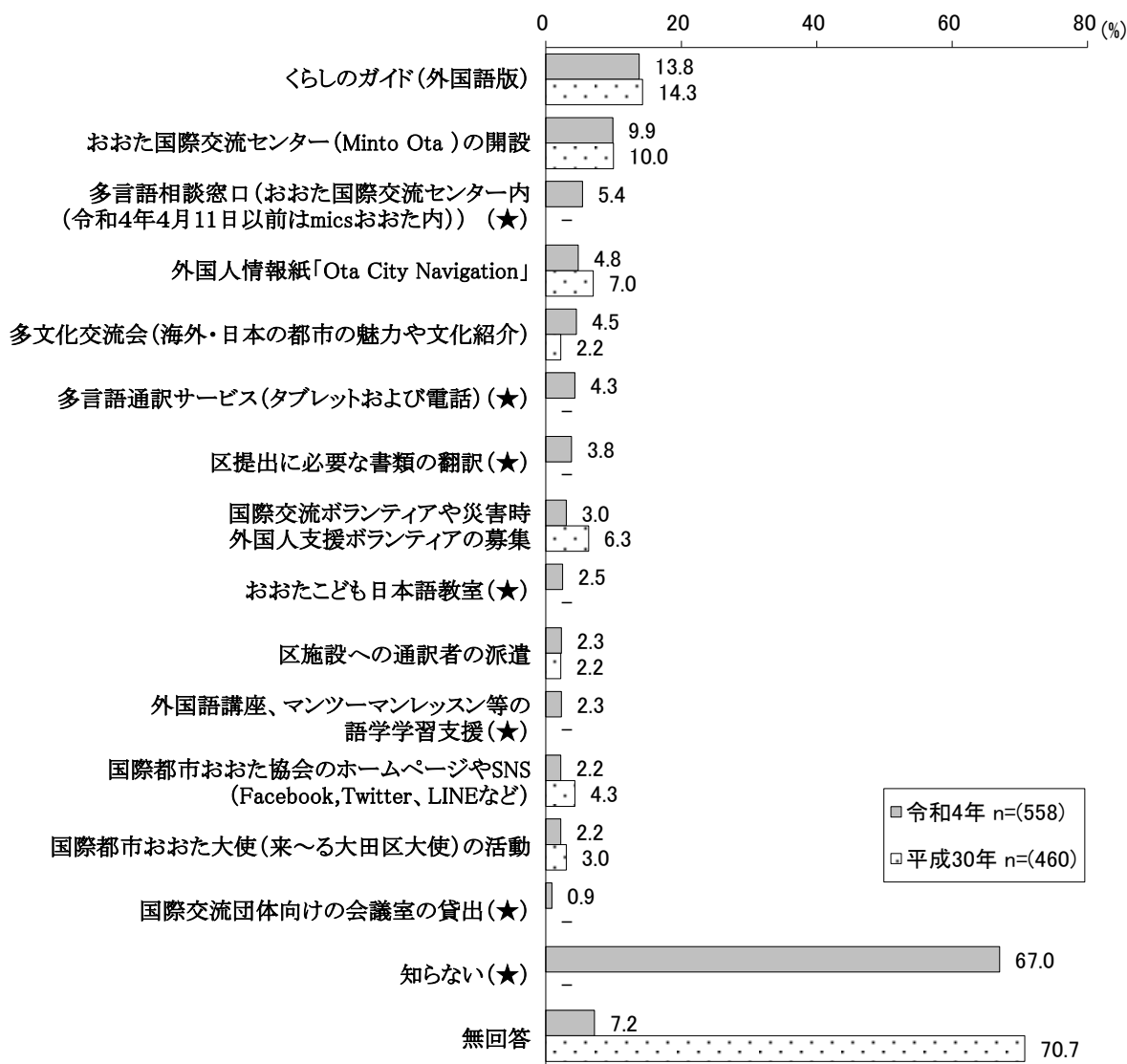
(回答はいくつでも)

* 2018年(平成30年)4月1日から業務を開始している、区が設立した法人。



多文化共生に関するサービスや取組等の認知度では、「知らない」が67.0%で最も高くなっている。具体的なサービスや取組等では、「くらしのガイド(外国語版)」が13.8%で最も高く、次いで、「おおた国際交流センター(Minto Ota)の開設」(9.9%)、「多言語相談窓口(おおた国際交流センター内(令和4年4月11日以前はmicsおおた内))」(5.4%)となっている。

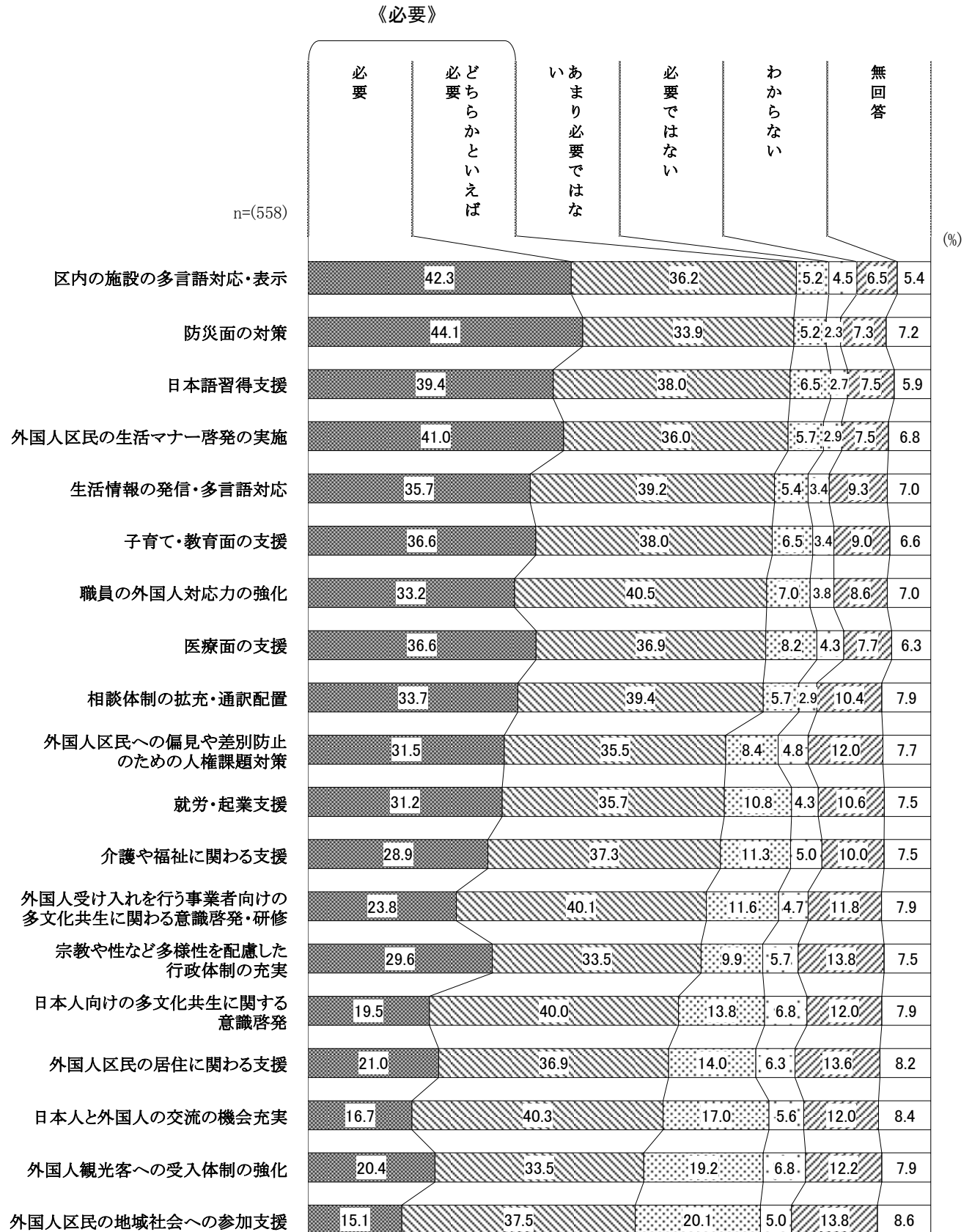
経年比較



過去の調査と比較すると、平成30年から「多文化交流会（海外・日本の年の魅力や文化紹介）」はやや増加、「国際交流ボランティアや災害時外国人支援ボランティアの募集」は3.3ポイント減少している。

(6) 大田区の施策に対する必要度

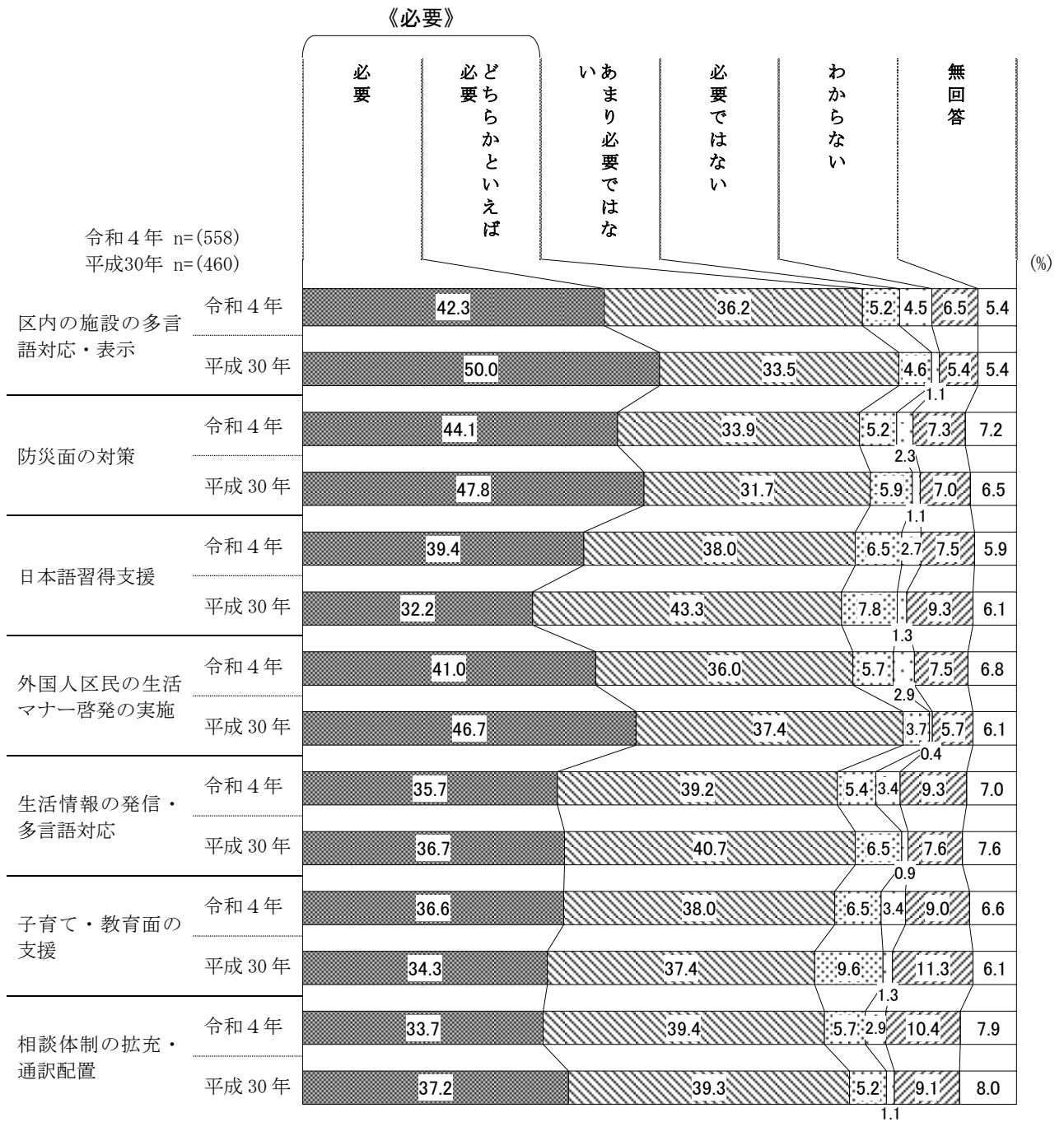
問13 あなたは、大田区内での外国人の増加にともないどのような施策が必要だと考えますか。(回答はア～テ、それぞれ1つずつ)



第3章 日本人区民調査結果の詳細

《必要》（「必要」と「どちらかといえば必要」を足した割合）が高い項目は、「区内の施設の多言語対応・表示」（78.5%）、「防災面の対策」（78.0%）、「日本語習得支援」（77.4%）となっている。

経年比較（比較可能なもの）



過去の調査と比較すると、平成30年から「区内の施設の多言語対応・表示」で《必要》は5.0ポイント減少している。

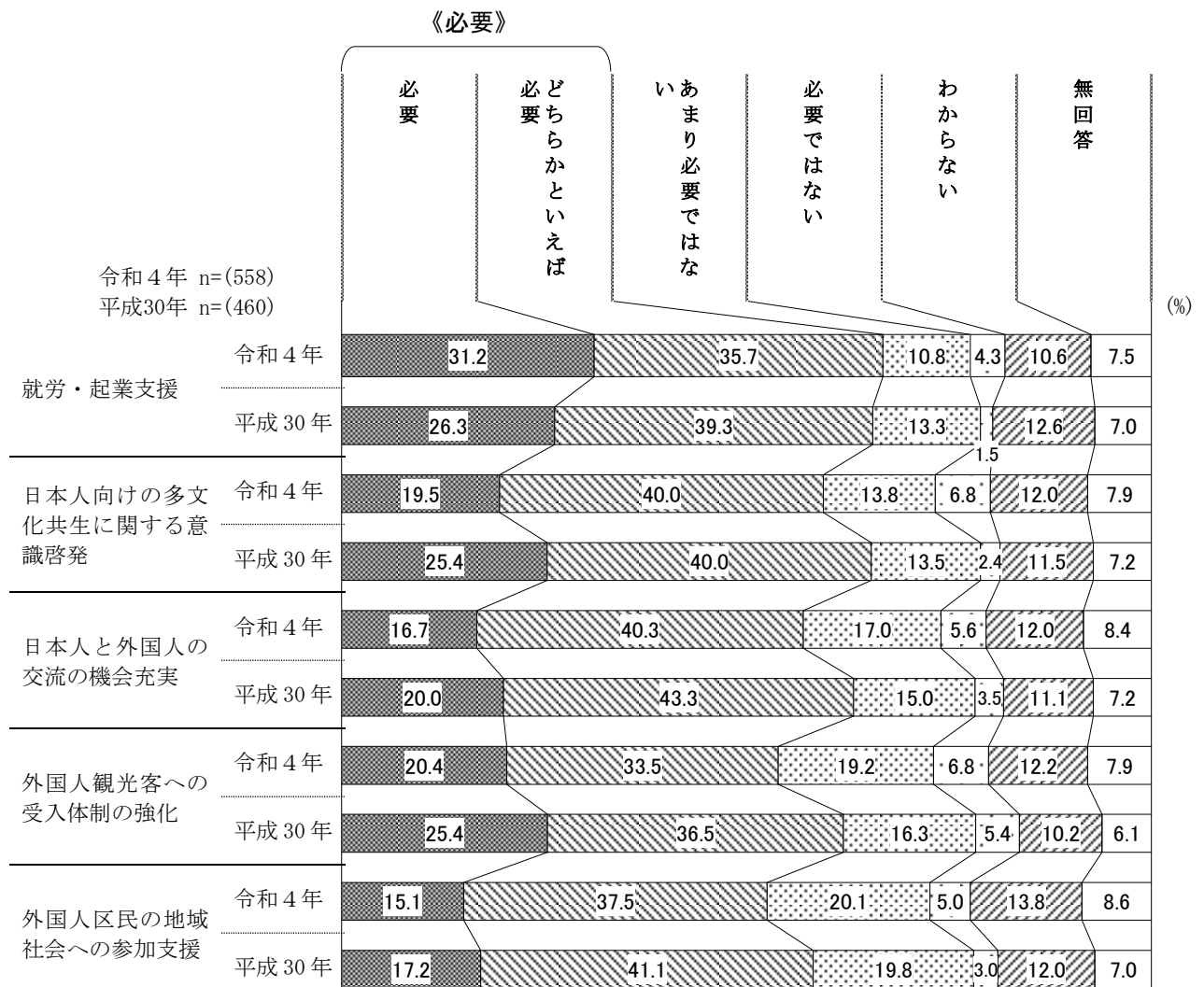
「防災面の対策」で「必要」は3.7ポイント減少している。

「日本語習得支援」で「必要」は7.2ポイント増加したものの、「どちらかといえば必要」は5.3ポイント減少したため《必要》に差はみられない。

「外国人区民の生活マナー啓発の実施」で《必要》は7.1ポイント減少している。

「相談体制の拡充・通訳配置」で「必要」は3.5ポイント減少している。

経年比較（つづき）



過去の調査と比較すると、平成30年から「就労・起業支援」で「必要」は4.9ポイント増加している。

「日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」で《必要》は5.9ポイント減少している。

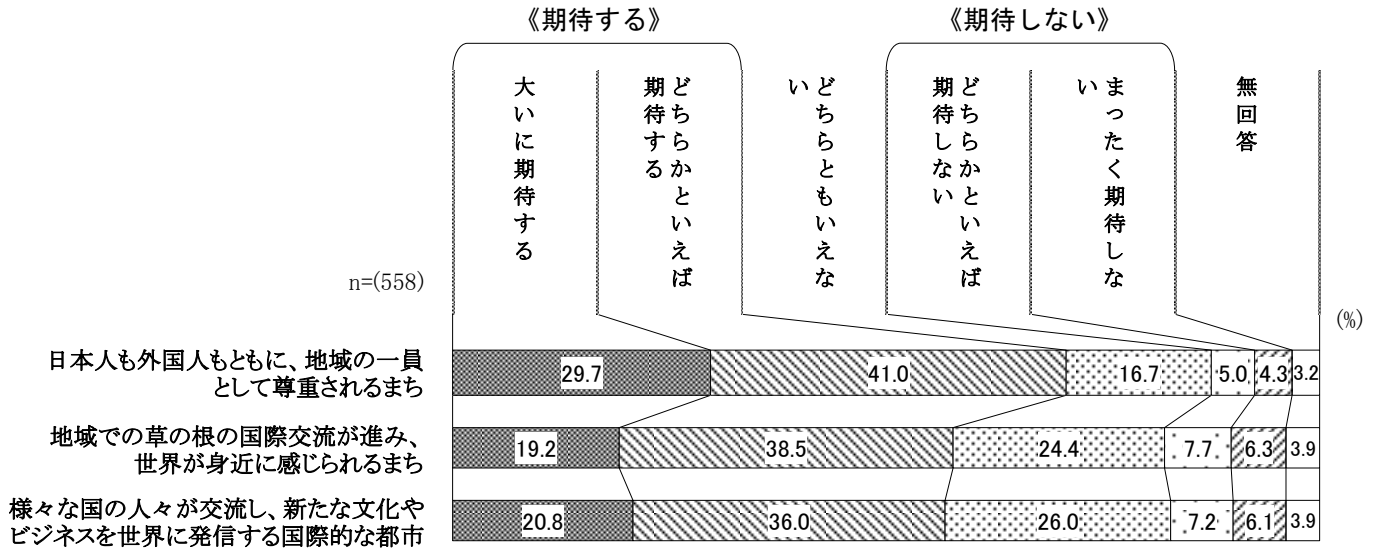
「日本人と外国人の交流の機会充実」で《必要》は6.3ポイント減少している。

「外国人観光客への受入体制の強化」で《必要》は8.0ポイント減少している。

「外国人区民の地域社会への参加支援」で《必要》は5.7ポイント減少している。

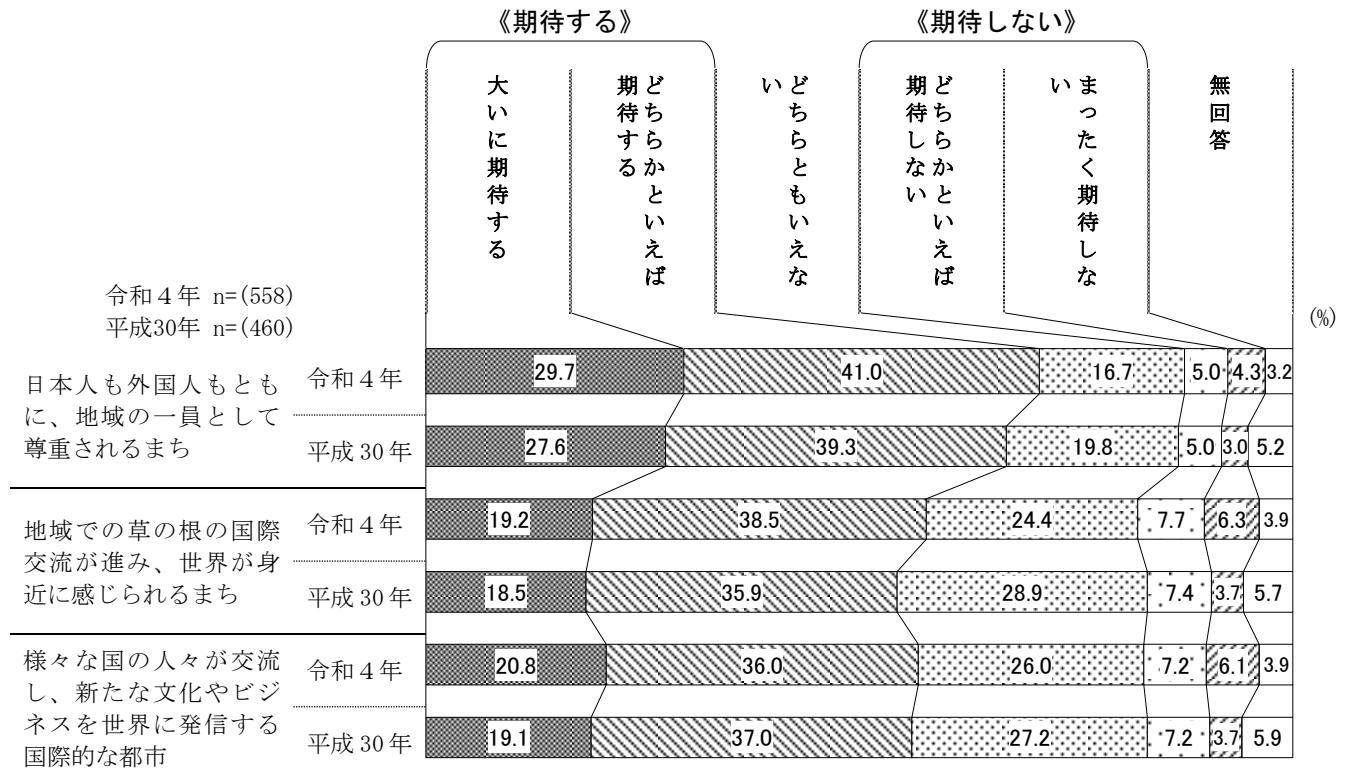
(7) 「国際都市おおた」としてどのようなまちになることを期待するか

問14 あなたは、大田区が「国際都市おおた」として、どのようなまちになることを期待しますか。(回答はア～ウ、それぞれ1つずつ)



《期待する》（「大いに期待する」と「どちらかといえば期待する」を足した割合）は、「日本人も外国人もともに、地域の一人として尊重されるまち」で70.7%と最も高く、次いで、「地域での草の根の国際交流が進み、世界が身近に感じられるまち」（57.7%）、「様々な国の人々が交流し、新たな文化やビジネスを世界に発信する国際的な都市」（56.8%）となっている。

経年比較

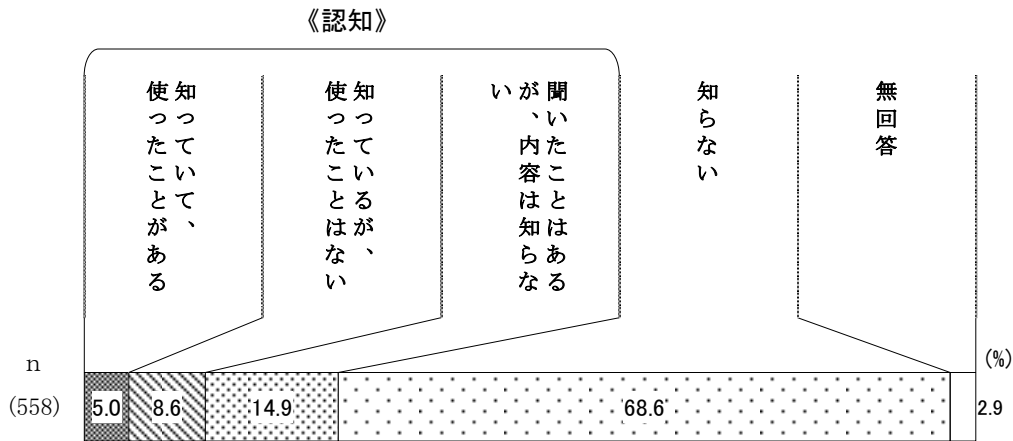


過去の調査と比較すると、平成30年から「日本人も外国人もともに、地域の一員として尊重されるまち」で《期待する》は3.8ポイント増加している。

「地域での草の根の国際交流が進み、世界が身近に感じられるまち」で《期待する》は3.3ポイント増加している。

(8)「やさしい日本語」の認知度

問15 大田区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進しています。あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。(回答は1つだけ)



「やさしい日本語」の認知度では、「知っていて、使ったことがある」が5.0%、「知っているが、使ったことはない」が8.6%、「聞いたことはあるが、内容は知らない」が14.9%となっている。

自由意見

日本人区民と外国人区民がお互いを認め合い、協力し合って、大田区をもっと住みやすいまちにするためにはどうしたらよいと思いますか。あなたのご意見を自由にお書きください。

※現行の「国際都市おおた」多文化共生推進プラン2019-2023年度版」の施策類型ごとに整理したうえで、主な意見を抜粋して掲載している。

※いただいた意見は延べ163件となった。（1人で2つ以上の施策類型にわたって記述した場合はそれぞれを1とカウント）

（1）情報の多言語化と発信

- ・英語表記などの強化。外国の方は日本語を話せるが読むのが苦手な方などもいて、そういう方は自治体などからの注意貼り紙などが理解できておらず、孤立してしまっている気がします。
- ・隣人、近隣とのつき合い、交流も少なくなっていたところへ、コロナ禍でさらに直接顔を合わせる機会も激減した。昨今、日本人、外国人の区別なく、お互いを尊重し、理解し合うことは、さらに難しくなったと感じます。ゴミや騒音などの問題も身近ですが、外国の方にまずは日本での暮らしのイロハを教えることは、自治体も担うことが望ましいと思います。トラブルも不信から生まれることが多いので、解消してわだかまりなく暮らすには、どうしたらよいか、草の根レベルで考えなければならぬでしょう。

（2）日本語習得と日本社会に関する学習支援

- ・外国人区民が最初に日本語を覚えて言葉が話せるようになれば、会話がはずみ、楽しくなると思います。
- ・やはりここは日本なので、日本のルール（いろいろな様々な状況）を理解し、行動し、生活していただければ共生していける気がします。

（3）安全・安心、（4）子育て・教育、（5）医療・福祉

※該当意見なし

（6）ネットワークづくり

- ・協力を求めている外国人が、こちらから分かりやすいツールのようなものがあると良いかも知れません。協力したい区民も多いだろうけど、接点がないと何もできない。

（7）日本人の外国人との交流の充実

- ・外国人の方々と日本人との触れ合いが気楽に出来るような環境を増やせたら良いと思います。
- ・ほとんどお話しする機会がないのですが、今の時代、お隣、ご近所、日本人同士ですら、会話が少なくなりました。もし近くに外国の方がいらして困っているような事があれば、協力してさしあげたいという気持ちは、大いにあります。賃貸マンションやアパート等が積極的に外国の方を受け入れていただけたら良いと思います。

- ・外国人と日本人の交流の場がたくさんあれば良いと思います。それ以外にもお互いの文化紹介の展示等があれば、より身近に感じる事が出来るのではないかと思います。
- ・お互いの文化、生活習慣を理解し合う。お互いを尊重し合い、お互い分かるように説明し合う。知らなければ、非常識に思える生活習慣も文化背景を知れば、お互い合点がいき、歩み寄った行動を取れると思う。個人では難しい場合、行政の助けが大切。これまでのケースから情報共有できると今後役立つと思う。逆も然りで、集団同士だと構えてしまって近づけないが、1対1で話しをしてみると、すんなり分かり合えることもあると思う。難しいことも多いでしょうが、異文化を知ると視野が広がる楽しさを多くの人を感じて、大田区で暮らしていけると良いですね。

(8) グローバル人材の育成・活躍

- ・外国人区民は働く人になるだろうから受け入れる企業なり、法人にも多文化共生の体制を作り上げる施策が必要です。

(9) 「国際都市おおた」の魅力の向上

※該当意見なし

(10) その他

- ・まずは日本国民の生活基盤を十分に整える必要がある。その上でないと文化交流は困難。日本人同士でもある種の分断が生じていたりもする。一人ひとりが自立した思考を持つようにならないとこうした基盤は築けないと考えられる。
- ・生活習慣等の異なる外国人に対する支援は必要であるが、反面日本人に対しての配慮も怠らない方が良いと思う（観光地などで、インバウンド優先の結果、日本人が置き去り状態になってしまったサービス同様、居住の場合も外国人優先かのような印象を受けると好ましくない）。
- ・外国人が増えることで、不法滞在者も増え、治安が悪化するのではないかと不安である。デメリットに対して、大田区がどんな対応をしていくのか区民にきちんと説明して下さい。今後も、外国人を受け入れていくのであれば、外国人とのトラブルに大田区が積極的に関わって解決してほしいです。
- ・治安の維持に努めてほしいと思います。
- ・外国人だからといって過度なサポートはせず、日本人と同等の生活支援にとどめる。一方で、外国人だからという理由だけで就労等の機会を失わせることもしない。つまり日本人と同程度の扱いで接する。
- ・そもそも大田区が多文化共生に対して、どのような取組みを行っているのかほとんど知りませんでした。取組みの内容や区民が気軽に参加、外国人と交流できるような場について、もっと周知してくれると嬉しいです。
- ・地域での外国人との交流イベントの機会がほとんどないに等しい。町会、あるいは連合会に対して交流イベント実施の推進を、区なり協会がもっと働きかける必要があるのではないか。場合によっては費用的な援助も必要。どこでどんな交流のイベントがあるといったニュース、

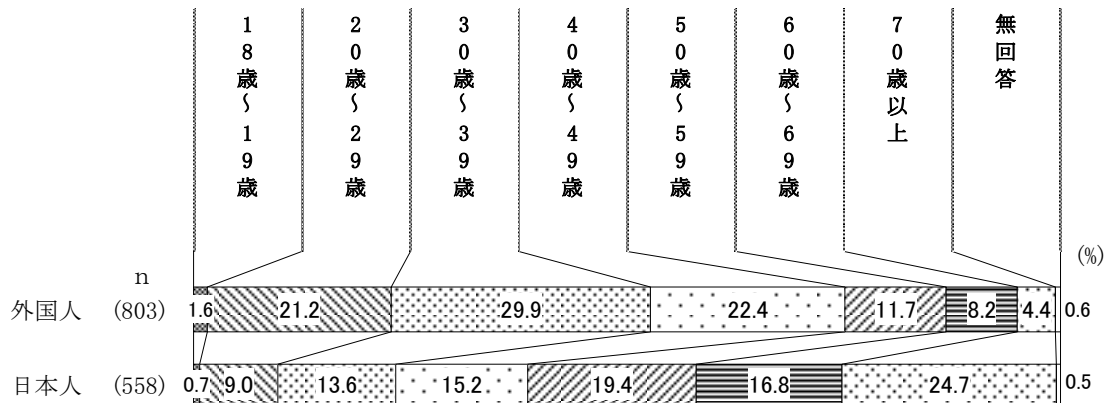
話題をもっと広めるべきではないか。これからはもっとインクルーシブな魅力的な地域社会にしていく必要がある。

- 国際交流イベント、地域でのイベント、外国語や外国の文化を共有できる場を増やしていくことを望みます。
- 日本（文化）にあわせて生活ルールを守って、日本人と仲良くなって欲しいです。
- 近所に外国の方が増えましたが、その方たちがゴミ出しのマナーを守らず困っています。外国の方が増えるのは問題ありませんが、そのような方たちへの対処に困っています。こちらから注意喚起することはできますが、対日本人と違い、怖く感じてしまいます。大田区として、私たち側の相談窓口を設け、必要に応じて行政より指導してほしいです。
- 日本人も外国人も同じ人間であるということ。差別の無い社会作り。学ぶ為に来た外国人を「働き手」とだけしか考えていないような企業を厳しく指導してほしい。
- 私を含む日本人は、基本的に外国人への偏見と差別的な考えが根本にあるかもしれないと思っています(もちろん無い人もいます)。なかなか難しい部分ではありますが、これらをいかに無くしていくかが大事なのかもしいかなと思います。そしてお互いの異文化の理解を深める事が大事なのかもしいかなと思います。
- 日本人側の意識改善がもっと必要。
- 文化の違う外国人にいろいろな事を求めても限度があると思うので、まず日本人から意識を高め、接することが必要と考える。たとえば、公共の場での啓発活動など。駅や車内で利用客に声かけをお願いしている様に、意識を高める活動をすれば、考えも変わってくると感じる。
- 相互理解の精神。一方が一方のやり方に合わせるだけではだめだと思います。
- お互いの国の「あたりまえ」を知るところからではないでしょうか。マナーとしてや、暗黙のルールというのは語られないし、伝えたりしないから異端とされてしまう。結局のところはコミュニケーションが必要となるので、お互いの言語の理解力を上げ、対話する事によって歩み寄ることが出来るのではないかと思います。

第4章 外国人区民・日本人区民 共通設問の比較

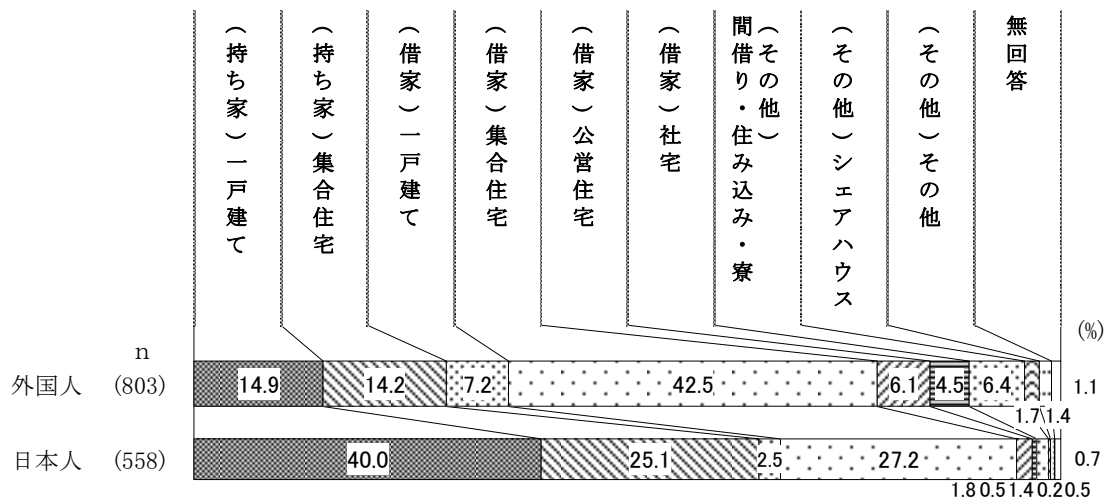
1. 回答者の属性

(1) 年齢 (単数回答)



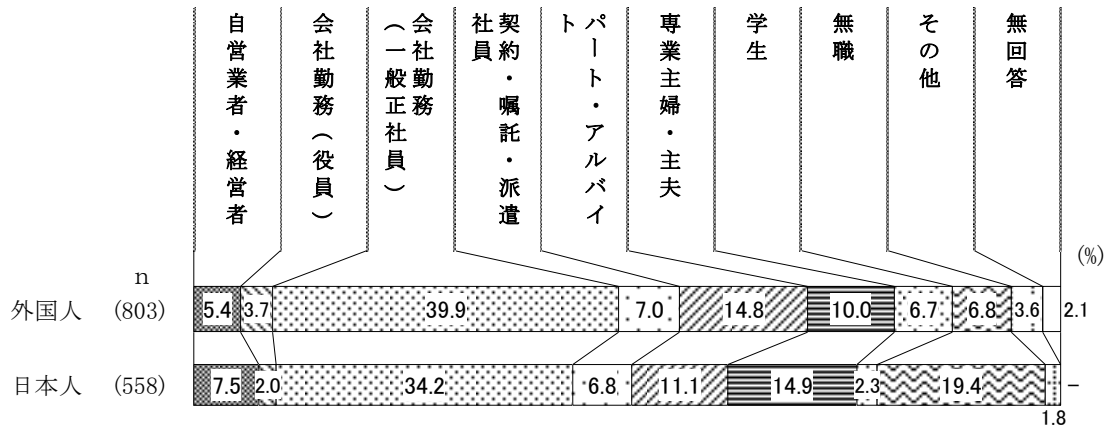
年齢を比較すると、外国人では比較的若い年代からの回答が多いが、日本人では高齢層からの回答が多くなっている。39歳以下を合計すると、外国人は52.7%で、日本人(23.3%)よりも29.4ポイント高くなっている。

(2) 住居 (単数回答)



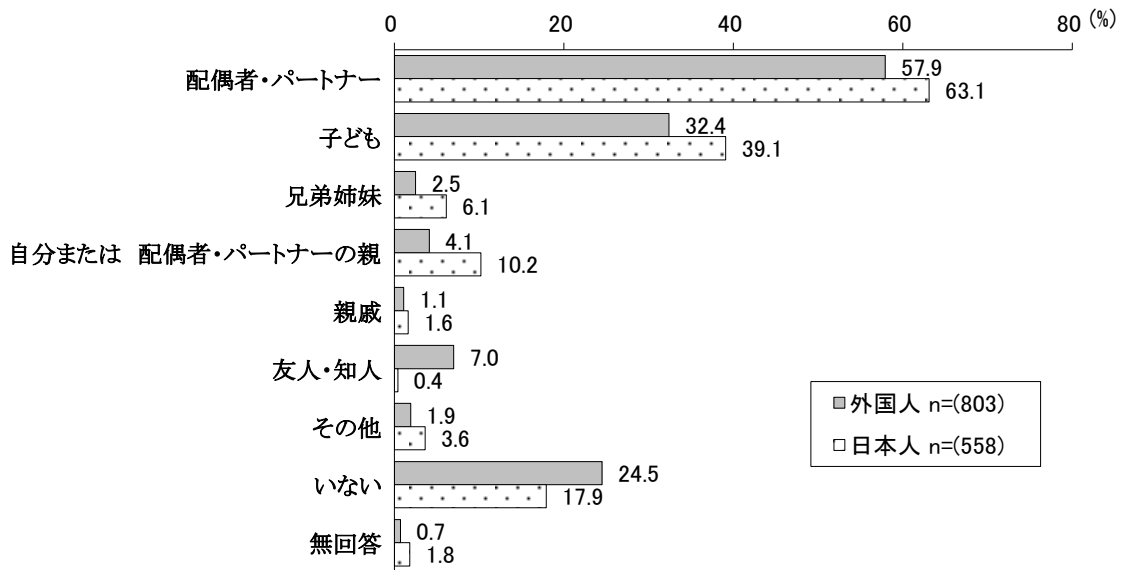
住居を比較すると、外国人では「(借家) 集合住宅」(42.5%)、日本人では「(持ち家) 一戸建て」(40.0%)が最も高くなっている。「(持ち家) 一戸建て」と「(持ち家) 集合住宅」を足した割合は、日本人で65.1%と、外国人(29.1%)よりも36.0ポイント高くなっている。

(3) 職業 (単数回答)



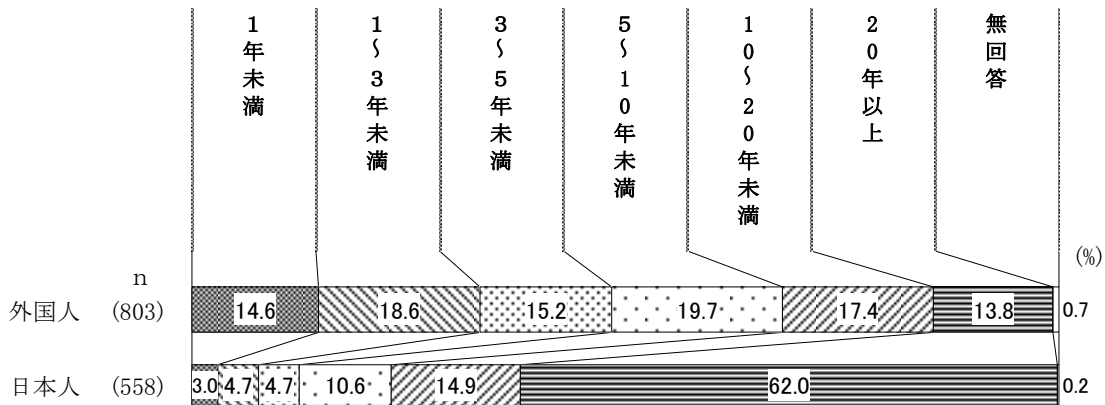
職業を比較すると、どちらも「会社勤務 (一般正社員)」が最も高くなっている。

(4) 同居人 (複数回答)



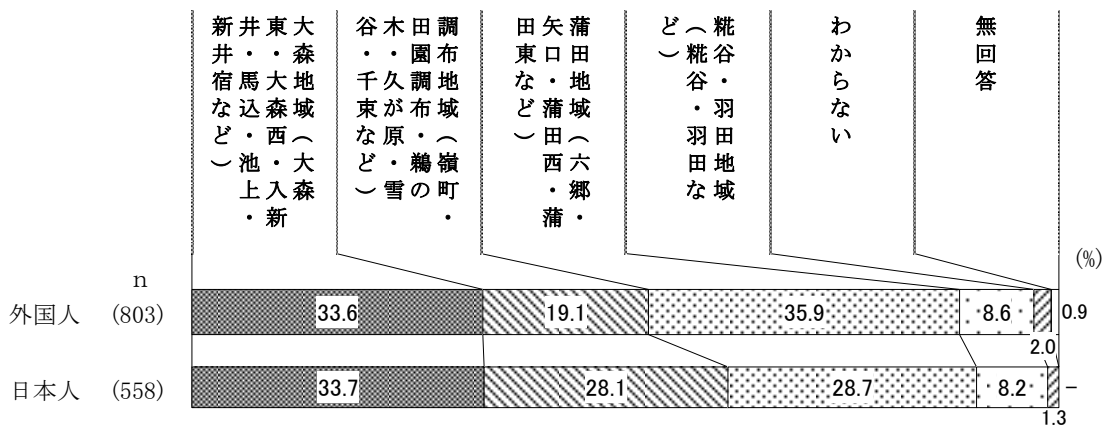
同居人を比較すると、どちらも「配偶者・パートナー」が最も高く、次いで、「子ども」となっている。また、「友人・知人」は外国人(7.0%)が日本人(0.4%)よりも6.6ポイント、「自分または配偶者・パートナーの親」は日本人(10.2%)が外国人(4.1%)よりも6.1ポイント高くなっている。

(5) 大田区での居住年数 (単数回答)



大田区での居住年数を比較すると、外国人では20年未満が85.5%と、日本人(37.9%)よりも47.6ポイント高くなっている。

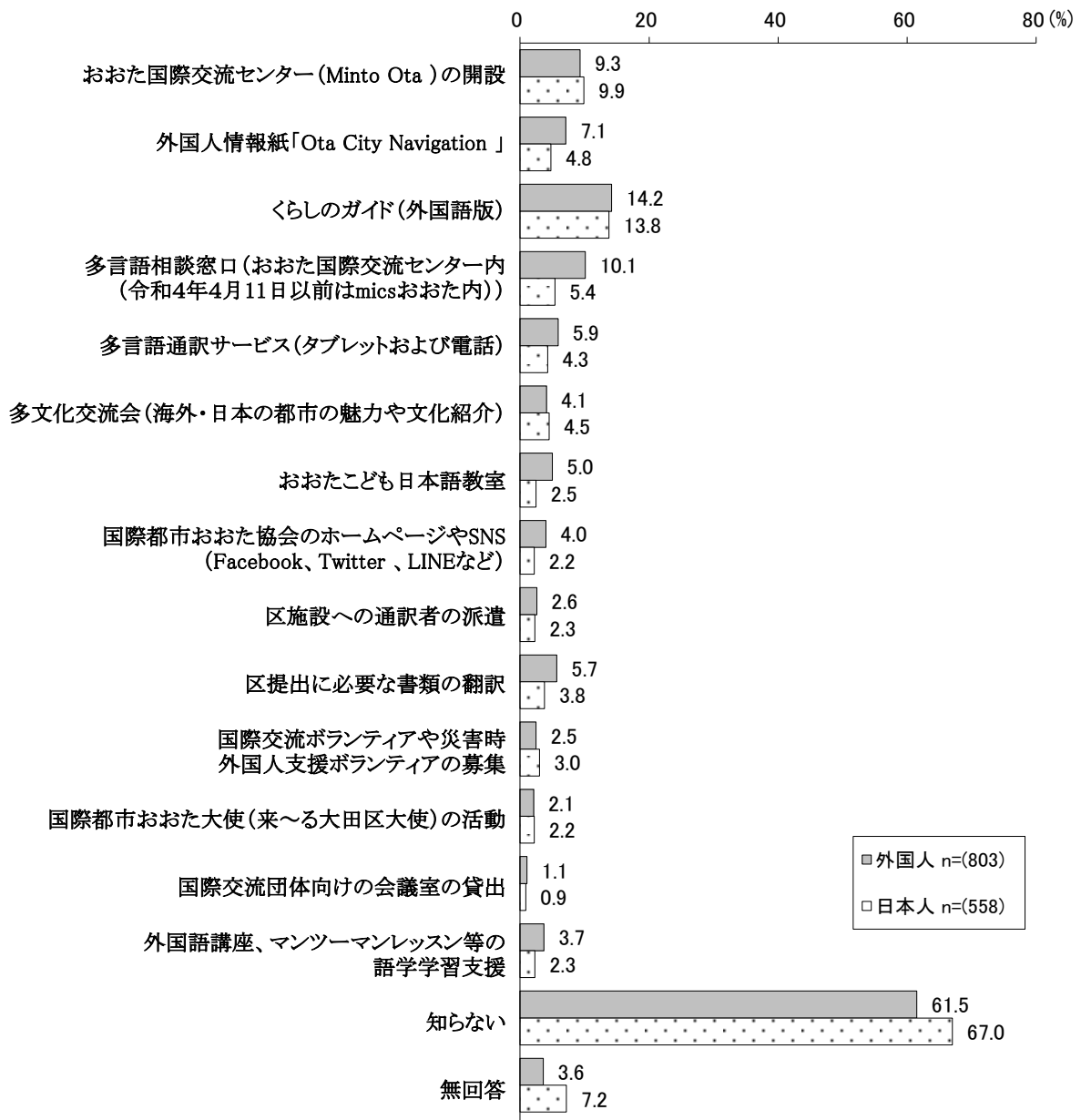
(6) 居住地域 (単数回答)



居住地域を比較すると、「蒲田地域」は外国人で35.9%と、日本人(28.7%)よりも7.2ポイント高くなっている。一方、「調布地域」は日本人で28.1%と、外国人(19.1%)よりも9.0ポイント高くなっている。

2. 大田区の取組への評価について

(1) 多文化共生に関するサービスや取組等の認知度（複数回答）



多文化共生に関するサービスや取組等の認知度を比較すると、「多言語相談窓口（おおた国際交流センター内（令和4年4月11日以前はmicsおおた内）」は外国人が10.1%と、日本人（5.4%）より4.7ポイント高くなっている。

(2) 大田区の施策に対する必要度

各項目、「必要」「どちらかといえば必要」を足した割合が高い順に並べている。

大田区の施策に対する必要度（外国人区民、日本人区民とも上位3項目ずつ）

	外国人区民	日本人区民
1	防災面の対策(68.1%)	区内の施設の多言語対応・表示(78.5%)
2	日本人と外国人の交流の機会充実(63.9%)	防災面の対策(78.0%)
3	区内の施設の多言語対応・表示(63.3%)	日本語習得支援(77.4%)

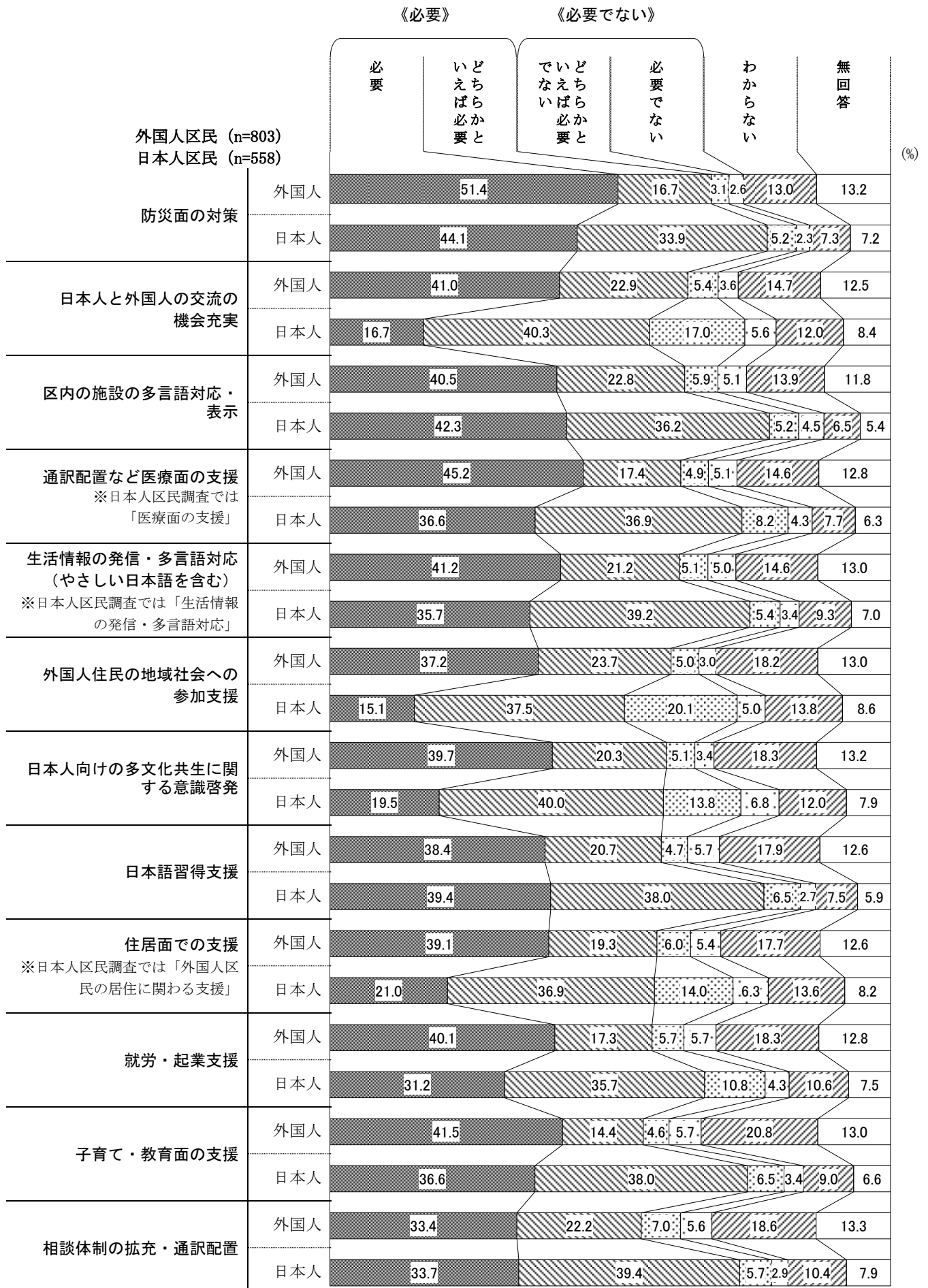
- ・外国人区民としては、「防災面の対策」、「日本人と外国人の交流の機会充実」、「区内の施設の多言語対応・表示」の3つの施策について、いずれも「必要」と回答する割合が6割台を占めており、強く望んでいることがわかる。
- ・日本人区民でも、外国人と同様に、「区内の施設の多言語対応・表示」、「防災面の対策」が1、2位、3位は「日本語習得支援」があげられ、いずれも7割台と比較的高い割合となっている。
- ・外国人の「必要」「どちらかといえば必要」の回答が高い順に示すと以下の通り。

大田区の施策に対する必要度の高い順の項目（外国人区民基準）

	外国人の回答	日本人の回答
防災面の対策	1	2
日本人と外国人の交流の機会充実	2	11
区内の施設の多言語対応・表示	3	1
通訳配置など医療面の支援	4	6
生活情報の発信・多言語対応（やさしい日本語を含む）	5	4
外国人住民の地域社会への参加支援	6	12
日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	7	9
日本語習得支援	8	3
住居面での支援	9	10
就労・起業支援	10	8
子育て・教育面の支援	11	5
相談体制の拡充・通訳配置	12	7

- ・個別の支援に関する各回答は、次の通り。

第4章 外国人区民・日本人区民共通設問の比較



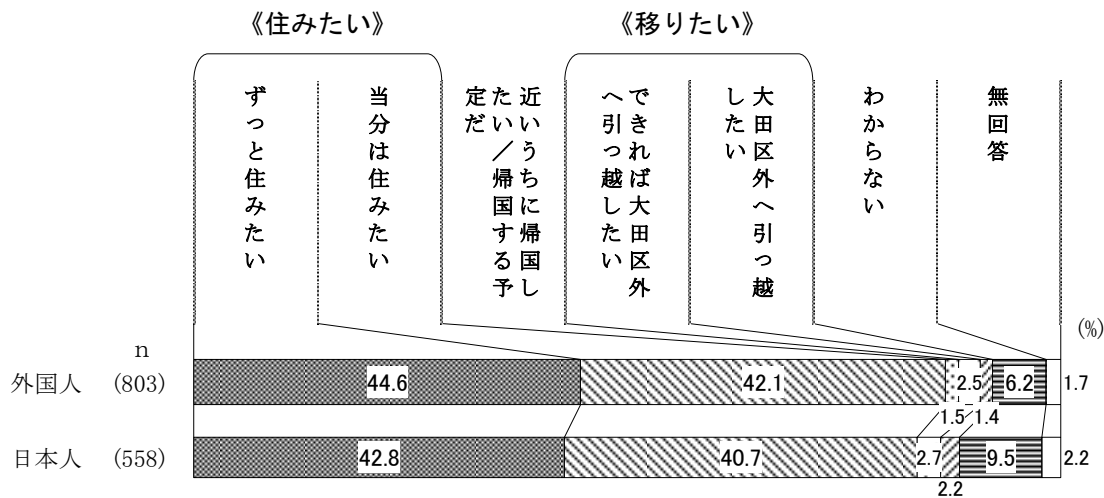
必要度を比較すると、外国人よりも日本人からの必要度が高くなっている項目は、「子育て・教育面の支援」、「日本語習得支援」、「相談体制の拡充・通訳配置」、「区内の施設の多言語対応・表示」、「生活情報の発信・多言語対応（やさしい日本語を含む）」、「通訳配置など医療面の支援」、「防災面の対策」、「就労・起業支援」となっている。特に、「子育て・教育面の支援」は日本人で74.6%と、外国人よりも18.7ポイント高く、必要度の差が一番大きな項目である。

一方、日本人よりも外国人からの必要度が高い項目は、「外国人住民の地域社会への参加支援」、「日本人と外国人の交流の機会充実」となっている。

また、「日本人向けの多文化共生に関する意識啓発」については必要度に差はないものの、「必要でない」は日本人で20.6%と、外国人よりも12.1ポイント高くなっている。

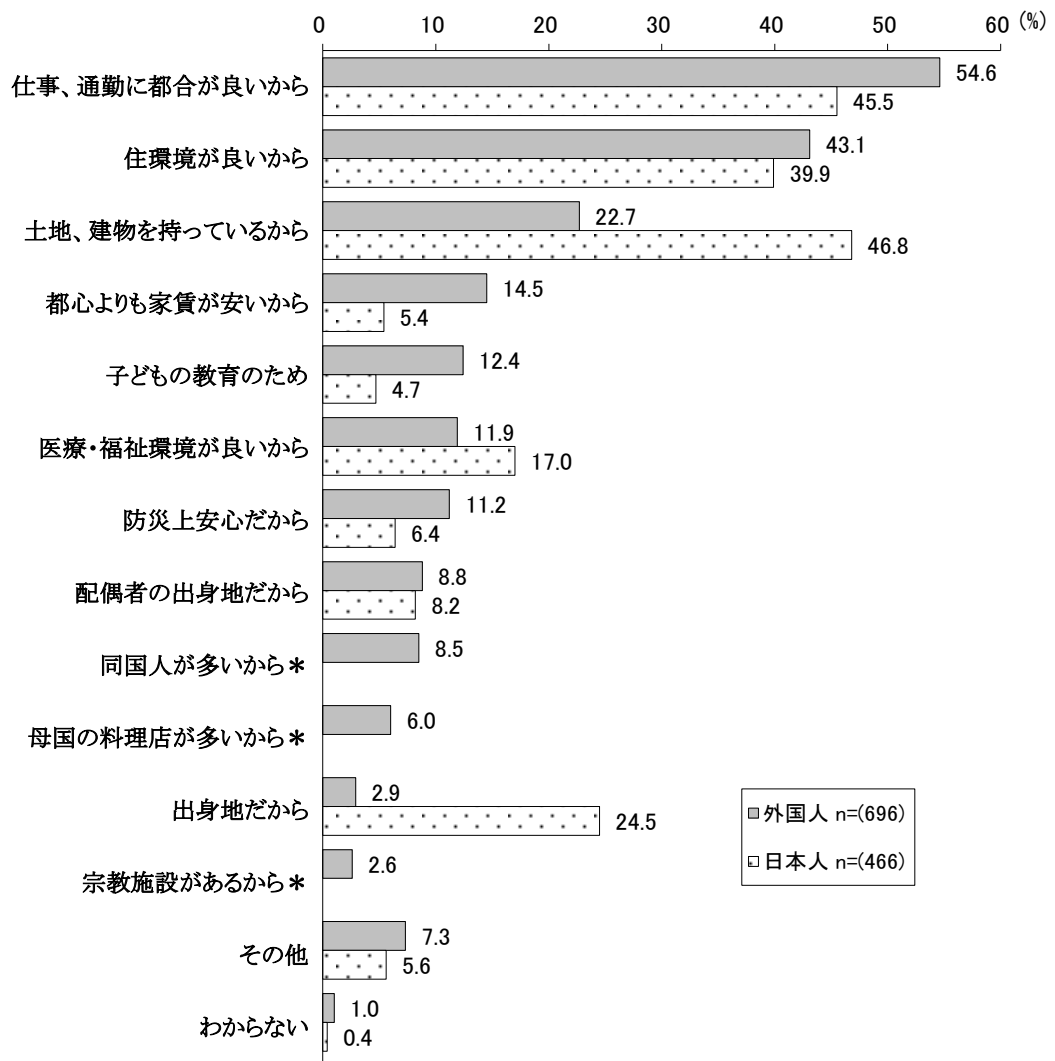
3. 日ごろの暮らしについて

(1) 居住意向



居住意向では、《住みたい》（「ずっと住みたい」と「当分は住みたい」を足した割合）は、外国人で86.7%、日本人で83.5%と高くなっている。

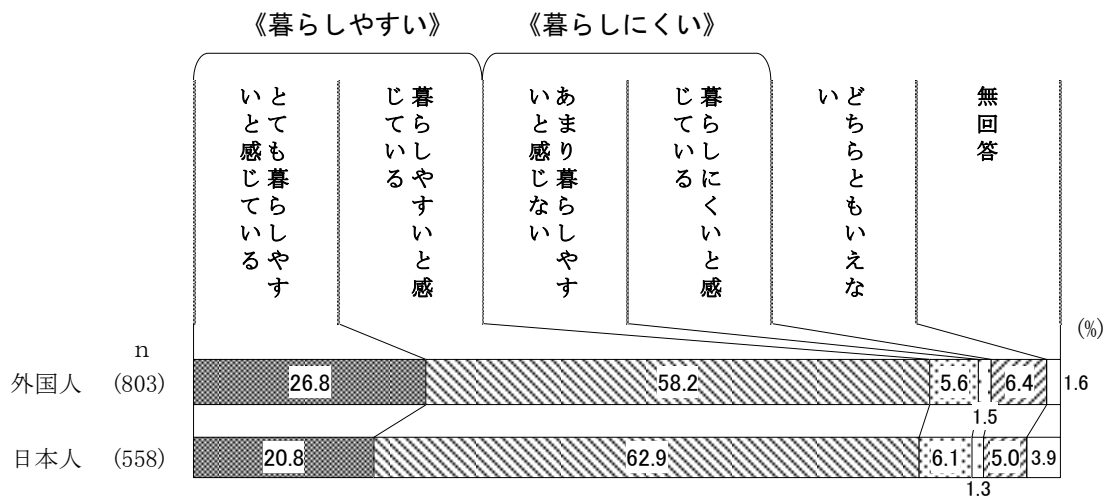
(2) 大田区に住みたい理由



*は外国人区民調査のみ

大田区に住みたい理由を比較すると、外国人で「仕事、通勤に都合が良いから」(54.6%)と「都心よりも家賃が安いから」(14.5%)は、日本人よりも9.1ポイント高くなっている。

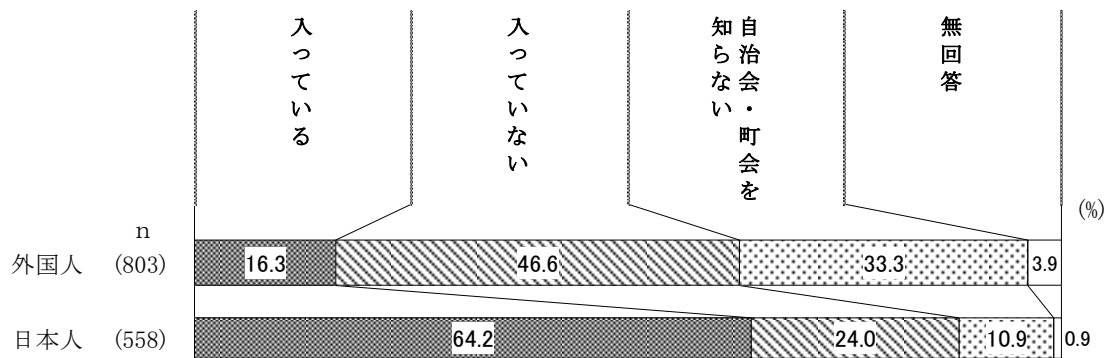
(3) 現在住んでいるまちの暮らしやすさ



現在住んでいるまちの暮らしやすさを比較すると、《暮らしやすい》（「とても暮らしやすいと感じている」と「暮らしやすいと感じている」を足した割合）は、外国人で 85.0%、日本人で 83.7%となっており、外国人の方がやや評価が高くなっている。

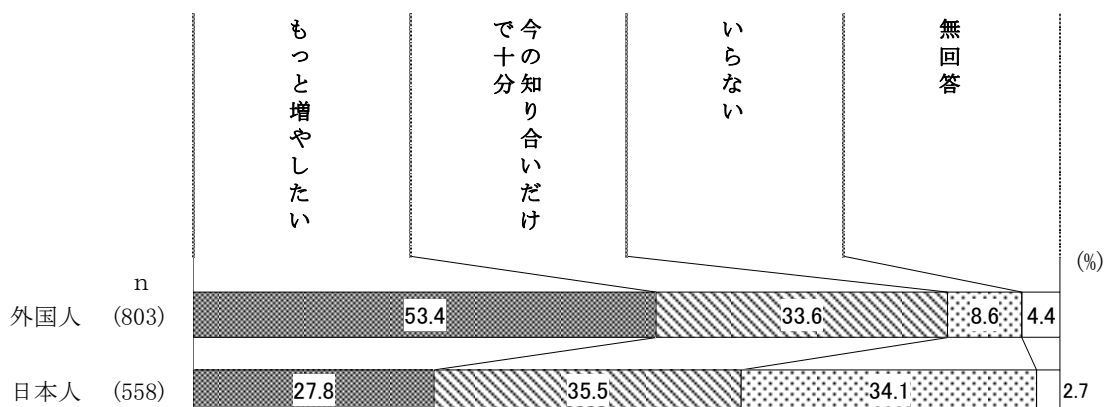
4. 地域での交流について

(1) 自治会・町会への加入状況



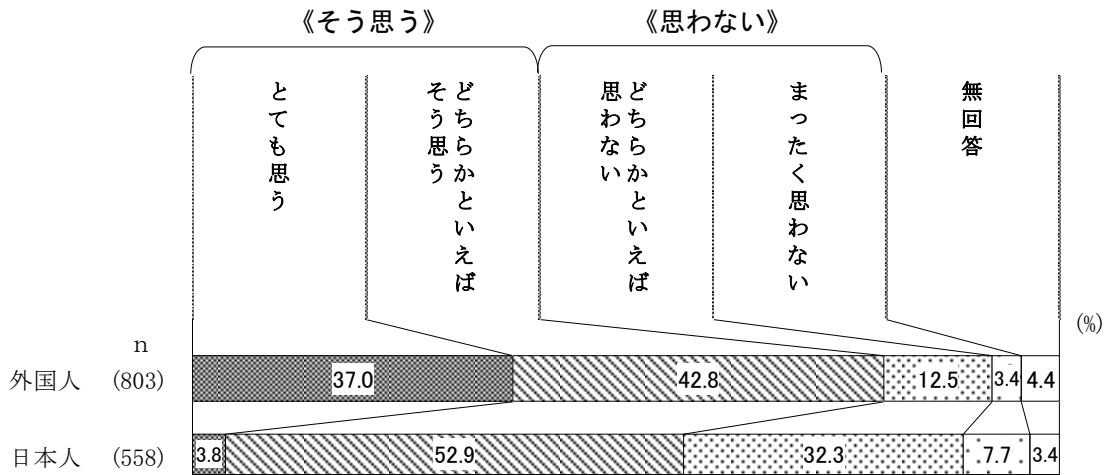
自治会・町会への加入状況と比較すると、「入っている」は日本人で64.2%と、外国人(16.3%)よりも47.9ポイント高くなっている。また、「自治会・町会を知らない」は外国人で33.3%と、日本人(10.9%)よりも22.4ポイント高くなっている。

(2) 地域に日本人／外国人の知り合いを希望するか



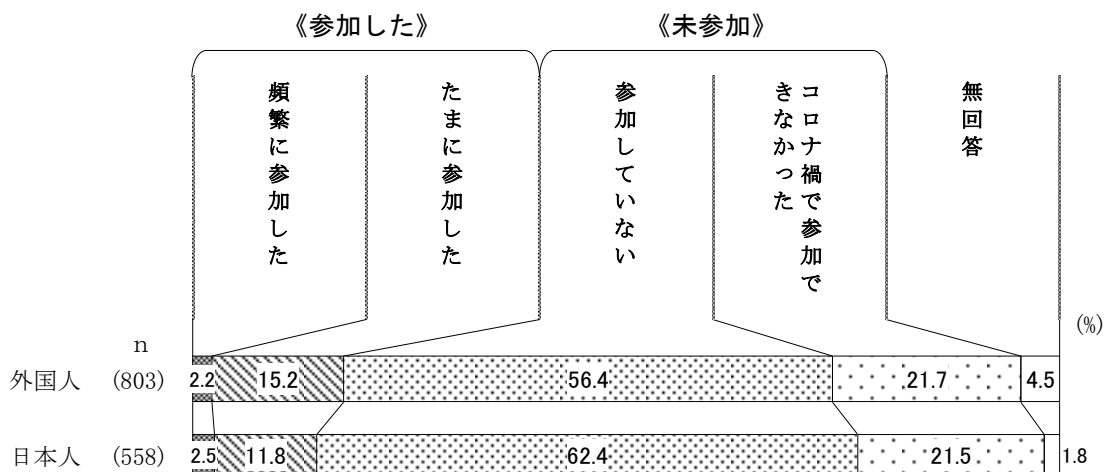
地域に日本人の知り合いがほしいかを比較すると、「もっと増やしたい」は外国人で53.4%と、日本人(27.8%)よりも25.6ポイント高くなっている。「今の知り合いだけで十分」については差はみられないが、「いらぬ」は日本人で34.1%と、外国人(8.6%)よりも25.5ポイント高くなっている。

(3) 大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うか



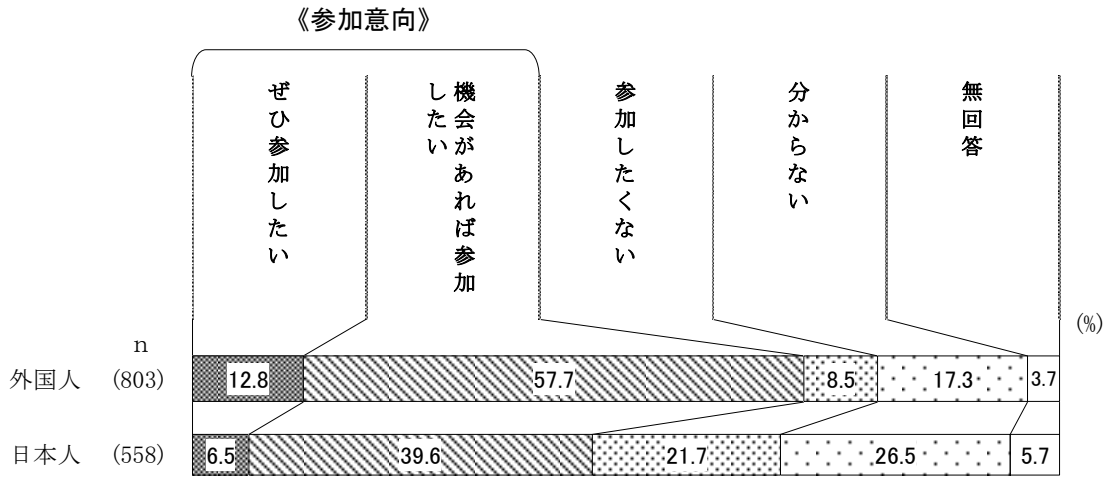
大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、暮らしていると思うかを比較すると、《そう思う》は外国人で79.8%と、日本人(56.7%)よりも23.1ポイント高くなっており、意識に差がみられる。

(4) 直近1年間の地域活動への参加状況



直近1年間の地域活動への参加状況を比較すると、《参加した》は、外国人で17.4%、日本人で14.3%となっており、参加率は外国人の方が高くなっている。

(5) 地域活動への今後の参加意向



直近1年間の地域活動への参加状況を比較すると、《参加意向》は外国人で70.5%と、日本人(46.1%)よりも24.4ポイント高く、意識に差がみられる。

資料 使用した調査票

1. 外国人区民調査票

おおたくたぶんかきょうせいじつたいちようさ 大田区多文化共生実態調査

にほんじんくみん がいこくじんくみん
日本人区民と外国人区民(※1)にとって

大田区をもっと住みやすいまちにするために教えてください！

おおたくには、約24,000人の外国人区民が生活しています。区民全体の約30人に1人が外国人区民です。区は、国籍や民族などの異なる人たちが文化の違いを認め理解しあい一緒に生きていく多文化共生のまちをつくりたいです。

このアンケート調査の目的は、次の2つです。

- ① 皆さんの生活や区への意見・要望(区にしてほしいこと)を知る。
- ② これからの多文化共生のまちづくりを助ける。

この調査の対象は、次の人たちです。(無作為抽出法で選びました。)

- ①大田区に住んでいる18歳以上の日本人の中から1,500人
- ②大田区に住んでいる外国人の中から3,000人

※あなだが答えた内容は調査のためだけに使います。

個人の情報を使うことは絶対にありません。

※1外国人区民 この調査では、外国籍の区民以外に日本の永住権を持つ外国籍区民等の「外国にルーツを持つ」区民も対象です。

書いた調査票は一緒に入っている返信用封筒に入れてください。封筒は10月31日(月)までに郵便ポストに入れてください。

切手はいりません。あなたの名前は書かないでください。

おおたく
大田区

スポーツ・文化・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課
〒144-0052 大田区蒲田4-16-8 2階
(おおた国際交流センター)
電話03-5744-1227



※書く方法は裏面の「ご記入にあたってのお願い」を見てください。

ID:

きにゆう ご記入にあたってのお願い

- 1 アンケート用紙は「日本語」「その他の言語」の2つが入っています。どちらかを選んで教えてください。両方に答える必要はありません。
- 2 回答は必ず自分で教えてください。
- 3 回答は濃いえんぴつか黒または青のボールペンを使ってください。
- 4 回答は次の方法で行ってください。
 - 回答は選択肢の中から選んでください。
 - 「番号」の前にある口(チエックボックス)にチエック(☑)をつけてください。
- チエック(☑)の数は「チエック(☑)は1つだけ」「チエック(☑)はいくつでも」などの決まりがあります。それに合わせて教えてください。
- あなだの答えが選択肢の中にない場合は「その他()」を選んでください。()に内容を書いてください。
- 質問で回答する人が決まっているものがあります。(～と答えた方にのみ)特に説明のない場合はつぎの質問に進んでください。
- 回答の重複を避けるために表紙の右下にIDを付番しています。個人を特定するものではありません。

記入例

F1 あなだの住居を教えてください。(チエック(☑)は1つだけ)

- 1 18歳～19歳 3 30歳～39歳 5 50歳～59歳 7 70歳以上
- 2 20歳～29歳 4 40歳～49歳 6 60歳～69歳

選んだ番号に(チエック(☑)印をつけてください)

1 あなたのことについて

F1 あなたの年齢を選んでください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 18歳~19歳	□3 30歳~39歳	□5 50歳~59歳	□7 70歳以上
□2 20歳~29歳	□4 40歳~49歳	□6 60歳~69歳	

F2 あなたの国籍・地域を選んでください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 中国	□8 タイ
□2 韓国	□9 インド
□3 ラオス	□10 インドネシア
□4 ネパール	□11 ドイツ
□5 ベトナム	□12 韓国
□6 台湾	□13 その他()
□7 その他	□14 無国籍

※大田区の人口で多い国籍・地域を選んでください。

F3 あなたの在留資格を選んでください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 特定技能	□10 研究	□19 研修
□2 教授	□11 教育	□20 家族滞在
□3 芸術	□12 技術・人文知識・国際業務	□21 特定活動
□4 宗教	□13 企業内転勤	□22 永住者
□5 報道	□14 介護	□23 日本人の配偶者等
□6 高度専門職	□15 興行	□24 永住者の配偶者等
□7 経営・管理	□16 技能実習	□25 定住者
□8 法律・会計事務	□17 文化活動	□26 特別永住者
□9 医療	□18 留学	

F4 あなたが住んでいる家(住居)はどれですか。(チェック(☑)は1つだけ)

(持ち家)	□1 戸建て
(借家)	□2 集合住宅
借りて住んでいること	□3 戸建て
	□4 集合住宅
	□5 公営住宅
	□6 社宅
(その他)	□7 商借り・住み込み・寮
	□8 シェアハウス
	□9 その他()

F5 あなたの仕事を教えてください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 自営業者・経営者	□5 ハード・ソフト
□2 会社勤務(役員)	□6 専業主婦・主夫
□3 会社勤務(一般社員)	□7 学生
□4 契約・嘱託・派遣社員	□8 無職
	□9 その他()

F6 あなたは結婚していますか。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 結婚している(配偶者は同じ種の人)	□4 離婚・死別
□2 結婚している(配偶者は日本人)	□5 結婚していない
□3 結婚している(配偶者は日本人・同じ種の人以外)	

F7 今あなたはだれと一緒に住んでいますか。(チェック(☑)はいくつでも)

□1 配偶者・パートナー	□5 親戚
□2 子ども	□6 友人・知人
□3 兄弟姉妹	□7 その他()
□4 自分または配偶者・パートナーの親	□8 いない

F8 あなたはどのくらい日本に住んでいますか。来日(日本へ来ること)が何回もある場合は、通算(合わせて)して答えてください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 6か月未満	□4 3年~5年未満	□7 20年~50年未満
□2 6か月~1年未満	□5 5年~10年未満	□8 50年以上
□3 1年~3年未満	□6 10年~20年未満	

F9 あなたはどのくらい大田区に住んでいますか。転入(大田区へ来ること)・転出(大田区から出ること)が何回もある場合は、通算して答えてください。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 6か月未満	□4 3年~5年未満	□7 20年~50年未満
□2 6か月~1年未満	□5 5年~10年未満	□8 50年以上
□3 1年~3年未満	□6 10年~20年未満	

F10 あなたはどこの地域に住んでいますか。(チェック(☑)は1つだけ)

□1 天森地域(天森東・天森西・入新井・馬込・池上・新井管など)
□2 鶴川地域(鶴川・田園調布・鶴の木・久が原・警谷・平塚など)
□3 瀬田地域(六郷・矢口・瀬田西・瀬田東など)
□4 雑谷・羽田地域(雑谷・羽田など)
□5 わからない

2 ことばについて

問1 あなたがわかる言語は どれですか。(チェック(☑)はいくつでも)
また その中で 最も得意な言語は どれですか。番号を 書いてください。

- 01 日本語
- 02 やさしい日本語
- 03 英語
- 04 中国語
- 05 ハンガール
- 06 ザラゴザ語
- 07 ネパール語
- 08 ベトナム語
- 09 タイ語
- 10 ビシナイー語
- 11 インドネシア語
- 12 ミヤンマー語
- 13 ポルトガル語
- 14 ドイツ語
- 15 ラオス語
- 16 スペイン語
- 17 ロシア語
- 18 マラビヤ語
- 19 モンゴル語
- 20 ベトナム語
- 21 その他 ()

最も得意な言語
【番号を 1つ書いてください】



問2 あなたは どのくらい日本語が できますか。(チェック(☑)はそれぞれ1つずつ)

	よくわかる 複雑で難しい 内容が読める	仕事や学校で 使う日本語は できる	簡単なことは できる	短い挨拶や 簡単なことは できる	できない・ ほとんど できない
聞く	01	02	03	04	05
話す	01	02	03	04	05
読む	01	02	03	04	05
書く	01	02	03	04	05

問3 あなたは 日本語を 何で 学んでいますか。(チェック(☑)はいくつでも)

- 01 来日前に 自分の国で 勉強したことがある
- 02 大田区初級日本語教室で 勉強している
- 03 ホラントニアの日本語教室で 勉強している
- 04 民間の日本語教室で 勉強している
- 05 大学や 専門学校 や 日本語学校などで 勉強している
- 06 日本の小学校や 中学校や 高校で 勉強した
- 07 夜間中学で 勉強している
- 08 知り合いから 学んでいる
- 09 テレビ・ラジオ・本などで 勉強している
- 10 子どもの頃から 自然に 話せる
- 11 その他 ()
- 12 勉強していない

問4 大田区内に 大田区が 行う日本語教室や ホラントニアの日本語教室が あります。大田区は 利用しやすい日本語教室に したいです。あなたは 何が 大切だと 思いますか。(チェック(☑)はいくつでも)

- 01 日本語教室の 場所と 時間を もっと 広く 案内する
- 02 子どもを 預けたり 子どもと 一緒に 勉強できる
- 03 子ども向けの 日本語教室を 増やす
- 04 初級の 日本語教室を 増やす
- 05 中級以上の 日本語教室を 増やす
- 06 休日・祝日・夜間でも 利用できる
- 07 家の 近くで 利用できる
- 08 無料または 安い お金で 利用できる
- 09 少人数・個人指導を している
- 10 日本文化を 紹介する 講座を 作る
- 11 日本語支援以外の 生活支援を 行う
- 12 オンラインで 利用できる
- 13 その他 ()
- 14 わからない

問5 日本語での コミュニケーションや 読み書きが 難しいときは どうしますか。(チェック(☑)はいくつでも)

- 01 苦えることを やめる
- 02 友達や 知人に 手伝ってもらう
- 03 辞書や アプリ(通訳・翻訳アプリ) を 使って 読める
- 04 通訳・翻訳サービス を 使う
- 05 その他 ()

3 大田区の取組への評価について

問6 あなたは、多文化共生について、大田区や 国際都市おおた協会*が行っている 次の サービスや 取組等を 知っていますか。(チェック(☑)はいくつでも)
*区が作った 法人。2018年(平成30年)4月1日から 業務を 始めている。

- 1 おおた国際交流センター (Minto Ota) の 開設
- 2 外国人情報紙「Ota City Navigation」
- 3 ぐらしのガイド (外国語版)
- 4 多言語相談窓口 (おおた国際交流センター内 (令和4年4月11日以前は mics おおた内))
- 5 多言語通訳サービス (タブレットや 電話)
- 6 多文化交流会 (海外・日本の 都市の 魅力や 文化紹介)
- 7 おおたこども日本語教室
- 8 国際都市おおた協会の ホームページや SNS (Facebook、Twitter、LINE など)
- 9 区施設への 通訳者の 派遣 (若くこと)
- 10 区提出に 必要な 書類の 翻訳
- 11 国際交流ボランティアや 災害時外国人支援ボランティアの 募集
- 12 国際都市おおた大使 (来へる大田区大使) の活動
- 13 国際交流団体向けに 研修室を 貸すこと
- 14 外国語講座・マシコミマシリス等の 語学学習 支援
- 15 知らない

問7 あなたは、大田区の 取組に対して 満足していますか。また、その取組は、あなたにとって どのくらい 必要ですか。(チェック(☑)はそれぞれ「A」・「B」別に1つずつ)

	A どのくらい満足ですか				B どのくらい必要ですか					
	満足 (満足)	どちらか (満足)	どちらか (満足)	わからない	必要 (必要)	どちらか (必要)	どちらか (必要)	わからない		
(A) 区内の 施設の 多言語対応・表示	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(B) 日本語習得支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(C) 生活情報の 発信・多言語対応 (やさしい日本語を含む)	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(D) 相談体制を 増やす・通訳の 配置	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(E) 防災面の 対策	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(F) 子育て・教育面の 支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(G) 住居面での 支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(H) 通訳配置など 医療面の 支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(I) 高齢者や 障がい者等への ケア・介護面の 支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(J) 生活に 困る 家庭への 福祉面の 支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(K) 就労 (仕事を すること) ・起業支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(L) 日本人向けの 多文化共生に ついての 意識啓発	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(M) 日本人と 外国人の 交流を 増やす	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(N) 外国人住民の 地域社会への 参加支援	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(O) 外国人が 区政に 参加する 機会をつくる	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(P) お祈りができる 部屋や 誰でも トイレなど 多様性に 配慮した 施設の 整備	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05
(Q) 書類の 形式や 手続きを 簡単にする	01	02	03	04	05	01	02	03	04	05

4 白ごころの暮らしについて

問8 これからも 柴田区に 住みたいですか。(チャエツク (☑) は1つだけ)
 01 すっと住みたい ⇒問8-1ハ 04 できれば 大田区外へ 引っ越したい
 02 しばらくは 住みたい ⇒問8-1ハ 05 大田区外へ 引っ越したい
 03 近いうちに 帰国したい/ 帰国する 予定 06 わからない

(問8で「1」または「2」とお答えの方にお読みします)
 問8-1 これからも 柴田区に 住みたい理由は 何ですか。(チャエツク (☑) はいくつでも)
 01 出身地だから 08 防災面で 安心だから
 02 配偶者の 出身地だから 09 住む環境が 良いから
 03 仕事、通勤に 都合が良いから 010 同じ国の人が 多いから
 04 土地、建物を 持っているから 011 宗教施設が あるから
 05 初心よりも 家賃が安いから 012 自分の国の 親類が 多いから
 06 子どもの 教育のため 013 その他 ()
 07 医療・福祉環境が 良いから 014 わからない

問9 今 住んでいるまちは 暮らしやすいですか。(チャエツク (☑) は1つだけ)
 01 とても暮らしやすいと 思っている 04 暮らしにくいと 思っている
 02 暮らしやすいと 思っている 05 どちらともいえない
 03 あまり暮らしやすいと 思っていない

問10 あなたは 日常の 暮らしの中で 不便を 感じていることや 困っていることは ありますか。(チャエツク (☑) はいくつでも)

01 どこに 生活上の 相談を すればよいかわからないこと
 02 在留資格や ビザのこと
 03 日本語 (読み書きなど) について
 04 日本人、他の国境の次との コミュニケーションについて
 05 税金・保険の 仕組みが わかりにくいこと
 06 相談できる人や 仲の良い人が 少ないこと
 07 日本語のお知らせや 郵便物が わかりにくいこと
 08 物価が 高いこと
 09 自分の国の ことばで 利用できる サービスが 少ないこと
 10 風習や習慣、食事の 違いがあること
 11 欲しいものが 売っている 場所が わからないこと
 12 趣味・娯楽の こと
 13 その他 ()
 14 特になし

問11 あなたが 住む場所を 探したり 住んだあとに 困ったことが ありますか。(チャエツク (☑) はいくつでも)

01 外国人であることを 理由に 住むことを 断られた
 02 保証人や 緊急連絡先が なかなか見つからなかった
 03 家賃や 契約のお金が 高かった
 04 多言語で 契約手続きや 住む家について 相談できる 業者や 窓口が なかった
 05 日常生活の ルールが よくわからない
 06 ことばや 文化の 違いで、近隣住民との 付き合い方が わからない
 07 住む場所や 住んでいる場所の 近くの 環境が 良くない
 08 その他 ()
 09 特になし

問12 あなたは 病院を 利用するときに 困ったことや 不満に 思ったことが ありますか。(チャエツク (☑) はいくつでも)

01 どの 病院に 行けばいいかわからない
 02 自分の国の ことばで 利用できる 病院が わからない
 03 保険制度などの 情報が 少ない
 04 症状や 治療方法などについて 病院での コミュニケーションが うまくできない
 05 病院での 手続きが わからない
 06 医療費の 支払いに 困った
 07 医療について 相談先が わからない
 08 その他 ()
 09 特になし

問13 あなたには 子どもが いますか。(チャエツク (☑) はいくつでも)

01 小学校に通う 年齢未満 (0歳未満) の 子どもがいる ⇒問13-1ハ
 02 小学校に通う 年齢 (6歳~12歳) の 子どもがいる ⇒問13-1ハ
 03 中学校に通う 年齢 (13歳~15歳) の 子どもがいる ⇒問13-1ハ
 04 高校に通う 年齢 (16歳~18歳) の 子どもがいる ⇒問13-1ハ
 05 子どもはいるが 母国や 外国にて 別居 (一緒に住んでいないこと) している ⇒問14ハ
 06 子どもはいない ⇒問14ハ

【問13で「1」～「4」とお答えの方にお聞きします】

問13-1 あなたの子どもや あなたが 幼稚園・保育園や 学校で 困ったことは ありますか。
(チェック (☑) はい(つくても))

【問13で「1」と答えの方】

- 1 幼稚園・保育園からの連絡内容がわからない
- 2 子どもが日本語で友達や先生と話すのが難しい
- 3 先生やほかの保護者とのコミュニケーションができない
- 4 子どもの発達やことばの学習について相談できる人がいない
- 5 入田区の幼稚園・保育園の制度や入園スケジュールがわからない
- 6 自分の国の文化・生活習慣・宗教を理解してもらえない
- 7 幼稚園・保育園にかかる費用の支払いに困った
- 8 子どもが幼稚園・保育園で友達ができない
- 9 子どもを預ける幼稚園・保育園が見つからない
- 10 その他 ()
- 11 特にない

【問13で「2」～「4」と答えの方】

- 1 学校からの連絡内容がわからない
- 2 子どもが日本語で友達や先生と話すのが難しい
- 3 子どもが日本語での授業がわからない・難しい
- 4 先生やほかの保護者とのコミュニケーションができない
- 5 学校での学習や生活について相談できる人がいない
- 6 日本の学校制度 (PTA活動、入学試験等も含む) がわからない
- 7 卒業後の進路をどうしていいかわからない
- 8 自分の国の文化・生活習慣・宗教や性などを理解してもらえない
- 9 教育にかかる費用の支払いに困った
- 10 子どもが学校で友達ができない
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問14 新型コロナウイルス感染拡大で 困りごとや 困ったことは ありますか。
(チェック (☑) はい(つくても))

- 1 あなただけ同じ世帯の家族の仕事がなくなった
- 2 あなただけ世帯の収入(お金のこ)が減った
- 3 帰国(帰入)帰るこ)ができない
- 4 情報や相談先がわからない
- 5 もらったお知らせや書籍を日本語で読んだり書いたりすることが難しい
- 6 得意なことばで受診(病てらうこ)でできる病院がわからない
- 7 うちうちの手続き方法や給付金の申請方法がわからない
- 8 外国人に対する偏見を持っている人の言動で嫌な気持ちになった
(具体的に:)
- 9 子どもや家族の面会や介護で困らなくなった
- 10 強い不安やうつなど心の病気になる
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問15 あなたは 就労(仕事)をすること)するときに 困ったことは ありますか。
(チェック (☑) はい(つくても))

- 1 仕事を探す方法がわからない
- 2 収入が少ない
- 3 正社員など安定した立場で働けない
- 4 外国人だから働くことを断られる
- 5 日本語能力が低いいため働くことを断られる
- 6 資金(給付)が安い
- 7 子育てや介護をしながら働くことが難しい
- 8 休みが取れない
- 9 労働時間が長い
- 10 日本語でのコミュニケーションがうまくとれない
- 11 文化の違いのために職場でコミュニケーションがうまくとれない
- 12 就労するときのルールや社会保障などの制度がわからない
- 13 自分の困ったことばで就労の相談や支援がない
- 14 就労を希望していない
- 15 その他 ()
- 16 特にない

5 防災について

- 簡16 日本で どのような災害が 起こるか 知っていますか。(チェック) (☑) は1つだけ
- 1 知っている □2 知らない
- 簡17 地震などの 災害のときに 避難する 場所を 知っていますか。(チェック) (☑) は1つだけ
- 1 知っている □2 知らない
- 簡18 大田区では 防災訓練を 地域で 行っています。防災訓練に 参加したことが ありますか。(チェック) (☑) は1つだけ
- 1 参加したことがある □2 知っているが 参加したことがない □3 知らない

- 簡19 地震などの 災害が起きたとき あなたは 荷が 心配ですか。(チェック) (☑) はいくつでも
- 1 家族の無事
 □2 避難場所(逃げる場所)がわからない
 □3 どこに 相談すればよいか わからない
 □4 言葉が 通じないので 自分の 要求を 伝えられない
 □5 荷を 備えられないかわからない
 □6 復讐な言葉で 情報を 得られるのが 不安
 □7 日本人との 協力を 関係に 不安がある
 □8 地震を 体験したことが ないので 恐怖心がある
 □9 その他 ()
 □10 知らない

- 簡20 区の 防災ポータルサイトや 緊急時に 届く 区民安全・安心メールを 知っていますか。(チェック) (☑) は防災ポータルサイト、区民安全・安心メール別に1つずつ
- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 【防災ポータルサイトについて】 | 【区民安全・安心メールについて】 |
| □1 区の 防災ポータルサイトを 知っていて 利用している | □1 区民安全・安心メールを 知っていて 利用している |
| □2 区の 防災ポータルサイトを 知っているが 利用していない | □2 区民安全・安心メールを 知っているが 利用していない |
| □3 区の 防災ポータルサイトを 知らない | □3 区民安全・安心メールを 知らない |
- 【QR 防災ポータルサイトについて】
- 【QR 区民安全・安心メールについて】



6 情報提供・相談体制について

- 簡21 生活で 困っていることがあるときに どこ(または誰)に 相談しますか。(チェック) (☑) はいくつでも
- 1 区役所 □9 民族団体・同じ国の人の 組織
 □2 多言語相談窓口 □10 教会・寺院など 宗教施設
 □3 大使館・領事館 □11 保育園や 学校の 先生
 □4 知人・友人(同じ国の)や 同じことばが分かる人 □12 東京都の 外国人相談窓口
 □5 知人・友人(日本人) □13 近くに 住んでいる 人
 □6 家族・親戚 □14 その他 ()
 □7 会社の 同僚 □15 誰にも 相談しない
 □8 外国人を 支援する 団体 □16 相談する 相手が いない

簡22 あなたは 行政サービスや ぐららの 情報・ルールを 荷で 知りますか。また何を 希望しますか。(IAJはチェック) (☑) は1つずつ、IBJはチェック (☑) はいくつでも

	A. 利用(のよ)している 手段(しゅだん)		B. 希望(きぼう) する手段(しゅだん)
	利用(のよ) している	利用(のよ) していない	
(A) 「おおた区報」	□1	□2	□
(B) 多言語情報紙「Ota City Navigation」(年8回発行)	□1	□2	□
(C) 多言語相談窓口で 聞く	□1	□2	□
(D) (同じ国語や 同じことばが 分かる) 友達や 知人に 聞く	□1	□2	□
(E) (日本人の) 友人や 知人に 聞く	□1	□2	□
(F) いろいろな 言語で 書かれた 公館などに 設置 されている ルールや 類例の 警察・案内板	□1	□2	□
(G) いろいろな 言語による 区の ホームページ	□1	□2	□
(H) SNS (Youtube等の 動画サイトを 含む)で の いろいろなる 言語による 情報発信	□1	□2	□
(I) いろいろなる 言語での メール の 配信	□1	□2	□
(J) 区で 受けられる サービスの 一覧と 手続きの 仕方を いろいろなる 言語で 簡単に 書いたもの	□1	□2	□
(K) スーパーマーケットや コンビニエースト等、 飲食店等での 情報提供	□1	□2	□
(L) いろいろな 言語の ラジオ、ケーブルテレビ放送	□1	□2	□
(M) その他 ()	□1	□2	□

問27 あなたは 地域に 日本人の知り合いが 欲しいですか。(チェック (☑) は1つだけ)
1 もっと増やしたい 2 今の知り合いだけでよい 3 いらさない

問28 地域社会の 一人として あなたが 日本人に してほしいことは 何ですか。
 (チェック (☑) はいくつでも)

- 1 あいさつなど 親しく声を かけてほしい
- 2 生活ルールを わかりやすく 教えてほしい
- 3 日本語や 日本文化を わかりやすく 紹介してほしい
- 4 自分たちの 文化や 習慣などを 理解してほしい
- 5 自分たちの ことを 理解できるように なるしてほしい
- 6 町会や 地域の ことを 教えてほしい
- 7 地域の行事や イベントなどに 誘ってほしい
- 8 SNSや オフィスや 雑誌、差別を なくしてほしい
- 9 わかりやすい日本語で 話してほしい
- 10 外国人としてではなく 日本人と同じように 接してほしい
- 11 その他 ()
- 12 特にない

問29 あなたは 大田区では 日本人と 外国人が 互いに 認め合い 一緒に 地域社会の 一人として 暮らしていると 思えますか。(チェック (☑) は1つだけ)

- 1 とても思う 3 どちらかといえば思わない
- 2 どちらかといえばそう思う 4 まったく思わない

問30 あなたは この1年前で 地域活動(地域の イベントや お祭り、自治会・町会の 活動等)に 参加しましたか。また、これからは 参加したいと 思いますか。
 (チェック (☑) は 参加状況・参加したいか別に 1つずつ)

参加の状況	<input type="checkbox"/> 1 たくさん 参加した
	<input type="checkbox"/> 2 少し 参加した
	<input type="checkbox"/> 3 参加していない
	<input type="checkbox"/> 4 コロナ禍で 参加できなかった
これから、参加したいか	<input type="checkbox"/> 1 ぜひ 参加したい
	<input type="checkbox"/> 2 機会があれば 参加したい
	<input type="checkbox"/> 3 参加したくない
	<input type="checkbox"/> 4 わからない

問23 あなたは 大田区で 生活するときに どんな情報が 必要ですか。
 (チェック (☑) はいくつでも)

- 1 生活情報(例: こみの出し方や リサイクル方法、各種免許や登録、手続き)
- 2 防災や 地域についての 情報
- 3 福祉や 介護についての 情報
- 4 医療や 健康保険についての 情報
- 5 税金・年金についての 情報
- 6 子育て・教育についての 情報
- 7 住まいについての 情報
- 8 就職や 企業についての 情報
- 9 区内の 観光についての 情報
- 10 お祭り・スポーツ大会などの 住民と 交流できる イベント情報
- 11 区の施設の 案内
- 12 区のカーニバルや 来訪シテイ活動の 紹介
- 13 日本語学習や 外国人支援についての 情報
- 14 新型コロナウイルスについての 情報(例: 感染経路、ウチウチの情報)
- 15 その他 ()
- 16 特にない

問24 あなたが 情報を 知るときに 最も使う SNSは どれですか。
 (チェック (☑) は1つだけ)

- 1 Facebook 5 Tik Tok 9 Youtube
- 2 Instagram 6 Weibo(微博) 10 その他 ()
- 3 LINE 7 Wechat(微信) 11 あまり使わない・使わない
- 4 Twitter 8 What's up

7 地域での交流について

問25 あなた(あなたの世帯)は 自治会・町会に 入っていますか。(チェック (☑) は1つだけ)
1 入っている 2 入っていない 3 自治会・町会を 知らない

問26 あなたは 近くに 住む 日本人と どのような 付き合いが ありますか。
 (チェック (☑) は1つだけ)

- 1 あいさつをする程度 5 家族同様に 親しく 付き合っている
- 2 日常生活のことを 話している 6 イベント等で 知り合うが その後の付き合いはない
- 3 何かあったときに 助け合っている 7 その他 ()
- 4 友人として 付き合っている 8 まったく付き合いがない

2. 日本人区民調査票

大田区多文化共生実態調査

日本人区民と外国人区民(※1)にとって、大田区をもっと住みよいまにするためにあなたの声をお聴かせください！

日頃から、大田区政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

大田区には約24,000人の外国人区民が生活しており、区民全体のおよそ30人に1人となっています。区では、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め、理解しあい、共に生きていく多文化共生のまちづくりを推進していきたいと考えております。

このアンケート調査は、皆さまの生活の実態や区に対するご意見・ご要望を把握し、これからの多文化共生のまちづくりに役立てるために実施するものです。

この調査の対象として、大田区にお住まいの18歳以上の日本人の中から1,500人、外国人の中から3,000人の方を無作為抽出法で選んでいます。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的な数値として処理しますので、個人を特定したり、プライバシーに関わる内容が公表されたりすることは一切ありません。

お忙しいところたいへん恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

※1 外国人区民：本調査では、外国籍の区民に加え、日本の永住権を持つ外国籍区民等の「外国にルーツを持つ」区民も広く対象としています。

ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒に入れて、10月31日(月)までに郵便ポストに投函してください。

切手は不要です。あなたのお名前を書く必要はありません。

*回答の重複を避けるために、右下にIDを付番しています。個人を特定するものではありません。



大田区

スポーツ・文化・国際都市部
国際都市・多文化共生推進課
〒114-0052 大田区蒲田4-16-8 2階
(おおた国際交流センター)
電話03-5744-1227

※記入の方法については、裏面の「ご記入にあたってのお願い」をご覧ください。

ID:

ご記入にあたってのお願い

- 1 ご回答は、必ず封筒のあて名のご本人がご記入ください。
- 2 ご回答は、墨いえんぴつか黒または青のボールペンをご使用ください。
- 3 ご回答は、次の要領で行ってください。
 - ご回答は、あらかじめ設けてある選択肢の中から選んで、「番号」に○印をつけてください。
 - ご回答の○の数は、「○は1つだけ」「○はいくつでも」などと指定していますので、それに合わせてください。
 - 自分の答えが選択肢の中にはない場合は、「その他()」を選び、()内にその内容を具体的に記入してください。
 - 設問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、(～とお答えの方にお聞きします)に従って回答してください。特に説明のない場合は、つぎの設問に進んでください。
 - 回答の重複を避けるために、表紙の右下にIDを付番しています。個人を特定するものではありません。

記入例

F1 あなたの年齢をお選びください。(○は1つだけ)

1	18歳～19歳	3	30歳～39歳	5	50歳～59歳	7	70歳以上
2	20歳～29歳	4	40歳～49歳	6	60歳～69歳		

選択した番号に○印をつけてください

1. あなたのことについて

F 1 あなたの年齢をお選びください。(Oは1つだけ)

1 18歳～19歳	3 30歳～39歳	5 50歳～59歳	7 70歳以上
2 20歳～29歳	4 40歳～49歳	6 60歳～69歳	

F 2 あなたのお住まい(住居)は次のうちどれにあたりますか。(Oは1つだけ)

(持ち家)	1 一戸建て	2 集合住宅
(借家)	3 一戸建て	4 集合住宅
(その他)	5 公営住宅	6 社宅
	7 間借り・住み込み・寮	8 シェアハウス
	9 その他()	

F 3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。なお、2つ以上あてはまる場合は、主として従事している職業を選んでください。(Oは1つだけ)

1 自営業者・経営者	5 パート・アルバイト
2 会社勤務(役員)	6 専業主婦・主夫
3 会社勤務(一般正社員)	7 学生
4 契約・嘱託・派遣社員	8 無職
	9 その他()

F 4 あなたは、どのくらい大田区に住んでいますか。転入・転出したことがある場合は、大田区に住んでいた期間を現在住んでいる期間と合計してお答えください。(Oは1つだけ)

1 1年未満	4 5～10年未満	7 30年以上
2 1～3年未満	5 10～20年未満	
3 3～5年未満	6 20～30年未満	

F 5 あなた(あなたの世帯)は、自治会・町会に加入していますか。(Oは1つだけ)

1 加入している	2 加入していない	3 自治会・町会を知らない
----------	-----------	---------------

F 6 あなたのお住まいの地域はどこですか。(Oは1つだけ)

1 大森地域(大森東、大森西、入新井、馬込、池上、新井宿など)
2 調布地域(調布、田園調布、鶴の木、久が原、雪谷、千束など)
3 蒲田地域(六郷、矢口、蒲田西、蒲田東など)
4 糀谷・羽田地域(糀谷、羽田など)
5 わからない

F 7 あなたが現在一緒に住んでいる人はどなたですか。(Oはいくつでも)

1 配偶者・パートナー	5 親戚
2 子ども	6 友人・知人
3 兄弟姉妹	7 その他()
4 自分または配偶者・パートナーの親	8 いない

F 8 あなたの家族や親戚には、外国人や外国にルーツを持つ人(元外国籍で帰化した方や、国際結婚夫婦に生まれた子ども、帰国子女など)はいいますか。(Oは1つだけ)

1 いる(離別も含む)	2 いない
-------------	-------

F 9 これからも大田区に住みたいと思いますか。(Oは1つだけ)

1 ずっと住み続けたい ⇒F9-1ハ	3 てきれば大田区外へ移りたい
2 当分は住み続けたい ⇒F9-1ハ	4 大田区外へ移りたい
	5 わからない

(F9で「1」または「2」とお答えの方にお聞きします)

F 9-1 これからも大田区に住みたい理由は何ですか。(Oはいくつでも)

1 出身地だから	7 医療・福祉環境が良いから
2 配偶者の出身地だから	8 防災上安心だから
3 仕事、通勤に都合が良いから	9 住環境が良いから
4 土地、建物を持っているから	10 その他()
5 都心よりも家賃が安いから	11 わからない
6 子どもの教育のため	

F 10 現在住んでいるまちは暮らしやすいと感じますか。(Oは1つだけ)

1 とても暮らしやすいと感じている	3 あまり暮らしやすいと感じない
2 暮らしやすいと感じている	4 暮らしにくいと感じている
	5 どちらともいえない

2. 外国人区民との関わりなどについて

問1 現在、あなたが地域内で生活するなかで、①外国人と関わる場面の有無、および、②4年前（「国際都市おた」多文化共生推進プランを策定した時期）と比較した際の増減（※）についてお答えください。（○はア～シ、①②ごとにそれぞれ1つずつ）
 ※なお、大田区での在任歴が4年未満の方は、大田区に住み始めてから現在までの変化についてお答えください。

	①外国人との関わり状況		②4年前との比較（前回プラン策定時）	
	頻繁にある	たまにある	増えている	減っている
ア. 一緒に仕事をする	1	2	3	4
イ. 一緒に学ぶ	1	2	3	4
ウ. 友だち付き合いをしている	1	2	3	4
エ. 子どもの友達やその親に外国人がおり、付き合いの場面がある	1	2	3	4
オ. 地域活動等で一緒に活動している	1	2	3	4
カ. 隣近所の付き合いがある	1	2	3	4
キ. コンビニや飲食店でサービスを受ける	1	2	3	4
ク. 医療や介護現場でサービスを受ける	1	2	3	4
ケ. 外国人に対してサービスを提供する	1	2	3	4
コ. 工事現場や工場で見かける	1	2	3	4
サ. 外国人観光客を見かける	1	2	3	4
シ. その他（ ）	1	2	3	4

問2 あなたは、直近1年間で地域活動（地域のイベントやお祭り、自治会・町会の活動等）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。（○はそれぞれ参加状況、参加意向別に1つずつ）

参加状況	1 頻繁に参加した	2 たまに参加した	3 参加していない	4 コロナ禍で参加できなかった
今後の参加意向	1 ぜひ参加したい	2 機会があれば参加したい	3 参加したくない	4 わからない

（問2「今後の参加意向」で「1」または「2」とお答えの方にお聞きます）

問2-1 あなたが地域の活動にどのような形で参加したいですか。（○は1つだけ）

1 企画や運営側として参加したい	3 参加者として参加したい（オンライン）
2 参加者として参加したい（対面）	4 その他（ ）

問3 あなたは、外国人が地域に増えることでどのようなメリットが地域にもたらされかと考えますか。（○はいくつでも）

1 人口が増えて、活気が出る
2 地域の祭り等のコミュニティ活動が維持できる
3 消費者や納税者が増えて、地域経済の発展につながる
4 外国の言葉・文化等を知る機会が増える
5 地域で外国人と交流できる機会が増える
6 外国のことに関心を持つようになる
7 地域内の多様性が広がり、誰もが住みやすいまちになる
8 新しいアイデアや文化、ビジネスチャンスが生まれる
9 外国語を話し、複数の文化を理解するなど高度な知識や技術を持つ人材が増える
10 その他（ ）
11 期待できることはほとんどない

問4 あなたは、外国人が地域に増えることで、生活する上で心配や不安に感じることでどのようなことがありますか。（○はいくつでも）

1 お互いの文化や慣習を知らずにトラブルが起きてしまうこと
2 言葉が通じず、コミュニケーションが取れないこと
3 外国人同士が一箇所に固まり、集住すること
4 犯罪や不法滞在が増えるかもしれないこと
5 外国人向け施設やインフラが必要になるなど社会的負担が増えること
6 具体的な心配事はないが、漠然とした不安がある
7 緊急時、災害時のコミュニケーションや支援体制に不安を感じる
8 その他（ ）
9 不安に感じることはほとんどない

問5 あなたは、外国人の知れ合いが欲しいですか。（○は1つだけ）

1 もっと増やしたい	2 今の知れ合いで十分	3 いらさない
------------	-------------	---------

問6 あなたは、区内で暮らす外国人の増加傾向が継続することについてどう感じますか。（○は1つだけ）

1 増えていく方がよい	2 増えていくことを受け止める	3 増えないでほしい
-------------	-----------------	------------

問7 あなたは、労働力や地域コミュニティの担い手として、今後、地域で外国人が活躍することは必要だと思いますか。（○は1つだけ）

1 必要だと思う	3 どちらかといえば必要ではないと思う
2 どちらかといえば必要だと思う	4 必要ではないと思う

3 多文化共生のまちづくりについて

問8 多文化共生*とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地球社会の構成員として共にいきっていくこと」をいいます。あなたは、多文化共生という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

*総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書(2006年3月)」から抜粋

- 1 知っている 2 聞いたことはあるが、内容は知らない 3 知らない

問9 あなたは、大田区では、日本人と外国人が互いに認め合い、ともに地域社会の構成員として暮らしていると思いますか。(○は1つだけ)

- 1 とても思う 3 どちらかといえば思わない
2 どちらかといえばそう思う 4 まったく思わない

問10 あなたが、多文化共生社会実現のために、①現在していること、②今後したいこと(現在の実施の有無にかかわらず)について、お答えください。(○はア～サ、①②ともにいくつでも)

	①現在していること	②今後したいこと(現在の実施の有無に関わらず)
ア. 挨拶や言葉交わす	1	1
イ. 国際交流イベントに参加する	2	2
ウ. 地域でのイベントに外国人を誘う	3	3
エ. 外国語や外国の文化を学ぶ	4	4
オ. 通訳や日本語教師として活動する	5	5
カ. 国際交流ボランティアとして支援に関わる	6	6
キ. 使用することはやや文化配慮などコミュニケーションの仕方に気を付けている	7	7
ク. 新聞やニュース、SNSなどで外国や多文化共生に関わる話題に触れる	8	8
コ. 国際交流や多文化共生に関わる講座やセミナーに参加する	9	9
サ. その他()	10	10
ヤ. やっていることはない/やりたいことはない	11	11

問11 外国人区民とともにある地域づくりのために、外国人に期待することとして、どのようなことがありますか。(○はいくつでも)

- 1 日本の文化や習慣などを理解してほしい
- 2 早期や深夜の騒音に気を付けてほしい
- 3 ごみの出し方のルールを守ってほしい
- 4 日本語を理解できるように努めてほしい
- 5 地域の行事やイベントに参加してほしい
- 6 外国語や外国文化を紹介してほしい
- 7 大田区に愛着を持ってほしい
- 8 町会・地域での役割を担ってほしい
- 9 ボランティアとして関わりてほしい
- 10 災害時の支援等に積極的に参加してほしい
- 11 文化や産業の発展に協力してほしい
- 12 同国人とのコミュニティと地域をつなげてほしい
- 13 その他()
- 14 持たない

問12 あなたは、多文化共生に関して、大田区や国際都市おおた協会*が行っている以下のサービスや取組等を知っていますか。あてはまるものすべてをお選びください。(○はいくつでも)
*2018年(平成30年)4月1日から業務を開始している、区が設立した法人。

- 1 おおた国際交流センター (Minto Ota) の開設
- 2 外国人情報紙「Ota City Navigation」
- 3 ぐららのガイド (外国語版)
- 4 多言語相談窓口 (おおた国際交流センター内 (令和4年4月11日以前は mics おおた内))
- 5 多言語通訳サービス (タブレットおよび電話)
- 6 多文化交流会 (海外・日本の都市の魅力や文化紹介)
- 7 おおたこども日本語教室
- 8 国際都市おおた協会のホームページやSNS (Facebook, Twitter, LINE など)
- 9 区施設への通訳者の派遣
- 10 区提出に必要な書類の翻訳
- 11 国際交流ボランティアや災害時外国人支援ボランティアの募集
- 12 国際都市おおた大使 (来~る大田区大使) の活動
- 13 国際交流団体向けの会議室の貸出
- 14 外国語講座、マンツーマンレッスン等の語学学習支援
- 15 知らない

問13 あなたは、大田区内での外国人の増加にともないどのような施策が必要だと考えますか。
(○はア～テ、それぞれ1つずつ)

	必要	どちらかといえば必要	あまり必要ではない	必要ではない	わからない
ア. 区内の施設の多言語対応・表示	1	2	3	4	5
イ. 日本語習得支援	1	2	3	4	5
ウ. 生活情報の発信・多言語対応	1	2	3	4	5
エ. 相談体制の拡充・通訳配置	1	2	3	4	5
オ. 防災面の対策	1	2	3	4	5
カ. 子育て・教育面の支援	1	2	3	4	5
キ. 医療面の支援	1	2	3	4	5
ク. 介護や福祉に関わる支援	1	2	3	4	5
ケ. 就労・起業支援	1	2	3	4	5
コ. 日本人向けの多文化共生に関する意識啓発	1	2	3	4	5
サ. 日本人と外国人の交流の機会充実	1	2	3	4	5
シ. 外国人区民の居住に関わる支援	1	2	3	4	5
ス. 外国人区民の生活マナー啓発の実施	1	2	3	4	5
セ. 外国人区民の地域社会への参加支援	1	2	3	4	5
ソ. 外国人観光客への受入体制の強化	1	2	3	4	5
タ. 職員・外国人対応力の強化	1	2	3	4	5
チ. 外国人受け入れを行う事業者向けの多文化共生に関わる意識啓発・研修	1	2	3	4	5
ツ. 外国人区民への偏見や差別防止のための人権課題対策	1	2	3	4	5
テ. 宗教や性など多様性を配慮した行政体制の充実	1	2	3	4	5

問14 あなたは、大田区が「国際都市おた」として、どのようなまちになることを期待しますか。
(○はア～ウ、それぞれ1つずつ)

	大いに期待する	どちらかといえば期待する	どちらかといえば期待しない	まったく期待しない	
ア. 地域での車の根の国際交流が進み、世界が身近に感じられるまち	1	2	3	4	5
イ. 様々な国の人々が交流し、新たな文化やビジネスを世界に発信する国際的な都市	1	2	3	4	5
ウ. 日本人も外国人もともに、地域の一員として尊重されるまち	1	2	3	4	5

問15 大田区では、他の国籍の方とコミュニケーションを取るために、長い文章を短くしたり、簡単な言葉に言い換えたりする「やさしい日本語」の活用を推進しています。あなたは「やさしい日本語」を知っていますか。(○は1つだけ)

1 知っていて、使ったことがある	3 聞いたことはあるが、内容は知らない
2 知っているが、使ったことはない	4 知らない

令和4年度 大田区多文化共生実態調査 【報告書】

大田区スポーツ・文化・国際都市部 国際都市・多文化共生推進課
住所：大田区蒲田4-16-8 2階（おおた国際交流センター）
電話：03-5744-1227